ISSN 1348-8384

瓜谷　望 教授　退職記念号

拓殖大学 語学研究

Takushoku Language Studies

2022. 3
No. 146

拓殖大学 語学研究
2022 年 3 月
第 146 号

目　次

〈退職教員の略歴と業績〉

退職に寄せて……瓜谷　望（ i ）

〈論文〉

「発音」という語について ……阿久津　智（ 1 ）

語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」 I
——5 種の現代中国語テキストから——……浅井　澄民（ 27 ）

日本人大学生の PISA 型読解力……狩野　紀子（ 53 ）

スペイン語の形容詞慣用句‘sano y salvo’……小池　和良（ 83 ）

ハーンとスピリチュアリズム……先川　暢郎（101）

中国語作文力から見る無料翻訳の現状
——SVO 語順を基盤とした不規則的な拡張をサンプルに——
……平山　邦彦（137）

洋楽歌詞を活用したデータベース構想と構築……藤本　淳史（179）

レポート・ライティングにおける問題設定に対する指導法
——ID 理論による授業デザインの実践と効果——……中村かおり（213）

スペイン語前置詞句 dentro de の
空間的意味「～先」について……長縄　祐弥（239）

〈研究ノート〉

日本語版作家名再認テスト作成のための予備調査
——日本人高校生における読書量測定のための
予備調査データの検討—— ……長谷川文子（265）

〈調査報告〉

2021 年度前期における中文日訳授業での
翻訳ソフトの誤訳と学生の誤訳の比較……関口　美幸（273）

〈資料〉

スペイン語の musmé をめぐって ……松下　直弘（307）

拓殖大学研究所紀要投稿規則
拓殖大学言語文化研究所　『拓殖大学語学研究』執筆要領 …（327）

Takushoku Language Studies
No. 146

Contents

〈Profiles and Works of Retired Professors〉

Retirement Greetings …… URITANI Nozomi (i)

〈Articles〉

On the Term *Hatsuon* …… AKUTSU Satoru (1)

The Chinese Sentence Final *le* and the Phase
for Language Agent ……ASAI Sumitami (27)

Reading Proficiency of Japanese University Students
Majored by OECD's PISA Questions …… KANO Noriko (53)

The Spanish Adjective Idiom 'sano y salvo' …… KOIKE Kazumi (83)

Hearn and Spiritualism …… SAKIKAWA Nobuo (101)

The Current Status of Free Internet Translation
from the Perspective of Chinese Writing Ability:
A Sample of Irregular Extensions Based on SVO Word Order
…… HIRAYAMA Kunihiko (137)

Developing and Creating a Database
of English Song Lyrics ……FUJIMOTO Atsushi (179)

Teaching Methods for Setting Questions in Report Writing:
Practice of Class Design Based on Instructional Design (ID)
Theory and Its Effectiveness …… NAKAMURA Kaori (213)

El sentido espacial de la locución preposicional *dentro de*:
dentro de 100 metros ……NAGANAWA Yuya (239)

〈**Study Notes**〉

Developing Japanese Author Recognition Test:
A Pilot Study among High School Students …… HASEGAWA Ayako (265)

〈**Survey Report**〉

Comparison of Mistranslation by Translation Software
and Students' Mistranslation in Chinese-to-Japanese
Translation Class in the First Semester of 2021
…… SEKIGUCHI Miyuki (273)

〈**Material**〉

En torno a la palabra española «musmé»
……MATSUSHITA Naohiro (307)

Submission of Manuscript

Instructions for Contributors

退職に寄せて

瓜　谷　　望

30 年間お世話になった拓殖大学を今年，定年退職することになりました。

在職中の研究テーマはスペイン語の限定詞，中でも冠詞の用法研究が中心です。学生時代，作文をスペイン語圏の先生方にチェックしてもらうと，一番指摘されたのが冠詞の間違いでした。この文脈では定冠詞，こちらは不定冠詞，こちらは無冠詞がいいと説明を受けてもなかなか使いこなせませんでした。そこで，冠詞に関する内外の文献を読み漁り，面白さに目覚め，最終的に定冠詞や不定冠詞の交替やその有無が文の解釈や容認可能性にどのように影響を与えるかを統語論，意味論，語用論等，複合的な観点から調査分析するようになりました。

もう一つの研究テーマがスペイン語教授法の実証研究です。大学でスペイン語を教える立場になって初めて，教えることの難しさを痛感しました。学生の興味を喚起し，語学力の向上をもたらす授業を行うことは至難の業でした。そこで，様々な指導法を試し始めました。最初の試みは，1980 年代の後期当時，まだ珍しかったパソコンを使ってのスペイン語演習です。非常勤で教えていた大学で Macintosh を導入した PC 教室が作られたのがきっかけでした。スペイン語は動詞の語形変化が複雑で，これを習得できないで学習意欲を失う学生がたくさんいます。自分のペースで繰

り返し練習できるスペイン語動詞練習用の PC ソフトがあれば，この状況を改善できるのではと考えました。しかし，パソコン黎明期の当時，このような市販学習ソフトはありません。そこで，Mac を購入し，見ようみまねでプログラミングの初歩を学び，スペイン語の動詞活用ドリルを自作し，PC 教室に導入しました。物珍しさもあり，学生達は喜んで取り組んでくれました。授業の一部に組み込んで何年か運用し，それなりの成果もありましたが，所詮素人が作ったパソコン用教材，学生達が想定外の使い方をするとすぐに止まってしまいます。おまけに当時のマックは不安定。毎回の授業中のサポートが大変で，最終的には運用を断念することになりました。今となっては楽しい思い出ですが。

その後も，いろいろな教育方法を模索しました。文法理解と訳読中心の授業からコミュニケーション重視の授業へ。そして，学習者の主体的な学び方とその支援へと関心が移っていきました。中でも一番教育効果を実感できたのが学生同士の協同学習環境の構築です。2008 年より「スペイン語相互学習（SAM）」という課外活動で，上級生による一年生の学習支援活動を始め，やがて規模を拡大し，スペイン語学科のカリキュラムに組み込まれました。

30 年間の教師生活を振り返ると，いつの間にか授業やゼミの準備が楽しみになっていました。こうしたらもっといい反応が学生達から引き出せるのではと妄想しながら授業内容を考えるのが特に好きでした（実際の授業では妄想の理想レベルとは程遠いのですが）。

このような幸せな環境で長期間働けたのは，同僚の先生方，職員の皆様の強力な支援にいつも支えられていたからです。改めてここに感謝いたします。

経歴と業績

瓜谷　望（昭和27年 6 月29日生まれ）

学　歴

1977年 3 月　神奈川大学外国語学部スペイン語学科卒業　文学士
1979年 4 月　上智大学大学院外国語研究科言語学専攻博士前期課程入学
1982年 3 月　上智大学大学院外国語研究科言語学専攻博士前期課程修了　文学修士
1984年10月　マドリード大学大スペイン言語学研究科博士課程入学
1987年 2 月　マドリード大学大スペイン言語学研究科博士課程修了　言語学博士

職　歴

1987年 4 月　麗澤大学外国語学部専任講師
1987年 4 月　拓殖大学外国語学部非常勤講師
1991年 4 月　立教大学一般教育部非常勤講師
1991年 4 月　麗澤大学外国語学部非常勤講師
1991年 4 月　拓殖大学商学部助教授
2000年 4 月　拓殖大学外国語学部教授

教育研究業績

【著　書】

（共著）初級日本語	1989年12月	麗澤大学
（共著）麗澤日本語 1	1990年 4 月	麗澤大学発行
（共著）スペイン語会話練習帳	1990年12月	大学書林
（共著）現代のスペイン	1992年 3 月	角川書店

（共著）和西辞典　2001年 1 月　白水社
（共著）新版スペイン語の入門　2015年10月　白水社
（共著）スペイン人が日本人によく聞く100 の質問
2022年（準備中）　三修社

【学術論文】

（単著）Sobre el tematizador “en cuanto a”
1984年10月　Español actual 42
（共著）Los diminutivos en los atlas lingüísticos españoles
1985年　Lingüística española actual
（単著）La alternancia del artículo en español
1987年 3 月　Universidad Complutense de Madrid
（単著）El interrogativo “quién” en la oración copulativa
1989年12月　麗澤大学紀要47
（単著）El complemento predicativo y el artículo
1990年 7 月　麗澤大学紀要50
（単著）パソコン用スペイン語視聴覚教材の開発と運用報告
1993年 8 月　論集（204）
（単著）限定形容詞の範囲
1995年12月　語学研究80
（単著）スペイン語の作文教育におけるパソコンの利用例
1996年10月　語学研究所
（単著）Ámbito de los adjetivos determinativos en español
1997年 3 月　ロボ教授退官記念論文集
（単著）無冠詞の所属的名詞句 N1 de N2 の容認可能性（1）
2003年12月　HISPANICA 47
（単著）無冠詞の所属的名詞句 N1 de N2 の容認可能性（2）

2004年12月　HISPANICA 48

（単著）無冠詞の所属的名詞句 N1 de N2 の容認可能性（3）

2006年12月　HISPANICA 50

（単著）スペイン語教育プレゼンテーション指導の問題と対策

2008年12月　語学研究119

【研究発表】

品質形容詞と限定形容詞 品詞間の連続性（1）

1989年 6 月　ソフィア西語フォーラム

品質形容詞と限定形容詞 品詞間の連続性（2）

1989年 7 月　ソフィア西語フォーラム

品質形容詞と限定形容詞 品詞間の連続性（3）

1989年 7 月　ソフィア西語フォーラム

スペイン語の限定詞

1990年 4 月　上智大学大学院言語研究科講演

Los hay muy baratos 構文の分析（1）

1992年10月　ソフィア西語フォーラム

スペイン語動詞活用訓練システムの開発と運用報告

1992年11月　日本イスパニア学会

Los hay muy baratos 構文の分析（2）

1993年 4 月　ソフィア西語フォーラム

我が国におけるスペイン語

1996年 7 月　第36回語学ラボラトリー学会

連体修飾語である前置詞句の無冠詞用法

2001年10月　日本イスパニア学会

外国語学部初年次教育教育を中心とした FD 活動報告

2010年　FD ワークショップ

スペイン語学科脱落防止対策2012効果検証

2013年 2 月　外国語学部レクチャーシリーズ

SAM 相互学習プロジェクト（失敗から学んだこと）

2014年 9 月　FD ワークショップ

その他

拓殖大学ベストティーチャー賞受賞　2011年

〈論　文〉

「発音」という語について

阿久津　　智

要　旨

「発音」という語のもつ現代的な意味の成り立ちについて，コーパスやデータベースを含む文献資料によって調べた。その結果，次のことがわかった。⑴「発音」は，古くは，広く「音を出すこと」を意味する語であったが，とくに「経文（声明）を唱えること」（「ほっとん」や「はっとん」という）に使われ，「漢字の音を示すこと」という用法もあった。⑵「言語の音声を，何らかの方法に従って，（正しく）作り出すこと」という「発音」の現代的意味は，蘭学や英学の影響で生まれたと思われる。これは，江戸時代には，「呼法」などと呼ばれていたが，明治以降，「発音」が使われるようになった。⑶現代的意味の「発音」の読み方には，明治前期には，「はついん」と「はつおん」とがあったが，明治後期には，ほぼ「はつおん」に統一された。

キーワード：発音，発声，呼法，読法，読音

1. はじめに

本稿では，「発音」という語について，その現代的意味の成り立ちについて見ていく。

「発音」とは，文字どおりには，「音を発すること」である。国語辞典には，「言語の音声を出すこと。」（『岩波国語辞典 第八版』岩波書店 2019）というような（言語の音声に限定した）語釈がよく見られる。もう少し詳

しく，たとえば，「声や音を出すこと。とくに，ことばの要素（ようそ）となる声を出すこと。また，その音声。」（『学研現代標準国語辞典 改訂第 4 版』学研プラス 2020）のように，語義をブランチ分けせずに，まとめて挙げているものもある。また，「動物では発音器官によるもののほか，魚が浮き袋を用いたりキツツキが木をたたいたりして音をたてることにもいう。」（『大辞泉 第 2 版』小学館 2012）という用法を加えている辞典などもある。

現代語における「発音」の用例を見てみると，やはり「言語の音声を出すこと」を表すものが多いようである。試みに，『毎日新聞』のデータベース「毎索」で，「媒体：毎日新聞」，「キーワード：発音」，「日付：2021 年 1 月 1 日～7 月 31 日」で検索して，結果に現れたもの（61 件（記事））を各記事に当たって確認したところ，これらの「発音」（「爆発音」などの別の語や，重複した記事を除いた 36 件（記事）48 例）は，すべて「言語の音声」に関するものであった。例を挙げる（下線は筆者。以下同じ）。

(01) それが中華街の中国人らから「本場の発音に近い」と褒められた。（『毎日新聞』2021 年 1 月 4 日）
(02) もとはドイツ人だから，オランダ語の発音が不自然だ。（『毎日新聞』2021 年 3 月 25 日）
(03) その中で約 9 割から「発音を改善したい」という要望があった。（『毎日新聞』2021 年 5 月 15 日）
(04) 日本語を話せない祖父が，そのフレーズだけはしっかりとした日本語を発音したからだ。（『毎日新聞』2021 年 6 月 5 日）

これらでは，その音の妥当性や適合性が主な関心事となっており，ここから，現代語における「発音」には，「言語の音声を，何らかの方法に従って，（正しく）作り出す」というような，規範性に関わるニュアンス

（以下，「規範性」）が含まれることがうかがえる。

ここで，「発音」の意味・用法の変遷を，『日本国語大辞典 第二版』（小学館 2000～2002）（以下，『日本国語大』）で概観してみよう。『日本国語大』では，「発音」は，「はついん」，「はつおん」，「はっとん」の見出しで現れている。

(05)　はついん【発音】〖名〗

「はつおん（発音）」に同じ。

＊かくれんぼ〔1891〕〈斎藤緑雨〉「尾花屋から懸りしを冬吉は断り発音（ハツイン）はモシの二字を以て俊雄に向ひ」

(06)　はつおん【発音】〖名〗

音，特に，言語の音声を発すること。また，その音声の出し方。はついん。

＊玉葉－仁安二年〔1167〕三月二三日「次唱二人発音」

＊尋常小学読本〔1887〕〈文部省〉四「正しく発音して，ゆるやかに読むべし」

＊初孫〔1900〕〈国木田独歩〉「外国人の名前を一種変てこりんな発音（ハツオン）にて聞かされ候」

＊三四郎〔1908〕〈夏目漱石〉一「熊本の教師とは丸で発音（ハツオン）が違ふ様だ」

＊淮南子－氾論訓「憤二於志一積二於内一，盈而発レ音，則莫レ不下比二於律一，而和中於人心上」

(07)　はっとん【発音】〖名〗

（「はつおん（発音）」の連声）頭役が声明の唱句をとなえ始めること。また，その役をつとめる職衆。

＊東大寺続要録〔1281～1300 頃〕供養篇「四部楽同時乱声。次新楽・高麗各発音」

これらの語釈・用例を見ると，次のようなことがわかる（Ⓐ）。また，そこから，疑問点も出てくる（Ⓑ）。

①Ⓐ「発音」は，中国由来の語であり，古くから使われている。
※『淮南子』（前 2 世紀成立）の「発音」の例は，「歌声を出すこと」の意味かと思われる。
Ⓑ「発音」は，どのような意味・用法で使われてきたのか。
②Ⓐ明治の「発音」の例は，すべて「言語の音声（を出すこと）」で，そこには「規範性」もうかがえる。
※ただし，語釈では，「規範性」について触れられていない。
Ⓑ「発音」における，（「規範性」を含む）現代的な意味は，どのような起源をもつのか。
③Ⓐ「発音」には，「はついん」，「はつおん」，「はっとん」の 3 つの読み方があった。
※ただし，読み仮名が付いていないものが多い。
Ⓑ「発音」は，どのように読まれて（発音されて）きたのか。

以下，上の①～③のⒷについて，それぞれ，2 節・3 節・4 節で見ていく。そこから，「発音」の現代的な意味の成り立ちを探りたい。なお，本稿では，「発音」の名詞の用法とサ変動詞（「発音する」）の用法とを，区別せずに扱っておく。また，漢文（訓読）における「発音」は，便宜的に，（「音を発す」とは読まずに）すべて熟語として読んでおく。漢字の字体は，現代日本語の通用字体に統一する。

2.「発音」の意味・用法

本節では，「発音」がどのような意味・用法で使われてきたかについて

見ていく。

2.1　古典中国語における「発音」

「発音」は，中国由来の語と見られることから，まず古典中国語における「発音」の意味・用法を確認しておきたい。

中国最大規模の中国語辞典である『漢語大詞典』（上海辞書出版社 1986～1994）の「発音」には，次のようにある（[ ] 内は筆者による。原文の傍線等は省略。以下同じ）。

(08)【発音】

❶発出楽音或語音。亦泛指発出声音。[楽音あるいは言語音を出す。また広く音を出すことを指す。]

《淮南子・氾論訓》:“憤於志，積於内，盈而発音，則莫不比於律。”[志に憤り，内に積もり，盈(み)ちて発音すれば，則ち律に比(あ)わざること莫(な)し。]

南朝宋 顔延之《宋文皇帝元皇后哀策文》:“発音在詠，動容成紀。”[発音は詠に在り，動容（動作容儀）は紀（紀綱）を成す。]

元 范梈《寄謝周文学》詩：“発音詠隆施，重見能来無。”[発音し，隆施（雲雨）を詠む，重ねて見る，能(よ)く来るや無(いな)や]

洪深《電影戯劇表演術》第四章：“発音必須吹気，所以練習発音的人，第一応当注意他的呼吸。”[発音は必ず息を吹くので，発音を練習する人は，第一に呼吸に注意しなければならない。]

❷発出的語音。如：他的発音很准確。[発する言語音。例：彼の発音はとても正確だ。]

上の❶に挙げられている「発音」の例は，いずれも「声を出すこと」で

あるが，細かくいえば，歌，詩，演劇などにおける声が含まれるようである。❷には，古い用例がなく，現代語における意味だと思われるが，これは，日本語における現代的な意味と共通する。

ほかの例を，いくつか補っておく（09 は「漢籍電子文献資料庫」に，10・11 は「中国哲学書電子化計劃」による。句読点は，各データベースによる）。

（09） 礼畢升路，鼓吹発音，還入宮門，金石振響。［礼畢り，路を升り，鼓吹［鼓笛］発音す，宮門に還入し，金石［楽器］振響す。］（『隋書』（656 成立）巻 15・志 10「音楽下」）

（10） 屯雲結陰，洪気鬱拂，殷雷発音，勃然鼓作［屯雲陰を結び，洪気鬱拂とし，殷雷発音し，勃然として鼓作す］（『芸文類聚』（624 成立）巻 1「天部上」「風」）

（11） 法華経偈頌 … 註 迦陵頻伽，妙音鳥也。鳥未出声時，即発音微妙［迦陵頻伽は妙音の鳥なり。鳥未だ声を出さざる時，即ち発音微妙］（『康熙字典』（1716 成立）亥集中「鳥」）

（09）は楽器の音，（10）は雷の音，（11）は鳥の声について，述べている。このように，古典中国語で，「発音」は，広く音を出すことに用いられている。

2.2 日本語における「発音」

『日本国語大』における「発音」の初出例は，九条兼実の日記『玉葉』の仁安 2 年（1167）3 月 23 日の条である。これは，後白河上皇が臨幸して行われた法勝寺の「千僧御読経」の場面の記事である（12 は「国立国会図書館デジタルコレクション」による）。

（12）　諸司官人加二着其座北頭一，次唱二人発音，（『玉葉 第一』国書刊行会 1906: 13）

この「発音」は，「経文（声明）を唱え始めること」を意味するようである。あるいは，連声で「はっとん」（あるいは「ほっとん」）と読むことも考えられる（07・53 参照）。

このような，読経（声明）の場面における「発音」は，古い漢文資料に多く見られる（13 は東京大学史料編纂所「平安遺文フルテキストデータベース」（『大日本史料』で確認した），14 はジャパンナレッジの JKBooks「群書類従（正・続・続々）」による）。

（13）　次弟子四人 次受者 次威儀人々 讃頭発音（『真言伝法灌頂師資相承血脈』「天暦二年五月九日」948）（『大日本史料 第 2 編之 3』p. 102）

（14）　次打二金鼓一。唄師発音。定者従レ音徐行。（『法勝寺金堂供養記』（1022 成立））（『群書類従』第 24 輯・巻第 432 p. 265）

ほかに，JKBooks「群書類従（正・続・続々）」には，たとえば，次のような「発音」が見られる。

（15）　竹林楽をひくべきなり。発音延て尤可也。（『胡琴教録』1178 成立か）（『群書類従』第 19 輯・巻第 344 p. 109）

（16）　生日感応誠奇異。天雷発音。妙雲聳家。（『補陀洛山建立修行日記』（鎌倉時代頃か））（『続群書類従』第 28 輯上・巻第 813 p. 128）

（17）　喉開清軽。詞無レ濁。　㊮㋐イウエヲ　胸発音 腎。（花山院長親『倭片仮字反切義解』15 世紀初頭成立か）（『群書類従』第 28 輯・巻第 495 p. 186）

(18)　毎年春末夏初杜鵑早遷二此松一発レ音（黒川道祐『雍州府志 第八』1684 序）（『続々群書類従』第 8 p. 248）

(15) は楽器の音，(16) は雷の音，(17) は言語の音声，(18) は鳥の声に関するものである。

一方，古典文学作品には，「発音」はほとんど現れないようである。ジャパンナレッジの『新編 日本古典文学全集』，国立国語研究所の「日本語歴史コーパス」（短単位・語彙素「発音」）の検索では，奈良〜江戸時代の作品の本文に「発音」は 1 例も現れなかった（2021 年 9 月閲覧）。

ただし，『今昔物語集』（12 世紀初頭成立）に，「音楽を奏でること」を表す「音ヲ発ス」が使われている。現存写本の祖本とされる「鈴鹿本」には読み仮名が付いていないが（「京都大学貴重資料デジタルアーカイブ」による），『新編 日本古典文学全集』では，次のように読んでいる。

(19)　四色（ししき）ノ羅漢（らかん）ハ威儀（ゐぎ）ヲ調（ととの）ヘ，三部（さむぶ）ノ伎楽（ぎがく）ハ音ヲ発（おと）ス（おこ）。（『今昔物語集』巻 12「於山科寺行涅槃会語第六」）（『新編 日本古典文学全集 35 今昔物語集（1）』1999: 168）

また，江戸時代の音韻学書には，「漢字の音を示すこと」を表すと思われる「発音」が見られる。この場合の「発」は，「点をつける」（圏点で声調を示す）という意味のようである（諸橋轍次『大漢和辞典 修訂第二版』大修館書店 1989〜1990「発」，「圏」）。例を挙げる（「新日本古典籍総合データベース」による）。

(20)　仮借之不レ可レ廃ス 発音可ン二得テ而廃一也 予頃ロ作ル一一書ヲ一二名ケ曰二発音発ト一（佐藤一斎『発音発』1795 序）（訓点を一部補った）

このような「発音」の使い方は，明朝の重臣であった張位の著作『発音録』などにも見られ，中国語からの影響があったものと思われる。

明治以降は，「規範性」をもつ言語の音声に関する「発音」の例が増えるが，ほかに，物理的な音に関するものも見られる（21～24 は，朝日新聞のデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」，25 は，読売新聞のデータベース「ヨミダス歴史館」による）。

(21)　今度各警察署に新設なる伝話機は一所にて発音すれば拾ヶ所へ通ずる器械なりしと（『朝日新聞』1879/8/8）

(22)　ウヱブスター原著スペルリングブツクとモンローの発音法を纂訳し（『朝日新聞』1885/7/12）

(23)　其発音にして宜しきを得ざれば其用を弁ずる能はざる（『朝日新聞』1885/8/6）

(24)　此発音器を以て名人の音曲を写し取置く時は再び之を発音せしむるを得れば（『朝日新聞』1888/1/5）

(25)　堺熊二郎は発音自由にして通常の応答には聊かも差支へなく之を弁ずるに至れり（『読売新聞』1886/8/7）

(24) の「発音器」（同記事中では，主に「発言器」を使用）は，蓄音機のことである。両新聞（1897～1911 年）には，「発音器」（蓄音機）の広告も掲載されている。

以上から，「発音」は，古くは，広く音を出すことを表す語であったが，とくに「経文（声明）を唱えること」に使われ，「漢字の音を示すこと」や，さらに，「規範性」をもつ「言語の音声を作り出すこと」などにも使われるようになったといえよう。

3. 「発音」の現代的意味の起源

本節では，「発音」における，（「規範性」を含む）現代的な意味は，どのような起源をもつかについて見ていく。

3.1 専門語としての「発音」の意味

まず，専門語としての「発音」の意味を，言語学・日本語学の専門辞典で確認しておく。専門辞典では，「発音（pronunciation）＝調音（articulation）」とするものが多い。

(26) 発音の過程を次の2つに分けて考えるのが便利である。／第1の過程は，言語音を作るための「素材」となる音源を作り出す部分で，発声（phonation）とよばれる。これは肺などの呼吸器官と喉頭によって行なわれる。第2の過程は，第1の過程において作り出された音源あるいは気流をさまざまな調音器官の働きによって「加工」する部分で，これが（狭義の）調音とよばれる過程である。調音は声門より上に位置する音声器官によって行なわれる。…／調音は，一般的には発音（pronunciation）とよばれる。また，医学界では構音とよばれることもある。（『言語学大辞典 第6巻 術語編』三省堂 1996「調音」）（／は改行を示す。以下同じ）

(27) 発声も広義の調音に含める人もあるが，その場合は，発声のことを喉頭調音と呼ぶ。調音音声学は，この広義の調音を扱う。「発音」もほぼ広義の調音に当たるが，必ずしも一つ一つの音を分析的に表すのではなく，単語や文，発話全体について一般的に表現したものである。（『日本語大事典』朝倉書店 2014「調音」

（上野善道執筆））

これらによれば，「発音」と「発声」，「調音」との関係は，次のようになる。

（広義の）発音 =（広義の）調音 = 発声 +（狭義の）調音

このように，専門辞典では，発音を音声学的な現象として扱っている。これは，本来，「規範性」を含むものではないが，特定の音には特定の調音があり，これが「規範性」につながっていると思われる。

なお，中国語でも，日本語と同様に，音声学（語音学）の専門用語として，「发音」，「发声」，「调音」が使われている。

（28） 发音　指人的发音器官发出语音的过程。包括发出声源（发声）和利用声腔调节声源（调音）两部分内容。［发音　人の音声器官が言語音を出す過程を指す。音源の生成（发声）と声道を使った音源の調整（调音）の 2 つの部分の内容を含む。］（『漢語知識詞典』警官教育出版社 1996）

3.2　pronounce, pronunciation の訳語としての「発音」

「発音」のもつ（「規範性」を含む）「言語の音声を作り出すこと」という，現代的な意味は，英語の pronounce, pronunciation の意味に相当する。pronounce については，たとえば，『オックスフォード英語辞典（第 3 版）』では，次のように説明している。

（29） pronounce　▸*verb*［with obj.］ 1 make the sound of（a word

or part of a word）in the correct or a particular way:［正しい，または，特定の方法で，（単語，または，単語の一部）の音を作り出す。］（*Oxford Dictionary of English (3rd edition)*. Oxford University Press, 2010）

この“in the correct or a particular way”というのは，まさに「規範性」のニュアンスを示すものである。ここから，現代的な意味の「発音」には，英語（あるいは，他のヨーロッパ言語）の影響があることが考えられる。これに関して，昭和初期の最大級の国語辞典である『大辞典』（1935〜1936）では，「発音」を英語からの翻訳語として扱っている。

（30） ハツオン 発音 pronunciation 英 発音器官による言語音発生作用。（『大辞典 第二十巻』平凡社 1936）

「発音」は，既存の語に新たな意味を与えた翻訳語（森岡 1991: 251 の「転用」）といえるかもしれない。

3.2.1 「発音」と「呼法」

現代的な意味での「発音」は，明治以降に見られるようになる。明治初めの英文典（英語文法書）や日本文典（日本語文法書）には，たとえば，次のような例が見られ，明治初年には，この意味の「発音」が使われていたようすがうかがわれる（「国立国会図書館デジタルコレクション」による）。

（31） car ト云フ言ヲ発音セヨ ○ carpet ト云フ言ヲ発音セヨ ○ carpeting ト云フ言ヲ発音セヨ（大学南校助教訳『格賢勃斯 英文典直訳 巻之上』1870: 2 ウ）

(32)　いゐをおえゑなどその音おなじやうなれとも各その行（くだり）の異なるによつて発音の差別あり　しかるにあ行のい，や行のい，あ行のう　わ行のう，其文字同しけれども其発音はもとより同しからす（中金正衡『大倭語学手引草 前篇』1871: 5 オ）

このような「発音」の使い方は，筆者の調べた限りでは，江戸時代の文献には見られなかった。ただし，「発音」は，幕末の『英和対訳袖珍辞書』（初版）に現れており，また，「音ヲ発ス」という表現が，蘭学書に見られることから，あるいは，江戸時代に，すでに，このような意味で「発音」が使われていた可能性も考えられる（33 は立教大学図書館「英和対訳袖珍辞書デジタルライブラリ」，34 は早稲田大学図書館「古典籍総合データベース」による）。

(33)　Articulation, *s.*　発音（堀達之助『英和対訳袖珍辞書』1862: 44）

(34)　下顎ニ著テ乃チ音ヲ発スルニ（前野良沢『字学小成』1783 以前成立か）（ジャパンナレッジ「東洋文庫」の『前野蘭化 3 著訳篇』（平凡社 1997）では p. 109）

一方で，江戸時代の文献には，「（外国語の）音を作り出すこと」を意味する「呼法」という言い方が使われている。江戸時代のオランダ語学習書や蘭和辞典には，たとえば，次のような例が見られる（早稲田大学図書館「古典籍総合データベース」による）。

(35)　言語ノ呼法ハ親ク口授スルニ非ザレバ正ヲ伝フルコト能ハサル者アリ（前野良沢『和蘭訳筌』末編 1785 自序）（ジャパンナレッジ「東洋文庫」の『前野蘭化 3 著訳篇』（平凡社 1997）では p. 141）

（36） 国字ヲ以テ読法ヲ附スルニソノ音釈一字ヲ以テ該（カナフ）ベカラサルモノアリ故ニ附字合字ヲ用テ呼法ニ便リス（大槻玄沢『蘭学階梯巻下』1783 成・1788 刊: 1 オ）

（37） uitspraak. … 呼法（コヱツカヒ） 又いひこなし（H. Doeff 編『道訳法児馬』1833 成立）

（38） uitspraak. … 呼法（コヱツカヒ） 又言ヒコナシ（桂川甫周ほか校訂『和蘭字彙』1858 刊）

『日本国語大』には，「呼法」の初出例として，『蘭学階梯』のものが挙げられている。

（39） こほう【呼法】〖名〗
発音のしかた。綴りの読み方。
＊蘭学階梯〔1783〕下「蘭人といへども l r の呼び方，甚だ難しとす。呼法によりて辞を差ふこと多し」
＊百学連環〔1870〜71 頃〕〈西周〉一「Pronunciation 即ち呼法なるあり。所謂読法（よみかた）なるものにて，仮令は行而来（ゆきてきた）をイッテキタと言ひ，或は蝙蝠（かはほり）をかうもりと言ひ，〈略〉皆呼法の相違したるものなり」

以上の用例において，「呼」は「発音すること」を表しているが，このような「呼」は，唐の智広『悉曇字記』（7 世紀頃成立）や，日本の安然『悉曇蔵』（880 成立）などの悉曇学書に多く見られ（「新日本古典籍総合データベース」による），悉曇学から来た用法ではないかと思われる。なお，『漢語大詞典』には，「呼」に，「⑥猶読。指看着文字念。」［「読」に同じ。文字を見て声に出して読むことを指す。］があり，五代の王定保『唐摭言』の例が挙げられている（『悉曇字記』や『悉曇蔵』のほうが古い）。

清代以降の中国音韻学でも，「四呼」（韻母における介音の有無・種類による 4 分類）という用語がよく使われている。

ところで，(36)・(39) の文中には，「読法」という言い方も見られる。「読法」（あるいは「読音」）は，江戸時代の蘭学書において，オランダ語の発音を表すのに使われている（早稲田大学図書館「古典籍総合データベース」による）。

(40)　凡読音自然ニ相転スル者アリ 今是ヲ略ス 末篇言語ノ読法在テコレヲ索ムヘシ（前野良沢『和蘭訳筌』本編 1785「自序」）（ジャパンナレッジ「東洋文庫」の『前野蘭化 3 著訳篇』（平凡社 1997）では p. 125）

明治初期に多くの学術用語（翻訳語）を創出した西周は，pronunciation に「呼法」，「読法」を当てる（39 参照）一方で，今日「正書法」と訳される orthography を，「音法」，「発音」と訳している。

(41)　Orthography 音法 即ち発音の法なり。（西周『百学連環』『西周全集 第 4 巻』宗高書房 1981: 84）

西周は，「世の洋語を学ぶ者未タ pronunciation の出来さるを称して spelling の出来さるなと称するは誤りなり。」と述べているが（西周『百学連環』『西周全集 第 4 巻』宗高書房 1981: 85），西周の用語にもあいまいさがあり，明治初年には，まだその用語（あるいは概念）が確立していなかったようすがうかがえる。

3.2.2　近現代中国における「発音」

先に述べたように，現代中国語の「発音」も，pronunciation に相当す

る意味をもつ。その使用は，日本より遅れたようで，たとえば，英華辞典では，1908 年刊の顔恵慶編『英華大辞典』に至って，Pronounce, Pronunciation に「発音」が現れる。それ以前の英華字典には，「発音」は見られない。（Pronounce には「講出来」，Pronunciation には「口音」などとある。ただし，ウィリアムス『英華韻府歴階』（1844 刊）の Pronounce に「調音」とあるのは注目される）（「近代史数位資料庫」の「英華字典資料庫」による）。「発音」の現代的な（pronunciation に相当する）意味は，あるいは，日本で生まれ，後に，中国に伝わったものかもしれない。

これについては，明末～1949 年前後の中国語の新語を収録した『近現代漢語辞源』に「発音」が立項されており，その最初の例が蕭瑞麟『日本留学参観記』（1904）から採られていることから，日本に留学した清国人が中国語に持ち込んだ可能性もあると思われる。

（42）【発音】 発出声音。［音を出す。］1904 年蕭瑞麟《日本留学参観記》：“間一室，則初等中学。第三級之教英語者，教習為英国婦人，年亦二十許，学生二十余人，机案倍之，授受之間，発音清越。”［一室を間(へだ)て，則(すなわ)ち初等中学なり。第三級の英語を教うる者，教習は英国婦人為(た)り，年亦(ま)た二十許(ばか)り，学生二十余人，机案（机）之(これ)に倍す，授受の間，発音清越たり。］（『近現代漢語辞源』上海辞書出版社 2020）

ところで，中国では，20 世紀初期に，中国語の声母（頭子音）（あるいは，それを出すこと）を表すのに，「発音」が使われたことがあった。

（43） 古称発音相同之字曰双声；収音相同之字曰畳韻。［古には発音相同じき字を称して双声と曰(い)い，収音相同じき字を畳韻と曰う。］

（廖立勛編，黎錦熙訂正『実用国音学』商務印書館 1920: 5）

(44)『音』是由声与韻相配合而成，発音的是『声』，収音的是『韻』，有声無韻，是不能成音的。[「音」は声と韻とが組み合わさって成り，発音するのが「声」，収音するのが「韻」で，声あって韻がなければ，音を成すことはできない。]（林尹，林炯陽註釈『修訂増注 中国声韻学通論』黎明文化事業 1982: 255（1937 初出か））

これは，「発音」の「発」に，「おこる。おこす。始まる。始める。」という意味があり（『新漢語林 第二版』大修館書店 2011「発」），そこから，「発音」が，「音を出し始めること」→「音節のはじめの音」（声母）という意味で使われるようになったものと思われる。

これはまた，中国語では，「発声」とも呼ばれた。日本でも，（時期的にはこれらよりも早く）明治中期に，『言海』を編纂・刊行した大槻文彦が，子音（consonant）を「発声」と呼んでおり（『日本辞書 言海』「語法指南（日本文典摘録）」1889: 2），一時期，一部の日本文典で，この言い方が使われた。

4. 「発音」の読み方

本節では，「発音」はどのように読まれて（発音されて）きたかについて見ていく。

4.1 明治以降の文献調査に見る「発音」

古い文献資料に現れた「発音」には，読み方が付いておらず，「発音」が，古い時代にどのように読まれたか（発音されたか）については，実はよくわからない。「発音」は，節用集などの古辞書類には収録されていないようである（「国立国会図書館デジタルコレクション」で求めてみたが，

見つからなかった。ただし，「発声（はつせい）」は載っている）。

「発」は，呉音「ホチ・ホツ」，漢音「ハツ」であり，「音」は，呉音「オン（オム）」，漢音「イン（イム）」であるため（『全訳 漢辞海 第四版』三省堂 2017），これらを組み合わせた読み方のいずれか（あるいは，その連声）で読まれたことは確かであると思われる。『日本国語大』には，先に挙げたように，「はついん」，「はつおん」，「はっとん」（「はつおん」の連声）の 3 種が立項されている。ほかに，以下で触れるように，「ほついん」，「ほっとん」（「ほつおん」，あるいは「ほちおん」の連声）も資料には現れている。

そこで，本項では，明治以降（主に明治期）の，「発音」に読み方が付いている文献資料（辞書・新聞・雑誌・書籍）によって，「発音」の読み方を見ていきたいと思う。

4.1.1 辞書における「発音」

明治期の辞書における「発音」については，惣郷正明・飛田良文編『明治のことば辞典』（東京堂出版 1986）で取り上げられている。同辞典に載せられている，明治期の辞書における「発音」の読み方を，以下に，一覧にして示す。大正期・昭和初期のものも一部加えておく（「国立国会図書館デジタルコレクション」で原本を確認した）。

表 1　辞書における「発音」の読み（1872 ～ 1936）

読み	辞書名　刊行年	
はついん	『孛和袖珍字書』1872	『附音挿図 英和字彙』1873
	『漢英対照 いろは辞典』1888	『和英大辞典』1896
	『ことばの泉』1898	『和仏大辞典』1904
	（『新編漢語辞林』1904）	『日本類語大辞典』1909
	（『辞林』1911）	（『大辞典』1912）
	（『新式辞典』1912）	（+『大日本国語辞典』1919）
	（+『大言海』1934）	（+『大辞典』1936）

はつおん	『孛和袖珍字書』1872	『改正 物理小学字引』1881
	『和英語林集成 第三版』1886	（『漢英対照 いろは辞典』1888）
	『言海』1891*	『日本大辞書』1893
	『日本大辞典』1896	『和英大辞典』1896
	『日本新辞林』1897	（『ことばの泉』1898）
	『新編漢語辞林』1904	『和仏大辞典』1904
	+『新訳 和英辞典』1909	『日本類語大辞典』1909
	『辞林』1911	『大辞典』1912
	『新式辞典』1912	+『大日本国語辞典』1919
	+『斎藤和英大辞典』1930	+『大言海』1934
	+『辞苑』1935	+『大辞典』1936

+ は筆者が調べて加えたもの。
*『言海』の見出しは「ばつおん」（誤植と思われる）。
（ ）内は，「はつおん（発音）に同じ」など，空見出しのもの。

以上を見ると，おおむね「はつおん」が主流であるが，「はついん」という読み方も使われていたようすがうかがえる。ただし，辞書は，ことばの規範を示したり，ことばを記録したりする役割をもっており，辞書の記載が，その当時のことばの使用実態をそのまま反映しているとは必ずしもいえないと思われる。

4.1.2　新聞における「発音」

続いて，明治期の新聞における「発音」の読み方を見てみる。ここでは，『読売新聞』と『朝日新聞』のデータベースを利用して，明治期の新聞（1878～1907）で，「発音」にどのような振り仮名が付いているかを調べた。「ヨミダス歴史館」の「明治・大正・昭和 1874-1989」，「聞蔵Ⅱビジュアル」の「朝日新聞縮刷版 1879-1999」で，「発音」を検索し，現れた各記事について，どのような振り仮名が付いているかを確認した（2021年9月閲覧）。表2は，その結果を（振り仮名の付いているものに限って）一覧にしたものである。

表 2　新聞における「発音」の読み（1878 ～ 1907）

振り仮名	『読売新聞』	『朝日新聞』
ほついん	1878/07/04	
はついん	1885/09/12, 1887/11/27, 1888/06/15, 1889/09/06	1886/08/06, 1886/10/15, 1888/06/20
はつおん	1885/09/19, 1886/08/07, 1888/05/16, 1889/03/13, 1890/01/25, 1890/05/16, 1894/08/05, 1895/03/16, 1897/01/18, 1898/08/22, 1899/03/26, 1901/04/16, 1901/04/17, 1901/06/14, 1901/11/27, 1902/11/14, 1903/11/29, 1905/06/15, 1905/06/21, 1905/09/18, 1906/06/14, 1906/06/16, 1906/07/07, 1906/07/20, 1906/07/24, 1906/10/22, 1906/11/18, 1906/11/21, 1907/07/11, 1907/09/22	1879/08/08, 1885/07/12, 1888/01/05, 1892/07/17, 1894/03/16, 1895/11/08, 1896/03/05, 1897/05/01, 1898/01/11, 1899/08/08, 1899/09/22, 1900/04/26, 1900/12/25, 1901/08/28, 1901/10/14, 1902/11/02, 1903/04/17, 1903/04/30, 1903/07/31, 1903/08/27, 1903/09/01, 1903/12/11, 1905/12/14, 1906/04/08, 1906/05/29, 1906/11/18, 1906/11/21, 1907/04/23, 1907/05/27, 1907/10/04

以上を見ると，「はつおん」が主に使われているが，1880 年代までは，「はついん」も使われていたようすがうかがえる。「ほついん」という振り仮名も見られるが，1 例のみであり，ほかの文献にこの読み方が見られないことから，これが実際に使われていたものかどうかはよくわからない。

4.1.3　雑誌・書籍における「発音」

次に，雑誌・書籍における「発音」の読み方を見てみる。

これには，国立国語研究所の「日本語歴史コーパス」（コーパス検索アプリケーション「中納言」を使用）を利用した。同コーパスの「短単位検索」で「語彙素：発音」を検索し，現れた各用例について，振り仮名が付

いているか，付いている場合，それがどのようなものかを確認した。その結果，「発音」の用例が 191 件現れ，そのうち，振り仮名が付いているものが 15 件あったが，それはすべて「はつおん」（「はつをん」を含む）であった（2021 年 9 月閲覧）。以下に，その例を挙げる（46〜47 は，ジャパンナレッジの「JKBooks「太陽」」で，45・48・49 は，「国立国会図書館デジタルコレクション」で，原文を確認した）。

（45）　其の外国語に慣るゝこと容易すげにて，発音の正しきこと，支那人，日本人にも優る也。（巌本善治「朝鮮に対する西洋人の観察」『女学雑誌』1894-10: 7）
（46）　秒を刻む音[ママ]が強く森厳に，今，発音する，（蒲原有明訳「幻覚（散文詩）」『太陽』1909-1: 118）
（47）　T 教師の英語の発音にかへつて音声の快感が得られるやうに思つてゐた。（正宗白鳥「乾いた心」『太陽』1917-1: 218）
（48）　あの男なら親切に発音も直して呉れるし，（正宗白鳥『何処へ』易風社 1908: 81）
（49）　叮嚀に字と字との間をのばして悠くり発音する。（中条百合子『伸子』改造社 1928: 91）

ほかに，語学書（英文典・日本文典）における「発音」の読みを調べたところ，読み仮名が付いているものに，次のようなものがあった（「国立国会図書館デジタルコレクション」による）。

（50）　ハツインロン　発音論　ジ.［実名詞］じのひゞきをろんずること（『日本消息文典 下ノ巻』1874「字引」p. 3 ウ）
（51）　英語発音ノ解釈（『ウエブストル氏 スペルリング 英学独案内』1882: 1）

(52)　然れども近世に至りては，発音かはりて，(Shikaredomo, kinsei ni itarite wa, hatsuon kawarite,)（ビー・エッチ・チャンブレン『日本小文典』文部省編輯局 1887: 97）

(53)　ガギグゲゴを，発音する時，強くおさへてなすと，軽く，鼻音の如く，すべらして，発音すると在り。軽く発音するは，まことは，正しきあらねど，其声の，優に滑らかに聞ゆるが故に，且つは，都下の人の斯くの如く発音する為にか，大方競ひて，軽く鼻音の如く咄すを，通俗よしとするなり（下田歌子『女子普通文典』博文館 1899: 5）

ここには，「はついん」も見られる（50・51）。

以上見てきたことをまとめると，「発音」の読み方には，1880 年代までは，「はついん」と「はつおん」の両者が行われていたが，1890 年代以降は，主に「はつおん」が使われるようになったということがいえるであろう。

4.2 「はっとん」と「ほっとん」

『日本国語大』には，「頭役が声明の唱句をとなえ始めること」を意味する「はっとん【発音】」が見出し語に立てられている。先に触れたように，この意味の「発音」は，古い文献資料に多く現れているが，それらが「はっとん」と読まれたかどうかについては，読み仮名が付いていないため，確かなことがいえない。ただし，その読み方（言い方）は，声明を伝える仏教各宗派で伝承されてきているようで，これは，天台宗・真言宗で，主に「ほっとん」，浄土宗・浄土真宗・日蓮宗で，主に「はっとん」と読まれて（言われて）いるようである。

(54)　ほっとん 発音 「はっとん」ともいう。声明や経呪の冒頭部分

を独唱すること。（天納傳中ほか編『仏教音楽辞典』法蔵館 1995）

(55)　ほっとん 発音 ㊢「はっとん」とも読む。先唱者（頭・句頭）が曲をとなえ始めること。またいかなる声を出すべきかという発声の意味でも用いられる。（横道万里雄・片岡義道監修『声明辞典』法蔵館 2012（塚本篤子執筆））（「頭（とう）」，「句頭（くとう）」は，56 の「調声」に同じ）

(56)　ちょうしょう 調声　声明・経偈の句頭を独唱し法要の中心となる役職。…古くは導師自らが発音（はっとん）するのを本儀としたが，導師発声を維那が代わることになり，現在のように定着した。（浄土宗大辞典編纂委員会監修／浄土宗大辞典編纂実行委員会編『新纂浄土宗大辞典』浄土宗 2016（清水秀浩執筆））

(57)　はじめの礼仏頽は中曲・平調で常用は一越調と定められていて導師の発音（ほっとん）にて始まることになっている。（天納傳中「平安中期における声明実唱の一考察」『インド仏教学ジャーナル』25-1 日本仏教学会 1976: 283）

ところで，今日の一般的な漢和辞典では，「発」は，呉音が「ホチ」または（および）「ホツ」，漢音が「ハツ」となっているが（『新漢語林 第二版』大修館書店 2011，『三省堂 五十音引き漢和辞典 第二版』三省堂 2014，『角川 新字源 改訂新版』KADOKAWA 2017，『全訳 漢辞海 第四版』三省堂 2017，『漢字源 改訂第六版』学研プラス 2018 など），このとおりであれば，本来，「発音」は，呉音読みの「ほちおん／ほつおん」（連声で「ほっとん」）か，漢音読みの「はついん」になるはずである（「漢語として借用された当初は，語全体を同じ字音体系で読むものであった」とされる（沖森 2017: 11））。「はつおん」，および，その連声である「はっとん」とは，これに従っておらず，漢音と呉音とが混ざった読み方というこ

とになる（「ほついん」については，しばらくおく）。

ここで，呉音系の漢字音資料で「発」の音を見てみると，心空『法華経音訓』，『法華経音義』（いずれも室町時代初頭成立）などでは，「ホツ」であるが，観智院本『類聚名義抄』（鎌倉時代末期書写）に，「ハチ・ホツ・ホチ」が見られる（「国立国会図書館デジタルコレクション」による）。

(58) 髪　亠［音］発ハチ　ホチ（『類聚名義抄 仏下本』貴重図書複製会 1937: 35）

(59) 発　亠［音］髪ハチ　ホツ（『類聚名義抄 僧下』貴重図書複製会 1937: 107）

「発」の呉音に「ハチ」を認めるとすると（「ハチ」が呉音系の音として使われていたのであれば），「はっとん」は，「はちおん」の連声として，呉音読みと認めることができる。ただし，この場合でも，「はつおん」は，「漢音＋呉音」の読みとなる（あるいは，「はっとん」からの回帰（regression）という可能性もある）。

ところで，飛田（1992: 339-340）は，明治・大正期には，漢字の字音に，「一字について一つの字音に統一される傾向」が認められ，それには，「（Ⅰ）呉音から漢音へ，（Ⅱ）漢音から呉音へという二つの傾向」があるとしている。飛田（1992: 335）の挙げている例には，（Ⅰ）「ホ[ママ]ッ→ハ[ママ]ッ　発＝発語 発熱 開発 再発 初発」，（Ⅱ）「イン→オン　音＝音信」も含まれる。「発音」の「はつおん」という読みは，まさに，これに合うものであり，あるいは，これは，字音交替によって，明治初年頃から使われるようになった読みであるのかもしれない。

4. おわりに

最後に，「発音」の現代的意味の成り立ちについて，まとめておく。

⑴「発音」は，古くは，広く「音を出すこと」を意味する語であったが，とくに「経文（声明）を唱えること」に使われ，「漢字の音を示すこと」という用法もあった。

⑵「言語の音声を，何らかの方法に従って，（正しく）作り出すこと」という「発音」の現代的意味は，蘭学や英学の影響で生まれたようである。これは，江戸時代には，「呼法」などと呼ばれていたが，明治以降，「音を発す」からできた「発音」という語が使われるようになった。

⑶ 現代的意味の「発音」の読み方には，明治前期には，「はついん」と「はつおん」とがあったが，明治後期には，ほぼ「はつおん」に統一された。

このように，「発音」の現代的な意味は，言語（外国語）学習の影響のもとに，成立したと思われる。

参考文献

沖森卓也（2017）「漢語と字音体系」『漢語』（日本語ライブラリー）朝倉書店 5-14

飛田良文（1992）「漢音呉音の交替現象」『東京語成立史の研究』東京堂出版（初出 1968）325-342

森岡健二（1991）「漢語訳の方法」『改訂 近代語の成立：語彙編』明治書院（初出 1959）246-271

【使用データベース類】（いずれも最終閲覧は，2021 年 9 月）

「漢籍電子文献資料庫」中央研究院歴史語言研究所
http://hanchi.ihp.sinica.edu.tw/

「聞蔵Ⅱビジュアル」朝日新聞社
https://database.asahi.com/

「京都大学貴重資料デジタルアーカイブ」京都大学附属図書館
https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/

「近代史数位資料庫」中央研究院近代史研究所
http://mhdb.mh.sinica.edu.tw/

「国立国会図書館デジタルコレクション」国立国会図書館
http://dl.ndl.go.jp

「古典籍総合データベース」早稲田大学図書館
http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/

「ジャパンナレッジ」ジャパンナレッジ
http://japanknowledge.com

「新日本古典籍総合データベース」国文学研究資料館
https://kotenseki.nijl.ac.jp

「中国哲学書電子化計劃」中国哲学書電子化計劃
ctext.org/zh

「日本語歴史コーパス」国立国語研究所
https://ccd.ninjal.ac.jp/chj/

「平安遺文フルテキストデータベース」東京大学史料編纂所
https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/shipscontroller

「毎索」毎日新聞社
https://mainichi.jp/contents/edu/maisaku/

「ヨミダス歴史館」読売新聞
https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/

「英和対訳袖珍辞書デジタルライブラリ」立教大学図書館
http://library.rikkyo.ac.jp/digitallibrary/shuchinjisho/

（原稿受付　2021 年 10 月 25 日）

〈論　文〉

語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」I

──5種の現代中国語テキストから──

浅　井　澄　民

要　旨

これまで筆者は一連の論考（浅井 2014, 2015a, 2015b, 2016, 2021）において,『(旧本）老乞大』句末の“有”, 現代モンゴル語句末の存在動詞 бай, 台湾語「有＋ VP」の“有”とチベット語の句末存在動詞 ^yöö ／ ^duu の文法化用法「言語主体位相の叙述」との類似性について指摘してきた。

本稿では, 現代中国語の語気助詞“了”の意味機能がやはりこの「言語主体位相の叙述」と類似していることを, 5 種の現代中国語テキストにおける「名詞・形容詞述語文＋了」から検証してみたい。

キーワード：語気助詞“了”, 言語主体位相の叙述, 名詞・形容詞述語文＋了

目次

0. はじめに
1.「言語主体位相の叙述」とは
2. 語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」
3. 5 種のテキストにおける語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」
　3.1.「名詞述語文＋了」
　3.2.「形容詞述語文＋了」
　3.3. 5 種のテキストと語気助詞“了”
4. おわりに
〈資料編〉5 種のテキストにおける「名詞・形容詞述語文＋了」

0. はじめに

現代中国語語気助詞“了”の意味機能は一般に次のように説明されている。

> 用在句子的末尾或句中停顿的地方，表示变化或出现新的情况。《现代汉语词典第 7 版》

> “了 2”用在句末，主要肯定事态出现了变化或即将出现变化，有成句的作用。《现代汉语八百词》

また守屋宏則 2019 では次のような 4 つの意味で説明している。

① 「状況が変化した」「新事態が発生した」ことを確認する気分を表す。
② “快要～了”の形で「これから情況が変化する」「これから新事態が発生する」ことを表す。
③ “别～了”の形で聞き手に対する催促，勧告，制止，などの気分を表す。
④ “太～了”“可～了”の形で性質や状態の程度が大であることを強調する

更に赵元任 1979 では語気助詞“了”について 7 項目[(1)]を挙げて説明しており，“了$_2$”の用法が多岐にわたることが窺える。

本稿では，これまでとは全く別の観点「言語主体位相の叙述」から語気

助詞“了”の意味機能について考察してみたい。

1.「言語主体位相の叙述」とは

山口瑞鳳 2002 によると，チベット語は「表現主体位相の叙述」[(2)]（**表現主体「話し手」「書き手」の主観的な叙述**）と「対象位相の表現」（他の表現主体による叙述の伝聞も含めて，事象が客観的な状態や動作として記述的に表現される。）の二つの位相を区別して表現され[(3)]，特に存在動詞 ^yöö にはこの「表現主体位相」を表す機能があるとしている。

更に「表現主体位相の叙述」について，次のように説明している。

> 表現主体が現に関知している人物・事象が，いわゆる第二人称もしくは第三人称で記述されていても，全て「話し手」である**表現主体の認定，判断，推測**の範囲内にある他者として叙述される。文法的に表現主体に所属する事象の場合，第三人称で記述されていても**表現主体自体に属する述懐，自認，主張**として叙述される。
>
> また表現主体による主観的な叙述は形容詞を述語とする場合が少なくない。

また，星泉 2003 によると，チベット語の文法化した動詞（存在動詞を含む）は次のような話し手の叙述態度や事態に対する知識，捉え方（アスペクトを含む）を表す機能を担う，としている。

A　話し手の叙述態度

> 話し手の叙述態度には，「自称モード」と「他称モード」という語りのモードが認められる。話し手は，叙述内容に応じてこの二つのモードを切り替えて語る。

「自称モード」とは，話し手が自分自身の個人的なことを語る，あるいは他者について，自分との関係を前面に押し出して語るというモードであり，また，自分の経験上よく把握していること，自分の個人的な見解であること，自分の管理下に置いていること，自分の意思で決定したことなどを表に出して述べる語り方を指す。

「他称モード」とは，話し手が他者について，単なる事実認定である，あるいは，一般的な判断であるという態度で語るモードであり，また，話し手自身についても，客観的な事実であるということを前面に押し出して語るモードである。

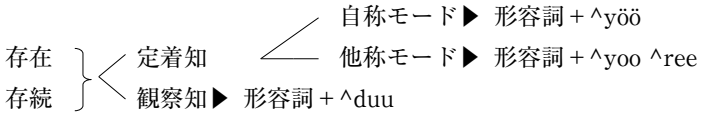
B　話し手の事態に対する知識

話し手が事態に対してどのような知識に基づいて語るかという違いが述語動詞の選択に反映されることがある。その知識の違いは「定着知」と「観察知」の二つに分けられる。

「定着知」とは，話し手が語ろうとしている事柄が話し手にとって既に把握し，定着している知識のことである。定着知に基づいて述べるということは，話し手が既にもっている知識に基づいて述べることを指す。

「観察知」とは，話し手が語ろうとしている事柄が話し手にとって観察・知覚して得た新しい知識のことである。観察知に基づいて述べるということは，話し手が叙述する事態を自らの感覚で見たり，感じたりして得た新しい知識に基づいて述べることを指す。

また，星泉 2003 によると，チベット語の（名詞）形容詞述語文における文法化した存在動詞 ^yöö ／ ^duu の機能を次のように分析している。



すなわち「言語主体位相の叙述」とは，星泉氏の言う［定着知・自称モード］と［観察知］を指すものと考えられる。

2. 語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」

これまで筆者は一連の論考（浅井 2014, 2015a, 2015b, 2016, 2021）において，①『(旧本）老乞大』句末の“有”，②現代モンゴル語句末の存在動詞 байх，③台湾語「有＋ VP」の“有”が，④チベット語の句末存在動詞 ^yöö ／ ^duu の文法化用法「言語主体位相の叙述」に類似していることを考察してきた。

ここでは現代中国語の語気助詞“了”と上記 4 種の存在動詞文法化用法との共通点について，確認しておきたい。

表 1　語気助詞“了”と 4 種の存在動詞文法化用法との共通点

	形式	文法化	文末	形容詞述語文	動詞述語文と Asp	言語主体位相の叙述
現代チベット語	VP＋^yöö ／ ^duu	○	○	○	○	○
現代モンゴル語	(NP/) VP＋байх	○	○	○	○	○
『(旧本）老乞大』	(NP/) VP＋有	○	○	○	○	○
台湾閩南語	有＋VP	○	×	○	○	○
現代中国語	(NP/) VP＋了	○	○	○	○	○？

※ここでは NP は名詞フレーズ，VP は形容詞・動詞フレーズ，Asp はアスペクトを表す

表 1 からわかる通り，まずはいずれも文法化された機能語としての用法である点である。上記 4 種の存在動詞は既に本来の動詞としての機能は失われており，それぞれ述語動詞[(4)]（現代チベット語），助動詞（現代モンゴル語），終助詞（『(旧本）老乞大』），助動詞（台湾閩南語）の用法として表れる。また台湾閩南語を除いていずれも文末に現れる点でも共通して

いる。

またいずれも形容詞述語文，動詞述語文で多く表れる[(5)]。特に，動詞述語文ではアスペクトとの関連性を指摘できる点でも共通している。

特に注目すべきは，数こそ少ない（2 例）が，『(旧本）老乞大』の「VP＋有」が『(翻訳）老乞大』で「VP ＋了」に改められている箇所があり，一つの傍証とも言える[(6)]。

例 1)[(7)]

客：既你待賣時，咱每商量。這箇青馬後生那老？

売るつもりだったら，商談しよう。この黒馬は若いかね，年かね？

(你既要賣時，咱們商量。這箇青馬多少歲數？)

漢：你則拿著覷牙根底。

手にとって歯の付け根を見て下さいよ。

(你只拿着牙齒看。)

客：我覷了也。下頭没，上頭邊兒有，恨老有。

見たよ。下はなくて，上は端だけある，随分年だな。

(我看了也。上下衢都没有，十分老了。)

例 2)

高：這馬恰纔牙人定來的價錢，猶自虧著俺有。

この馬は，今しがた仲介人が決めた値段じゃあ，やっぱりこっちが損だ。

(這馬恰纔牙家定來的價錢，還虧著我了。)

客：這般價錢不賣，你更待想甚麽？

こんな値段でも売らないなんて，そのうえ何が望みなんだい？

（你這般的價錢不賣，你還要想甚麽？）

そこで，ここで一つの仮説「現代中国語の語気助詞“了”には言語主体位相の叙述としての意味機能を有している」を立て，それを検証してみたい。

3. 5種のテキストにおける語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」

検証用の資料としては，手元にある以下の現代中国語テキスト5種[(8)]を使用する。

① 『李麗と話そう！ 中国語初級文法＆会話』伊藤さとみ / 馮日珍 / 曹泰和監修（2019）郁文堂（第2刷）
② 『北京コレクション　初級～中級編』相原茂 / 陳祖蓓著（2009）朝日出版社（第2刷）
③ 『2冊目の中国語　講読クラス』劉穎 / 柴森 / 小澤正人著（2020）白水社（第19刷）
④ 『やさしくくわしい中国語文法の基礎　改定新版』守屋宏則 / 李軼倫著（2019）東方書店
⑤ 《新编初级汉语阅读教程Ⅱ》张世涛 / 刘若云编箸（2018）北京大学出版社

5種テキストの語気助詞“了”のすべての用法を検出し，「言語主体位相の叙述」としての意味機能に符合するかどうか検証する。検証の内容が意味機能に深く関わるため，例文は場面設定や前後関係がよくわかるテキスト本文を中心に，できるだけ長めに引用する。また「言語主体」が話し

手か，書き手であるかを明確にするため，用例が会話体であるか，筆記体であるかを区別した。検証に当たっては主に星泉 2003 の論考を参照したい。大きく「名詞述語文」「形容詞述語文」「動詞述語文」の 3 種に分けて論じるが，ここでは前者 2 種に限って考察するものとする。

3.1.「名詞述語文＋了」

上記 5 種テキストから「名詞述語文＋了」は全 13 例表れる。以下 13 例すべてを引用し，類似する内容や形式ごとに考察していく。

S①〈A: 今天几号？B: 今天十一号。A: 明天是我的生日。B: 祝你生日快乐！你多大了(9)？A: 我十九岁，你呢？B: 我也是十九岁〉今日は何日？今日は 11 日。明日は私の誕生日。おめでとう！何歳なの？19 歳，あなたは？私も 19 歳；《L32》。［観察知］

S②〈A: 你好！B: 您好！A: 你叫什么名字？几岁啦(10)？B: 我叫黄涛。七岁了〉こんにちは！こんにちは！名前は何て言うの？歳はいくつ？黄涛，7 歳だよ；《B59》。A［観察知］B［定着知・自称モード］

R③〈你今年多大岁数了？〉今年何歳ですか？；《Y247》。［観察知］

シーン①②はいずれも会話体であり，言語主体は話し手である。語気助詞“了／啦”は①②共に相手の年齢を尋ねるシーンにつかわれており，これらの文は「話し手が語ろうとしている事柄が話し手にとって観察・知覚して得ようとする新しい知識」［観察知］に基づいて述べていると考えられる。S①のその他の名詞述語文が，比較的客観的な表現であるのに対し，この〈你多大了？〉のみが「自分が知りたい」，もしくは相手に対する親近感を表す主観的表現となっている。またS②では年齢を答えるシーンにも使われているが，ここでは「話し手が語ろうとしている事柄が話し手にとって既に把握し，定着している知識」［定着知］に基づいており，「話

し手が自分自身の個人的なことを語る」［自称モード］となっている。同じ年齢を答えるシーンでも，S①では“了”はなくS②には表れる。これはS①は大人が語る客観的表現であるのに対し，S②では子供が語る主観的表現と説明することが可能である。

S④〈我们从六七岁就开始上学，…等我们高中毕业时已经十八九岁了〉私たちは6，7歳で学校に行き始め，…高校を卒業する時はには既に18，19歳である；《X24》。［定着知・自称モード］

S⑤〈我爷爷已经七十多岁了〉私の祖父は既に70過ぎである；《E10》。［定着知・自称モード］

S⑥〈我爸爸的公司里有一个从台湾来的职员。他有一个儿子，今年十九岁了，现在在我们大学留学。…我们经常一起做作业〉私の父の会社に台湾から来た職員がいる。彼には息子がいて，今年19歳，今私たちの大学に留学している。…私たちはいつも一緒に宿題をする；《E10》。［定着知・自称モード］

S⑦〈我们客家人保留着许多古老的风俗，有些已经几千年了〉私たち客家人は多くの古い風俗を残しており，あるものはすでに数千年に及んでいる；《X226》。［定着知・自称モード］

シーン④～⑦は筆記体であり(11)，言語主体は書き手である。いずれも「（已经）＋数量＋了」の形式で表れる。副詞の修飾を受けるということは，この数量には動詞（形容詞）的意味「～である／～を有している」を含有していると考えられる。これらの文はいずれも「書き手が語ろうとしている事柄が書き手にとって既に把握し，定着している知識」［定着知］に基づいており，「自分の経験上よく把握している（S④⑦），あるいは他者について自分との関係を全面に押し出して（身内として）語る（S⑤⑥）」［自称モード］である。

R⑧〈都八点了，起来吧〉もう八時だよ，起きなさい；《Y99》。［定着知・自称モード］
R⑨〈现在几点了？〉今何時？；《Y79》，［観察知］

例⑧⑨は《やさくわ文法》の例文(12) で，いずれも口語体であり，話し手が言語主体である。ここでは時間表現に使われているが，R⑧では「8時には起きる時間だという，自分の経験上よく把握している知識」［定着知］に基づき，「相手を起こすという，自分の管理下に置いている」［自称モード］としての発言と考えられる。R⑨は「話し手が現在の時間を新たに知覚しようとする」［観察知］に基づく発言と考えられる。

S⑩〈A: 明天就是文化节了。B: 你们社团准备做什么呢？A: 我们准备卖水饺〉明日だね，文化祭。あなたたちのサークルでは何をするつもり？　水ギョーザを売るつもり；《E10》。［定着知・自称モード］
S⑪〈A: 你为什么现在回国呢？B: 明天就是春节了。…所以我必须今天到家。和家人一起过三十〉何で今帰国するの？明日が春節なの。…だから今日中に家に着かないと。家族と一緒に大晦日を過ごすの；《L112》。［定着知・自称モード］

シーン⑩⑪は「是述語文」であり，本来動詞フレーズの中で論じるべきであるが，これまで述べてきた「名詞述語文」は「是＋名詞フレーズ」の“是”が省略されたものとの考え方があり，ここで併せて論じることにする。

S⑩⑪はいずれも会話体であり，話し手が言語主体である。またS⑩⑪共に「明天就是～了」の形式で表れている。これらの文は「話し手にとって既に把握し，定着している知識」［定着知］に基づき，「自分の経験上よく把握しており，自分の管理下に置いている」［自称モード］である。S

①の「明天是～」が客観的表現であるのに対し，S⑩⑪では“就”“了”が加わることで話し手の主観が表れていると考えられる；S①では話し手は元々明日が自分の誕生日であることを忘れていたという設定であるのに対し，S⑩はこの日（明日）を目的に準備を進めてきた，またS⑪もこの日（明日）の為に帰国するという話し手の強い主観が表れている。

R⑫〈明天又是星期一了〉明日はまた月曜日だ；《Y100》。［定着知・自称モード］
R⑬〈我已经不是小孩子了〉私はもう子供じゃないよ；《Y286》。［定着知・自称モード］

例⑫⑬は《やさくわ文法》の例文である。文の前後関係は分からないが，例⑫は「また1週間の始まりで憂鬱だ」，例⑬は「いつまでも子供扱いしないで」という言語主体の主観（感情）が言外に読み取れる表現である。

3.2.「形容詞述語文＋了」

上記5種テキストから「形容詞フレーズ＋了」は全77例表れる（表2参照）。その内のいくつかの例文を引用し，類似した形式や内容ごとに考察していく。

S①〈A: 今天太热了！今天的气温比昨天高五，六度。B: 嗯，东京夏天确实很热。但我的老家比东京还热〉今日はなんて暑いの！今日の気温は昨日より5，6度高い。うん，東京の夏は確かに暑い。だけど私の故郷は更に暑い；《L56》。［観察知］
S②〈A: 再要一屉蒸饺吧。B: 要的太多了，我实在吃不下了〉それから蒸しギョーザを頼もうよ。注文しすぎよ，本当食べきれないわ；

《B65》。［観察知］

S③〈今天我太累了，想早点儿睡觉〉今日はとても疲れた。早く眠りたい；《L63》。［定着知・自称モード］

S④〈她试穿的连衣裙很漂亮，但是太贵了〉彼女が試着したワンピースは綺麗だが，とても高価だった；《L45》。［定着知・自称モード］

シーン①～④はいずれも「太＋形容詞＋了」[13] の表現となっている。S①②は会話体であり，話し手が言語主体である。S①②共に「話し手が自らの感覚で見たり，感じたりして得た新しい知識」［観察知］に基づき，話し手の主観（感情）を表に出して述べている。例えばS①のその他の例は同じ「形容詞述語文」でも，「太～了」文に比べると比較的客観的な表現と考えられる。S③④は筆記体であり，書き手が言語主体である。S②は日記形式であり，「書き手が既に把握し，定着している知識」［定着知］に基づき，「自分自身の個人的なことを語る」［自称モード］で述べている。S③も「書き手が既に把握し，定着している知識」［定着知］に基づいて述べており，「書き手自身がよく把握し，自分の管理下に置いている語り方」［自称モード］である。いずれも筆記体ではあるが，書き手の主観を述べることで，よりリアルな表現効果が得られると考えられる。またなぜ「太～了」の表現が生じたかの問いに対しても，副詞“太”は言語主体の主観を表すのに適した語彙だから語気助詞“了”とよく呼応する，という説明がつきそうである。

S⑤〈A: 你吃饭了吗？我有点儿饿了。B: 我九点半才吃早饭，现在还不太饿〉ご飯食べた？私ちょっとお腹すいた。9時半に朝ご飯食べたばかりで，まだあまりすかない；《L62》。［定着知・自称モード］

S⑥〈A: 高木，离机场还有多远？B: 离机场不远了，还有十公里左右〉高木さん，飛行場まであとどのくらい？　もうすぐだよ，あと10キ

ロくらい；《L86》。［定着知・自称モード］

シーン⑤⑥も「副詞＋形容詞＋了」の表現である。S⑤は「話し手A自身が感じて得た新しい知識」［観察知］に基づいて述べており，やはり話し手の主観を表している。次の〈现在还不太饿〉はこのタイプの否定形と考えられ，“没”ではなく“不”が用いられていることを確認しておきたい。S⑥は「話し手が既に持っている知識」［定着知］に基づいて述べており，「自分の経験上よく把握している事柄」［自称モード］である。そのあとの客観的表現と比べると，やはり主観的表現と言える。

S⑦〈A: 那上海冬天冷吗？B: 冬天的话，上海和东京差不多。A: 我听说北京冬天比东京冷多了〉じゃあ上海は冬寒いの？冬なら，上海は東京と変わらない。私が聞いたのでは，北京は冬東京よりずっと寒いってね；《L56》。［定着知・自称モード］

S⑧〈A: 这是什么地方？B: 这是北京的郊外。A: 真漂亮！比城里的空气好多了〉ここはどこ？北京の郊外。本当に綺麗！都会の空気よりずっといいね；《B59》。［観察知］

シーン⑦⑧は「比フレーズ＋形容詞＋多了」の形式で表れる。所謂比較のS⑦は「話し手Bが既に持っている知識」［定着知］に基づいて述べ，伝聞とは言え主語は“我”であり，「話し手の個人的見解」［自称モード］である。S⑧は「自らの感覚で感じて得た新しい知識」［観察知］に基づいて述べている。また，この“多了”は“极了 / 透了 / 坏了 / 死了”等と共に程度補語の一種と見なされているが（北大 2004 参照），これらはいずれも程度の甚だしいことを表しており，「太～了」と同じように，言語主体の主観を全面に出すのに適した表現と言える(14)。

S⑨〈A: 天津的小吃非常有名吗？B: 当然了[15]。天津最有名的小吃号称“三絶”〉天津の軽食はとても有名なの？もちろんよ。天津で最も有名な軽食は「三絶」と言われているの；《B41》。［定着知・自称モード］

S⑩〈A: 一晃咱们 10 几年没见面了。B: 您啊，还没变样，越来越年轻了〉いつの間にか私たち 10 年も会ってないですね。あなたったら全然変わってない，ますます若くなったわ；《B71》。［観察知］

S⑪〈A: 你家是不是在这儿附近？B: 对，马上就到了。A: 这儿的变化可真大呀！B: 是啊，跟以前相比，高楼多了，绿化也好了〉あなたの家はこの近くじゃなかった？　うん，まもなく着くよ。ここは本当に変わったわね。そうさ，以前と比べたらビルも増えたし，緑化も進んださ；《B77》。［定着知・自称モード］

S⑫〈现在北京会开车的人也多起来了，所以私家车也越来越多〉現在北京では車の運転ができる人も増えてきた，だから自家用車もますます多い；《B27》。［定着知・自称モード／観察知］

シーン⑨⑩⑪も会話体であり，いずれも［定着知・自称モード］か［観察知］を表し，話し手の主観を述べている。S⑫は筆記体だが，やはり書き手の主観が表れており，それに対し続く「形容詞述語文; 所以私家车也越来越多」は客観的表現と解釈できる。

S⑬〈A: 请问，这个多少钱？B: 六百块钱一个。A: 太贵了，便宜一点儿怎么样？B: 这可是手工做的，不能再便宜了〉すいません，これいくらですか？一つ六百元です。高いなあ，ちょっと安くならない？これは手作りなのでこれ以上安くできません；《B47》。A［観察知］B［定着知・自称モード］

S⑭〈A: 今天我请客，你别客气！B: 真的？那我就不客气了〉今日は

僕がおごるよ，遠慮しないで！ほんと？じゃあ遠慮なく；《B65》。［定着知・自称モード］

シーン⑬⑭はいずれも会話体であり，「不／不能＋形容詞（フレーズ）＋了」の形式で表れる。“便宜”“客气”は形容詞だが，ここでは動詞「値段を安くする」「遠慮する」のように使われており，意志の否定と考えられ，強い主観を表している。S⑬の話し手Aは［観察知］に基づいており，話し手Bは［定着知］に基づき，「自分の経験上よく把握しており，自分の管理下に置いている」［自称モード］で述べている。S⑭は「私とあなたの間柄であなたがそう言うなら」［定着知］に基づき，「自分の個人的な見解，自分の意志で決定」［自称モード］で述べていると考えられる。

S⑮〈A: 哎呀，糟了！B: 你怎么了？〉わあ，こまった。どうしたんだ？；《Y131》。［A: 定着知・自称モード］［B: 観察知］

S⑯〈A:（火车票）要几张啊？B: 一张就行了〉（列車の切符は）何枚いるの？　一枚でいいんですよ；《X10》。［定着知・自称モード］

S⑰〈老张觉得长时间用空调人不舒服，而且要用很多电，夏天用扇子就行了〉長時間エアコンを使うと体調を崩し，電気も消費する，夏は扇を使えばそれでいいんだ，と張さんは考えている；《X66》。［定着知・自称モード］

S⑱〈这个法国朋友说，…，看不懂菜单没关系，只要跟餐厅里的服务员说就可以了〉メニューが読めなくても大丈夫，レストランの服務員に言いさえすればそれでいいんだ，とこのフランスの友達は言う；《X50》。［定着知・自称モード］

R⑲〈说起来话可就长了〉話せば長いんですよ；《Y101》。［定着知・自称モード］

R⑳〈你结婚以后就明白了〉あなたが結婚すればわかりますよ；

《X5》。［定着知・自称モード］

シーン⑮は会話体であるが，AB いずれも話し手の強い主観が表れている。また，S ⑯～R ⑳は「～就＋形容詞＋了」の形式で，前文（～）を限定する表現と考えられ，やはり言語主体の強い主観が感じられる(16)。

以下に，5 種のテキストにおける「形容詞述語文＋了」全 77 例を形式ごとに表にまとめた。

表 2　5 種のテキストにおける「形容詞述語文」と語気助詞“了”

	《李麗》L		《北コレ》B		《やさくわ》Y		《2 冊》E		《新編》X		5 種テキスト L/B/Y/E/X		
	会話	筆記	会話	筆記	会話	筆記	会話	筆記	会話	筆記	会話	筆記	
太～了	$1_{0/1}$	$2_{2/0}$	$2_{0/2}$		$4_{1/3}$		$1_{0/1}$	$1_{1/0}$	$2_{1/1}$	$8_{7/1}$	$10_{2/8}$	$11_{10/1}$	
最～了									$1_{1/0}$		$1_{1/0}$		
有点儿～了	$1_{1/0}$										$1_{1/0}$		
当然～了			$1_{1/0}$								$1_{1/0}$		
已经～了					$1_{1/0}$					$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	
已经非常～了								$1_{1/0}$				$1_{1/0}$	
都这么～了					$2_{0/2}$						$2_{0/2}$		
不～了										$1_{0/1}$		$1_{0/1}$	
都不～了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
快不～了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
离 P 不～了	$1_{1/0}$										$1_{1/0}$		
不能～了			$1_{1/0}$								$1_{1/0}$		
也～了					$1_{1/0}$						$1_{1/0}$		
～了，也～了			$1_{1/0}$							$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	
就～了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
就不～了			$1_{1/0}$							$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	
可就～了					$1_{1/0}$						$1_{1/0}$		
就可以了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
只要...就可以了										$5_{5/0}$		$5_{5/0}$	

就行了									$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	$1_{1/0}$	$2_{2/0}$	
不就行了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
总算～了					$1_{1/0}$						$1_{1/0}$		
越来越～了			$1_{0/1}$					$1_{1/0}$	$1_{1/0}$		$2_{1/1}$	$1_{1/0}$	
比Ｐ～了										$1_{1/0}$		$1_{1/0}$	
Ａ比Ａ～了					$2_{2/0}$						$2_{2/0}$		
比Ｐ～多了	$1_{1/0}$		$1_{0/1}$		$3_{3/0}$					$1_{1/0}$	$5_{4/1}$	$1_{1/0}$	
比Ｐ～一点儿了					$1_{1/0}$						$1_{1/0}$		
～极了					$3_{0/3}$				$2_{2/0}$	$1_{0/1}$	$5_{2/3}$	$1_{0/1}$	
～死了					$1_{1/0}$				$1_{1/0}$		$2_{2/0}$		
～起来了				$1_{0/1}$								$1_{0/1}$	
～了，～了					$1_{0/1}$						$1_{0/1}$		
Ｓ～了					$1_{0/1}$					$1_{1/0}$	$1_{0/1}$	$1_{1/0}$	
～了					$1_{1/0}$						$1_{1/0}$		
計	$4_{3/1}$	$2_{0/2}$	$8_{4/4}$	$1_{0/1}$	$23_{14/9}$	—	$1_{0/1}$	$3_{3/0}$	$8_{7/1}$	$27_{24/3}$	$44_{27/17}$	$33_{27/6}$	
総計	$6_{3/3}$		$9_{4/5}$		$23_{14/9}$		$4_{4/1}$		$35_{31/4}$		$77_{54/23}$		

※下付き数字（○／○）は左が［定着知・自称モード］，右が［観察知］の内数を表す。
※比Ｐは比フレーズを表す。

以上の結果から言えることだが，「形容詞述語文＋了」はそのほとんどが「副詞＋形容詞＋了」もしくは「形容詞＋（程度・状態）＋了」の形式で表れている。すなわちこの形式で言語主体の主観を表していると解釈することが可能である。

ちなみに，この形式以外の例では表２の最後の４例が挙げられるのみである。

脚上的伤好了，能走路了。《Y101》［定着知・自称モード］

A: 哎呀，糟了！B: 你怎么了？《Y131》。［A: 定着知・自称モード］［B: 観察知］S⑮

我眼睛红了，99 张站台票就是 99 个美丽的故事。《X175》［定着知・自称モード］

副詞こそ使っていないが，やはり文意から言語主体の主観が感じられる。

3.3. 5種のテキストと語気助詞“了”

ここで，5種テキストの特徴と語気助詞“了”の表れ方について，再確認しておきたい。

表3 5種のテキストと語気助詞“了”（名P／形P）

	《李麗》		《北コレ》		《やさくわ》		《2冊》		《新編》	
特徴	初級 全15課教科書		初級～中級 全12課教科書		初級～中級 文法概論書例文		初級～中級 全12課教科書		初級～中級 全18課教科書	
引用箇所[17]	会話	筆記	会話	筆記	会話	筆	会話	筆記	会話	筆記
文字数[18]	1,307	1,373	859	1,990	1万数千	−	−	2,054	−	1万9千
名P＋了	3	0	2	0	5	−	−	2	−	2
形P＋了	4	2	8	1	23	−	(1)	3	(8)	27

※名Pは名詞フレーズを，形Pは形容詞フレーズを表す。

上記表は5種テキストの特徴，引用箇所とその文字数等を表し，それぞれにおける「名詞フレーズ＋了」「形容詞フレーズ＋了」の表れ方を示した。

この表から言えることは，語気助詞“了”は特に口語（会話体）に多く表れるということである。《北コレ》の表れ方は如実にそれを物語っている；《2冊》と《新編》には会話体の本文はなく，本文中“　”の例文のみを会話体に収めた；また《やさくわ》の例文はすべて会話体として収めた。

4. おわりに

本稿では，現代中国語「名詞述語文／形容詞述語文＋了」における語気助詞“了”について，「言語主体位相の叙述」の意味機能があるかどうか，5種の現代中国語テキストを通して検証してみた。検証考察の結果，ほとんど矛盾することなく説明できたのではないかと考えている。

先に挙げた先行研究では，「情況が変化した，新事態が発生したことを**確認する気分**を表す」（守屋宏則 2019）の「確認する気分」，また〈“了 2”用在句末，主要**肯定**事态出现了变化或即将出现变化，有成句的作用。〉《现代汉语八百词》の“**肯定**”というのが筆者の言う「言語主体位相の叙述」に通じるものがあると考えている。

また“了 2”に関するその他の先行研究にも，〈对说话人来说是新的情况〉（赵元任 1979），〈说话人认知环境的具体更新情况／“了 2”的这种主观性特征〉（杉村博文 2006）等重要な指摘があり，いずれも「言語主体位相の叙述」と関係していると考えられる。

また，もしこの仮説が正しいとすれば，歴史的にも解明されなければならない(19)。

「動詞述語文＋了」については稿を改めて考察していきたい。

《注》

（1） ⑴表示事情开始。⑵适应新的情况的命令。⑶情节的一个进展。⑷过去的一个孤立的事实。⑸截至现在为止已经完成的动作。⑹用在后果小句里表示一种情况。⑺表示显而易见。

（2） 筆者の言う「言語主体位相の叙述」はこの「表現主体位相の叙述」の言い換えにすぎない。

（3） 山口瑞鳳 2002 によると「チベット語のこのような文法的特徴は，特定の時期からそのようになったのではなく，何時の時代の文にも見られるので，元来のものと言ってよい」とある。

（4） 星泉 2003 によると，現代チベット語（ラサ方言）の動詞は機能上，述語動詞と本動詞に分けられ，述語動詞とは文を終止し，述語を形成することのできる文法化した動詞のことを言う。

（5） 現代モンゴル語，『(旧本) 老乞大』，現代中国語では名詞述語文でも表れる。

（6） 多くは『(旧本) 老乞大』の語気助詞“也”が『(翻訳) 老乞大』で“了”に改められている（41 例）（東洋文庫 2002 参照）

（7） 例 1，2 ともに金文京他 2002 を参照。（　　）中の例が『(翻訳) 老乞大』を表す。

（8） 今後これら 5 種のテキストを《李麗》《北コレ》《やさくわ》《2 冊》《新編》と省略して表すことがある。また例文の出典ではそれぞれ「L/B/Y/E/X」の記号の後にページ数を記した。

（9） S①〈你多大了？〉は厳密に言うと名詞述語文ではないが，R③〈今年多大岁数了？〉（名詞述語文）の省略文とも考えられ，また，その回答文 S①〈我十九岁〉が名詞述語文であることから，ここで扱うものとする。

(10) “啦”は「了＋啊」の縮約形と考えられており，ここでは“了”と同様に扱う。

(11) 筆記体の例文は斜体字で表す。

(12) 《やさくわ》の例文のみ R（例文）で表し，その他の例文は S（シーン）とし区別した。それは《やさくわ》の例文は前後関係がないまさに例文のみの引用だからである。

(13) 「太～了」形式は形容詞だけでなく動詞フレーズでも表れる；〈太羡慕你了！〉《L44》〈今天太谢谢你了！〉《B65》。やはり言語主体の主観を表しているものと考えられる。

(14) 守屋宏則 2019 ではいずれも感嘆文として紹介されている。

(15) S⑧〈当然了〉は〈当然有名了〉の省略形と考えられる。

(16) S⑰⑱は筆記体だが，ここでは一種の直接話法と考え，言語主体を主語の“老张”“这个法国朋友”と考えてもよい。

(17) 引用箇所；《李麗》は本文会話と閲読（筆記体），《北コレ》は本文（筆記体）と 1 年生はいま…（会話体），《やさくわ》はテキスト例文を会話体として（筆記体は原則なし），《2 冊》は本文を筆記体，《新編》は本文と閲読を筆記体として引用。《2 冊》と《新編》は本文中の“　”部分を除いて原則会話体はなし。

(18)　文字数：《李麗》《北コレ》《2 冊》は引用箇所の実数を，《やさくわ》《新編》は概数を表す。

(19)　劉勲寧 2019〈现代汉语句尾“了”的来源〉によると，現代中国語語気助詞“了”の来源は近世中国語“了也”の合音としている。

引用テキスト

① 『李麗と話そう！ 中国語初級文法＆会話』伊藤さとみ / 馮日珍 / 曹泰和監修（2019）郁文堂（第 2 刷）

② 『北京コレクション　初級～中級編』相原茂 / 陳祖蓓著（2009）朝日出版社（第 2 刷）

③ 『2 冊目の中国語　講読クラス』劉穎 / 柴森 / 小澤正人著（2020）白水社（第 19 刷）

④ 『やさしくくわしい中国語文法の基礎　改定新版』守屋宏則 / 李軼倫著（2019）東方書店

⑤ 《新编初级汉语阅读教程Ⅱ》张世涛 / 刘若云编箸（2018）北京大学出版社

参考文献

浅井澄民 2014：「『（旧本）老乞大』句末の“有”とチベット語の句末助動詞 ཡོད་ ^yöö/འདུག་^duu の類似性 ── 存在動詞の文法化と言語主体位相の叙述」拓殖大学語学研究，No. 130。

浅井澄民 2015a：「『（旧本）老乞大』句末の“有”と現代モンゴル語句末助動詞“байна”の類似性 I ── 存在動詞の文法化と言語主体位相の叙述」拓殖大学語学研究，No. 132。

浅井澄民 2015b：「現代モンゴル語「VP + байх」構文の意味と機能 ── 5 種のモンゴル語教材から ──」拓殖大学語学研究，No. 133。

浅井澄民 2016：「『（旧本）老乞大』句末の“有”と現代モンゴル語句末助動詞“байх”の類似性 II ── 『（旧本）老乞大』の「VP + 有」構文と現代モンゴル語「VP + байх」構文」拓殖大学語学研究，No. 135。

浅井澄民 2018：「台湾語“有（ū）”“無（bô）”の文法化とその周辺（資料篇）── 樋口靖著『台湾語会話（第二版）』に基づいて」拓殖大学語学研究，No. 137。

浅井澄民 2021：「台湾語“有 + VP”──「言語主体位相の叙述」説の検証」拓殖大学語学研究，No. 144。

金文京，玄幸子，佐藤晴彦 2002：『老乞大―朝鮮中世の中国語会話読本』東洋文庫 699，平凡社。

星泉 2003：『現代チベット語動詞辞典（ラサ方言）』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
守屋宏則，李軼倫 2019：『やさしくくわしい中国語文法の基礎　改定版』東方書店。
山口瑞鳳 2002：『概説チベット語文語文典』春秋社。
劉勲寧 2019：『「了」── 中国語のテンス・アスペクトマーク“了”の研究』日本僑報社。
杉村博文 2006：句尾助词“了”的语义扩张及其使用条件，《汉语教学学刊》第 2 辑。
赵元任著，吕叔湘译 1979：《汉语口语语法》商务印书馆，354 頁。

〈資料編〉5 種のテキストにおける「名詞・形容詞述語文＋了」全例文

Ⅰ「名詞述語文＋了」

B: 祝你生日快乐！你多大了？A: 我十九岁，你呢？《L32》［観察知］S①
你今年多大岁数了？《Y247》［観察知］R③
A: 你叫什么名字？几岁啦？《B59》［観察知］S②
B: 我叫黄涛。七岁了。《B59》［定着知・自称モード］S②
现在几点了？《Y79》［観察知］R⑨
都八点了，起来吧。《Y99》［定着知・自称モード］R⑧
A: 明天就是文化节了。B: 你们社团准备做什么呢？《L80》［定着知・自称モード］S⑩
A: 你为什么现在回国呢？B: 明天就是春节了。《L112》［定着知・自称モード］S⑪
明天又是星期一了。《Y100》［定着知・自称モード］R⑫
我已经不是小孩子了。《Y286》［定着知・自称モード］R⑬

我爸爸的公司里有一个…，他有一个儿子，今年十九岁了。《E13》［定着知・自称モード］S⑥
…等我们高中毕业时已经十八九岁了。《X24》［定着知・自称モード］S④
我爷爷已经七十多岁了。《E10》［定着知・自称モード］S⑤
我们客家人保留着许多古老的风俗，有些已经几千年了。《X226》［定着知・自称モード］S⑦

Ⅱ「形容詞述語文＋了」

《李麗》
今天太热了！今天的气温比昨天高五，六度。《L56》［観察知］S①
你吃饭了吗？我有点儿饿了。《L62》［定着知・自称モード］S⑤
离机场不远了，还有十公里左右。《L86》［定着知・自称モード］S⑥
我听说北京冬天比东京冷多了。《L56》［定着知・自称モード］S⑦

今天我太累了，想早点儿睡觉。《L63》［定着知・自称モード］S③
她试穿的连衣裙很漂亮，但是太贵了。《L45》［定着知・自称モード］S④

《北コレ》
太贵了，便宜一点儿怎么样？《B47》［観察知］S⑬
要的太多了，我实在吃不下了。《B65》［観察知］S②
A: 天津的小吃非常有名吗？B: 当然了[18]。《B41》［定着知・自称モード］S⑨
您啊，还没变样，越来越年轻了。《B71》［観察知］S⑩
真漂亮！比城里的空气好多了。《B59》［観察知］S⑧
跟以前相比，高楼多了，绿化也好了。《B77》［定着知・自称モード］S⑪
这可是手工做的，不能再便宜了。《B47》［定着知・自称モード］S⑬
A: 今天我请客，你别客气！　B: 真的？　那我就不客气了。《B65》［定着知・自称モード］S⑭

现在北京会开车的人也多起来了，所以私家车也越来越多。《B27》［観察知／定着知・自称モード］S⑫

《2冊め》
你们点得太多了，吃不了吧？《E36》［観察知］

特别是发音和四声，对我来说太难了，总是念不对。《E54》［定着知・自称モード］
我跟着她逛了一家商店又一家商店，已经非常累了。《E18》［定着知・自称モード］
最近，老师和同学们都夸我的发音越来越好了。《E57》［定着知・自称モード／観察知］

《やさくわ文法》
太贵了，我买不起。《Y117》［観察知］

太累了，走不动了。《Y225》［定着知・自称モード／観察知］
这双鞋太紧了，有没有大一点儿的？《Y231》［観察知］
太好了！《Y252》［観察知］
你儿子都这么大了！《Y99》［観察知］
你儿子都长得这么高了！《Y188》［観察知］
已经饱了，再也吃不下了。《Y217》［定着知・自称モード／観察知］
她跳舞跳得好极了。《Y188》［観察知］
这几天热极了。《Y189》［観察知］
好极了！《Y252》［観察知］
饿死了！《Y252》［定着知・自称モード／観察知］
他的发音比以前好多了。《Y124》［定着知・自称モード / 観察知］
王华敏唱歌比我唱得好多了。《Y334》［定着知・自称モード / 観察知］
老李比我经验丰富多了。《Y335》［定着知・自称モード / 観察知］
这里的交通条件比以前好一点儿了。《Y335》［定着知・自称モード / 観察知］
九月中旬以后天气一天比一天凉快了。《Y336》［定着知・自称モード / 観察知］
出国旅游的人一年比一年多了。《Y336》［定着知・自称モード / 観察知］
这会儿后悔也晚了。《Y87》［定着知・自称モード］
说起来话可就长了。《Y101》［定着知・自称モード］R ⑲
脚上的伤好了，能走路了。《Y101》［定着知・自称モード］
A: 哎呀，糟了！B: 你怎么了？《Y131》。［A: 定着知・自称モード］［B: 観察知］S ⑮
她住了一个星期的院，病总算好了。《Y101》［定着知・自称モード］

《新编阅读》
・真是对不起，我这几天太忙了，我马上给你买票去。《X105》［定着知・自称モード］
・你们医院的水平太差了！《X105》［観察知］
・我们医院治肺炎最拿手了。《X105》［定着知・自称モード］
・棒极了。《X105》［観察知］
・好极了。《X105》［観察知］
・我钱包丢了，今天一天没吃饭，真的饿死了。《X174》［定着知・自称モード］
・现在会用筷子的老外越来越多了！《X58》［定着知・自称モード / 観察知］
・A:（火车票）要几张啊？　B: 一张就行了，您买到了给我打电话，我去取。《X10》［定着知・自称モード］S ⑯

・21 人太胖了，63 人能吃饱，15 人营养不匆，1 人吃不饱。《X22》［定着知・自称モード］
・…，因为中药里边的东西太奇怪了，有很多树叶，草，虫子，石头。《X98》［定着知・自称モード］
・…，如果一个人有洁癖，这也嫌脏，那也嫌脏，…，那也太难受了。《X171》［定着知・自称モード］
・他不能太严肃，好像一个木头人，那太闷了。《X171》［定着知・自称モード］
・我们住在楼上，书房靠着大路；路上有人说话，可以清清楚楚地听见，因为走路的人太少了。《X201》［定着知・自称モード］
・我实在太困了，脑子好像进水了，根本不能思考问题。《X206》［定着知・自称モード］
・我还记得第一次见到他的时候，就觉得他脸太黑，头发太黄，…。总而言之，他太奇怪了。《X206》［観察知］
・他少年时父母都死了，…，可女朋友突然得了重病，现在还住在医院。说到底，他的运气太差了。《X206》［定着知・自称モード］
・泼水节那天，…，大家就互相泼水，真是好玩儿极了！《X72》［観察知］
・…，因为（马）它们一天到晚背着东西走路，比人辛苦多了。《X160》［定着知・自称モード］
・虽然工资比以前低了，但他每天可以穿着西装去办公室上班，…，他觉得很高兴。《X12》［定着知・自称モード］
・春节越来越近了，可那位哥们儿还没有让我去取票，…。《X10》［定着知・自称モード］
・（现在）很多人爱吃能下火的皮蛋瘦肉粥，大概因为火气大的人越来越多了吧。《X176》［定着知・自称モード／観察知］
・以前流行的是艇仔粥和及第粥，现在这两种粥都不多了。《X176》［定着知・自称モード］
・九十年代以后，…，大学毕业生要自己找工作了，创业的人也多了。《X136》［定着知・自称モード］
・…，机长用广播告诉乘客，我们的飞机刚才出了一点儿问题，现在已经好了，可以继续飞行。《X43》［定着知・自称モード］
・马从早到晚都是站着的。它们真的躺下的时候，就是它们快不行了。《X160》［定着知・自称モード］
・…，我一听，糟了，钟名文是我同屋，可他还在床上睡觉呢。《X8》［定着知・自称モード］
・结婚那天，文送给我一个漂亮的盒子。打开盒子，…，我眼睛红了，99 张站台

票就是 99 个美丽的故事。《X175》［定着知・自称モード］

- *…，每次餐后他总是给服务员一毛五分钱的小费。有一天，…，他只给了五分。服务员不高兴了，他埋怨地说：“…。”《X213》［観察知］*
- *马晚上好像不睡觉的样子，但睡不好觉就不会长命，所以马到了十七八岁就不行了。《X160》［定着知・自称モード］*
- *…，我们在阅读的时候要找到句子最主要的部分，…，找到它们以后句子的意思就很容易明白了。《X125》［定着知・自称モード］*
- *这个法国朋友说，…，看不懂菜单没关系，只要跟餐厅里的服务员说就可以了。《X50》［定着知・自称モード］S⑱*
- *一九二三年我到美国读书时是个穷学生，午饭总是在校园附近一家小吃店吃…“汉堡格尔”，吃饱就可以了，不管其他。《X55》［定着知・自称モード］*
- *老张觉得长时间用空调人不舒服，而且要用很多电，夏天用扇子就行了。《X66》［定着知・自称モード］S⑰*
- *…，只要你知道这个句子最主要的部分是什么意思就可以了。《X152》［定着知・自称モード］*
- *…，但我们只要知道它们是一些动物也就可以了。《X152》［定着知・自称モード］*
- *…，只要大家吃着高兴就可以了。《X185》［定着知・自称モード］*
- *在麦当劳餐厅的厨房，工人是这样工作的：他们什么也不用想，只要按照机器的指示开，关，放进去，拿出来就可以了。《X218》［定着知・自称モード］*
- *还有人说，他人不坏，就是脾气坏，拍拍马屁不就行了？《X128》［定着知・自称モード］*

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

〈論　文〉

日本人大学生の PISA 型読解力

狩　野　紀　子

要　旨

児童・生徒・学生の読解力の低下が叫ばれるようになって久しい。特にOECDが2000年から実施しているPISAの結果が日本の教育関係者に衝撃を与えることになったことは周知の事実である。2003年度の調査では，日本人の読解力は参加40ヵ国中14位となった。その際，情報の取り出しはできるが，情報の解釈や統合，評価は苦手で，記述問題の無回答率が高いという日本人生徒の特徴が指摘された（文部科学省，2005a）。PISAの調査対象は15歳の生徒たちであるが，この日本人の特徴は高等学校および大学教育を受けることで解消されるのか，大学3年生と4年生にPISAの問題を解いてもらい，現状の把握を試みた。調査の結果，本調査の参加者は，情報の取り出し，特に図表の解釈が苦手であるということが分かった。また，自由記述の回答から，読解力に対する自己評価が低い，日本語の読解に外国語（英語）の読解方略を利用している，4年生に関しては自己分析・自己評価をしていることなどの傾向が見られた。

キーワード：読解力，PISA，情報の取り出し，理解と解釈，熟考と評価

はじめに

児童・生徒・学生の読解力の低下が日本社会で取りざたされるようになって久しい。特にOECDが2000年から実施しているPISAの結果が，日本の教育関係者にショックを与えることになったことは周知の事実であ

る。2000 年の調査では，日本人生徒の数学的リテラシーは 31 ヵ国中 1 位，科学的リテラシーは 2 位だったのに対し，読解力は 8 位であった（文部科学省．n.d. c）。2003 年度の調査では，数学的リテラシーや科学的リテラシーに関しては 1 位グループに届まることができたのに対し，読解力は 40 ヵ国中 14 位とさらに後退した（OECD, n.d.）。その際，日本人生徒の読解力の特徴として，情報の取り出しはできるが，情報の解釈や統合，評価は苦手で，記述問題の無回答率が高いといったことが指摘された（文部科学省，2005a）。PISA の調査対象は 15 歳の生徒たちであるが，この日本人の特徴は高等学校や大学で教育を受けることで解消されるのか，それとも依然として残ってしまうのか，本調査では，大学 3 年生と 4 年生に PISA の問題を解いてもらい，現状の把握を試みた。また，自由記述の回答から，日本人大学生の読解に対する態度や，自己評価，読解方略など，今後の調査・研究の指針となる要因の抽出を試みた。本調査は参加者の母語（日本語）で実施したが，第二言語や外国語での読解は第一言語の読解力と相関が高い（Cummins, 1979；Yamashita, 2002；渡辺，2011）ので，この結果を踏まえ，将来的には第二言語のリーディング指導法を考察していく予定である。

2. 先行研究

広辞苑で「読解」は「文章を読んでその意味を理解し解釈すること」（新村，2018, p2103）と定義される。したがって，読解力とは，テキストを読んで，書き手の意図する意味を理解する力，解釈する力となるが，それは具体的にどのような能力なのか，その解釈は時代とともに変化してきた。

2.1　心理言語学的な予測ゲーム

1970 年代から，読解，特にそのメカニズムに関する研究は盛んに行われ

るようになった。そのランドマークとなったのが，1967 年の Kenneth Goodman（1967）のモデルであろう。それ以前は，語から文，文からパラグラフ，パラグラフからテキストと小さな部分からより大きな部分，さらに全体へと理解を積み上げているボトムアップの読み方が一般的であった。Goodman は読解を「心理言語学的な予測ゲーム（psycholinguistic guessing game）」と称し，読者はテキストから情報を取り出し（sample），内容を予測し（predict），予測が正しいか否か検証し（examine），正しければ確認し（confirm），誤っていれば修正し（revise），再度情報の取り出しに戻り，読み進めていくという循環型モデルを提唱した。読者が筆者やテキストから情報を一方向的に伝達される受容的な行為と考えられていた読解を，Goodman は読者の知識や経験の交互作用へとその解釈を変えたのである。読み手は既に持っている知識を利用して，新たにインプットされた情報を理解し，既存の情報と統合し，知識の再構築を図るのである。したがって，同じテキストを読んでも，読み手が持っている経験や知識体系によって，テキストの理解や解釈は異なるということになる。

Goodman の考え方は，第二言語や外国語の読解研究にも影響を及ぼし，その影響で 1970 年代からリーディング研究が盛んになった。例えば Goodman の理論を継承した Clarke and Silberstein（1977）は，読み手の既存の知識つまり背景知識の重要性を強調し，第二言語のリーディングにおいても，言語知識と背景知識があれば，より効率的な読み方ができると主張している。また，Coady（1979）は Goodman モデルを精緻化して，いわゆる知的能力である構想力（conceptual ability），情報処理方略（processing strategies），背景知識（background knowledge）が相互に作用して読解を促進すると述べている。特に読み手の背景知識は，認知能力や言語処理スキルに作用しながら読解を促進すると説いている。

2.2　スキーマ理論と読解

Goodman の読解モデルはスキーマ理論でさらに明確に説明されるようになる。Rumelhart and Ortony（1977）はスキーマを「data structures for representing the generic concepts stored in memory（記憶の中に蓄積された一般的概念を表象するデータ構造）」と定義した。つまり人間が経験から体得し記憶の中に保持している全ての知識，そしてそれぞれの知識の関係を構造的に表したものがスキーマである。人間はインプットされた情報を処理する際に，この体系化された知識構造つまりスキーマを利用して，理解している。Bransford and Johnson（1972）は，実験でこのことを明らかにしている。彼らは被験者に以下の文章を読んでもらい，その後理解度テストを受けてもらった。

> The procedure is actually quite simple. First you arrange things into different groups depending on their makeup. Of course, one pile may be sufficient depending on how much there is to do. If you have to do it somewhere else due to lack of facilities that is the next step, otherwise you are pretty well set. It is important not to overdo things. That is, it is better to do too few things at once than too many. In the short run, this may not seem important, but problems from doing too many can easily arise. A mistake can be expensive as well. The manipulation of the appropriate mechanisms should be self-explanatory, and we need not consider it here. At first the whole procedure will seem complicated. Soon, however, it will become another facet of life.（p722）.

上記の文章の一文一文は簡単であるが，文章全体で何が述べられている

のかはわかりにくい。ところが「Washing Clothes」というタイトルが与えられれば理解は容易になる。実際に Bransford and Johnson（1972）の実験では，文頭にタイトルが与えられている文章を読んだ被験者群の理解度テストの点数は有意に高かった。これは多くの人々が「洗濯」という経験をしたことがあり，記憶の中にある「洗濯」というスキーマを使いながら読むことができれば，簡単に理解できるということを示している。つまりスキーマを活性化して利用しながら読むことにより，Goodman のモデルの「内容の予測（predict）」が容易となり，読解が促進されるのである。

2.3　テキスト構造

英語のテキストには独特な構造があり，読み手がその構造を理解しているか否かで，理解に違いが出ると Meyer, Brandt, and Bluth（1980）は実験で証明している。Meyer らはテキスト内の情報を proposition（命題）に分け，proposition 同士の関係を階層的に示す樹系図に表した。樹形図内で proposition が上位にあればあるほどその情報の重要度が高いことになる。Meyer らは，階層図の上位 3 位までを macro proposition と称し，テキストの要旨はこの macro proposition に含まれると記している。それより下位に位置する命題は，具体的な出来事や行為，状態などを示す micro proposition となる。Meyer らは，論説文の各命題の重要度を理解し macro proposition が何であるかを認識している読み手は読解力が高く，さらに読んだ内容をより多く記憶しているということを実験で示している。

また，Thorndyke（1977）は，物語の理解と記憶にテキスト構造がどのように影響するのかを調査し，大学生は読み取った情報が記憶すべきものであるか否かを，テキストの構造を使って判断していることを明らかにした。Meyer らや Thorndyke の実験から，読解に文章構造に関するスキーマを利用できる読み手は優れた読み手であるということがわかる。

2.4　心的表象

読解を行うと，心の中に何らかの変化が起こり，テキスト内容の痕跡が残る。その変化を Kintsch（2004）は心的表象（mental representation）と称し，表層的表象（surface form），命題的テキストベース（propositional textbase），状況モデル（situation model）の 3 段階に分けて説明している。

表層的表象とは，文がインプットされるとすぐに作られる表象であり，文章内の語句がそのまま記憶されるだけで，意味内容に関する表象は作られない。そのため表層的記憶は長持ちせず 4 日間で消滅する（Kintsch, Welsch, Schmalhofer, & Zimny, 1990）。命題的テキストベースはテキストに書かれている内容を命題として表象化したものであり，その内容の真偽が判断される。つまり命題的テキストベースの段階では意味理解がなされているのである。表層的表象と命題的テキストベースの段階が，ボトムアップの読み方となる。

既有知識を利用して，読んだテキストに情報を補填したり，精緻化したり，解釈したりしてできる表象を状況モデルという。読むテキストと読み手の背景知識を統合してできる表象であり，これは推論が大きく関わるトップダウンの読み方となる。状況モデルで理解した情報は長く保持され，4 日たってもほとんどの情報は記憶されている（Kintsch, Welsch, Schmalhofer, & Zimny, 1990）。いわゆる包括的で深い読解とは，状況モデルにまで達した読み方となる。

2.5　PISA 型読解力

PISA 型読解力（reading literacy）とは，「自らの目標を達成し，自らの知識と可能性を発達させ，効果的に社会に参加するために，書かれたテキストを理解し，利用し，熟考する能力（understanding, using, reflecting on and engaging with written texts, in order to achieve one's goals, develop

one's knowledge and potential, and participate in society)」（文部科学省, n.d. a；OECD, 2016）と定義される。また読解力は以下の 5 つのプロセスに分けられ，それぞれのプロセスにおける習熟度が測定される。

(1) 情報の取り出し（retrieving information）
(2) 幅広い一般的な理解の形成（forming a broad general understanding）
(3) 解釈の展開（developing an interpretation）
(4) テキストの内容の熟考・評価（reflecting on and evaluating the content of a text）
(5) テキストの形式の熟考・評価（reflecting on and evaluating the form of a text）

(1) 情報の取り出しは，scanning のように特定の情報をテキストから探し出す作業であり，Kintsch（2004）の表層的表象にあたる。字義的に合致する情報は比較的簡単に見つかるが，同義語のような情報を探し出す作業は難易度が高くなる。(2) 幅広い一般的な理解の形成とは，テキストの主題を捉えさせる skimming に近い。この段階は意味の理解を伴うので，Kintsch（2004）の命題的テキストベースに当たるであろう。(3) 解釈の展開とは，テキスト情報の再構築，つまり読んだ情報を比較・対照し，論理的に推測しながら，組み立て直す。英語学習でよく使用される recap や retell に相当する。これは Kintsch（2004）の状況モデルの段階にある。(4) テキストの内容の熟考・評価はテキストの情報を，テキスト外の情報と比較・対照することにより評価し，自身の考えを明確にすることである。(5) テキストの形式の熟考・評価とは，読み手がテキストのジャンルや使用域，構造について評価するプロセスである。書き手の意図を伝達するうえで使用されているテキストの形式が効果的であるか否か評価をする

という高度な課題となる。

PISA の問題数を見ると，(1) の情報の取り出しは全体の 3 割程度，(2) と (3) 情報の理解・解釈が約 5 割，(4) と (5) テキスト内容や形式の熟考・評価が 2 割程度である。日本人生徒の読解力の点数が高くない原因として，高度な知識やスキルを要するテキストの熟考・評価はもとより，出題率の高い情報の理解・解釈がうまくできていないことが考えられる。

しかし，このようなスキルは高等学校や大学で訓練されているものであるので，大学で数年間教育を受けている大学3・4年生は既に身に着けている可能性も考えられる。そこで，本研究では，PISA の読解問題を大学 3・4 年生に解いてもらい，15 歳の生徒と同じ傾向を示すのか，あるいは情報の解釈，熟考や評価はできるようになっているのか現状を調査することとする。

3. 研究の方法

3.1 使用したタスク

情報のプロセス ── (1) 情報の取り出し，(2) 一般的な理解，(3) 解釈の展開，(4) 内容の熟考と評価，(5) テキスト形式の熟考と評価 ── が PISA の問題と同程度の割合になるように配慮し，実験には公開されている PISA 2000 年度および 2003 年度調査の問題のうち，『チャド湖（Lake Chad)』『落書き（Graffiti)』と『ランニングシューズ（Runners)』に関する問題（国立教育政策研究所, 2007; 文部科学省，2005b）を使用した。採点に関しては，OECD が公開している基準に基づき実験者が行った。Appendix に使用した問題と正答を示す。また，問題の特徴は表 1 にまとめる。

表 1
実験に使用した問題の特徴

	小問番号	タイプ	プロセス	出題形式
チャド湖	問 1	図	情報の取り出し	選択肢形式
	問 2	図	情報の取り出し	論述形式
	問 3	図	熟考・評価	論述形式
	問 4	図	理解・解釈	選択肢形式
	問 5	図	理解・解釈	選択肢形式
落書き	問 1	論説・説得	理解・解釈	選択肢形式
	問 2	論説・説得	理解・解釈	論述形式
	問 3	論説・説得	熟考・評価	論述形式
	問 4	論説・説得	熟考・評価	論述形式
ランニングシューズ	問 1	解説	理解・解釈	選択肢形式
	問 2	解説	情報の取り出し	論述形式
	問 3	解説	情報の取り出し	論述形式
	問 4	解説	熟考・評価	選択肢形式

3.2　実験の参加者

2021 年度，英米語を専攻する大学 3 年生 9 名（男性 3 名，女性 6 名）と 4 年生 8 名（男性 3 名，女性 5 名）に，『チャド湖』，『落書き』と『ランニングシューズ』に関する問題を解いてもらった。参加者の年齢と性別，および解答にかかった時間を表 2 にまとめる。参加者の日本語の読解力を示す客観的なデータはないが，専攻する英語の TOEIC のスコアは 500〜910 点の間に分布しており（900 点台 3 名，800 点台 1 名，700 点台 4 名，600 点台 5 名，500 点台 4 名），17 人の平均は 692.4 点である。TOEIC のリーディング・セクションのみのスコアは 495 点中 180 点から 445 点の間にあり（400 点台 3 名，300 点台 6 名，200 点台 7 名，100 点台 1 名），平均 316.2 点である。

表 2
参加者の特性と解答にかかった時間（分）

参加者	学年	性別	年齢	解答にかかった時間
A	3	男	21	21 分
B	3	男	20	29 分
C	3	男	22	28 分
D	3	女	20	29 分
E	3	女	23	25 分
F	3	女	20	29 分
G	3	女	20	29 分
H	3	女	21	34 分
I	3	女	20	20 分
J	4	男	21	25 分
K	4	女	22	25 分
L	4	女	22	28 分
M	4	男	22	21 分
N	4	男	22	41 分
O	4	女	21	32 分
P	4	女	21	28 分
Q	4	女	21	23 分

3.3　データ収集の方法

データの収集は2021年7月にオンラインで実施した。参加者には同意書に記入してもらい，学習管理システムのBlackboardで問題を送り，各自解答し提出してもらった。また解答にかかった時間を計ってもらった。解答時間は表2に示す通り，20分から41分の間であるが，17人中14人の学生は30分以内には終了している。解答後には，問題に対する感想を自由に書いてもらった。

4. 結果

4.1 正答数からわかること

表 3 に，各問題の正答数と誤答数，および正答率を示す。正答率から，非言語情報を解釈する能力，予測や評価する能力，および非言語情報を言語情報へ転換する能力（表現力）が十分でないことがわかる。一方，外国語（英語）学習で培った読解方法（主に文章構造の利用）を母語の読解でも利用するなど，方略の転用も見られる。以下，誤答を中心に，上記の能力や方略について詳しく述べていく。

4.1.1 非言語情報を解釈する能力の欠如

一般に認知負荷が低いと考えられている情報の取り出し，特に図から情報を取り出す問題に誤答が目立った。『チャド湖』の問 2「図 1 のグラフは約何年から始まっていますか」という質問に対して，正答の「紀元前 11000 年」を一桁間違えて「紀元前 1000 年」と記入している学生が 3 名，目盛を正確に読まずに「紀元前 11000 年」を「紀元前 10000 年」と解答している学生が 5 名いた。その他，紀元前の未記入や数字の読み間違い（10000 年を 20000 年に）もあった。実験の参加者は文系学生であったため，図表から数値に関連する情報を正確に抽出する作業には不慣れであった可能性が高い。

4.1.2 予測や評価する能力の欠如

『チャド湖』の問 3「筆者は，このグラフの始まる年として，どうしてこの年を選んだのですか」の正答率が低いのは，問 2 の誤答の影響かと思われる。注目すべきは「述べられていない」（被験者 E）という解答があったことである。「読解」をどのように解釈するかにも関係するが，記述されている情報しか事実として把握せず，得られた情報を熟考し，推測し，評価

表 3

実験に使用した問題の正答数と誤答数および正答率（%）

	小問番号	タイプ	プロセス	出題形式	正答数	誤答数	正答率
チャド湖	問 1	図	情報の取り出し	選択肢	16	1	94.1
	問 2	図	情報の取り出し	論述	7	10	41.2
	問 3	図	熟考と評価	論述	11	6	64.7
	問 4	図	理解・解釈	選択肢	15	2	88.2
	問 5	図	理解・解釈	選択肢	15	2	88.2
落書き	問 1	論説・説得	理解・解釈	選択肢	17	0	100.0
	問 2	論説・説得	理解・解釈	論述	15	2	88.2
	問 3	論説・説得	熟考・評価	論述	14	3	82.4
	問 4	論説・説得	熟考・評価	論述	14	3	82.4
ランニングシューズ	問 1	解説	理解・解釈	選択肢	17	0	100.0
	問 2	解説	情報の取り出し	論述	17	0	100.0
	問 3	解説	情報の取り出し	論述	16	1	94.1
	問 4	解説	熟考・評価	選択肢	17	0	100.0

するという習慣がない学生も一定数いることが予測される。

4.1.3　非言語情報を言語情報へ転換する能力（表現力）の欠如

被験者 J が自由記述欄（表 4 参照）で指摘しているように，非言語情報を言語情報に転換する能力に問題がある学生がいるという可能性も示唆される。『チャド湖』問 3 のグラフを開始する年を 11000 年とした理由，問 4 の図から仮定される事実（ロックアートに描かれている動物は，それらが描かれたときにこの地域に存在していた）を選択する問題，問 5 の 2 つの図の情報を統合して，サイ，カバ，オーロックスが姿を消した時期を導き出す問題に誤答が数多く見られることから，非言語情報と言語情報の理解，統合，解釈に問題があることが予測される。問 3 の解答も，図の中に

記載されている言語情報と図という非言語情報を統合して解釈すれば難しいことではないのだが，それができない学生いるのも，やはり言語情報と非言語情報の連結・統合が円滑にできないからであろう。あるいは，情報を理解できないというわけではなく，非言語情報を言語化する段階で問題がある可能性もある。漠然と理解はしているものの，それを正確に言語化して表現できない，つまり表出の問題を抱えている可能性もある。

正答率の低かった『チャド湖』に対して，『ランニングシューズ』の問題のように，言語情報から言語情報を取り出したり，さらに解釈したり，熟考・評価したりする問題の正答率は高い。被験者Ｌが自由記述欄で記しているように（表 4 参照），『ランニングシューズ』のような問題は，文系の大学生には容易に感じられるようである。非言語情報から言語情報に変換する必要がないので，認知負荷が低く，Kintsch（2004）の表層表象段階で処理できる作業なのであろう。あるいは，『ランニングシューズ』の文章には，文章構造・内容を示す見出しやシグナル語句（eg.「第 1 に」，「次に」，「最後に」）があるので，大学の外国語（英語）の授業で，文章構造を利用して必要な情報を迅速に検索するような読み方が訓練されている学生たちは，このような文章の読解に慣れているという可能性も考えられる。

4.1.4　外国語（英語）での読解方略の利用

難易度に関しては，『落書き』の文章が一番高く，落書きの正当性を論じるために広告を引き合いに出す理由を問う問 2 やスタイル（書き方・論じ方）を評価する問 4 に対する 15 歳の日本人の正答率は 5 割程度であった（文部科学省，2005b）。それに対し，本研究の参加学生の 8 割以上は正しく解答している。この点に高等学校または大学で受けた教育の効果が考えられる。問 2 の正答のキーワードである「比較」，問 4 のスタイル，つまり論旨の展開や文章構造は，大学の英語の授業で訓練されている可能性が高く，外国語教育の影響も考えられる。

4.2　自由記述から見えてきたこと

読解テストの後に感想を自由に記述してもらったが，それを表 4 にまとめる。学生たちの記述内容から，読解のスピートや理解の深さに関して自己評価は低いこと，専門である英語の読解方略を使用していること，自己の能力に関して分析的に考えていること等の特徴が見えてきた。以下，詳細を述べる。

4.2.1　低い自己評価

3 年生の学生に見られた特徴は，自己の読解力に関して評価が低いことである。特に読む速度に関しては，以下のように，3 年生の半数近くがネガティブなコメントを残している。

・意外と時間がかかると感じた（E）
・日本語の読解も遅いなと感じました（G）
・内容を素早く理解するのが難しい（H）
・最近は本を読むことが減ったので個人的に読むスピードが落ちていると思った（I）

また，理解に関するコメントも見受けられた。理解とスピードには関連性があるので当然のことであるが，学生の理解に関する自己評価は低く，以下のように，一度読んだだけでは理解ができていないという感想が目立った。

・問題を解く際に一度読んだ文をもう一度読まなければ自分の答えに確信を持てないことに，普段どれだけ読んだ文を詳細に理解できていないのかが分かった（A）

表 4
自由記述欄の回答

参加者	得点 /13	解答時間	感想
A	12	21 分	問題を解く際に一度読んだ文をもう一度読まなければ自分の答えに確信を持てないことに，普段どれだけ読んだ文を詳細に理解できていないのかが分かった。
B	10	29 分	高校生のとき苦手だった国語を思い出させるような問題で，改めて苦手だと感じました。
C	12	28 分	国語の問題をやっている感じがしました。
D	13	29 分	聞かれたことを Reading の中から見つけ出すのに，一回読んだだけでは分からないところが多かった。日本語だったので何も考えずに順番に読み進めたが，TOEIC のように問題文を先に読んでから回答すればもう少し早くことができたのかなと感じた。個人的には表を用いた問題が解答を探すのに時間がかかった。
E	9	25 分	意外と時間がかかると感じた。
F	10	29 分	一番初めの湖と壁画の問題は，個人的に好き。すごく興味がそそられる。
G	13	29 分	私は英語の読解が遅いという自覚があったのですが日本語の読解も遅いなと感じました。小学校の時にやった読解問題のようで懐かしかったです。
H	13	34 分	内容を素早く理解するのが難しい。
I	9	20 分	最近は本を読むことが減ったので個人的に読むスピードが落ちていると思った。
J	12	25 分	記述問題にちょっと手こずった。頭の中で考えていることを言語化（書き）する作業を最近あまりしていないので，上手く説明できなかった。最後の問題はあえて全文読まずに解いてみましたが，意外と解けました。久しぶりに問題を解く作業をして楽しかったです。
K	12	25 分	問題を読み説く際に，自分がどんな情報を意識して受け取っているかを考えさせられた。日ごろから読解力を鍛える時間を取っていなかったため，大問二の落書きに対しての意見を比べる問題は，どんな情報を選び答えに利用すればいいかわからなかった。更には，大問三で答えを書き抜く問題では，書き抜く文章の長さに困った。

L	11	28 分	「落書き」の方が自分の意見を書く問題があって少し時間がかかったが，全体的には「チャド湖」の問題が一番難しかったと感じた。「ランニングシューズ」はかなり簡単に感じた。チャド湖の図 1 が分かりにくかった。
M	11	21 分	就活でやっていた SPI や WEB テストの非言語をやっているみたいだった。アンケートは時間を記入する欄が多く，やけに時間を意識させるなと思いました。
N	12	41 分	ニュースや小説などで文章を読むということは割と習慣化しているつもりだったが，それを繰り返し読み，読解するという行為になると文章の読み方が変わる印象だった。より考えながら読むという作業が必要とされるので，少し疲れた。
O	8	32 分	最後のスポーツ選手の問題は比較的にわかりやすく，しっかりと読めば解ける問題だったが，1，2 番目の選択問題は何度読んでも“これだ！”というものを見つけられず，答えるのに時間がかかってしまった。
P	13	28 分	開始時刻と終了時刻を書く欄があったので，出来るだけ時間をかけないで解くことを意識していた。一番時間が掛かったのは落書きの問題で，二つの文章を読みながら二人の筆者の思想を比較する必要があったので，どういった所が違うのか考えながら何度か読んだ。逆に一番早く解けたと感じたのは最後のスポーツの問題だった。これは目次がついていたり，「第一に」などの言葉が書かれているので，一度読めばどこに問題で聞かれていることが書かれているかがすぐに分かるので，何度も読む必要があまり無かった。
Q	11	23 分	答えが資料に直接書いてあることは読み取ることができたと感じましたが，資料に直接書いていないところや，文章を踏まえて自分の意見を書くところは難しいと感じました。また，絵や図を見て答える問題に久しぶりに触れたので，新鮮で楽しかったです。落書きに対して意見を述べている文章で，自分は今まで落書きは良くないし，やめるべきだと思っていました。けれど，「街中で見かける広告も無許可で，私たちの許可を取らずして載せている」といった内容を読み取って，確かに広告や動画は許可なしに流れているから落書きが一概に悪いとは言えない，と新たな視点で考えることができて，嬉しかったです。

・聞かれたことを Reading の中から見つけ出すのに，一回読んだだけでは分からないところが多かった（D）
・1，2 番目の選択問題は何度読んでも“これだ！”というものを見つけられず，答えるのに時間がかかってしまった（O）

最後の「これだというものが見つけられない」という感想だけは 4 年生から出されたものだが，3 年生の多くは大量の情報から適切な情報を選択するという能力が十分についていない可能性も考えられる。しかし，これこそが情報が氾濫する現代社会の中で，訓練が必要な能力ではないだろうか。

4.2.2　英語の読解方略や学習方略の影響

大学の英語教育では，要旨を素早くとらえさせる skimming や特定の情報を素早く探させる scanning，またそれを容易にするためにタイトルや見出し，文章構造を利用させたり，書かれている情報から書かれていない情報を予測させたりする inferential reading 等，さまざまな読解方略が訓練されている。以下の学生のコメントには，それらの方略の影響が垣間見られる。

・日本語だったので何も考えずに順番に読み進めたが，TOEIC のように問題文を先に読んでから回答すればもう少し早くことができたのかなと感じた（D）
・最後の問題はあえて全文読まずに解いてみましたが，意外と解けました（J）
・二つの文章を読みながら二人の筆者の思想を比較する必要があったので，どういった所が違うのか考えながら何度か読んだ（P）
・一番早く解けたと感じたのは最後のスポーツの問題だった。これは

目次がついていたり，「第一に」などの言葉が書かれているので，一度読めばどこに問題で聞かれていることが書かれているかがすぐに分かるので，何度も読む必要があまり無かった（P）
・「ランニングシューズ」はかなり簡単に感じた（L）

最初の二つのコメントは，skimming や scanning といった方略の利用，3・4 番目のコメントは文章構造の利用であろう。最後に追記した「ランニングシューズ」はかなり簡単に感じたというコメントであるが，おそらく文章構造が整っていたので，理解が容易であったのであろう。このように学生たちは，語学学習で培われた方略を適宜利用しようとしているようである。つまり，リーディング方略は言語を超えて適用可能であることが示唆される。

4.2.3. 自己分析

第三の特徴は 4 年生に顕著に表れたのだが，自己の能力や問題点に関して分析的に考えていることがあげられる。以下のコメントはすべて 4 年生から出たものである。

・頭の中で考えていることを言語化（書き）する作業を最近あまりしていないので，上手く説明できなかった（J）
・大問二の落書きに対しての意見を比べる問題は，どんな情報を選び答えに利用すればいいかわからなかった（K）
・ニュースや小説などで文章を読むということは割と習慣化しているつもりだったが，それを繰り返し読み，読解するという行為になると文章の読み方が変わる印象だった（N）
・1, 2 番目の選択問題は何度読んでも“これだ！”というものを見つけられず，答えるのに時間がかかってしまった（O）

・答えが資料に直接書いてあることは読み取ることができたと感じましたが，資料に直接書いていないところや，文章を踏まえて自分の意見を書くところは難しいと感じました（Q）

彼らは漫然と問題を解いているわけではなく，頭の中で何が起こっているのか，自己にはどのような問題があるのかをモニターしながら読んでいる，つまりメタ認知方略を利用している痕跡が見られる。これは 4 年生のみに見られる特徴なので，就職活動の過程で行う自己分析の影響なのかもしれない。

5. まとめと今後の課題

2000 年より実施されている PISA の結果，受験した 15 歳の日本人の読解力の特徴として，情報の取り出しはできるが，情報の解釈や統合，評価は苦手で，記述問題の無回答率が高いという特徴が指摘された。高等学校や大学での教育を受けても，この特徴は消えないものなのか，それとも後期中等教育や高等教育で補填されるものなのかを明らかにするために，本研究では，英語を専攻する大学 3 年生と 4 年生に PISA の読解問題を解いてもらった。

調査の結果，最も容易であると考えられていた情報の取り出し，特に図表の解釈に問題があるということがわかった。これは，被験者が外国語を専攻している文系学生のみであるため，非言語情報の解釈に慣れていないという被験者特性なのかもしれない。しかし，「図を読む能力」や「図を解釈する能力」に関しては，学校教育全体の中で重要視されるようになり，国語だけでなく，数学や理科，社会など教科の枠組みを超えた指導（文部科学省，n.d. b）が始まっている。また，外国語教育の分野でも，内容言語統合型学習（CLIL=Content and Language Integrated Learning）が，大

学から高等学校，中学校，そして小学校の英語の授業に導入されるようになり，図表の解釈を学習内容に取り入れている教科書も増えている。したがって，様々な教育分野でこのような訓練はなされるようになるので，図表の問題は近々に解決されていくのではないかと予測される。

また，与えられた情報を分析・統合し，記述されていない内容を予測する能力が身に着いていない学生もいることがわかった。事実はとらえられても，その先を論理的に考え予測していく習慣がないのである。これは，事実の理解と記憶が最終目標となってきた日本の伝統的な教育法の弊害なのかもしれない。しかしアクティブ・ラーニング，反転授業，ディスカッションやディベートを取り入れたインタラクティブで問題解決型の授業が近年導入されてきており，その中で児童，生徒，学生は自分の意見を発展させる機会が増えてきている。したがって，このような問題もやがて解決されるであろう。

さらに，理解した情報を言語化する能力に問題を感じている学生もいることが明らかになった。このような学生は，ある程度の理解はできるので，選択問題は容易に解くことができるが，説明や評価は難儀であると感じている。図表で示される非言語情報を言語情報に変換して説明する際に，この問題は顕在化してくる。テキストで使用されている表現をそのまま使って説明することはできるものの，内容を消化して自分の言葉ではうまく表出できないのである。これには理解の段階で生じる問題と表現の段階の問題の二つが考えられる。内容を表面的にしか理解していない場合，テキストで使用されている言語情報を利用しないと言語的な説明は難しいであろう。Kintsch（2004）の表層的表象でしか理解・表現できないわけである。しかし，深く理解していたとしても，複雑な内容を言語化できる表現力が，すべての学生に備わっているとは限らない。それぞれの学生が，理解または表現どちらに問題があるのかを調べるためには，さらに詳細な調査が必要となる。

ポジティブな側面としては，言語を超えた読解方略の適用の可能性が示唆されたことである。母語の読解方略を外国語の読解に適用することはもとより，外国語学習で培った読解方略を，母語の読解にも適用している可能性も高い。文章構造を利用して情報を検索したり，理解や評価の枠組みとしたりするのは外国語学習の中で頻繁に訓練される方略である。この方法を母語の読解に転用しようとしていることは大学の外国語教育のひとつの成果かもしれない。

テスト後に，自由に感想を書いてもらったが，そこから大学生の興味深い特徴が抽出できた。まず，読むスピードや理解に関して自己評価が低いことがわかった。外国語を専門とする文系の学生を対象に調査したので，読解に関する自己評価はある程度は高いと予測していたが，意外な結果であった。渡辺（2011）の調査では，プレースメントテストにおける国語と英語の相関はそこそこ高かったので，英語を専門とする学生たちは，国語の読解にも自信はあるものかと予想していたが，結果は予測と異なっていた。本校の学生の TOEIC スコアを見ると，リスニング・セクションよりリーディング・セクションが低いという事実も，何らかの関係があるのかもしれない。

一方良い点としては，外国語（英語）学習の方略の痕跡は明らかに存在しており，英語の読解方略を使って母語の日本語を読んでいる，少なくとも読もうとしているという態度は見受けられたことが挙げられる。また，4 年生には，メタ認知的な方略も見受けられ，自己の読解過程をモニターしている様子がうかがえた。彼らには自己の認知を分析的に捉え，よい学習者であろうとする態度が見られた。

本研究は，まだパイロットスタディの段階であり，実験の参加者は少なく，また英語を専攻している学生のみが協力してくれたに過ぎないので，この結果を一般化することはできない。今後はより多様な学習者を対象に実験を行いたい。また，本実験の自由記述で得られた知見をもとに，質問

紙を作成し，幅広い特性を持つ学生を対象に調査をしていきたい。さらに，母語および第二言語双方の読解力を伸長する指導法を考察していきたい。

本研究は JSPS 科研費 19H01720 の助成を受けて行ったものである。

参考文献

Bransford, J. D., & Johnson, K. (1972). Contextual prerequisites for understanding: Some investigations of comprehension and recall. *Journal of Verbal Learning and Verbal behavior, 11*(6). 717-726. http://dx.doi.org/10.1016/S0022-5371 (72) 80006-9

Clarke, M. A., & Silberstein, S. (1977). Toward a realization of psycholinguistic principles in the ESL reading class. *Language Learning, 27*(1), 135-154. http://dx.doi.org/10.1111/j.1467-1770. 1977.tb00297.x

Coady, J. (1979). A psycholinguistic model of the ESL reader. In R. Mackay, B. Barkman, & R. R. Jordan (Eds). *Reading in a Second Language* (pp. 5-12). Newbury House.

Cummins, J. (1979). Linguistic interdependence and the educational development of bilingual children. *Review of Educational Research, 49*, 222-251. http://dx.doi.org/ 10.3102 /00346543049002222

Goodman, K. (1967). Reading: A psycholinguistic guessing game. *Journal of the Reading Specialist, 6*(4), 126-135. http://dx.doi.org/10.1080/19388076709556976

Kintsch, W. (2004). The construction-integration model of text comprehension and its implications for instruction. In R. Ruddell & N. Unrau (Eds.), *Theoretical models and processes of reading* (pp. 1270-1328). Newark, DE: International Reading Association. http://dx.doi.org/10.1598/0710.32

Kintsch, W., Welsch, D., Schmalhofer, F., & Zimny, S. (1990). Sentence memory: A theoretical analysis. *Journal of Memory and Language, 29*(2), 133-159. http://dx.doi.org/10.1016/0749-596X (90) 90069-C

Meyer, B. F. J., Brandt, G. J., and Bluth, G. J. (1980). Use of top-level structure in text: Key for reading comprehension of ninth-grade students. *Reading Research Quarterly, 16*(19), 72-103. http://dx. doi. org/10.2307/747349

OECD. (2016, December). *PISA for development brief 8: How does PISA for*

development measure reading literacy? https://www.oecd.org/pisa/pisafordevelopment/8%20-%20How%20PISA-%20measures%20 reading%20 literacy.pdf

OECD.（n.d.）. *First results from PISA 2003: Executive summary*. https://www.oecd.org/education/school/programmeforinternationalstudentassessmentpisa/34002454.pdf

Rumelhart, D. E. & Ortony, A.（1977）. The representation of knowledge in memory. In Anderson, R.C., Spiro, R. J., & Montague, W. E.（Eds）, *Schooling and the acquisition of knowledge*. Hillsdale, NJ: Lawrence Erlbaum. http://dx.doi.org/10.4324/9781315271644-10

Thorndyke, P. W.（1977）. Cognitive structures in comprehension and memory of narrative discourse. *Cognitive Psychology, 9*（1）, 77-110. http://dx.doi.org/10.1016/0010-0285（77）90005-6

Yamashita, J.（2002）. Mutual compensation between L1 reading ability and L2 language proficiency in L2 reading comprehension. *Journal of Research in Reading, 25*（1）, 81-95. http://dx.doi.org/10.1111/1467-9817.00160

国立教育政策研究所（2007）. *PISA2006 年調査　評価の枠組み：OECD 生徒の学習到達度調査*. ぎょうせい.

文部科学省（2005a）. *読解力向上プログラム*. https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/031/shiryo/05120201/007.htm

文部科学省（2005b）. *PISA 調査（読解力）の公開問題例*. http://www.ocec.ne.jp/linksyu/pisatimss/dokkairyoku.pdf

文部科学省（n.d.a）. *1PISA 調査における読解力の定義，特徴等*. https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryo/1379669.htm

文部科学省（n.d.b）. *5 指導の改善の方法*. https://www.mext.go.jp/ a_menu/shotou/gakuryoku/siryo/1379682.htm

文部科学省（n.d.c）. *OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）：2000 年調査国際結果の要約*. https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/index 28.htm

新村出（編）.（2018）. *広辞苑*（第七版）（2018 年 1 月編）. 岩波書店.

渡辺誠治.（2011）. 日本語プレースメントテスト活用の可能性. *リメディアル教育研究，6*（1）. 16-20.

（原稿受付　2021 年 10 月 26 日）

Appendix

図1は、北アフリカのサハラ砂漠にあるチャド湖の水位変化を示しています。チャド湖は、最後の氷河時代の紀元前20000年ごろに完全に姿を消しましたが、紀元前11000年ごろに再び出現しました。現在のチャド湖の水位は、西暦1000年とほぼ同じです。

図1

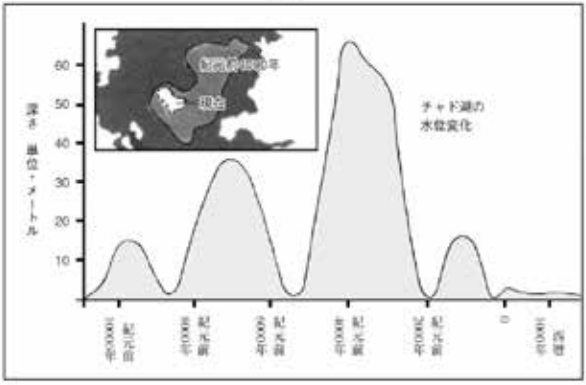
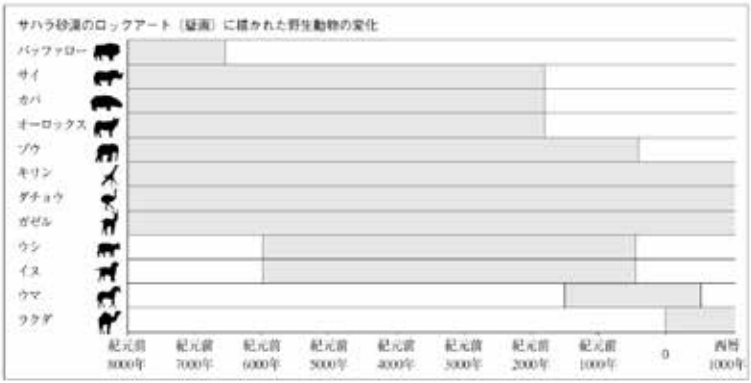


図2は、サハラ砂漠のロックアート（洞窟（どうくつ）の壁に描かれた古代の壁画）とそれに描かれた野生動物の変化を示しています。

図2



出典：Copyright Bartholomew Ltd. 1988. Extracted from The Times Atlas of Archaeology and reproduced by permission of Harper Collins Publishers.

前ページのチャド湖に関する情報を用いて、問１～５に答えてください。

問１　現在のチャド湖の水深は何メートルですか。　【正答：A】

A　約 2 メートル
B　約 15 メートル
C　約 50 メートル
D　チャド湖は完全に姿を消している。
E　情報は与えられていない。

A～E から選んで記号を書いてください。

問２　図１のグラフは約何年から始まっていますか。

【正答:紀元前 11,000 年　（紀元前 10,500～12,000 年）】

約　　年

問３　筆者は、このグラフの始まる年として、どうしてこの年を選んだのですか。

【正答：チャド湖が再び出現した年だから】

から書き始めてください

問４　図２は、ある仮定に基づいています。その仮定を以下から一つ選んでください。

【正答：A】

A　ロックアートに描かれている動物は、それらが描かれたときにこの地域に存在していた。
B　動物を描いた芸術家たちは高い技術をもっていた。
C　動物を描いた芸術家たちは広い範囲を移動することができた。
D　ロックアートに描かれた動物を家畜にしようとする試みはなかった。

A～D から選んで記号を書いてください。

問５　この問いに答えるには、図１と図２から得た情報をまとめる必要があります。サハラ砂漠のロックアートからサイ、カバ、オーロックスが姿を消したのは、以下のどの時期ですか。一つ選んでください。　【正答：C】

A　最後の氷河時代の始め
B　チャド湖の水位が最高だった期間の中ごろ
C　チャド湖の水位が 1000 年間以上にわたって低下し続けた後
D　とぎれることのない乾期の始め

A～D から選んで記号を書いてください。

落 書 き

学校の壁の落書きに頭に来ています。壁から落書きを消して塗り直すのは、今度が 4 度目だからです。創造力という点では見上げたものだけれど、社会に余分な損失を負担させないで、自分を表現する方法を探すべきです。

禁じられている場所に落書きするという、若い人たちの評価を落とすようなことを、なぜするのでしょう。プロの芸術家は、通りに絵をつるしたりなんかしないで、正式な場所に展示して、金銭的援助を求め、名声を獲得するのではないでしょうか。

わたしの考えでは、建物やフェンス、公園のベンチは、それ自体がすでに芸術作品です。落書きでそうした建築物を台なしにするというのは、ほんとに悲しいことです。それだけではなくて、落書きという手段は、オゾン層を破壊します。そうした「芸術作品」は、そのたびに消されてしまうのに、この犯罪的な芸術家たちはなぜ落書きをして困らせるのか、本当に私は理解できません。

ヘルガ

十人十色。人の好みなんてさまざまです。世の中はコミュニケーションと広告であふれています。企業のロゴ、お店の看板、通りに面した大きくて目ざわりなポスター。こういうのは許されるでしょうか。そう、大抵は許されます。では、落書きは許されますか。許せるという人もいれば、許せないという人もいます。

落書きのための代金はだれが払うのでしょう。だれが最後に広告の代金を払うのでしょう。その通り、消費者です。

看板を立てた人は、あなたに許可を求めましたか。求めていません。それでは、落書きをする人は許可を求めなければいけませんか。これは単に、コミュニケーションの問題ではないでしょうか。あなた自身の名前も、非行少年グループの名前も、通りで見かける大きな製作物も、一種のコミュニケーションではないかしら。

数年前に店で見かけた、しま模様やチェックの柄の洋服はどうでしょう。それにスキーウェアも。そうした洋服の模様や色は、花模様が描かれたコンクリートの壁をそっくりそのまま真似たものです。そうした模様や色は受け入れられ、高く評価されているのに、それと同じスタイルの落書きが不愉快とみなされているなんて、笑ってしまいます。

芸術多難の時代です。

ソフィア

前ページの二つの手紙は、落書きについての手紙で、インターネットから送られてきたものです。落書きとは、壁など所かまわず書かれる違法な絵や文章です。この手紙を読んで、問１～４に答えてください。

問 1　この二つの手紙のそれぞれに共通する目的は、次のうちどれですか。　【正答：B】
A　落書きとは何かを説明する。
B　落書きについて意見を述べる。
C　落書きの人気を説明する。
D　落書きを取り除くのにどれほどお金がかかるかを人びとに語る。

A～D から選んで記号を書いてください。

問２　ソフィアが広告を引き合いに出している理由は何ですか。
【正答：（広告を引き合いに出して）落書きを擁護するため
落書きと広告を比較/　広告は落書きの合法的な一形態】

から書き始めてください

問３　あなたは、この 2 通の手紙のどちらに賛成しますか。片方あるいは両方の手紙の内容に触れながら、自分なりの言葉を使ってあなたの答えを説明してください。
【正答：筆者の意見を正しく解釈、言い換え、
手紙の内容にふれながら自分の意見を述べている】

から書き始めてください

問４　手紙に何が書かれているか、内容について考えてみましょう。
手紙がどのような書き方で書かれているか、スタイルについて考えてみましょう。
どちらの手紙に賛成するかは別として、あなたの意見では、どちらの手紙がよい手紙だと思いますか。片方あるいは両方の手紙の書き方にふれながら、あなたの答えを説明してください。
【正答：手紙のスタイル（文体・論旨の展開・説得力・論調・用語 etc）について
自分の意見を述べている】

から書き始めてください

楽しく走れるランニングシューズ

フランスにあるリヨン・スポーツ医学研究所は、14 年間にわたり、スポーツをしている青少年やプロスポーツ選手のけがについて研究してきました。研究の結果、けがをしない最もよい方法は予防することで、それには良いシューズをはくことという結論がでました。

衝突、転倒、すり切れ.

スポーツに親しんでいる 8～12 歳の子供のうち、18%がすでにかかとに損傷を抱えています。サッカー選手の足首の軟骨は衝撃に対してうまく反応せず、プロ選手の 25%は特にそれが弱点であると自分でも気付いています。痛めやすいひざ関節の軟骨もまた、致命的な損傷を負う可能性があり、まさに少年時代（10～12 歳）から注意しないと、これが原因で早くから骨関節炎に苦しむ可能性があります。股関節（こかんせつ）も負傷と無縁ではなく、特に疲労している場合、転倒または衝突によって骨折する危険があります。

この調査によれば、10 年以上プレーしてきたサッカー選手は、すねまたはかかとのいずれかの骨が突出しています。これが「サッカー足」と言われているもので、くつ底と足首部分が柔らかすぎるシューズをはいていることに起因する変形です。

保護、サポート、安定、吸収

シューズがかたすぎると、動きを制限されます。また柔らかすぎると、けがやねんざの危険が増大します。 良いスポーツシューズとは、次の四つの基準を満たしていなければなりません。

第 1 に、***外部からの保護***、つまりボールや他の選手との衝突から保護し、グランドのでこぼこに対処し、こごえるような寒い日や雨の日でも足を暖かく、乾いたままに保たなければなりません。

次に、***足***、特に足首の関節を***サポート***して、ねんざ、はれその他の問題の発生を防ぐこと。これはひざにまで悪影響を及ぼしかねないからです。また、選手にとって十分な***安定性があり***、ぬれたグランドでスリップしたり、カラカラに乾燥した地面ですべることがあってはなりません。

最後に、特にバレーボールやバスケットボールの選手は、常にジャンプをしてるので、強い衝撃を受けています。***衝撃を吸収***しなければなりません。

足の乾燥

足の豆、さらにはひび割れや水虫（菌性感染）などの小さいけれどもつらい症状を予防するため、シューズは、汗を発散させ、外部の湿気が浸入するのを防がなければなりません。これに最適な素材は皮です。皮は防水加工をすれば、雨にぬれた時にシューズに水がしみ込むのを降りはじめなら防ぐことができます。

前ページの課題文を読んで、問１～４に答えてください。

問１　筆者がこの文章で言おうとしているのは次のうちどれですか。　【正答：D】

A　多くのスポーツシューズの品質が大きく向上したこと

B　12 歳以下の場合は、サッカーをしないのが一番良いこと

C　若者が、身体能力が低いためにますますけがに悩むようになっていること

D　若いスポーツ選手にとって、良いスポーツシューズの着用が非常に大切であること

A～D から選んで記号を書いてください。

問２　課題文によれば、スポーツシューズがかたすぎるといけない理由は何ですか。
【正答：動きが制限されること】

から書き始めてください

問３　課題文の一部に「良いスポーツシューズとは、次の四つの基準を満たしていなければなりません」と書いてあります。これらの基準を記してください。
【正答：（1）外部から保護する　（2）足をサポートする
（3）十分な安定性がある　（4）衝撃を吸収する】

から書き始めてください

問４　課題文の終わり近くにある、次の文を見てください。ここでは以下のように二つに分けて示します。

「足の豆、さらにはひび割れや水虫（菌性感染）などの小さいけれどもつらい症状を予防するため・・・」　*（第１部分）*

「・・・シューズは、汗を発散させ、外部の湿気が侵入するのを防がなければなりません」　*（第２部分）*

この文で第１部分と第２部分は、次のうちどのような関係にありますか。【正答：D】
第２部分は

A　第１部分と矛盾している。

B　第１部分を繰り返している。

C　第１部分で取り上げた問題を例示している。

D　第１部分で取り上げた問題の解決策を示している。

A～D から選んで記号を書いてください。

〈論　文〉

スペイン語の形容詞慣用句 ‘sano y salvo’*

小　池　和　良

要　旨

本稿の目的はスペイン語の形容詞慣用句‘sano y salvo’の使用環境を分析して，その統語的な振る舞いの特異性を明らかにすることである。‘sano y salvo’の主な特徴を以下に挙げる：

1)　名詞に言及する点においては他の形容詞慣用句と共通しているが，大部分の形容詞慣用句と違って，付加的に名詞を修飾することができない：
*los rehenes sanos y salvos（cf. un hombre hecho y derecho）

2)　名詞に言及する際は，動詞もしくは動詞派生名詞との共起が義務的である。例外的なケースとして‘con’が導く前置詞句でも使用される。

3)　連結動詞・擬似連結動詞と共起する場合は属詞としての，語彙的意味を持つ動詞と共起する場合は，主語または直接補語に言及する叙述補語としての統語機能を果たす。

4)　動詞派生名詞が核となる名詞句内で，前置詞に導入される名詞句の叙述補語，場合によっては所有形容詞の叙述補語として機能する：
el rescate *sanos y salvos* de los rehenes（前置詞補語の叙述補語）
su rescate *sanos y salvos*（所有形容詞の叙述補語）

キーワード：‘sano y salvo’，形容詞慣用句，属詞，叙述補語，名詞化

* 本稿は 2021 年 10 月 9 日～10 日にオンライン形式で開催された「日本イスパニヤ学会第 67 回大会」で「形容詞慣用句 ‘sano y salvo’」という題目で行なった研究発表の草稿に加筆・訂正を加えたものである。有益な意見を与えて下さった参加者の方々に感謝の意を表します。またスペイン語の用例を母語話者としてチェックしてくださった Germán Miguez 氏に謝意を表します。

1 目 的

本稿ではスペイン語の形容詞慣用句‘sano y salvo’（以下，SYS と記す）を考察の対象とする。形容詞慣用句は，「形容詞と同じ統語機能を持つ語彙化した語句である」（NGLE: 1017，§13.18a）(1)。形容詞慣用句(2) は統語的には名詞を付加的に修飾する場合と，動詞を介して名詞の属詞もしくは叙述補語として機能する場合があるが，SYS は後者でしか用いられない。つまり，多くの形容詞慣用句と違って，この慣用句は，（1）に示すように付加的に名詞を修飾することができない。

（1） *los rehenes sanos y salvos（cf. un hombre hecho y derecho）

本稿の目的はスペイン語の形容詞慣用句 SYS の統語的な使用環境を分析して，その統語的な振る舞いの特異性を明らかにすることにある。

コーパスとしてスペイン王立アカデミー（Real Academia Española）が提供するデータベース CORPES XXI に収録されている 501 の SYS の用例を分析したが，他の辞書，データベースも随時参照した。

（1） “Las locuciones adjetivas o adjetivales son grupos lexicalizados que se asimilan a los adjetivos en su funcionamiento sintáctico”（NGLE: 1017, §13.18a）.

（2） 形容詞慣用句に関しては，以下を参照されたい。Casares（1950: 177）; Zuluaga（1980: 155-157）; Corpas Pastor（1996: 97-99）; García-Page Sánchez（2008: 115-119）; NGLE（1017-1021, §13.18）; Penadés Martínez（2012: 100-115）. 形容詞慣用句に関する個別的な研究として Nieto Ruiz（2014）がある。Castillo Carballo（2000a; 2000b）は形容詞機能と副詞機能を兼ねた慣用句に関する，また，Martínez López y Jørgensen（2014）は形容詞慣用句と動詞慣用句の辞書における記述に関する論考である。

2　形容詞慣用句と副詞慣用句

形容詞慣用句は，その統語機能から2種類に大別できる[(3)]。形容詞としての機能しか持たない慣用句（本来的形容詞慣用句）と形容詞もしくは副詞として使われる慣用句（形容詞兼副詞慣用句）である。

慣用句の認定はどの基準を採用するかによって異なる。表1は主な辞書に収録されている形容詞慣用句と副詞慣用句の数の分布を示している。Aは本来的形容詞慣用句，Bは形容詞兼副詞慣用句（もしくは副詞兼形容詞慣用句），Cは本来的副詞慣用句の数である。

表1

	A	B	C
例	*como puños*	*en cadena, en abanico*	*como agua de mayo*
DCPEC	93	314	449
DFDEA	903	468	2922
DLA/DLNAP	432	152	1462

Aグループは，名詞を修飾するという形容詞に特有の性質を有し，副詞的に用いられることのない形容詞慣用句である。例えば，verdades como puños（正真正銘の事実）の‘como puños’はこのグループに属する。本稿の分析対象であるSYSはこのタイプの慣用句である。

Bグループは形容詞慣用句と副詞慣用句を兼ねたものである。形容詞慣用句であるが，副詞慣用句としても使われるもの（例：en cadena, a media asta）（NGLE §13.18a）[(4)]と，副詞慣用句であるが，形容詞慣用句としても

（3）　形容詞慣用句の形式的分類に関しては，García-Page Sánchez（2008: 115–119）を参照されたい。

（4）　Muchas de ellas（=las locuciones adjetivas）presentan la estructura

使えるもの（例：en abanico, al rojo vivo）も含まれている。名詞を修飾する場合は形容詞慣用句，動詞を修飾する時は副詞慣用句となる。例えば，‘en profundidad’[(5)] は‘un análisis en profundidad’（綿密な分析）では‘análisis’を修飾する形容詞慣用句であり，‘analizar en profundidad’（綿密に分析する）では‘analizar’を修飾する副詞慣用句である[(6)]。

Cグループは，形容詞的に用いられることのない副詞慣用句である[(7)]。

3　形容詞慣用句の統語機能

形容詞慣用句は形容詞の機能を果たす。形容詞の統語機能は付加的に名詞を修飾するか（NGLE: 909, §13.1m），ser などの動詞を介して名詞句を叙述する属詞機能（NGLE: 909, §13.1l）の2つである。形容詞慣用句の統語機能もこれに準ずる。属詞機能を果たす文の要素には属詞と叙述補語が

---

sintáctica de los grupos preposicionales y pueden ser, a su vez, locuciones adverbiales（NGLE: 1017, §13.18a）.

（5） RAE の DLE では，以下のように，en profundidad は loc. adv.（副詞慣用句）で提示されて，U. t. c. loc. adj.（形容詞慣用句としても使用）という補足が付いている。

en profundidad 1. loc. adv. De forma completa, con el mayor cuidado y rigor. *La obra analiza en profundidad el problema del paro.* U. t. c. loc. adj.

（6） NGLE（1017, §13.18a）は以下のペアを挙げている：analizar en profundidad ~ análisis en profundidad; cocinar a la griega ~ arroz a la griega; jurar en falso ~ juramento en falso; hablar en serio ~ conversación en serio; redactar en sucio ~ redacción en sucio; retransmitir en vivo ~ retransmisión en vivo; vestir de gala ~ vestido de gala（NGLE §13.18a）. これ以外に，次の慣用句も同じ振る舞いをする：a bocajarro, a bote pronto, a brazo partido, a cámara lenta, a capa y espada, a cara descubierta, cara o cruz, a carta cabal, a cobro revertido, a comisión, a corazón abierto, al pie de la letra.

（7） 表1のAとBの和が形容詞慣用句の数，BとCの和が副詞慣用句の数となる。尚，表1の数は慣用句別ではなく，語義別の数である。

あるので，形容詞慣用句は「名詞の修飾語」「属詞」「叙述補語」の 3 機能を果たす。

3.1　名詞の修飾語

（2）（3）に現れる形容詞慣用句（下線部）は，名詞（イタリック部）を修飾し，名詞句の一部である。

（2）　Estaba fichado por la policía, acusado de *estafas* de poca monta. (DLNAP, *de poca monta*)（下線部筆者，以下同様）

（3）　Pero, Magali, siempre fue una *mujer* de armas tomar (...). (CORPES)

3.2　属詞

形容詞と同様に，形容詞慣用句は，連結動詞・擬似連結動詞を介する場合に属詞として使われる。

（4）　El Maestro dice que en tu tierra *las mujeres* son de armas tomar. (CORPES)

（5）　Con una tienda en Helsinki, *esta firma* continúa en activo produciendo los muebles... (CREA)

3.3　叙述補語

形容詞慣用句は，語彙的意味を持つ動詞と用いられる場合は叙述補語[8]として機能する。主に，自動詞と共起する場合は主語に言及する（用例

（8）　叙述補語という名称は，NGLE（2864: §38.6a）によれば，伝統文法がフランス語伝統文法から採った用語で，属詞の異形である。この用語を避けて，「主語の属詞」「直接補語の属詞」という言い方を用いる文法家もいる。

（6）），他動詞と使われる場合は直接補語に言及する叙述補語の機能を果たす（用例（7））。

（6） *La mercancía* llegó hecha una lástima.（DS, *lástima*）（主語に言及）

（7） ¿Televisan *el partido* en abierto?（DCPEC, *en abierto*）（直接補語に言及）

4 sano y salvo

4.1 意味と形式

SYS は人にも事物にも言及できる。人に言及するときは「無事に」の意味を示し，事物（形のある物）に言及するときは「無傷の，損傷のない」の意味を表す(9)。

（8） Los 21 tripulantes del sumergible se encuentran sanos y salvos.（DFDEA, *sano y salvo*）

（9） No te preocupes, los muebles llegaron a casa enteros, sanos y salvos.（DS, *entero*）

形式的にはSYSは言及する名詞と性数一致する。つまり，‘sano y salvo’, ‘sana y salva’, ‘sanos y salvos’, ‘sanas y salvas’ の形で使われる（用例(10)(11)）。しかし，‘sano’ と ‘salvo’ の語順を入れ替えることはできない（*salvo y sano）。

（9） DFDEA の定義を以下に示す：［Pers.］que se encuentra en perfecto estado tras superar un peligro físico. 2.［Cosa］intacta o que se encuentra en perfecto estado tras superar un peligro.

（10） Todos llegamos sanos y salvos（*salvos y sanos）- volvió a decir.（CORPES）

（11） Las cuatro expedicionarias salimos sanas y salvas（*salvas y sanas）.（CORPES）

4.2 統語機能

SYS は形容詞慣用句であるにもかかわらず，(12)のように「名詞の修飾語」として使われることはない。これはこの慣用句の大きな特徴である。

（12） *Los rehenes sanos y salvos se sintieron aliviados.

この点において，同じ「形容詞 +y+ 形容詞」の統語構造を持つ ‘hecho y derecho’, ‘corriente y moliente’ とは対照的である。これらの形容詞慣用句は(13)(14)のように，名詞の修飾語として用いられるからである。

（13） Tu hijo ya es un hombre hecho y derecho.（DGLEV, *hecho*）

（14） Tiene una casa corriente y moliente.（DS, *corriente*）

SYS は前章で述べた「属詞」もしくは「叙述補語」の機能だけを果たす。このいずれの機能も動詞との共起が義務的である[10]。換言すると，SYS は動詞を媒介として名詞について言及する慣用句である。

また，この慣用句と共起する動詞には意味的な制限がある。REDES は SYS と共起する 36 個の動詞を以下の 6 つの意味グループに分類して提示している（日本語部分は拙訳）。

（10） 動詞が名詞化して動詞派生名詞と使われる場合については後述する。

A．救出・救助・解放を示す動詞：recuperar, rescatar, liberar, recoger, repatriar[11], sacar

B．到着・出現・帰還を示す動詞：llegar, aparecer, regresar, retornar, volver, nacer, aterrizar, bajar, caer, reaparecer, arribar, emerger

C．遭遇・発見を示す動詞：localizar, encontrar, hallar

D．出発・逃走を示す動詞：salir, escapar, abandonar, marchar, evacuar

E．状態を示す動詞：permanecer, seguir, quedar

F．移動・運搬・引き渡しを示す動詞：devolver, traer, dejar, entregar, llevar, trasladar, reintegrar

共起する動詞の種類によって，統語機能が二つに分かれる。以下，「属詞」の場合と「叙述補語」の場合に分けて考察する。

1）属詞

連結動詞や擬似連結動詞と使われる場合は，主語の属詞である。この場合は文の義務的要素（項）である（(15)(16)を参照）。

(15) “Pero gracias a Dios, la madre *está* sana y salva”, añadió para consolarla.（CORPES）

(16) El periodista del diario británico（...）ha sido puesto en libertad y *se encuentra* sano y salvo, según ha confirmado el propio periódico.（CORPES）

REDES の E グループの動詞（状態を示す動詞）と使われるときは，SYS

(11) SYS と下線部の動詞との使用例は CORPES にはなかった。

は属詞として働く。CORPES の SYS の 501 例のうち 89 例（17.8%）が属詞として使われている(12)。

2）叙述補語

それ以外の語彙的意味を持つ動詞（REDES の E グループ以外の動詞）と使われるときは，主語もしくは直接補語に言及する叙述補語として使われる。この場合は，文の任意の要素で，SYS を削除しても，動詞の語彙的意味は維持される（NGLE: 2872, §38.7a）。(17)(18)は主語に言及する叙述補語，(19)(20)は直接補語に言及する叙述補語としての SYS の使用例である。

(17)　Conseguimos *llegar* sanos y salvos, después de un accidentado viaje en autobús.（DS, *sano*）

(18)　Hubo muchas turbulencias durante el vuelo, pero *aterrizamos* sanos y salvos.（DCPEC, *sano y salvo*）

(19)　Tras el derrumbre, *rescataron* a varios niños sanos y salvos.（DCPEC, *sano y salvo*）

(20)　Los secuestradores *devolvieron* sano y salvo al rehén.（DCPEC, *sano y salvo*）

CORPES の SYS の 501 例のうち 382 例（76.2%）が叙述補語として使われている。

(12)　CORPES の 501 例の SYS の機能別の分布を以下に示す。B・C については後述（4.4, 4.5 参照）する。E の「その他」は新聞の見出しや曲名のタイトルなどに使われている例で，本稿の考察の対象外とする。

A	動詞句内の叙述補語	382 例
B	名詞句内（名詞化）の叙述補語	12 例
C	前置詞句内の叙述補語	6 例
D	連結動詞文の属詞	89 例
E	その他	12 例

以上から，SYS は属詞もしくは叙述補語としてしか用いることのできない形容詞慣用句であると言える。統語的な使用環境がこのように限定されている形容詞慣用句は，DFDEA・DLNAP・DCPEC には存在しない。例えば，形容詞慣用句‘en activo’は属詞としても（用例 (21)），名詞の修飾語としても用いられる（用例 (22)）。

(21) Con una tienda en Helsinki, esta firma continúa en activo produciendo los muebles…（CREA）

(22) una encuesta dirigida a los trabajadores en activo del sector agrario.（DCPEC, *en activo*）

「名詞の修飾語」として使用できない点，連結動詞・擬似連結動詞もしくは特定の意味特徴を持つ動詞を介して名詞（句）に言及する点において，SYS は他の形容詞慣用句と一線を画している。

なお，叙述補語としての SYS の意味は，NGLE（2865: §38.6a）による叙述補語の 4 タイプの意味分類の中の「結果」を示す(13)。

4.3 名詞句内の SYS（名詞化）

SYS のもう一つの特異性は，共起する動詞の名詞化が可能という点である。名詞化の結果，SYS は名詞句内で叙述補語として機能する。(23)の下線部は SYS を叙述補語としてとる動詞の名詞化の例である。

(23) Quiero informarle al país que emplearemos todos los recursos

(13) 以下の 4 タイプである（日本語訳，下線部は筆者）：
1．付随的叙述補語: Esta crema se sirve fría.
2．原因を示す叙述補語: Murió fusilado.
3．条件・様態を示す叙述補語: Lo preferiría más pequeño.
4．結果を示す叙述補語: La hierba crece alta.

que sean necesarios por el tiempo que sea necesario hasta lograr el rescate sanas y salvas de estas 190 personas ... (CORPES)

(23)では SYS は‘rescate’ではなく‘estas 190 personas’と性数一致している。このことは，この慣用句が前置詞 de に導入される‘estas 190 personas’の叙述補語であることを示している。(23)の名詞句（下線部）は(24)に対応する名詞句である。

(24)　Rescatan sanas y salvas a estas 190 personas.

ところで，Penadés Martínez (2012: 104) は，この SYS を叙述補語ではなく，(25)を例示して「名詞句の修飾語の機能を果たす」と述べている(14)。

(25)　lograrían la recuperación de la niña, sana y salva, y sin que sus padres pagaran una sola peseta por su rescate. (Ejemplo citado por Penadés Martínez)

しかし，(25)の‘sana y salva’は動詞派生名詞‘recuperación’を介して‘la niña’に言及する叙述補語である。つまり，‘recuperar a la niña sana y salva’が名詞化したと考えられる。これは，この名詞句が‘su recuperación sana y salva’と言えることからも明らかである。所有形容詞による置換（代名詞化）については次節 (4.4) で考察する。

SYS が名詞句内で叙述補語として使われる他の用例を以下に挙げる。いずれも REDES が示している動詞（retornar, rescatar, entregar, devolver, liberar）の派生名詞が使われている。括弧内に対応する動詞句を示す。

(14)　[...] también se puede encontrar algún ejemplo en que (*sano y salvo*) desempeña la de modificador del sintagma nominal (Penadés Martínez 2012: 104).

(26) (...) pero dijo que además de ello “nuestra mayor prioridad es el retorno sanos y salvos de los tres rehenes estadounidenses” capturados por las FARC hace tres años. (CORPES) (< retornar los tres rehenes estadounidenses sanos y salvos)

(27) El rescate, sanos y salvos, de los rehenes se produjo en una zona montañosa de (...) (CREA) (< rescatar sanos y salvos a los rehenes)

(28) (...) con las garantías del Gobierno que aseguren la entrega, sanos y salvos, de los secuestrados, para poner fin a este terrible drama. (CORPES) (< entregar a los secuestrados sanos y salvos)

(29) Además de la reivindicación lingüística dirigida al Gobierno argelino, los bereberes de Kabilia exigen “la devolución, sano y salvo” del cantante Lunes Matub, secuestrado el pasado 25 de septiembre en un bar de Tizi-Ouzou. (CREA) (< devolver al cantante sano y salvo)

(30) (...) además de la liberación sanos y salvos de los tres soldados israelíes secuestrados por Hamás e Hizbolá. (CORPES) (< liberar sanos y salvos a los tres soldados israelíes secuestrados...)

CORPES の SYS の 501 例のうち名詞化の用例は 12 例であった。

4.4 所有形容詞の叙述補語

前置詞 de に導入される名詞句の叙述補語であるということは,「de + 名詞句」が所有形容詞になった場合に, 所有形容詞の叙述補語になりうることを示している。実際に, SYS は(31)(32)のように所有形容詞に言及する場合がある。

(31) Volvió a mirar a doña Virginia y asombrado por **su** aparición,

sana y salva después de los disparos, se volvió hacia el sillón.（CORPES）

（32） Rechazaron la pretensión del ejército de rescatarlos por la fuerza, y pidieron a este organismo humanitario, al Comité Internacional de la Cruz Roja（CICR）y a la Comisión de Reconciliación Nacional, buscar un diálogo con los rebeldes para procurar **su** liberación sanos y salvos.（CREA）

SYS が所有形容詞の叙述補語として使われるまでの過程を以下に示す：

Doña Virginia apareció sana y salva > la aparición, sana y salva, **de doña Virginia** > **su** aparición, sana y salva

Los liberarán sanos y salvos > la liberación **de ellos** sanos y salvos > **su** liberación sanos y salvos

NGLE（2888: §38.9k）は名詞句内の叙述補語と，名詞の修飾語との違いに言及している。叙述補語では，所有詞による置換が可能だが（用例(33)），名詞の修飾語はこの置換ができない（用例(34)）[15]：

（33） Narra en su libro el regreso de los exploradores *heridos y aterrorizados*.（NGLE: 2888: §38.9k）['heridos y aterrorizados'

(15) NGLE（2888, §38.9k）によれば，他動詞，状態や場所の変化を示す自動詞（ほとんどの場合，非対格動詞）が叙述補語をとる場合は，名詞化された名詞句内でも同じ叙述補語をとり，所有詞による置換が可能である。以下の例は同書からの引用である（下線部が叙述補語）：

la deportación（< deportar）**de los ciudadanos** desarmados e indefensos > **su** deportación desarmados e indefensos

el desarrollo（< desarrollarse）**de las niñas** fuertes y sanas > **su** desarrollo fuertes y sanas

la huida（< huir）**de los sospechosos** armados hasta los dientes > **su** huida armados hasta los dientes

は‘exploradores’の叙述補語］

（負傷し恐怖にとらわれた探検家たちの帰還）（拙訳）

> Narra su regreso *heridos y aterrorizados*（負傷し恐怖にとらわれた彼らの帰還）（拙訳）

(34) Contaba el regreso de los exploradores *enviados* > *Contaba su regreso *enviados*.（NGLE: 2888: §38.9k）［‘enviados’は‘exploradores’の修飾語］

以上から，SYS は所有詞による置換が可能なので，名詞句内で叙述補語として機能していることが確認できる(16)。

4.5 前置詞句内の SYS

最後に，前置詞句内で叙述補語として使われる SYS について触れておく。

(35) Fueron diez minutos en los que permanecimos allí nosotros dos solos, mirando fijamente la puerta del quirófano, deseando ardientemente que se abriera de una vez *con nuestras dos chicas sanas y salvas*.（CORPES）

(35)の下線部は，名詞化の結果でもなく，‘sanas y salvas’が‘nuestras dos chicas’を修飾して名詞句を形成しているわけでもない。この‘sanas

(16) ‘sano y salvo’と類似の意味を持つ形容詞‘ileso’（DLE: ‘que no ha recibido lesión o daño’）も同じ統語的振る舞いを示す。この形容詞は通常は salir, resultar と使われるが，salir ileso（de）が名詞化して ileso が所有詞の叙述補語として使用される場合がある：“Hemos recibido con suma alegría la noticia de su salida ileso del trágico accidente de ayer tarde al recibir un disparo por accidente”, indica el presidente saharaui.（Spanish Web 2018: esTenTen18）

y salvas’ は前置詞 ‘con’ で始まる前置詞句内の叙述補語で，‘nuestras dos chicas’ に言及している[17]。このことは代名詞による置換が ‘con ellas’ ではなく，‘con ellas sanas y salvas’ となることから確認できる（NGLE 2884-2886: §38.9.a-c）。

CORPES の SYS の 501 例のうち 6 例（1.2%）が前置詞句内の叙述補語として使われていた。

5　まとめ

SYS は，統語的に特異な形容詞慣用句である。その特異性を以下にまとめる：

1）　多くの形容詞慣用句と異なり，単独で名詞の修飾語として使われることはない。換言すると，「名詞＋形容詞慣用句」の名詞句を作ることはできない。
2）　名詞句に言及する際は，動詞（あるいはその動詞派生名詞）を必要とする。換言すると，SYS が名詞句を叙述するためには，動詞もしくは動詞派生名詞との共起が義務的である。例外的なケースとして，con が導く前置詞句でも使用される。
3）　統語的には属詞もしくは叙述補語としてのみ用いられる。連結動詞もしくは擬似連結動詞と使われる場合は属詞で，語彙的意味を持つ動詞と共起する場合は，主語または直接補語に言及する叙述補語として機能する。
4）　SYS が叙述補語のとき，動詞句は名詞化が可能である。名詞化さ

(17)　NGLE（2884-2886: §38.9.a-c）は前置詞 con, sin に導入される前置詞句内の叙述補語の統語的特徴を詳述している。

れた名詞句内においてもSYSは叙述補語の機能を維持する。この場合は，前置詞 de に導入される補語の叙述補語として機能するが，所有形容詞の叙述補語になる場合もある。

> el rescate, *sanos y salvos*, **de los rehenes**（前置詞補語の叙述補語）

> **su** rescate *sanos y salvos*（所有形容詞の叙述補語）

辞書・コーパスの略語リスト

CORPES=Real Academia Española: Banco de datos (CORPES XXI) [en línea]. *Corpus del Español del Siglo XXI* (CORPES). 〈http://www.rae.es〉[6 de junio de 2021]

CREA=*Corpus de Referencia del Español Actual,* Real Academia Española. 〈http://www.rae.es/〉[junio de 2021]

DCPEC=Bosque, I.（dir.）(2006), *Diccionario combinatorio práctico del español contemporáneo,* Madrid: Ediciones S.M.

DFDEA=Seco, M.; Olimpia, A.; Ramos, G.（2005）, *Diccionario fraseológico documentado del español actual*, Madrid: Aguilar.

DGLEV=*Diccionario general de la lengua española Vox*, versión electrónica,「辞書」ver.2.3.0（©2005-2020 Apple Inc.）に収録

DLA=Penadés, Martínez, I.（2005）, *Diccionario de locuciones adverbiales para la enseñanza del español*, Madrid: Arco/Libros.

DLNAP=Penadés, Martínez, I.（2008）, *Diccionario de locuciones nominales, adjetivas y pronominales para la enseñanza del español*, Madrid: Arco/Libros.

DFEM=Varela, F. y Kubarth, H.（1994）, *Diccionario fraseológico del español moderno*, Madrid: Gredos.

DS=Gutiérrez Cuadrado, J.（dir.）(1996), *Diccionario Salamanca de la lengua española*, Madrid: Santillana.

REDES=Bosque, I.（dir.）(2002), *REDES. Diccionario combinatorio del español contemporáneo,* Madrid: Ediciones S.M.

Spanish Web 2018: esTenTen18, *Sketch Engine database*, URL: https://app.sketchengine.eu/#dashboard?corpname=preloaded/estenten18_fl5

参考文献

Casares, J.（1950）, *Introducción a la lexicografía moderna*, Madrid: C.S.I.C.

Castillo Carballo, M.ª A.（2000a）, «Un nuevo tipo de locuciones: Las adjetivo-adverbiales», A. Pamies Bertrán y J. de Dios Luque Durán（eds.）*Trabajos de lexicografía y fraseología contrastivas*, 137-143.

_____（2000b）, «Función adjetival y adverbial de algunas locuciones», *Español actual*, 73, 57-64.

Corpas Pastor, G.（1996）, *Manual de fraseología española*, Madrid: Gredos.

García-Page Sánchez, M.（2008）, *Introducción a la fraseología española. Estudio de las locuciones*, Barcelona: Anthropos.

Koike, K.（2001）, *Colocaciones léxicas en el español actual: estudio formal y léxico-semántico*, Madrid/ Tokio: Univ. de Alcalá/ Takushoku Univ.

Martínez López, J.A. y Jørgensen, A.（2014）, «Las locuciones adjetivas y verbales en un diccionario fraseológico de producción», *Anuario de Estudios Filológicos*, vol. XXXI, 69-83.

Nieto Ruiz, L.F.（2014）, «Las locuciones adjetivales en cinco diccionarios de la lengua española», *Cuadernos de lingüística hispánica*, 24, 61-84.

Penadés Martínez, I.（2012）, *Gramática y semántica de las locuciones*, Madrid: Univ. de Alcalá.

Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española（2009）, *Nueva gramática de la lengua española. Morfología y sintaxis*, Madrid: Espasa Libros.［NGLE］

Ruiz Gurillo, L.（1998）, *La fraseología del español coloquial*, Barcelona: Ariel.

Zuluaga, A.（1980）, *Introducción al estudio de las expresiones fijas*, Fráncfort a. M.-Berna, Verlag Peter D. Lang.

（原稿受付　2021 年 10 月 25 日）

〈論　文〉

ハーンとスピリチュアリズム

先　川　暢　郎

要　旨

日本人の中に息づく祖先崇拝の倫理的基盤を形づくっているものは，祖霊に対する愛の感情であり，死者は常に生者の身のまわりに存在しており，生きている者は死者に対して常に愛をささげるのである。無限の宇宙にまで連なる生命の遺伝的連鎖が愛を生み出すので，利己的な欲望は抑制されて，無私，自己犠牲といった感情が生じるのである。女性の優しさ－母性愛といった普遍の無限の感情は数えきれないほどの亡くなった母が象徴的な一人の母の中によみがえってくるのである。従って,「個」というものが解体し，消え失せても永遠に遺伝的連鎖によって生命の尊さを教えてくれるのである。人類は時を経てつながっているのである。

キーワード：霊(魂)，母性愛，祖先(霊)崇拝，輪廻転生，神と人との相互浸透性，内在有神論

序

他の国々とかくも異なる日本人の生活のまれにみる魅力は，日本の欧米化した社会には見出されえない。それは，全ての国と同様，日本において国民的美徳を代表し，愉(よろこ)ばしい古い慣習，絵画的な衣装，仏像，家庭の神棚，うるわしく感動的な祖先崇拝にいまだに固執する大いなる庶民の間に見出されるべきなのである。これこそが外国人とし

て日本を観察する者が幸運にも，共感をえて入りこむことができたならば，決して飽きることのない生活であり，我々が不遜にも西洋の進歩とみなす道筋が果たして本当に精神的発展の方向に進んでいたのかどうかと，時として，疑わざるをえない気持ちにさせる生活なのである(1)。（訳者傍点）

『知られざる日本の面影』の序文で示されるハーンの日本人の特異な魅力への傾倒にはここでも「庶民」に見いだされるべき美徳を強調している点で，民俗学者ハーンの姿を面目躍如たるものにしている。ハーンはこのように日本の（庶民の）魅力を礼賛する際，この魅力が欧米化，近代化の波の中で危うい状況にあることも切実に受け止めないわけにはいかない。そこに移ろいやすきあえかな美として「蜃気楼」の比喩を持ち込まないでいられないことになる。以下に紹介される日本の女性論，母性論も決してゆるぎない確信の上に語られるのではなく，あえかなもろさに対する懸念と常に背中合わせなのである。

Ⅰ．蓬莱現象の主役としての女性

1）優越的道徳の保持者としての女性

「蓬莱(2)」にみるハーンの蓬莱観は外的讃美にはじまり，その美はまさに霊化され内的実質にまで深化され，ハーンが日本の中にみる理想と手を組み合うのである。ハーンは自分のこのような想像を「自分もこの霊気を吸ったためであろう」と考え，それだけではなく，「死者たちがわれわれに及ぼす」「理想の魔力」を信じている。これもキリスト教の聖霊降臨を意識しつつも，それをより原始宗教的意味合いに普遍化した表現である。最後にハーンはこの霊妙な大気が「西からの邪（よこしま）な風」に吹き払われようとしていることを危惧する。この西からの風こそ，ハーンが日本の美徳をその

うち吹き払うであろうと危惧する西洋からの文明の風である。我々は女性の優しさのなかに死者が我々に及ぼす理想の魔力をかいまみるのであるが，今やこの霊気は西欧の合理と文明の風に吹きはらわれ我々の目前から消えはてようとしており，こうした切れ切れの霊気のなかにわずかに蓬莱は残っているにすぎない。蓬莱，すなわち，蜃気楼はもはや本当に現実に存在しない幻影と化し，それは芸術と夢の中でしか出会えないものとなっている。蓬莱世界の衰退現象をハーンは赤裸々になげいているのである。ハーンは蓬莱の大気（蜃気楼）の中に単なる自然現象を超えて霊魂の世界を認めようとする。こうして，先祖霊から成る蓬莱の大気は人間の感覚を変容させ，その人は蓬莱の気と一体化して蓬莱の気と同じ感情や思考をもつに至るのである。蓬莱の理想の実現を女性性にみる点は，『ファウスト』の最終部でゲーテが永遠に女性的なるものによって救われる次第に通底している。

ゲーテの『ファウスト』終幕において，人類を救う力があるのは，こうした永遠なる女性性なのである。

すべて無常のものは
ただ映像にすぎず。
及び得ざるもの
ここには実現せられ，
名状しがたきもの
ここには成し遂げられぬ
永遠なる女性は
われらを引きて昇らしむ(3)。

ゲーテは無常と永遠の狭間で永遠の真理を求めてやまなかったが，ついに永遠の女性に永遠の真理を認め，その美徳こそ人間を最終的に救いうる

力とみなしたのである。

蜃気楼がもたらす美の世界は言うまでもなく，ハーンによれば日本の民衆が発達させた真善美に基づく道徳理念であり，それは西洋の進化論的近代社会をはるかにこえた境地に到達していたのである。

> …その社会の産んだものが，こうまで人を引きつける日本のような社会状態は，じっさいに美しい蜃気楼以上のものを産んだのだということを，よく銘記しておかなければならない。あの極めて魅力的な素朴な特質は，もちろん，それは必然的にかなり凝り固まったものではあるけれども，やはりそれは，そうした社会の状態が，民衆のなかで発達させたものなのである。旧い日本は，進化の点ではそれよりはるかに進んだ西洋の社会が，何百年もかかってそうなりたいと望んでいた高い道徳の理想に，すでに一歩近く到達していたのである。あるいは，あの武家の興隆以後，千年もつづいた戦乱がなかったなら，あらゆる社会律の目標になっていた道徳の極点に，もっともっと近づいていたかもしれない(4)。

たとえ日本美は蜃気楼にたとえられようとも，日本の美徳の理念を婦人の優しさとして捉えたハーンのいう日本社会そのものは，動かぬ現実であり，西欧社会が理想としながらも到達しえなかった高い道徳の理想を備えているのである。九鬼周造が『粋の構造』で言う「粋」に一脈通じる美学がここにみられる。ハーンはこうした道徳性の高さが民衆レベルで成就していることの稀有を多くの外国人日本論者と同様に驚嘆する。蜃気楼から学ぶ精神性を支える日本人の到達点は，その高い道徳性である。戦国の世がなかったならば，この極点に日本人はもっと早く達していたかもしれない。

ハーンは人類救済の理想像として永遠の女性をあげたのに対して，ハー

ンが女性の美しき唇や目に対して単なる肉体的表現ではなく，それらに気が遠くなるほどの時を経た転生を見，そこに女性の生命の死と復活にみる霊性の永遠を伝える最上の美を付与している。

> 現在生きているものは，かつては生きていなかったもので，現在生命のないものも，いつかはふたたびまた生きるものだということも知っている。この世で最も美しい唇は，幾千億万年の転生をへてきたものであること，この世で最も美しい眼も，星々の火がひとりで燃えつきたのちには，数えきれぬ変化を閲していくものだということも知っている(5)。

彼によれば死と生，現実と彼岸，魂と肉体は決して分離したものではなく渾沌とした至上の神秘をあらわしている。まさに「渾沌七窮に死す」という如く，この渾沌それ自体にこそ最も豊かな自然が宿り，北海の帝や南海の帝のようにこの渾沌に七窮，即ち，目，耳，鼻，口の七つの穴をあけて分析しようとすると「七日目」に本体自身，すなわち最も豊かな自然的生命を殺してしまうことになる。聖書の創世記では「七日目」に創造は完成するが，ここでは「七日目」に破壊が完成されている。「心は老いぬ」でハーンが展開する輪廻転生は極めて仏教的であるが，ハーンが口にすると宗教をつき抜けて命の根源的事実が語られているかのような説得力を持つ。ユダヤ教・キリスト教神学者のなかにも一種の輪廻を信じるものもいる。イエスの時代においても天使の存在も死者の甦りも信じなかったサドカイ（Sudducess）派と，それを信じるパリサイ（Pharisees）派はサンヘドリン（宗議会）内での深刻な溝となっていた。

2）生死を超えた母性愛

ハーンの母性愛についての記述も，この霊魂観にかかわって，重要であ

る。ハーンによれば高度に進化した人類は，神をいっそう女性化した理念でとらえようとしているのである。

> 人類がますます高度なものに向かって進化すればするほど，「神」についての観念はますます「女性化」されるのである。これとは反対に，この暗示は最も信心の浅い人にさえもあらゆる人間体験の中でも母性愛ほど神聖なものは他にないということを思い起こさせるに違いない。── 母性愛ほど神聖の名に値するものはない。「母性愛」のみがこのみすぼらしい小さな惑星の表皮で思考のあえかな命を開かせ，持ちこたえさせることができたであろう。母性という至高の無私の心によってのみ，気高い情動は人の脳内において花開く力を得たのである。──「母性愛」というものの助けによってのみ，見えざる世界（霊）への高次の信仰が引き起こされたのである[(6)]。

ハーンは人類に普遍の母性愛を重んじ，永遠化する。ハーンにとって，母性愛こそ神聖なものの原点であり，無上無私の母性愛によって，我々はあらゆる高尚な感情，霊的信仰心を生みだすことができたと信じるのである。母性愛こそ万物の変容を望む夢の原点だったのである。ここでは，ハーンの幼少時の母の記憶としてベッドの中の彼を上からのぞきこむ鹿のように大きな茶色の瞳を語っている。母との別離はハーンの心に終生，影をさしていたであろうが，反面，母の優しさは時とともにますます美化されていったであろう。

とりわけハーンの心に訴えかけるのは母との別離に際しての悲しみであったろう。ハーンは「九州の学生とともに」で熊本第五高等中学校での英作文教育について述べている。ハーンは英作文のテーマとして「最も永く人の記憶に残るものは何か？」を出題したが最も悲痛なことが一番永く記憶に残ると書いた生徒の答案に最も強い印象を受けた。

「人が最も永く記憶にとどめているものは，何か？ 僕は人が最も永く記憶にとどめているものは，その人が苦しい状況にあって見，聞きしたことであると思う。「僕が四才の時に，僕の大切な，大切な母が亡くなった。それは冬の日であった。風が木々や家の屋根に激しく吹きつけていた。木々の枝には一枚の葉も残っていなかった。ウズラが寂しそうな声で遠方で鳴いていた。

僕は時々自分のやったこと思い出すのです。母は亡くなる少し前，母は床に横になっており，僕は甘いミカンをあげた。母は微笑みながら，それを受け取って食べた。それは母の最期の笑みであった。母が息を引き取って今日まですでに16年以上の月日が経過している。しかし，僕にとって，それは束の間のように思える。また，冬が来た。僕の母が亡くなった時に吹いていた風はあの時と同じように吹き荒れている。ウズラはあの時と同じ声で鳴いている。すべてのものは全くあのときと同じである。しかし，僕の母はあの世へ行ってしまい，もう二度と帰ってくることはない(7)。」

大文学においても，ゲーテ『ファウスト』の最終部でファウスト博士，さらに人類に救いを与えるのは，「永遠に女性的なるもの」であり，折口信夫『身毒丸』の最後の場面でも異論があろうが，寝ている身毒丸を上から見おろすなつかしい目は母の目とも解釈されよう。ハーン自身はそのような文学史を飾る作品よりも，この熊本第五高等中学校の学生の身辺録に強い共感を抱いたかもしれない。

母親のわが子に対する自己犠牲的愛は西欧のアガペー的愛に匹敵する。日本女性の徳目として，ハーンはくり返しこの愛を語る。とりわけ日本の死霊育児譚に彼は魅かれるのである。

その次の夜，女はまたやって来たが，水飴を買わないで，自分と一緒に来るようにと手招きをした。飴屋は友達といっしょに墓場まで女の後ろからついていった。女がとある墓のところまでくると，そこで姿を消した。すると土の下から子供の泣き声が聞こえた。墓を掘りおこす，墓の中には夜な夜な水飴屋にやってきた女の死骸があり，生きて赤子が提灯の明かりを見て笑っており，赤子のそばには水飴の入った小さな茶碗があった。その母親は亡くならないうちに埋葬され，その赤子は墓の中で生まれ，その母親の亡霊があのように水飴を与えていたのであった ── 母の愛は死よりも強いということである(8)。

ハーンは幼児とその母親にまつわる背筋の凍る怪談話を語る。母親は飴屋の主人をある墓場に招くが，母親はそのまま姿を消す。見ると，地面の下で子供の泣き声が聞こえ，墓をあばくと飴を求めてたずねてきた女の死体があり，そばに生きた幼児をともなっていた。それは母親の埋葬が早すぎて，子供が墓の中で生まれたため，彼女の亡霊が子供を養っていたのである。この説話の教訓は「母は死よりも強し」とハーンは解説している。ハーンはこれを日本的母性愛の典型的な実例として挙げている。母性と死児の伝承にあふれる日本的心情の本質を此岸と彼岸とのつながりとしてハーンは鋭くとらえている。

ハーンは幽霊に対する親近感を持っていた。その親近感をパロディー化するとすれば，オスカー・ワイルドの『キャンタヴィルの幽霊』になるかもしれない。そこでは一家の子供達はみんなが恐れる幽霊をあまりにも身近にとらへて友人のようになる。幽霊のパロディーとして喜劇的に読みうる『キャンタヴィルの幽霊』にもハーンに通じる此岸と彼岸との隔たりを克服する愛の理が息づいている。

「そうだよ，『死』だ。きっと『死』はとても美しいにちがいない。

やわらかな茶色の大地に横たわり，頭上で草のなびく中で，静寂に耳を傾ける。きのうもなければ，あすもない。時を忘れ，生を許し，安らいでいる。おまえさんならわしを助けてくれることができる。おまえさんならわしのために『死』の家の門を開けてくれることができる，『愛』は常におまえさんとともにあるからだ，そして『愛』は『死』より強いからだ。」ヴァージニアは身を震わせ，冷たい戦慄が体を掠めた，そして，しばし沈黙がつづいた。恐ろしい夢のなかにいるような感じだった(9)。

オスカー・ワイルドの死生観はハーンの美学に近似する。ワイルドは「キャンタヴィルの幽霊」の中で死をとりあげ，それをとても美しいものとして賛美している。こうした現実の彼方にあって時空をこえた安らぎへの深い関心はハーンと共通する。ワイルドは生死の境を越えて，愛が実在することを示唆するが，愛が死よりも強い力を持つという信念は，ハーンの当時の思考と共通している。

ワイルドの愛の力が生と死をはるかに凌駕しているという信念は次の男女の会話にも具体的に表現されている。

「どうかそれは聞かないで，セシル，あなたにも話せないの。可哀そうなサー・サイモン！ あの人にはずいぶんご恩をうけてますわ。だめよ，笑わないで，セシル，ほんとうにそうなんですもの。あの人がわからせてくださったのよ，『生』とは何であるか，『死』の意味とは何であるか，なぜ『愛』はそのどちらよりも強いかを。」公爵は立ち上がるといとしげに妻に接吻した。「ぼくがおまえの心を持っている限りおまえもおまえの秘密を持っているがいい，」とかれはつぶやいた。「あなたはいつだってわたしの心を持っておいでですわ，セシル。」「でもいつかぼくたちの子供には話してくれるだろう，ね？」ヴァージニ

アは真っ赤になった(10)。

ワイルドが描く平凡な夫妻セシルとヴァージニアとのちょっとした会話の中にもワイルドの死生観があらわになっている。ここで，妻は自分の恩人たるサイモンの秘密はあかさず，彼は生と死と愛の関係であると告白している。ここには喜劇の形をとった神秘主義的人生観が如実に示されている。幽霊の姿をとった死者がこの作品では実に現実的に写しだされているが，ふしぎなことに，そこにはある種の神秘が漂っているのである。

Ⅱ．祖先崇拝が生みだした究極の愛

1）母の慈愛と自己犠牲

ハーンは「封建制の完成」において日本人が産みだした最高の美意識は，美術でも芸術でもなく日本の女性そのものと断言している。これはハーンの日本女性の美意識と高い倫理性についての結論である。androgyny（両性具有）としての神観は西欧にも勿論あるのであるが，ハーンは現実の日本の婦人と日本仏教の悲母観音を元に理想的女性像をイメージしているのではなかろうか。

徳川期に開花した日本の職人による工芸美術は当時の外国人の賞讃のまとであったが，ハーンは日本の婦人こそ日本の産んだ最高の芸術品であるとたたえる。ハーンにとって日本婦人という倫理的創造物は此後も少なくとも十万年間は世界のいずれの国も及ばない完成の域に達しており，まさに空前絶後の作品なのである。日本の婦人は一切の自己主張をとりはらった自己犠牲を美徳とし，外部からの力で個性を開かせることはできず専ら内側からの（自発的な）力により開くことが可能で，内面の心情のみが許される社会にしか存在しえない，まことに稀有な現象である。ハーンはこのような存在は祖先崇拝を基にした社会だけに可能であると分析する(11)。

ジャック・ラカン流にいえば，自我というものを持たず，先祖を敬愛する環境に自己の鏡像を見出し，その環境の一部となることによってのみ存在する，言い換えれば identity を必要としないほどその環境の母胎にしっくりおさまり一体化した存在こそが日本の婦人なのである。ハーンはこのような婦人を創りあげるのは男性であると認めた上で，その道徳的存在ははるか男性の及ばぬ理想を実現していると考え，その理由として，次のように言う。

> …あらゆる自己主張が押さえつけられ，その代わりに自己犠牲が一般の義務になっているような社会だけに ── 個性というものが生垣のように刈り込まれ，新芽も花も外側からは開くことを許さない，内側からだけ開くことを許されるような社会だけに ── 要するに，祖霊崇拝の上に打ち建てられている社会だけにそれ「そのような型の女性」が生まれええたであろう(12)。

こういった伝統的社会における自己犠牲の精神は理屈ではなく本能に近いものであり，gene であるとまでは言えないにしてもミーム（meme）により形成された精神である。封建武家社会の主従関係にしても，そこにみられる自己犠牲には家督や家名という打算あるいはエゴイズム，さもなければ武士道のナルシシズムさえ指摘しえようが，その中でも最も純粋な精神は母，妻としての女性の自己犠牲であろう。

ハーンは母なるものの中核をなす自己犠牲的愛が外部からの圧力を拒否して，内的精神世界，すなわち，祖先崇拝のメンタリティーから生じたものであることを強調するのである。

> 母親の微笑の光は我々の太陽よりも生き永らえるはずである。── 母親の接吻の暖時の喜びは星の瞬（またた）きよりも永く尾を引くのである。

> 未開の世界の揺籃期の詩（古代神話）の中でも生き残るはずである。── 母親の信仰の優しさはもうひとつの神々を ──「現在の時」を超えたあの世の軍勢，即ち時の神クロノスが生まれる以前の神々へ捧げる祈りを活気づけるはずである。そして母親の乳房から流れるうま酒（乳）は尽きることはない。あの雲のような流れは夜にかかる天の河（銀河）が宇宙から永遠に消え去っても，我々よりも完全な人間の生命を育てるために沸き流れ続けるであろう(13)。

愛は聖なる愛として生きつづけ太陽よりも永く生きて，その光を放ちつづける。母の御胸にまつわるあらゆる乳もやさしい子守歌も尽きはてることはないのである。その愛は永遠にわきつづける地下水である。宇宙・自然の養う力にハーンは本能的に母性を感じとっている。人類の宗教史を概観すれば悠久の太母（神）信仰から父なる神へ向かった歴史がある。ギリシア神話としてゼウスの父性が窮極的にはまさったのである。ハーンが日本社会に安らいだのは一つには日本社会が母系社会であったことにあり，ハーン個人の失われた母への思慕もこれに影響されていよう。キリスト教でも最近の神学は父性から母性への再度転換が，とりわけフェミニストたちの間で叫ばれている。神はアンドロジーニ（androgyny：両性具有）であり，時に応じて母性がクローズ・アップされるのは当然であり，キリスト教以前にはコーレ（ギリシア），アタルガテイス（シリア）等の太母が主流を占めていたように古代・中世ヨーロッパのキリスト教信仰においてもマリア崇拝なしにはキリスト教信仰を維持できなかった理由もそこにある。Robert Graves の小説『王イエス』（*King Jesus*）ではヘロデ大王の長男ヘロデ・アンティパテルの庶子として生まれたイエスが王位継承権の渦中で波乱の人生をおくりつつも，アシタルテ，イシスらの太母神信仰に対抗して父なる神を奉じる信仰を説く預言者として殉教し，仮死状態で復活する話である。このようにキリスト教の立場に立てば神の父性を重んじる

方向に向かい，ギリシア神話でもゼウスの父性が最終的にまさるのであるが，歴史的には人類は父神より前に太母神の悠久なる歴史を持つ。ユダヤ・キリスト教より古い異教はこの太母神信仰に支えられていた。ロバート・グレヴスが太母神信仰に対立するイエスを描かざるを得なかったという，ことほどさように太母神信仰はキリスト教以前の悠久の信仰史を支配していたのである。いやそれのみか，原始キリスト教の史的事実としてマグダラのマリアがその中心にあったことが，ペテロやパウロをやっきにさせ，その事実を異教的要素としてキリスト教から黙殺しようとしたのである。

2）真実の愛

真の愛は個別的女性が発散する現象的愛ではなく，女性が人類の母全体から受け継いだ集積的愛であり，それは神，すなわち究極的実在がもたらす愛であると説いている。つまり，現象的かつ個別的な愛の感情は蜃気楼的の現象であって，それは真実の愛と区別されねばならない。

> 我々が女性の霊魂をそれ自体ひとつのもの ── ひとつの特別な肉体的存在にふさわしいように，特別に造られたもの ── と考える限り，母性愛の美や驚異はとうてい我々が十分測り知ることのかなわぬところであろう。しかし，さらに深くこれを知れば，幾万億の亡母から受け継いだ愛の宝としてひとつの生命にたくわえられてきたことに気付かざるをえないのである。また，この認識においてのみ，はじめて子が耳にする言葉の無限のやさしさ，子の熱きまなざしに応える母のいとおしげな面もちの無限の優しさをわかりえないことに気付かざるをえない。こういうことを知らない人間こそが不運である。しかしながら，このような母の優しさ十分に語りうる人間などありえようか！まことに母の愛こそ神々しい。なんとなれば，人が神々しいと呼ばれ

るもので知りうる全てが，この母の愛に集約されるからである。そして，この至上の愛を口にし，行動で伝えるどんな女性も人間の母を超える存在である。このような女性こそ神の母なのである(14)。

女性の魂はひとつの完全な存在と考えている間は女性の真の愛やその驚異ということを悟るにはいたっていないのである。女性の本当の愛の感情は，女性は何万億年にわたる女性死者の愛をいっしんに受けついで，それを発揮したものであると気付かねばならない。それ故，母親が赤ん坊に注ぐ無限のやさしさのこうした背景を理解して初めて納得できるものである。こうした母性愛こそ神々しき愛と言わねばならず，それは正しく神の母が授ける愛に他ならない。母親の愛は単に一個人の愛ではなく人類の母全体の集積であり，それは，神，すなわち，究極の実在がもたらす愛なのである。

ハーンは紀行文「江ノ島詣で」の後半で弁天宮参詣について記している。岩屋見物などをした帰り道で，ハーンの関心をとりわけ引いたのは鬼子母神に献げられ，網につるされている何百枚もの子供の着物であった。

今ここにある小さな着物を見ると，それらのひとつひとつの着物は，喜びと苦しみの物語りを素朴に語っている。貧しい母親達による柔順で，辛抱強い指先によって作り上げられた小さな着物。これらは人類共通の普遍的な母性愛が期せずして目の前にあらわれたものとして，抗いがい難い感動を人に与える。このように信仰と感謝を証してきた素朴な心情の持ち主の優しさは，夏のそよ風に抱かれるように，私の全身をふんわりとわくわくさせるのである(15)。

鬼子母神に願をかけて叶えられた母親達の感謝の献げ物として網につるされている何百枚もの小さな着物は，それらをぬいあげた心優しい母親達

に人類に普遍的な母性愛を見い出して感動を覚えるのである。

ハーンが霊魂観の中枢に「母性愛」を置くこと自体は別に特異ではなく，世界的に普遍的であるとされ得よう。我々は同様の感慨をロシアの庶民にもみる(16)。

ロシア小説の白眉，イサーク・バーベリ（1894-1940）の「ラビ」冒頭はハーンの様な名文がある。

> 全ては死滅するが，母だけは不滅の定にある。母がもうこの世の人でなければ，母は決して誰にも汚しえない思い出を残す。母の想い出は我々の心のなかに大海原のような情緒を育む。その果てない大海原は世界を切りさいて流れる河に命を与える。

ハーンが日本の庶民生活のなかにこの母性愛を再確認したという事実が，ジャパノロジストとしてのハーンの面目躍如なのである。

ハーンの霊魂観には日本の祖霊崇拝やプラトニズムの想起説が援用されるが，「青春のかおり」にみられる如く，ハーンが常に最も強調したがるのは自然と生命に対する母親の愛，母性に帰着するようである。

> 美しさによって，呼びさまされた感情同様に，その匂いの快感は記憶の快感である ── 数えきれないほどの人生の数えきれないほどの記憶に訴えかける知覚の魔力である。そして，まさに花のかおりが億幾千万年の記されざる春に経験した感情の亡霊を呼びおこすように，青春のかおりも我々の背後に消え去っていったすべての人生の春の巡りとつながる感情の霊的復活を我々の中に呼びおこすのである。そして，同様に新たな人生のこのかおりが，愛のやさしさにおとらず親心という理想的感情を呼びおこすのである。というのは，このかおりは測りきれない時を通して子供の魅力と美しさとに連結するからであ

る。夜と死から，死者との交霊によって消え失せた情熱の喜びからえられる亡霊のような快感以上のもの，── 数えきれない新妻の喜びからえられる亡霊の反射作用以上のもの ── 第一子の絹のような頭にくちびるを押しつけるという快感にも通じる愛情 ── 幾億千万というほうむられた母親たちの忘れ去られた喜びからえられるかすかな逆流が呼びさまされるのである(17)。

匂いは太古において餌のありかを探す時の手がかりとなるような生存に直接かかわる場合もあるだろうが，それは青春のかおりというような健康な人間が感じとる感覚につながるものではなかろうか。匂いには異性を惹きつける力や生存に必須な食物の匂いなどがあり，自然の春のかおりは花の中にあったり，人の青春のかおりは娘や小児の髪の中にこもっていたりするが，究極のかおりが思い起こさせるのは親の情，これまでにほうむられてきた無数の母親の忘れられた喜び（例えば，初児の頭にいとおしくくちびるを押しつけるうっとりする喜び…のように）にまつわる記憶が青春のかおりとして人間の記憶に刻まれている。自然における春のいぶきとしての花のかおり等々と，様々な「青春のかおり」の典型があげられようが，つまるところ新たな生命（初児）に対する母親のいとおしい愛情の過去のつみかさねの記憶（葬るられた数え切れぬ母親の忘れ去られし喜びの記憶）に帰着するのではなかろうか？

Ⅲ．ハーンの霊魂観と宇宙観 ──「断章」をめぐって ──

Shadowings(18)（1900 年）中の「夢の書玩読（がんどく）」における「断章」にはハーンの宇宙観，霊魂観の粋がちりばめられている。ここでハーンが言う「夢の書」とはハーンが夢の中で出会う本であり，「夢についての書ではなく，その書そのものが夢が作られる素材と同じ素材でできた書」を指す，幻想

そのものを実体とする書である。

1)「断章」（Ⅰ）

この「断章」の次に続く「波」と「海」との対話は，「断章」（Ⅷ）にみる「人」と「魂」の対話にある部分と重なってくるが，この「断章」（Ⅰ）における「波」は輪廻転生をくり返す「人」であり，「海」は「命」ないし「神」ともみなしうる。波（人間）は過去から未来へと続く永劫の連続のひとつの構成物である。自然のままにしていればよい。これが生きるということを見つめる最善の道である。

「…お前のその多様において，お前は何者であるか？ ──幻影じゃ，常に不定なる存在じゃ」

「波」はすすり泣いて言った。「苦痛は現実です（Real is pain）。恐れも希望も，明かりの希望も現実です。私が現実ではなく幻影というなら，こういう私の気持はどこから生まれて，正体は何なのですか？」

「海」は答えて言った。「お前に苦痛など無い。恐れも希望も喜こびも無い（nor fear nor hope nor Joy）。お前はわしの裏にある場合を除いて無だ（Thou art nothing ― save in me）。わしこそがお前の「自己」であり，お前の「私」なのだ。お前の姿形はわしの夢想であり，お前の動きはわしの意志，お前が波として砕けるのはわしの苦痛だ（thy breaking is my pain）。しかし，お前は砕けざるをえない。わしには休みがないからだ。しかし，また波頭となるためには，お前は砕けねばならぬ。死こそが「命の律動」だからだ。みよ，この私も生きるために死なねばならぬ。私の海はこれまで生成をくり返し，これからも再びくり返し，数えきれない太陽の燃焼にあわせて数えきれない世界の消滅をもたらせてきたのだ。私自身もまた語りえない程の屍々累々複合体なのだ…[19]。」

死者とのつながりの中で連綿と続く人間の世の中が存在し，各個人はいやおうなくそのひとつの分子として永劫の輪廻転生の構成要素となる。個々の波（人間）からすれば自分自身の生を生きることに全精力を注いでおり，過去から未来永劫へのつながりを構成するひとつの分子であるということなどにはおよびもつかないのである。「苦痛は現実です」，「お前が波として砕けるのはわしの苦痛だ」とあるように神と人との一体化を述べている。

> 「海」は答えた。「お前のつとめは脈打ち，過ぎることで，理解することではない。大いなる海である私も，いや私ですら，わからない…」（I also, — even I, the great Sea, — do not understand…[20]）

『小泉八雲事典』の「汎神論」において，スピンザに言及されてはいないもののハーンとスピノザの共通性が示唆されている[21]。スピノザは人格神を否定した無神論者と言われている。しかし，彼が否定したのは旧約聖書的人格神であり，人間の理解の及ばない神ではないのではなかろうか。何故なら，スピノザは『エチカ』において神と人との相互浸透性を強調している。人の感情が人間の中だけで完結しているのではなく神の感情でもある。彼は『エチカ』第一部定理 18 で「神はあらゆるものの内在的原因であって超越的な原因ではない[22]」と言う。これは内在有神論や神と人との相互浸透性を思い起させるのである。この神と人（の精神）との相互浸透性の故に，一方では「倫理」の根源について『エチカ』第三部定理 9 の備考末尾にエチカ（倫理）の元来の意味合いが書かれている。「我々はあるものを善と判断するが故にそのものへの努力，意志，衝動を感じ，欲望するのではなく，逆にあるものへ努力，意志，衝動を感じ，欲望するが故にそのものを善と判断する[23]。」の如く断定しうるのに対して，他方では「お前が波として砕けるのはわしの苦痛だ」とか「私にもわからない（神も自

由意志からこれを行っているわけではない)」といった言葉が発せられうるのである。スピノザはデカルトの『方法序説』のみならず『情念論』への応答として，神の情念を扱い，神の自由意志まで否定することになったのであろう。

スピノザは『エチカ』の「感情論」を執筆した時にオウィディウス『変身物語』（巻七）を傍らに置いていたそうである。『変身物語』の内容は人間のアクレイジア（akrasia, 意志薄弱）がテーマとなっている。分かりやすく言えば,「分かっちゃいるけど，やめられない」という人間心理の考察である。父であるコルキス王アイエーテスと恋するイアソンとの板挟みになったメディアが，敵であるイアソンを助けるための悲劇が語られている。人間のアクレイジアがイアソンを愛してしまったメディアの気持ちを語っている。デカルトの『情念論』よりもスピノザの『エチカ』における感情論が神をより人間に近づけて解釈する。これまでの神論は，神は高いところにあって人間の論理とか感情をはるかに超越した高みにあったのであるが，スピノザは人間と融合させたのである。ハーンの「断章」（Ⅰ）における海（神）の波（人）に対する言葉はスピノザ的に理解しうる。人間感情にからめた神論はハーンの汎神論からそう遠くはないであろう。以上のことからハーンがスピノザを読んでいた可能性が十分考えられる。

進化生物学者リチャード・トーキンズ『神は妄想である』でドーキンズはスピノザとアインシュタインをまとめて葬り去ろうとしたのか，あるいは自分の陣営にも引き入れようとしたのか,「汎神論とは色気ぷんぷんの無神論で，理神論は水割の有神論[24]」であると述べたが，ノヴァーリス[25]が言う「神に酔いしれし人，スピノザ」が最も適確にスピノザをとらえている。ノヴァーリスとハーンとの親近性を考えれば，ハーンはスピノザに対して同様の評価をささげたであろう。

ハーンを代弁すれば,「汎神論とはより霊的傾向が強く，博愛主義的傾向が強い有神論である。」となるのではなかろうか。

ところで,『エチカ』の最初の英訳者になるはずであったジョージ・エリオット（George Eliot, 1819-1880）は，スピノザの自由意志否定を自己のアンチテーゼとして受け止めたので，小説家になってからは主要作品の主題が自由意志になった。しかし，スピノザの自由意志論はいわゆる「宿命論」ではなく，仏教の人間観に近いので，ハーンの世界観や宗教観と相性が良いのであろう。

また，ジョージ・エリオットの英訳の表紙にはエチカ（倫理）の原意と思われる第五部定理 42「浄福は徳の報酬ではなく徳そのものである。我々は快楽を抑えるから浄福を楽しむのではなく，逆に浄福を楽しむから快楽を抑えられるのだ[26]」が記されている。この箇所にエリオットの強調がこもっていたとすれば，彼女は上記引用に仏教性に思い至ったはずである。エリオットのスピノザはフルード経由[27] であるだけに，彼女もフルードの反体制を色濃く受け継いでしまった可能性はある。

エリオットはスピノザ『エチカ』以外にもストラウス（David Friedrich StrauS, 1808-1874）『イエス伝[28]』，フォイエルバッハ（Ludwig Andreas Feuerbach, 1804-1872）『キリスト教の本質[29]』というようなヘーゲル左派の作品をいち早くドイツ語から英訳するという急進思想の持ち主であった。彼女はこうした急進的思想をフルード経由で入手したと考えられる。

『英文学史』でエリオットとフルードを扱っているハーンであれば，そこに英文学と直接関係がないスピノザの名は見当たらぬが，エリオット訳『エチカ』の存在をハーンが知っていたとしても不思議ではない。

レッシングのゲーテの影響がよく取り上げられるので，ハーンはゲーテ経由でレッシングの思想や，ドイツ啓蒙思想の中の神秘主義を知ったのかもしれない。レッシングの死後，スピノザ論争が起きたので，彼の友人ヤコービが火付け役かもしれない。レッシングは熱烈なスピノザ主義であり，彼の友人達は，そのことを彼の汚点になるというので，彼のために弁明したようである。レッシングと言えば,『人間教育』での「転生」主張で

有名であるが，ハーンもこれを読んでいたかもしれない。カントやヘーゲルはスピノザを認めなかったが，その弟子たちの中には「スピノザ主義者」の名に値する者もいる。なお，井上円了は帝大学生時代にフェノロサを通じてスピノザの学問を知り，後に彼の「高等仏教」に影響を与えたといわれる。

2)「断章」（Ⅱ）

この「断章」におけるハーンの断想は一面ではスピノザの「神即自然」であり，もう一面ではジョナサン・エドワーズの『神の自然の心象と影[30]』をほうふつとさせるタイポロジー的自然観がみられる。

> 「石や岩はこれまでも感覚を持っていた。風は自然の息吹であり言葉であった。地上の大海と河川は水門を閉ざされ心室に流されてきた。川と海は感情の部屋に閉じ込められていた。そして，あらゆる宇宙の分子は，可能な限り至高の体験をするまでは再生を止むことはありえない。」「しかし，この地球の核は一体どういうもんですか？　それもまた感覚や思考を働かせてきたのですか？」「あらゆる肉体が太陽の火であったように間違いなくその通りです。統合と解体の休むことのない繰り返しの中で，万物は百千万億回も，関係と場を変えてきました。しかしながら，未来の世界の面となるのは古の年月と変わらぬ「心」なのです[31]。

ハーンの擬人的自然観は単なるレトリックとして捉えるおそれがあるが，ジョナサン・エドワーズの聖書的予型論（タイポロジー）的自然観にも匹敵するハーンの独自の仏教とアニミズム，祖霊崇拝的シャーマニズムが結合した自然観がここに展開されている。自然は人間同様，数限りなく形と関係を変え再生されてきたが，そこに息づく命と魂とは不変であると

いう信念である。有情（うじょう）の自然の背後にある無数の命と魂にハーンは絶対の信頼を置いて安らいでいるように聞こえる。キリスト教における「神の摂理」に比べると，ハーンの自然は anthromorphism の趣きを持つが，先に述べたように，この擬人化には魂の共振が感じとれるので，単なる文学的レットリックになり下がっていない。「断章Ⅱ」の冒頭にある岩石に存する命，感覚は，宮沢賢治の一個の石にすら仏性を認める自然観に近かろう。

3)「断章」（Ⅲ）

ハーンはこの断章において，人の輪廻転生と前世の記憶について雄大な時のスケールを背景に語る。ハーンが美についての記憶等を語るときの「魂元素（アニミェリー）」にも関わるグノーシス的思想が展開される。

> どんな後悔も無駄ではない。月の光よりも柔らかく，香りよりもあえかで，死よりも強い――（北欧神話の怪狼フェンリルを捕まえる）という強固な記憶の鎖――糸を紡ぐのは悲哀である。数百万年も経てば，お前達は再び会えるだろう。数百万年という時は長いとは思えない。何故なら，数百万年という一瞬は死者にとっては同じであるから。何から何まで今のお前ではありえないし，彼女だってこれまでの彼女ではない。二人とも今より乏しくなりながら同時に比較しえないほどに豊かになっている。その時，お前には襲ってくる憧れには，肉体というものが彼女あるいは彼に飛びかかる際の障壁に思えるだろう。何故なら，男女という性はそれまでに幾千万億回も変化してきている。両方とも記憶にない。しかし，それぞれが以前にどこかで会ったことがあるという測り知れぬ感情で満たされることになる[(32)]。

ここで言う the Great Memory（偉大な記憶）は個人の記憶を超えたこれまでの人類の記憶である。その記憶は強固であるが故に北欧神話『エッ

ダ』に登場する無敵の怪狼すらつなぐ鎖となるのである。幾憶万の輪廻を繰り返そうとも，この記憶が強固であるが故に，再び出会った両者は男女の性が以前とは異なっていようと，そこはかとなく記憶に訴えかける感情を呼び覚ますのである。

4)「断章」（Ⅳ）

ハーンはこの断章において,「断章」（Ⅲ）とのつながりで愛の苦しみや憎しみを時空を超えた無数の死者たちの感情として蘇らせる。

> 愛する者，ほんの昨日行き当たりばったりに想像された者をこのように汚すなら，あざける者は世界霊の過去の神霊をあざけることになる。すると，その心に忘れられ墓に埋められた無数の悲しみがよみがえる。時の始まりより憎しみと我慢強く競い合った愛の昔からの苦痛がすべて胸によみがえる。神々はわかっている。いずことも知れぬはるか彼方の地に住み，形と名の神秘を紡ぎだす名も知れる神々は。何故ならば，その神々は命の根源に腰をおろせば，その苦痛が自分によみがえってくるからだ。そうして，神々はその暴虐を感じる。ちょうど蜘蛛がその震える蜘蛛の巣から糸が切れるのを感じ取るように[33]。

一個の人間が新しく生まれたということではない。魂のいろいろな元素が何百億という選択肢を選り分けながら一個の人間が生まれる。選択に際しても神々が関わっている。ハーンの自家薬籠中の思索であり，個人が過去から切り離されて生まれたわけではない。祖霊（遺伝）との関わりの結果，自分が存在しているという思想である。プロティノスの「見る者が見られる者になる…[34]」というネオ・プラトニズムの思想がハーンの創造論に現れている。即ち「苦しめる者が苦しめられる者となり…」という風に生きとし生ける者すべてが人類の過去世と不思議につながって生かされて

いるという厳粛なる生の神秘をハーンは説いている。

5)「断章」(Ⅴ)

ハーンの祖霊信仰には輪廻転生によるグノーシス的「魂元素」による全人類のつながりとそれについての煩閃(はんもん)というホイットマン的ジレンマがみられたり，亡母思慕の個人的経験をつきぬけて「母性的なるもの」という普遍性に昇華したりする。

> 一目惚れは，死者の選択によるものである。しかし，死者の大部分は道徳律よりも古い。したがって，死者の多数決はめったに道徳を基準とするものではない。彼等は美しさを基にして選択する。── 肉体の優美に関する記憶に従って。そして，肉体的な好みの合一が精神と道徳の力の源泉になっているので，その死者達が誤って選ぶはずはない。それにもかかわらず，時には死者達も妙な具合に思い違いをすることもある。死者達は霊魂を身体に盛ることが出来ずにむくろを探している霊 ── 魂のない空の餓鬼として知られる存在なのだと[35]。

一個人の背後には幾億の死者がいる。その死者が人に，その人一個人の好みであるかのように特定の人を選ばせている。一個人の背後に見えざる死者の決定が働いている。ハーンの祖霊信仰をプラトニズム的用語を用いて解説するならば，プラトン『パイドロス[36]』でも「美」がイデア界からの「想起」によって人に訴えかけることが論じられている。プラトニズムでイデア界が問題にされるところが，ハーンにおいては死者（祖霊）からの影響，あるいは死者にかかわる記憶として扱われる。

6)「断章」(Ⅵ)

ハーンのネオ・プラトニズム的思想では世界霊を形成する魂元素という

要素が語られる。ケプラーや T. S. Eliot なども用いる用語であり，この元素により人類は時を経てつながることになる。

> 「自我」をつくっている魂元素は，死を消滅としては恐れない。それらは死を再統合としてのみ恐れる。他者の生の異質と憎しみとの再統合を恐れるのである。それらは憎むものといっしょに愛するものが別の肉体の中に，閉じ込められるのを恐れるのだ(37)。

人間は数えきれないほどの輪廻を繰り返している。それを繰り返しながら，形と名とを変えていく。愛と憎しみの連鎖を繰り返して，その心に苦しみを蓄積させている。人間の危うさを示している。魂元素，animulae とは animula の複数形であり，魂を構成する要素である。「魂元素」とでも訳すべきであろう。最小単位であるから「愛するもの」とか「憎むもの」というのであろう。“a being who loathes”を「憎悪分子」，“a being who loves”を「愛情分子」と訳すことも可能ではなかろうか。また，様々な分子が魂元素からひとりの人間が再構成されるというネオ・プラトニズム的大霊観を受け入れながらも，それは対抗感を覚える自分がいるというジレンマは，個という肉体と同じ葛藤はホイットマン『草の葉』の私にもみられる。

7）「断章」（Ⅶ）

ハーンはこの「断章」で若者にとり憑く妖魔の如き女性を，ヘブライ神話におけるリリト（Lilith）のように語る。魅入られた若者の魂は美しき蝶として羽化することなく滅びてしまう。

> 昔（いにしえ）には，普段，女神は荒れ果てた場所，さみしい道端にだけすわっていた。しかし，今日では，都市の暗がりで彼女は若者に乳房を差し

出す。すると，彼女が誘う若者はすぐさま気が狂い，彼女と同様に空虚な存在になってしまう。というのは若者の組織に入り込んだ高等霊が，悪鬼にさわられて死んでしまうからだ――抜け殻と塵だけを残して繭の中で蛹が死んでしまうように(38)。

かくも容易に一人の若者が狂わされてしまうのは断章Ⅵに言う「魂元素」が魔力に触れられて空蝉になるからである。蛹の脱皮の比喩について，過変態（hypermetamorphosis）という特徴を持つツチハンミヨウのような昆虫もいるようである。成長最終段階で擬蛹という蛹に見せかけた姿をしてその後もう一度脱皮して真の蛹になるようである。中国の神仙思想や道教に尸解仙（人）という呼び名がある。人が死後，蝉が脱皮するように羽化して仙人になることを言うらしく生身のまま虚空に昇り仙人になる天仙や，やはり生身のまま名山に遊び仙人になる地仙と区別される。ハーンの場合は肉体を介さない霊魂論である。神仙思想は不死を重んじるので天仙や地山の方が尸解仙より格上である。

8)「断章」(Ⅷ)

この「断章」は「人」と魂たちとの問答（言い合い）である。「人」の自分の報われぬ人生についての不満に対し，魂たちは，それは本人の自業自得だとあざわらう。魂たちは，こんなひどい家（その人の肉体）に住みたくないと逆に不満をもらす。臆病者や弱虫に限って自分の不幸を世の中のせいにすると厳しく指摘する。

「…強い人は世の中のせいになんかしません。世の中が自分の望むものを全て与えてくれるからです。強い人は（意志の）力で打破し，手にし，持ち続けるのです。つまり強い人にとって人生は喜びであり，勝利であり，勝ち誇りなのです。でも力のない人間には何も手に入れ

る資格はないのです。だから捕り分は零です。あなたと私どもはたちまち無の世界に入ることになります(39)。」（訳者傍点）

「お前の種族は，これで終りになるね。それが継続するのは，我々の目的にかなうようにする，お前の力に左右されることになる。しかし，お前は力を完全になくしてしまった(40)。」（訳者傍点）

ここで用いられる語，「力」について付言すれば，人によってはニーチェの『力への意志』を連想するかもしれないが，ハーン自身はアリストテレス哲学で用いられる「デュナミス」を意識しているのかもしれない。クリスチャンであれば教父ユスティノスが受肉論において「ロゴス」と並列させたり，「ロゴス」と一体化させた概念として「デュナミス（力）」を用いている。ここで言う「受肉」は「ヨハネによる福音書」第一章の冒頭における「人となったロゴス」としてのイエス・キリストを指している。デュナミスをアルファベット表記すれば“dynamis”であるので，英語 dynamics との語源的つながりは当然考えられる。更に聖書的には，「詩篇」22 篇 15, 19, 22 節における「力」も参考にしえよう。また新約聖書「マルコによる福音書」1 章 22 節にみられる「イエスの言葉には権威（力）があった」という内容にもつながりえよう。尚，『エチカ』第三部序文(41) で「力（virtus/power）」という言葉が使われているが，この virtus は文脈により，価値，才能，あるいは徳と訳される。第四部の potentia と同一のものであろう。

更に，ハーンの当該引用箇所の人と魂との関係は，『エチカ』第一部定理 14「神のほかには，いかなる実体も存在しえず，考えられもしない(42)」とある。これは出エジプト記 3 章 14 節「われは在りて在るものなり（エヘイェ・アシェル・エヘィエ）」の確かな解説になっている。

神はモーゼに仰せられた。「わたしは，『わたしはある』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう告げなければならない。『わたしはあるという方が，私をあなたがたのところにつかわされた。』と[43]。」（筆者傍点）

ハーンの霊魂論の精髄（せいずい）は，仏教の母胎ヒンドゥーイズムにみる霊魂不滅論，『バカヴァット・ギーター』第2章17節の「不壊遍満（ふえへんまん）[44]」を語っているように聞こえる。

魂どもは答えた。「無とは何でしょうか？　そこに終りがあるという考えは正に妄言です。あなたが終りと呼ぶものは正しく始まりにすぎないのです。我々の精髄は終ることはありえないのです。世界が何度燃え尽くされようが，我々の本質はほろぼされることはありえないのです。それは大いなる星々の中心で光りまばたき続けるし，他の世界の太陽の輝きの中で光をゆらめかせるのです。そして，いつか未来の宇宙で，もう一度，知識を再び征服することになりますが，それには一般の人々には考えも及ばない何度もの進化をへた後にやっと叶えられるのです。名付けえぬ姿形の始まりから，存在の消滅の循環を繰り返し，次から次に苦痛をなめ尽くした後に，過去の時間の深淵を全て経た後に，我々魂の精髄は再び上を目指さなくてはならないのです[45]。」

ハーンの生命と霊魂観は「断章」Ⅰ，Ⅶ，Ⅷにみる水滴；粒子；個人と波；生命；大霊との関わりと量子論的世界観――神の肉体としての世界・宇宙（細胞，分子）に言及している。神（波）人（水滴・粒子）との対話にはスピノザの言う人と神との相互浸透性がみられる。

波多野精一は明治36年から38年にドイツ語で二本のスピノザ論文を書

き，日本で審査する人がいなくて，ドイツに送られて評価されてドイツの雑誌に載ったという。

『エチカ』第五部定理 23 及び 29 の，人間精神を身体とともに「永遠の相のもとで」（Sub specie aeternitatis/ from the perspective of the eternal）認識するべきという言葉は波多野精一が大切にしていたようである。

第五部定理 29（含む備考）「精神は永遠の相のもとに認識するすべてのものを身体の現在の現実的存在を考えることによって認識するのではなくて，身体の本質を永遠の相のもとに考えることによって認識する(46)。」更に具体的に，第五部定理 29 注に照らして考察すれば，「我々がものを現実的なものとして考えるのは次の二つの方法による。ものを一定の時間と場所に関係させて考えるか，神の本性の必然性から生じるものとして考えるかのどちらかである(47)。」つまり，現実的存在としてか，永遠性としてかのどちらかである。「この第二の仕方で真に存在あるいは実在として考えられるものは，我々が永遠の相のもとで考えたものであり，それらの観念は第二部定理 45（とその注）で示したように神の永遠・無限の本質を含んでいる(48)」

また，第五部定理 31 の冒頭では「精神の永遠である限りにおいてのみ，ものを永遠の相のもとで考える。精神は永遠である限りにおいて神を認識する(49)。」という。ここまで来ると定理 32(50) の精神の最高の満足や神への知的愛へつながる浄福が示される神秘主義に近づくと思われる。これは波多野精一『時と永遠』の基盤となる部分ではなかろうか。

20 世紀前半にアメリカで再燃した老荘思想の陰陽道が，1920 年代頃にすでに議論されていた。例えば，プラス電荷の素粒子にはそれに対応するマイナス電荷の反粒子が存在するというような「相補性原理」や電子位置と速度の同時測定を不可とする「不確定性原理」に思想的後ろ盾を与えた。後者に関しては，老荘思想の「創造性に富む混沌の概念（例の「渾沌七窮に死す」）につながり，湯川秀樹の素粒子のヒントになったといわれてい

る。ひょっとすると湯川の兄弟貝塚茂樹からの影響ではなかろうか。貝塚は中国神話の渾沌の話をよく話題にしていたようである。この世界の肉体と霊魂との相剋あるいは矛盾の問題は量子力学における物質と反物質の難問に相当するのではなかろうか。将来，これらの問題は統合され同時に解決されるであろう。哲学，宗教の面から，先端物理学にとってのヒントになるような啓示的示唆を提示したくなるような気持ちがわいてくる。この物質と反物質，あるいは有と無との結節点が『2001 年宇宙の旅』の結末にみるモノリスやテイヤール・ド・シャルダンが言うオメガポイントになるのではなかろうか。

ところで，バージニア大学医学部知覚研究室では，生まれ変わりの研究が行われていたが，その中心人物イアン・スティーブンソン（Ian Stevenson, 1918–2007）はハーンが英訳した平田篤胤『勝五郎再生紀聞[51]』を読んだことがその研究のきっかけになったのである。現在は，その研究はジム・タッカー（Jim B. Tucker, 1960– ）が引き継いでいる。

結　語

ハーンが女性の理想を語るとき，その優しさであれ，母性であれ，一個人の美徳を想い描くのではなく，過去の女性や母の心情の累積を念頭においている点に留意したい。即ちハーンの女性論はそのまま祖霊崇拝的意味合いを帯びた霊魂論であり，逆に謂えば，彼の祖霊崇拝や霊魂論の中核に「女性的なるもの」が厳として鎮座しているというべきであろう。その上で人類の救済をこの力に恃む結論がゲーテ『ファウスト』の結末にも繋がってくるのである。この理念に依存するのは，独りハーンのような宗教的人格にとどまらない。たとえば無頼派の代表としての太宰にしたところで，「女神」という一種不可思議な短編に見出される太宰の渇望には，その終着点には「女性的なるもの」が垣間見れる。太宰は終戦後久し振りにかつて

の飲み仲間である細田の来訪にあうのだが，おしゃれな細田が以前とはうって変わった神秘的な人間になっていたところから始まる。「れいの璽光尊とかいふひとの騒ぎの，すこし前に，あれとやや似た事件が，私の身辺に於いても起こった。」で始まる。この小説での旧友細田が語る話は奇々怪々である。細田は自分と太宰は実は兄弟で，その上にもう一人兄が居ると言い，当時の，おそらくは，大物政治家の名を挙げる。しかも驚くまいことか，かれらの母は現在の細田の妻であり，現実では 32 歳ということになっているが，実年齢は二百歳を越えるともいうのである。彼の話によれば日本はすでに男性の力が衰徴期に入っていたのに，相変わらず男性の力を恃んで，このたびの戦争の結果になった。これからは女性の力に恃んで日本を建て直さなくてはと熱く語られる。太宰は旧友細田の精神状態を疑い，うまく言いくるめて細君のもとに送り帰し，ほうほうの態で細田のアパートから逃げ帰るのであるが，小説には語られない後日譚を想像するなら，結局太宰は女性との度重なる心中事件の末，自ら命を絶ってしまう。ひょっとすると太宰の脳裏には，あれほど否定していた細田のいう「女神」の痕跡が影をおとしていたのではあるまいかという裏読みも可能であろう。

話をハーンの女性論に戻し，彼の気宇壮大な宇宙論，生命論の中で語られる女性，とりわけもその母性は自己という一個の命をひとつの捨て石として愛する命を護ろうとする犠牲心の中に人類普遍の祖霊信仰，生命信仰が表現されるのであろう。我々日本人はハーンの思想，哲学を神道や仏教の精神的遺産を以て捉え直すかもしれないが，ギリシア思想，キリスト教の伝統をくぐり抜けてきたハーンには「万教一致」の感性を育まれた普遍的宗教の枠組みが意図せずして醸成されていたのであろう。

スピノザ『エチカ』にみる高次の神論と自由意志の否定は仏教の人間観に通じる要素を含んでおり，『エチカ』の内在有神論や人と神との相互浸透性がハーンの宗教思想と共振するのは極めて自然と言わざるをえない。

《注》

（1） Lafcadio Hearn “preface” *Glimpses of Unfamiliar Japan*（Ⅰ）, Yushodo Booksellers LTD., 1981, p. 7.

（2） Lafcadio Hearn “Horai” *Kwaidan*, Yushodo Booksellers LTD., 1981, pp. 173–178.

（3） ゲーテ（相良守峯訳）『ファウスト』（第二部）岩波書店，2007 年，495 頁。

（4） Lafcadio Hearn “Reflections” *Japan — An Interpretation,* Yushodo Booksellers LTD., 1982, p. 505.

（5） 小泉八雲（平井呈一訳）「心は老いぬ」『飛花落葉薬』恒文社，1998 年，400 頁。

（6） Lafcadio Hearn “Revery” *Kotto*, Yushodo Booksellers LTD., 1982, p. 210.

（7） Lafcadio Hearn “With Kyushu Students” *Out of the East*, Yushudo Booksellers LTD., 1981, pp. 35–36.

（8） “Chief City of Province of the Gods” *Glimpses of Unfamiliar Japan*（Ⅰ）, pp. 165–166.

（9） 西村孝次（訳）「キャンタヴィルの幽霊」『オスカー・ワイルド全集』(1) 青土社，1988 年，376 頁。

(10) 同上書，376 頁。

(11) “Feudal Intergration” *Japan-An Interpretation*, pp. 393–394.

(12) *Ibid*., p. 394.

(13) “Revery”, pp. 214–215.

(14) Lafcadio Hearn “Some Thoughts about Ancestor — Worship” *Kokoro*, Yushodo Booksellers LTD., 1981, pp. 295–296.

(15) “A Pilgrimage to Enoshima” *Glimpses of Unfamiliar Japan*（Ⅰ）, p. 98.

(16) Issac Babel “Rabbi” *Collected Stories*（tr. by Water Morison）, Penguin Books, 1961, p. 68.（All is mortal. Only the mother is destined to immortality. And when the mother is no longer among the living, she leaves a memory which none yet has dared to sally. The memory of the mother nourishes in us a compassion like the ocean, and the measureless ocean, and the measureless ocean feeds the rivers that dissect the universe.）

(17) Lafcadio Hearn “Parfum de Jeunesse”*Exotics and Retrospective,* Yushodo Booksellers LTD., 1982, pp. 223–224.

(18) Shadowing という語は「ゴシックの恐怖」（*Gothic Horror*）の最後の文に形容詞としての a shadowing malevolence として用いられている。「つきまとう」とでも訳されるであろう。Shadowings のように（動）名詞複数形は

「つきまとうものたち」，つまり「憑きまとうものたち」と訳してもよいのではなかようか。

(19) Lafcadio Hearn “From a Dream-book” *Shadowings*, Yushodo Booksellers LTD., pp. 252–253.

(20) *Ibid*., p. 253.

(21) 平川祐弘監修『小泉八雲事典』恒文社，2000 年，499 頁。

(22) Benedict De Spinoza *Ethics* (tr. by Edwin Curley), Penguin Books, 1996, p. 16.（God is the immanent, not the transitive, cause of all things.）以下『エチカ』（*Ethics*）の本文の英訳引用は本書による。

(23) *Ibid*., p. 76.（we neither strive for, nor will, neither want, nor desire anything because we judge it to be good; on the contrary, we judge something to be good because we strive for it, want it, and desire it.）

(24) Richard Dawkins *The God Delusion*, Black Swan Book, 2007, p. 40.（Pantheism is sexed-up atheism. Deism is watered-down theism.）

(25) Novalis, 1772–1801（George Phillipp Friedrich von Hardenberg.）

(26) *Ethics*, p. 180.（Blessedness is not the reward of virtue, but virtue itself; nor do we enjoy it because we restrain our lusts; on the contrary, because we enjoy it, we are able to restrain them.）

(27) James Anthony Froude（1818–1894）*Essays in Literature & History*, London: J. M. Dent & Co., 1906.

(28) Mary Ann Evans（George Eliot）による英訳 *The Life of Jesus, Critically Examined*（3 vols, London, 1846）

(29) Mary Ann Evans（George Eliot）による英訳 *The Essence of Christianity*（London: John Chapman, 1854）

(30) Jonathan Edwards, *Images or Shadow of Divine Things*（Edited by Perry Miller), New Haven: Yale University Press, 1948.

(31) “From a Dream-book”, pp. 253–254.

(32) *Ibid*., p. 254.

(33) *Ibid*., p. 255.

(34) Plotinus “On the Good, or the One” *The Enneades*. プロティノスの遺稿が弟子のポルフェリオによってまとめられたものである『エンネアデス』は 6 巻からなる論文集で，それぞれに 9 論文が収められており，計 54 篇の論文集である。Ennea はギリシア語で 9 を表し，完全数である 6 と神秘数である 9 をかけあわした作品集が Enneas であり，その複数形が『エンネアデス』（Enneades）である。代表的な希英対照訳として，いわゆる Loeb 文庫

（Harvard University Press, 1988）のシリーズがある。

(35) “From a Dream-book”, pp. 255-256.

(36) Plato “The Winged Soul (Phaedrus)” *Selected Myths* (Edited by Catalin Partenie with an Introduction and Notes), Oxford University Press 2004, pp. 76-77.

(37) “From a Dream-book”, p. 256.

(38) *Ibid*., pp. 256-257.

(39) *Ibid*., p. 258. (... The strong do not blame the world: it gives them all that they desire. By power they break and take and keep. Life for them is a joy, a triumph, an exultation. But creatures without power merit nothing; and nothingness becomes their portion. Thou and we shall presently enter into nothingness.)

(40) *Ibid*., p. 259. (Thy race ceases. Its continuance depended upon thy power to serve our purposes. Thou hast lost all power ...)

(41) *Ethics*, pp. 68-69.

(42) *Ibid*., p. 9. (Except God, no substance can be or be conceived.)

(43) 『聖書』日本聖書刊行会（いのちのことば社）. 1994 年, 91 頁。

(44) 上村勝彦（訳）『バカヴァツト・ギーター』岩波書店, 1992 年。B.C.5 世紀～B.C.2 世紀に成立し, ヴィヤーサ著ヒンドゥー教聖典, 叙事詩『マハーバラタ』所収。

(45) “From a Dream-book”, pp. 260-261.

(46) *Ethics*, p. 174. (Whatever the mind understands under a species of eternity, it understands not from the fact that it conceives the body's present actual existence, but from the fact that it conceives the body's essence under a species of eternity.)

(47) *Ibid*., p. 174. (We conceive things as actual in two ways : either insofar as we conceive them to exist in relation to a certain time and place, or insofar as we conceive them to be contained in God and to follow from the necessity of the divine nature.)

(48) *Ibid*., p. 174. 〔the things we conceive in this second way as true, or real, we conceive under a species of eternity and their ideas involve the eternal and infinite essence of God (as we have shown in Ⅱ P45 or P45S)〕

(49) *Ibid*., p.p. 174-175. 〔The mind conceives nothing under a species of eternity except insofar as it conceives its body's essence under a species of eternity (by 29), that is, (by P21 and P23), except insofar as it is

eternal. So（by 30）insofar as it is eternal, it has knowledge of God, ...〕

（50） *Ibid*., p. 175.（Whatever we understand by the third kind of knowledge, we take pleasure in, and our pleasure is accompanied by the idea of God as a cause.）

（51）『仙境異聞　勝五郎再生紀聞』（子安宣邦校注）岩波書店，2000 年。

他の参考文献

Plato *Timaeus*, Penguin Books 1965.

Lafcadio Hearn *A History of English Literature*（Edited by R. Tanabe, T. Ochiai & I. Nishizaki）The Hokuseido Press, 1958.

Lafcadio Hearn *Appreciations of Poetry*（Selected and Edited with An Introduction by John Erskine）Dodd, Mead and Company, 1924.

波多野精一『時と永遠』岩波書店，2012 年。

太宰治「女神」『太宰治全集』（9）筑摩書房，昭和 61 年。

オウィディウス（中村善也訳）『変身物語』（上）岩波書店，2008 年。

デカルト（谷川多佳子訳）『方法序説』岩波書店，2020 年。

野田又夫（訳者代表）『筑摩世界文学系』（デカルト・パスカル）昭和 54 年，筑摩書房

ピエール＝フランソワ・モロー（松田克進 / 樋口善郎 訳）『スピノザ入門』〔改訂新版〕白水社，2021 年。

波多野直人『史的イエスをめぐる謎 ── 豊かなる混沌 ──』彩流社，2015 年。

上野修『スピノザの世界 ── 神あるいは自然』講談社，2005 年。

美田稔訳「現象としての人間」『テイヤール・ド・シャルダン著作集』（1）みすず書房，1978 年。

九鬼周造『「いき」の構造他二篇』岩波書店，2021 年。

折口信夫『死者の書・口ぶえ』岩波書店，2020 年。

斉藤正二他訳『ラフカディオ・ハーン著作集』（15）恒文社，1988 年。

池田雅之他訳『ラフカディオ・ハーン著作集』（7）恒文社，1994 年。

船山信一訳『キリスト教の本質』（上・下）岩波書店，1965 年。

（原稿受付　2021 年 10 月 25 日）

〈論　文〉

中国語作文力から見る無料翻訳の現状

――SVO 語順を基礎とした不規則的な拡張をサンプルに――

平　山　邦　彦

要　旨

現在無料の機械翻訳（無料翻訳）の普及により，誰でも手軽に中国語の文を算出できる環境にある。筆者は受講生から提出された作文課題をきっかけに，機械翻訳の現状に興味を抱いた。その中でも，本稿は特に無料翻訳の課題代替力となり得る弊害に注目した。考察範囲として，SVO 語順を基礎とした不規則的な拡張がなされた構文を枠組に設定した。これらの多くは中国語独特の語順特徴を表すものであり，習得上の難点ともなり得る。

無料翻訳のサンプルとしては Microsoft Bing，Excite，Google，Weblio，DeepL の５種を用いた。これらの中から解答例や習得目標とする構文（「目標構文」）と最も合致度の高いものを抽出し，その精度を分析した。考察の結果，(1) 目標構文全体の合致度を見ると，無料翻訳は課題代替力を有している，というレベルには達していない。(2) 合致度の高い例は一定の構文内に集中する。(3) 訳出対応力の高いものには学習者によく見られる誤用を補うものも見られる。(4) 目標構文との合致度と構文的特徴には一定の相関性が見出される。(5) 目標構文と合致しないタイプの多くは必須成分の欠如にある，という傾向性が見出せた。総じて「現時点無料翻訳は課題代替力と言えるほどの性能は有していない。その面では大きく危惧するほどの状況にまでは至っていない。但し，随所にその片鱗を見せている。完全に楽観視できるというものではない」という初歩的な見解に至った。

キーワード：無料翻訳；不規則的な拡張；目標構文；合致度；課題代替力

1. 問題提起

コロナウィルスの影響により，2020 年度，2021 年度とオンライン授業の機会が増えた。筆者の毎年担当する基礎レベルの作文授業も例外ではない。当該期間中，オンライン上での課題提出を義務付けていた。提出課題を確認すると，違和感を覚える解答が度々見られた。以下のその例である（対象者は拓殖大学中国語学科 2000 年度 2 年生）。

（1）（日本語文）彼女は私に向かってちょっと笑い，「あなたには教えないわ」と言った。
（中国語解答例）她向我笑了笑，说：“不告诉你”。
（提出課題例）她对我笑了一下，就说了“我不会告诉你”。

不可解さを与えた一点目は「あなたには教えない」の対訳部分（“不会告诉你”）である。日本語文にはない“会”（一部の解答では“能”）が加えられている。提出者 56 人のうち助動詞付き解答が 49 人（87.5％）と，基礎段階の中国語学習者の解答としてはかなり高い割合である。ここで用いられている助動詞は可能性，蓋然性を表す用法のものである。直訳では「～するだろう」「～なはずだ」と訳出される。日本語文には，これらの表現が含まれていない。伝達意図を考えて敢えて“会”をつけたという推測もできなくはない(1)。それでも，受講生が基礎段階の学習者であることを考えるとこの割合の高さは不自然さが拭えない。

二点目は「ちょっと笑い」の「ちょっと」に“一下”（一部は“一点儿”

（1） 本文で指摘している“会”を用いた違和感というのは，中国語として正しいかどうかという問題ではない。学習者が学習段階で持っている知識からして，簡単に導きだせないだろう，という点である。

を使用）が用いられた点である。55 名の回答者の中でそれぞれ 33 名（60％）と 14 名（25.5％）と，こちらの数値もかなり高い。“笑了一下”という表現そのものは中国語として問題はない。但し当該課では“V 了 V”（ちょっと V した）という“了”を用いた重ね型が習得ポイントの一つとして設定されている。学習意図から考えると，的外れとなる。

何故例（1）のような例文を多くの受講生が算出したのか，理由は様々考えられる。その一つとして，インターネット上の機械翻訳の使用が推測される。例（2）と（1）を比較されたい。

（2）（a）她对我笑了一点，说：“我不会告诉你。”〔Go〕(2)
（b）她对我笑了一下，说：“我不会告诉你的。”〔De〕

「ちょっと」に当たる部分，（2a）では“一点”，（2b）では“一下”が用いられている。また(2a)(2b)何れも“会”が用いられている。受講生の解答と機械翻訳の類似していることが分かる。

但し，それでも受講生がインターネット上の機械翻訳を用いた証明になるわけではない。また本稿の関心点も受講生の使用有無にあるわけではない。寧ろ機械翻訳の精度の方にある。この出来事は，筆者にとって機械翻訳に興味を抱かせるきっかけとなった。興味の内容は多岐に渡るが，本稿では次の点に焦点を当てる。

（1） 現在，どの学習者もインターネット上の機械翻訳を通して中国語作文を手軽に且つ無料で訳出できる環境にある。
（2） 先に示した無料の機械翻訳（以下「無料翻訳」と称す）が（授業ポイントとなる構文を算出できるだけの）高い精度を誇る場

（2） 機械翻訳の 略語に関して，詳細は末尾の【用例出典】を参照。

合，作文課題作成を肩代わりする対応力（以下「課題代替力」と称す）を持つこととなる。その場合，自力で文を考えずにそれなりに体裁の整った文が作成される。そうなれば，労せず単位，延いては高得点の取得にも繋がる。最終的には，正当な評価の妨げにもなってくる。

（3）（1）（2）の点を加味する時，現在中国語の無料翻訳がどれ位の精度を備えているのか，授業担当者としても把握しないわけにはいかない。

機械翻訳精度向上による中国語文法研究及び中国語教育への貢献は，筆者も興味と感心を抱いている。一方で（1）（2）（3）の弊害も無視できない。昨今英語の機械翻訳が深層学習（Deep learning）を活用した「ニューラルネットワーク翻訳」により，その精度を高めている（日経ビッグデータ編 2017：107-113；井口 2020：18）という。中国語機械翻訳の精度がその次元に達すれば計り知れない効果をもたらすことは推測に難くない。同時に，付随して起こり得る弊害も想定しておく必要がある。本稿では敢えて弊害部分に焦点を置きたい。無料翻訳の課題代替力もその一種とみなせる。

更には無料翻訳の精度と言っても，考察範囲は多岐に渡る。本稿では（語彙翻訳ではなく）語順体系を中心とした構文訳出(3) に着目する。特に，基礎段階で扱う「基本語順 SVO（「動作主－動詞－受動者」）を基礎とした不規則的な拡張の行われたタイプの訳出にどれ位対応しているか」という点に絞って議論する（詳細は第 3 章の議論を参照）。これらは中国語語順体系の特殊性を表すものであり，学習者にとっても難関となり得る。

（3） 本稿における「構文」は中国語の“句式”という意味で用いる。構文文法で論じられる“构式”という概念では用いない。

2. 機械翻訳研究の現状と研究的接点

無料翻訳の構文翻訳という場合，「言語学研究」「中国語文法理論研究」の機械翻訳への応用という点と関りを持つ。当該項目について，最新の研究としては陆俭明 2021 が挙げられる。中国語から英文への誤訳例を取り上げた上で，「中国における機械翻訳で満足のいく精度が得られていない」と分析している。その上で，「人工知能の研究と言語学の研究に大きな接点がなく，その関連性がますます薄くなっている」ことを重大な要因として挙げている。更には，陆俭明 2021 の指摘する「人工知能の研究と言語学の研究に大きな接点が見られない」という指摘は日本語における機械翻訳の研究にも当てはまる。その中でも，該当する研究として卜朝暉他 2002，謝軍他 2003，王，池田 2007 が挙げられる。テンス・アスペクトの翻訳アルゴリズムの提案と手作業による評価（謝軍他 2003），存在表現翻訳規則に対する手作業による評価と執筆者研究室開発の翻訳ソフト jaw/Chinese による翻訳実験（王，池田 2007），取り立て表現「も」「さえ」「でも」への中国語訳出手法の提案と市販の翻訳ソフトとの精度比較（卜朝暉他 2002），それぞれ異なるアプローチが行われている。何れも示唆に富み，機械翻訳の現状を把握する上で有益な情報の数々である。しかし，本稿の関心点とする「無料翻訳の構文翻訳精度」に関してはほとんど触れられていない。何よりも，その研究動機とする「課題代替力」という点についての議論を見ることがない(4)。

（4） 先行研究において「課題代替力」に対する研究が見られないのは，開発目的から考えれば至極当然ではある。機械翻訳の大きな役割が「円滑な言語コミュニケーションを図る」点にあることは容易に想像がつく。「円滑な言語コミュニケーション」の中身として，「課題代替力」というカンニング機能が念頭に置かれることは通常考えにくい。

3. 本稿の考察範囲と構文モデル

本章では第 1 章で示した「例文サンプルと無料翻訳のサンプル」,「SVO の枠組」,「不規則的な拡張の枠組」,「考察対象構文」についてそれぞれ具体像を示していく。

3.1. 例文サンプルと無料翻訳のサンプル

無料翻訳の精度を観察する上で指標となるサンプル資料が必要となる。本稿では，当該資料として東京外国語大学言語モジュール（中国語文法モジュール）（http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/）〔中モ〕（例文収集期間 2021 年 2 月 4 日～5 日）を用いる。選定理由は次の通りである。

（1） 基礎段階で学習する一通りの文法事項や構文が網羅されている。掲載された例文も，基礎段階でありふれて目にするものである。
（2） 中国語例文には日本語訳が付されている。日本語も基本的に直訳の形となり，基礎段階の学習者向けに作成されている。
（3） アクセスフリーなので，中国語例文及び日本語訳が誰でも出典としての信憑性を確認しやすい。よって，中国語解答例と無料翻訳で訳出された例文がいつでも比較対照できる。また商用の出版物ではないので，筆者としても版権を気にすることなく引用もしやすい。

〔中モ〕には文法項目ごとに纏められたステップ（動詞述語文，“吗”疑問文，“是”構文等）が用意されている。各ステップには「カード」「解説」「例文」「練習問題」という四つの項目が用意されている。本稿では

「例文」に掲載された用例をサンプルに使用した。以下特に言及のない限り，日本語文及び中国語文は当該箇所からの引用となる。

次に無料翻訳である。翻訳例としては，〔Bi〕〔De〕〔Ex〕〔Go〕〔We〕[5]という五種をサンプルに用いる[6]。これらの選定は，Yahoo! Japan（https://www.yahoo.co.jp/）の検索エンジンで「機械翻訳　中国語」を入力しヒットした上位五種という形で行った。検索時期により上位ヒットするものが多少変わり得るが，何れも代表的な翻訳サイトであることに変わりない。

尚上述の無料翻訳は何れも 2021 年の訳出である。何れの例も〔無料翻訳サイト＋日付〕という形で出典を示している。例えば〔Go0217〕は，Google にて 2021 年 2 月 17 日に訳出したことを表す。

3.2. 基本語順 SVO の範囲設定

中国語の基本語順は，一部異なる立場や見解は見られるものの SVO であることが通説となっている（张谊生 2013；刘丹青 2012a：299）[7]。更には SOV 語順が SVO に比べ有標性を持つことは，多くの先行研究で指摘が見られる（陈平 1994：166-167；储泽祥，王艳 2016；方梅 1995：284-285；沈家煊 1999a：196-219；施春宏 2004：17-18；平山 2019）。本稿では，まず SVO の三者が「動作主＋動詞＋受動者」の関係性にあるものを基本線に考察する。これは，ある情景概念の形成や描写における最も基本

（5） 無料翻訳の略語に関しては，末尾の【用例出典】を参照。

（6） 中にはユーザー登録やアカウント登録して用いる使用者がいることも考えられる。本稿では，これらの手段を用いない形で検索をかけていった。

（7） 近年の文献において，SVO を中国語の基本語順とする考えに異を唱えるものはほとんど見られない。SVO のみを基本語順と点については異なる意見も見られる。金立鑫，于秀金 2012，金立鑫，崔圭钵 2019，石村 2019，于秀金，金立鑫 2020 では中国語の基本語順を SVO のみならず，SOV との混合型と主張している。

的で普遍的な枠組みと位置付けとされる結合価スキーマ（valency schema）の展開様式となる（Lyons1977：498；沈家煊 1999b：5-6）[(8)]。特に VO 関係を日本語訳では「O を V する」「O に V する」が適用される。更に一部の「O が V する」（例.“这里有两本杂志。”（ここに雑誌が 2 冊ある）），“是 O”（O ある）もその範疇に入る。（平山 2008：9-13, 2009：69-71, 2019：113-115）逆にこれらの意味関係からかけ離れた場合有標的なものとみなし，議論対象からも外れる。例えば極端な例として“吃食堂”（食堂で食べる）のようなもの挙げられる。更には“我每天睡得很晚”（私は毎日寝るのが遅い）のように目的語 O が用いられていない例，更には VO（以下の例ではそれぞれ“帮忙”と“见面”）で一つの意味を表す離合詞も考察対象から外す。

（3） 我来帮你的忙。〔私があなたの手伝いをしましょう〕
（4） 他们一共见了三次面。〔彼らは合わせて 3 回会った〕

（8） 周知の如く，中国語において文頭成分に動作主以外の成分の用いられることは珍しくない。

① 那本新小说已经借出去了。〔その新しい小説はもう借り出されました〕〔中モ〕

中国語の基本語順が SVO と言っても，常に絶対的な作用を及ぼすものではない。（主語優先型ではなく）話題優先型と主張される通り，外在的要素による語順的影響も少なくない。陈平 1994：163-164, 2004：498 では，各種意味役割（“施事”（動作主），“感事”（感知者），“工具”（道具），“系事”（関与者），“地点”（地点），“对象”（対象），“受事”（受動者））の主語，目的語，話題としての使用傾向について論じている。同論文の指摘では，対象や受動者は目的語として機能しやすく，主語としては機能しにくい。一方で話題としては，動作主より機能しやすい。この場合の“那本小说”は話題と捉えることもできる。当該タイプの翻訳状況は別途考察したい。

3.3. 議論対象となる基本語順 SVO の拡張タイプ

次に「不規則的な拡張」についてである。次の点に基づく。

（1）「不規則的な」という点について「語順類型論に基づいた角度から」という意味合いで用いる。語順類型論自体様々な切り口があるが，“语义靠近原理”（semantic proximity principle（SPP））（陆丙甫 2005, 2008；陆丙甫，陈平 2020：648），“句子洋葱结构”（semantic onion）（Dirven & Verspoor1998：96；陆丙甫，陈平 2020：648）を指標とする(9)。これらの原理では，各種拡張成分の語順が VO という核心（head）(10) を取り巻く形でその外層に置かれると考えられている。本稿の議論対象は，上の枠組との関連性の見出しにくい構文各種となる。

（2） 拡張成分も基本義を保つものから希薄化されたものまで多岐に渡る。本稿では前者を扱う。例えば方向補語の派生用法等は考察対象から外れる。

（9） 当該理論に基づくと，中国語特有とされる各種介詞フレーズの語順も対象外となる（①②③は〔中モ〕より引用）。

① 我在图书馆看书。〔私は図書館で本を読みます〕
② 他从中国回来了。〔彼は中国から帰ってきた〕
③ 上海比北京热。〔上海は北京より暑い〕

中国語の介詞フレーズの動詞 V の前に置かれる語順は，SVO 言語としては特異性を持つ（Greenberg 1966；Dryer 2017；刘丹青 2003：29-39, 2012b）。一方で“语义靠近原理”から見る場合，予測可能な範囲となる。中国語介詞フレーズの語順も，修飾成分は VO の外層に置かれるという共通枠組の中の変数と言える。

(10) ここでの核心は機能核心（“功能核心”）ではなく，語彙核心（“词汇核心”）を指す。両者の違いについては，陆丙甫 2015：75 を参照。

3.4. 議論対象とする構文各種

3.1. で示した〔中モ〕の例文資料の中で，3.2 で示した SVO の枠組み，3.3. で示した「不規則的な拡張」に当てはまるものを挙げると次の範囲が該当する（詳細な議論は第 5 章を参照）。

●疑問語気の拡張

〔1〕 反復疑問文：SV 不 V O（S は O を V する のか）

●核心としての VO が比較的顕著なタイプ

〔2〕 動詞の重ね型：SV V O（S は O を ちょっと V する）

〔3〕 動作の回数・動量詞：SV 動量補語（回数） O（S は ある回数 O を V する）

〔4〕 動作の継続時間：SV 時量補語（継続時間）［“的”］O（S は ある時間の長さ O を V する）

●核心としての VO が比較的不明瞭なタイプ

〔5〕 連動文：SVO V2O2（S は O を V して O2 を V2 する）

〔6〕 単純方向補語“来 / 去”：SVO “来 / 去”（S は O を V して 来る / 行く）

〔7〕 単純方向補語 D：SV D（“上 / 下 / 进 / 出 / 回 / 过 / 起”） O（S は O を V D する）

〔8〕 複合方向補語：SV D（“上 / 下 / 进 / 出 / 回 / 过 / 起”） O （“来 / 去”）（S は O を V D して 来る / 行く）

● VO の主題化されたタイプ

〔9〕 動詞重複型：SVO V+α

4. 解答合致度の判断基準と機械翻訳の課題代替力判断

4.1. 解答例からの合致度の尺度

先ずは無料翻訳の解答合致度である。解答例として設定した〔中モ〕の例文各種は，それぞれ構文習得を意図して作成されている。以下習得を意図される構文のことを「目標構文」と表現する。各例文について，目標構文の訳出を中心に，以下の点に注目する。

1. 目標構文を使用した形跡が見出されるか。
2. 目標構文が正確に訳出されているか。
3. その他語彙の訳出が解答例と過不足なく合致しているか。或いは語彙の異なりが，基礎段階で常用される語彙の範囲で収まっているか[(11)]。

既に幾度か言及した通り，本稿の中心点は「語順体系を中心とした構文翻訳」にある。この主旨のもと翻訳精度の判断も〔1〕から〔9〕に示した各種構文の範囲内という指定された枠組の中で成される。もしも 1. の段階で躓いていれば，中国語としての正しさ如何に関わらず問題外となる。逆に 3. の段階の検証は 1., 2. を満たしていることが前提となる。具体的な段階分けは，以下の通りになる。

A）目標構文の構文形式を不備なく訳出

構文形式の訳出という部分では不備が見られない。細部の差異に

(11)「基礎段階で常用される語彙の範囲」の判断には次の文献にて用いられる用例を参考にした。相原他 2016，中国語教育学会学力基準プロジェクト委員会 2007，輿水，島田 2009，瀬戸口 2003，古川 2001，丸尾 2010，守屋，李 2019。

より a.，b.，c. の三種に分けられる。

a．文全体が解答例と合致（使用語彙に異なりがある場合，基礎段階で示される常用語彙の範囲内）。

b．文全体が解答例と合致。加えて日本語文にはない成分が追加で訳出。

c．構文形式に不備なし。但し，節々の単語等において解答例と大幅な不一致若しくは間違いが見られる。

B）目標構文の使用形跡は見出せる。一方で，語順若しくは形式的な部分で何らかの不備あり

d．構文中の主要成分に形式的不備あり(12)。

e．余剰成分が存在(13)

f．語順に間違いあり（重要成分は使用）。

g．d.〜f. の複数の不備あり。

C）目標構文の主要成分の欠如

h．目標構文の使用意図を見出すこともできる。一方で習得意図を無視した文の算出とも解釈できる。

---

(12) 該当例について，目標構文が連動文の場合から示しておく（中国語例について，／の左辺は〔中モ〕，右辺は無料翻訳によるもの）。

① 私は電話で彼に言います。→／我用电话对他说。〔We0223〕

上掲例では，“用”は介詞以外に動詞と解釈することもできる。動詞と解釈すれば，最初の動作が手段を表すタイプになる。同時に，主要部分である動詞“打”に対する不備となる。

(13) 本稿の対象外とする構文を例にとると，次の通りとなる。目標構文は存在を表す“有”を用いた「場所＋“有”＋ヒト／モノ」（桌子上有一本词典）となる。

① 机の上に辞書が１冊あります。→／在桌子上有１本词典。〔We0216〕

上掲例では，場所を表す成分“桌子”の前に介詞“在”が加えられている。

D）目標構文の無視

i．明らかに習得意図に合ってない文を算出。

4.2. 無料翻訳の課題代替力判断

次に無料翻訳の課題代替力判断である。本稿の趣旨は 5 種の無料翻訳を用いた結果，どれ位解答例に近い文が導き出されるかにある。それぞれの対訳パターンの分析や検証が趣旨ではない。加えて紙幅の都合上もあり，訳出された文全ての列挙は控えておく。〔中モ〕各例の解答合致度（4.1. で掲げた A）a.～D）i.）や翻訳例文も，無料翻訳サイトの中で最も高い値を示したものを提示する。例えばある例について無料翻訳から訳出された値が“b, c, d, c, h”と出揃った場合，最高値を“A）b”と判断し当該例を提示する。

5. 各種文法項目と翻訳的特徴

本章では，3.4. で提示した「疑問語気の拡張」「核心としての VO が比較的顕著なタイプ」「核心としての VO が比較的不明瞭なタイプ」「VO の主題化されたタイプ」各タイプについての目標構文との合致度を観察する。

5.1. 疑問語気の拡張

〔1〕 S は O を V するのか ⟶ 反復疑問文：SV 不 V O ？

当該反復疑問文では，動詞 V の後ろに否定“不 V”（V しない）が加えられる。それにより聞き手に疑問語気の存在を読み取りやすくする(14)。語

(14) 厳密に言えば“不 V”が加えられることで常に疑問を表すわけではない。

① 这扇门开不开了。（この扉は開かなくなった）。（孟琮等编 1999）

② 不错，鞋匠是不是个好差使。（その通り。靴職人は本当に良い役回り

気（mood）成分が最も外層に置かれる“句子洋葱结构”からは外れた形となる。それぞれ〔中モ〕と無料翻訳（以下（無）と省略）の訳出状況は次の通りとなる（以下の各中国語例において＝は動詞 V，＿は目的語 O，□は拡張部分であることを示す）。

（5） 彼は留学生ですか。

→ 〔中モ〕他是不是留学生？

→ D）i. 他是留学生吗[15]？〔Ex0221〕〔We0216〕

（6） あなたはビールを飲みますか。

→ 〔中モ〕你喝不喝啤酒？

→ D）i. 你喝啤酒吗？〔Bing0228〕〔Ex0221〕〔We0216〕〔Go0210〕〔De0206[16]〕

無料翻訳5種では，何れも“吗”を使った当否疑問文が用いられている。

5.2. 核心としての SVO が比較的顕著なタイプ

〔2〕 動詞の重ね型：SV□O（S は O を□ V する）

当該構文は，動詞 V の後に動詞 V を重ねることに「ちょっと」という

じゃないよ）

①の“开不开”は可能補語の否定形（孟琮等编 1999），②“是不是”における“是”は“不是个好差使”に対する断定の語気を表す構造となる（叔湘 1986：320）。

(15) □は目標構文との拡張方法の不一致や不備を表す。

(16) DeepL は日本語文の入力に対し複数の訳文候補が示される。選定に際しては次の基準で行う。1. 提示された例文の中で〔中モ〕の例文（構文形式）に近いものを選択。2. 提示された例文に大差がない場合，最初に提示されたものを選択。例（6）の場合 2. の基準が適用された形となる。

ニュアンスを付け加える。

（7）［彼は病気になったので,］彼をちょっと見舞いに行きましょう。
　⟶ 〔中モ〕［ 他病了,］[17] 我们去看看他吧。
　⟶ （無）C）h.［ 他病了,］我们去*探望*[18] □他吧。〔Bi0301〕

〔中モ〕の例で本稿の考察対象に該当するものは僅か一例である。主要成分の欠如したものとして，Bing による訳出が見られた。当該例では「ちょっと V する」部分に動詞“探望”が一つのみしか用いられていない。

〔3〕 動作の回数：SV動量補語（回数） O（S はある回数O を V する）

動量補語の語順は目的語の種類によって変わる。〔中モ〕には，「目的語が普通名詞」「目的語が固有名詞」「目的語が代名詞」の例が以下の通り用意されている。

○目的語が普通名詞

“一遍”と“展览会”の語順が示す通り，目的語が普通名詞の場合，動量補語の方が先に置かれる。

（8） 私は展覧会を 1 遍見ました。
　⟶ 〔中モ〕我看了一遍展览会。

---

(17)〔中モ〕の例文の中で各種目標構文と関係しない箇所は［ ］で示す。同時に，無料翻訳の精度検証の対象外となる。

(18) 解答例との不一致で，目標構文の構文形式と直接関わらない部分は斜体で示す。例えば（7）の中では“看”に対する不一致として“探望”が斜体で示されている。

⟶ （無）A）a.[19]〔Ex0224〕

例（8）においては，Excite において〔中モ〕と同様の中国語が訳出されている。

○目的語が固有名詞

目的語が固有名詞の場合，（9）の“上海”と“一次”が示す通り「V+O+ 動量補語」が許容される。更に動量補語は目的語の前に置くこともできる。

（9） 私は上海に一度行ったことがあります。

⟶ 〔中モ〕我去过上海一次。

⟶ （無）A）a. 我去过上海一次。〔Bi0301〕〔Ex0224〕

/ 我去过一次上海。〔De0207〕

Bing，Excite では〔中モ〕と同様の中国語が訳出されている。DeepL では回数“一次”の先に置かれる例が訳出されている。

○目的語が代名詞

“他”と“一次”の語順が示す通り，目的語が代名詞の場合，動量補語の方が後に置かれる。

（10） 私は彼に一度会ったことがあります。

⟶ 〔中モ〕我见过他一次。

（19） 翻訳例が記されていない場合，目標構文通りのものを訳出したことを意味する。

⟶ （無）A）a.〔Bi0301〕〔Go0212〕〔De0207〕

無料翻訳では Bing，Google，DeepL と観察対象中の 6 割が〔中モ〕と同様の中国語文を訳出している。

合致度では動作の回数を表す部分が借用動量詞の場合，合致度も落ちてくる。

（11） 彼は私を一発なぐった[20]。

⟶ 〔中モ〕他打了我一拳。

⟶ （無）A）c. 他打了我一枪。〔Bi0820〕

例（11）では目的語が人称代名詞“我”が用いられている。よって構文形式は「動詞 V+ 目的語 + 動量補語」となる。無料翻訳の中で Bing に A）c. の訳出が見られる[21]。

〔4〕 動作の継続時間：SV時量補語（継続時間）［“的”］O（S はある時間の長さ O を V する）

先ずは目的語が普通名詞の場合である。「動詞 V+ 時量補語［+“的”］+ 目的語 O」の形をとる。

---

(20) もともと〔中モ〕の日本語文「彼は私を一発ガンとなぐった」となる。以下が，その翻訳結果である。

① ⟶（無）D）i. 他与一致癌打了我〔Ex0224〕

この誤訳に関しては，「がん」と擬声語の干渉が少なくない（例えば Excite では「がん［という病名］と誤認している」）。借用動量詞の訳出状況をしっかり確認できるよう，当該部分を削除してある。

(21) 語彙選択を見れば，動量詞に間違いが見られる。本来殴打の回数を数える借用動作量“拳”を用いるべきところ，Bing では発砲等の回数を数える“枪”が用いられている。

（12） 昨晩彼はテレビを２時間見ました。

⟶ 〔中モ〕昨天晚上他看了两个小时电视。

⟶ （無）A）c. *昨晚*他看了2小时*电视机*。〔Ex0224〕/ *昨晚*他看了2个小时的电视。〔Go0212〕/ *昨晚*他看了两个小时的电视。〔De0208〕

当該例において Excite，Google，DeepL は A）c. の訳出が成されている。

続いては，目的語 O が具体的な人物且つ時量補語が不定量を表す場合である。この場合“等一会儿小张”で示される通り，「時量補語＋目的語 O」の形が許容される。更には“等小张一会儿”のように「目的語 O+ 時量補語」も可能となる。

（13） あなたは張さんをしばらく待って下さい(22)。

⟶ 〔中モ〕你等一会儿小张吧。

⟶ （無）A）a. 请等张先生一会儿。〔Bi0813〕/ 你等一下张先生。〔Go0813〕

目標構文を用いた訳出という点では Bing，Google が合致度の高い文を訳出している。

続いては，目的語が人称代名詞の場合である。この場合“他”と“一个小时”の語順で示される通り，時量補語は目的語 O の後に置かれる。

---

(22) 〔中モ〕の日本語文はもともと「あなたは張さんをしばらく待ったらどうですか」となる。英語の“Why don't you”の影響か機械翻訳５種何れも「どうですか」を“为什么不”と訳出していた（例.“你为什么不等一下张先生？”〔Go0212〕）。議論の簡素化を図る為例(13)の通り加工した。

（14）　私は彼を 1 時間あまり探しました。

⟶ 〔中モ〕我找了他一个多小时

⟶ （無）A）b.　我已经找了他一个多小时了[23]。〔De0208〕

例(14)については，DeepL が A）b. の訳出が見られる。日本語原文に表現されていない副詞“已经”，文末助詞の“了”が余分に訳出されている。

更には動詞 V が瞬間動作を表す場合である。“VO+ 期間 +‘了’”（O を V してある期間になった）の形をとる[24]。

（15）　彼は日本に来て 2 年になります。

⟶ 〔中モ〕他来日本两年了。

⟶ （無）A）b.　他来日本已经两年了。〔Bi0301〕

例(15)では，Bing が A）b. に属す文を算出している。〔中モ〕の例に加えて“已经”が“两年”の前に用いられている。

5.3. 核心としての SVO が比較的不明瞭なタイプ

〔5〕 連動文：SVO V2O2（S は O を V して O2 を V2 する）

連動文は動作主 S を基に複数の動作の展開された文となる[25]。複数の動

---

(23)　波線（﹏）は，中国語訳出の際余分に訳出された箇所を指す。

(24)　当該部分では，更に次の例が挙げられている。機械翻訳の結果と合わせて記しておく。

①　彼は卒業して 3 年になります。

⟶ （中モ）他毕业三年了。

⟶ （無）A）a.〔Bi0301〕

“毕业”が離合詞となることから，本文中の例からは外してある。

(25)　連動文には動作の連続を基礎とした様々なバリエーションがある（丸尾 2010：33-34；輿水，島田 2009；〔中モ〕）（①から③は〔中モ〕より引用）。

作の間には基本的に「〜して〜する」という日本語訳が対応する。日本人母語話者の感覚からすると，VO を基準として V2O2 が後続していくように感じる。しかし「述前開放」（藤井，杉村 2018：14；杉村 2020：9）という中国語の語順特徴から考えると，VO は寧ろ V2O2 という核心に対する背景情報の性格と捉えられる。

（16） 私はサイダーを 1 本買って飲みます。

⟶ 〔中モ〕我买瓶汽水喝。

⟶ （無）A）c. 我买 1 个汽水喝。〔Ex0223〕/ 我买一瓶*苹果酒*喝。〔Go0211〕/ 我会买一瓶*苹果酒*喝。〔De0207〕

例(16)では Excite，Google，DeepL が A）c. の形で訳出している。

続いて例(17)(18)は，V2O2 が目的となる文である。この場合 VO は“来 / 去［+ 場所］”が用いられる。日本語では「ある場所に行って V する」以外に「ある場所に V しに行く」ともしばしば対応する。

（17） 私は空港に友達を迎えに行きます。

⟶ 〔中モ〕我去机场接朋友。

⟶ （無）A）b. 我要去机场接我的朋友。〔Bi0301〕〔De0207〕

（18） 私は郵便局に切手を買いに行きます。

⟶ 〔中モ〕 我去邮局买邮票。

---

① 我有件事跟你商量。〔私はあなたに相談することがあります〕（VO が“有 O”（O がある）という状態）

② 我们请王先生作报告。〔私たちは王さんにお話しをしてもらう〕（兼語文。V2O2 の動作主が目的語 O）

③ 他紧握朋友的手不放。〔彼は友人の手をしっかりと握って放しませんでした〕（VO と V2O2 が肯定と否定）

3.3. で述べた趣旨から，本稿では深く踏み入らない。

⟶ （無）A）a.〔We0217〕〔Go0211〕

(17)では Bing と DeepL が，A）b. に属す形で訳出している。〔中モ〕の例文に加え動詞“去”の前に“要”，“朋友”の前に“我的”がそれぞれ加えられている。(18)では Weblio と Google が解答例同様の中国語を訳出している。

続いては，最初の VO が V2O2 の手段を表す場合である。VO が(19)(20)では「O に V して」，(21)では「O で」という日本語が対応している。

(19)　私は自転車に乗って行きます。

⟶ 〔中モ〕我骑自行车去。

⟶ （無）A）a.〔Bi0301〕

(20)　彼は飛行機に乗って北京に行きます。

⟶ 〔中モ〕他坐飞机去北京。

⟶ （無）A）a.〔Bi0301〕

(21)　私は電話で彼に言います。

⟶ 〔中モ〕我打电话告诉他。

⟶ （無）A）c. 我打电话*对他说*。〔We0217〕

(19)(20)は Bing が〔中モ〕と同様の中国語を訳出している。(21)は Weblio が A）c. の形で訳出している。

〔6〕 単純方向補語：SVO“来 / 去”（S は O を V して来る / 行く）

単純方向補語“来 / 去”が目的語と共起する時，“来 / 去”は目的語の後に置かれやすい。中でも目的語 O が場所を表す際，“来 / 去”は目的語 O の後以外の語順は許容されない。

(22) 暗くなったから，早く家に帰ろう。

⟶ 〔中モ〕[天黑了,] 快回家去。

⟶ （無）C) h. [天黑了,] 我们*早点*回家□吧〔Bi0301〕〔De0208〕/ [因为变得天黑了] *早早*回家□吧。〔We0213〕/ [天快黑了,] *让*我们*早点*回家□。〔Go0213〕

無料翻訳での訳出は何れも“去”を抜かした VO のみという形である。次は目的語 O が物を表す場合である。

(23) スープを 1 杯持ってきて！

⟶ 〔中モ〕端一碗汤来！

⟶ （無）B) f. *拿*来 1 *杯*汤！〔Ex0225〕

(24) 彼は私に辞書を 1 冊買ってきてくれた

⟶ 〔中モ〕他给我买了一本词典来。

⟶ （無）C) h. 他给我买了一本*字典*□。〔Bi0301〕〔Go0213〕/ 他*为*我买 1 *册*词典□。〔Ex0225〕/ 他给我买了 1 本词典□。〔We0219〕/ 他给我买了一本*这样的字典*□。〔De0208〕

例(23)で解答例の目標構文に近い訳出は Excite に見られる。B) f. に該当する。“来”が目的語の前に置かれるという誤用である。目的語 O が物の場合当該語順の許容される場面もあるが，例(23)で示すような未然の動作では許容されない。(24)は何れも，“来”という主要成分の欠如という点に集約される。

更には，〔中モ〕の中国語例では(24)以外にも，“来”が目的語 O の前に置かれたものも提示されている。

(25) 彼は私に辞書を 1 冊買ってきてくれた

⟶ 〔中モ〕他给我买来了一本词典。

⟶ （無）C) h. 他给我买了一本*字典*□。〔Bi0301〕〔Go0213〕/ 他为我买1*册*词典□。〔Ex0225〕/ 他给我买了1本词典□。〔We0219〕/ 他给我买了一本*这样的字典*□。〔De0208〕

日本語文は例(24)と同一である。よって，無料翻訳の訳出結果も例(24)と同様になる。“来”の不使用により C) h. に属す点で一致する。

〔7〕 単純方向補語 D：SVD (“上 / 下 / 进 / 出 / 回 / 过 / 起”) O（S は O を VD する）

単純方向補語“上 / 下 / 进 / 出 / 回 / 过 / 起”を動詞 V に後続させる時，VD という複合動詞化する(26)。構造的にも方向補語 D の影響力が大きくなる（石村 2003, 2021）。相対的に VO の核心としての振舞も制御を受ける。

(26) 子供たちは列になって校門を出た。

⟶ 〔中モ〕孩子们［排着队］走出了校门。

⟶ （無）A) a. 孩子们［*排成一排*，］走出了校门。〔Bi0301〕

(27) 彼は通りを渡って［本屋の入り口の前に来た］。

⟶ 〔中モ〕他穿过马路［，来到书店门前］。

⟶ （無）A) a. 他穿过马路［，来到了书店*的门口*］。〔De0208〕

---

(26) 同様の特徴を持つものとして結果補語が挙げられる。〔中モ〕の「例文」には SVO（動作主－動詞－受動者）の形になっているものが見当たらなかった。よって結果補語には触れていない。

① 我们都走累了，坐下来歇一会儿吧。〔私たち歩いて疲れたから座って少し休みましょう〕（目的語 O がなし）

② 这件衣服没洗干净。〔この服は洗ってもきれいになっていない〕（文頭成分が受動者）

（28） 彼は［通りを渡って］本屋の入り口の前に来た。

⟶ 〔中モ〕他［穿过马路,］来到[27] 书店门前。

⟶ （無）A）c. 他［穿过马路,］来到了书店*的门口*。〔De0208〕/ 他［穿过*街道*］来到书店*门口*。〔Bi0301〕他［*过*马路,］来到书店*入口前*。〔Go0213〕

（29） 彼は荷物を持つと（出口を出た）。

⟶ 〔中モ〕他提起行李［走出门去］。

⟶ （無）A）c. 他*拿*起*东西*［*就往外走*］。〔De0208〕

例（26）から例（29）は何れも目標構文の形式が保たれている。例（26）では Bing，例（27）では DeepL が解答例と同様の形を訳出している。例（28）では DeepL，Bing，Google が A）c. の形で訳出している。例（29）では，DeepL が A）c. の形で訳出している。

〔8〕 複合方向補語：SV[D（“上 / 下 / 进 / 出 / 回 / 过 / 起”）] O [（“来 / 去”）]
（S は O を V[D] して来る / 行く）

複合方向補語“D 来 /D 去”と目的語 O では，D と“来 / 去”の間に目的語 O が置かれる。

以下は目的語 O が場所を表す例である。

（30） 彼は［荷物を持つと］出口を出た。

⟶ 〔中モ〕他［提起行李］走出门去。

⟶ （無）C）h. 他［拿了行李,］走出了*出口*□。〔Bi0301〕

（31） 選手は競技場に入って行った。

（27）“V 到 + 場所”における“到”は結果補語とも分析できるが，〔中モ〕の基準に合わせ方向補語の例として提示しておく。

⟶ 〔中モ〕运动员走进比赛大厅去了。

⟶ （無）C) h. 运动员们走进*了体育场*□。〔Bi0301〕/ 运动员走进*体育场*□。〔Go0213〕/*队员们*走进*体育场*□。〔De0208〕

何れの無料翻訳も，方向補語 D（“进”）は訳出がある。一方方向補語“去”の訳出がない。何れも「V していく」（“走进去”）に当たる部分が VD（“走进”）で訳出されている。

続いては例(32)(33)において目的語 O は物を表す。

(32) ノートを出して。

⟶ 〔中モ〕你拿出本子来。

⟶ （無）C) h. 拿出*笔记本*□。〔We0219〕/ 拿出*你的笔记本*□。〔De0208〕/

(33) 彼は部屋から椅子を 1 脚運び出して来た。

⟶ 〔中モ〕他从房间里搬出一把椅子来。

⟶ （無）C) h. 他从*房间抬*出 1 把椅子□。〔Ex0227〕

例(32)(33)何れも目標構文の必須成分“来”が不使用である。何れも VDO の形で表現されている。

例(33)は已然の動作となる。“来”は目的語 O（“一把椅子”）の後に置くことも可能となる。

(34) 彼は部屋から椅子を 1 脚運び出して来た。

⟶ 〔中モ〕他从房间里搬出来一把椅子。

⟶ （無）C) h. 他从*房间抬*出 1 把椅子□。〔Ex0227〕

例(34)の日本語は例(33)のものと同一である。よって無料翻訳で訳出さ

れた文も同一のものとなる。例(33)同様方向補語“来”の訳出されない文となる。目標構文が“VD 来 O”であっても，C) h. という判断に変わりがない。

5.4. VO の主題化されたタイプ

〔9〕 動詞重複型：SVO[V+α]

続いては VO に“V+α”の形で後続するタイプである。黄哲，刘丹青 2018 の疑似連動式という名称に代表されるように VO は主題としての性質を帯びる。

当該タイプの中で様態補語 “SVO[V 得～]”（S は O を V するのが～だ）は参考書等で必ずと言ってよいほど説明される。

(35) 彼は中国語を話すのがとても流暢だ。
→ 〔中モ〕他说汉语[说得很流利]。
→ （無）C）h. 他讲中文[　　很流利]。〔Bi0302〕/ 他说中文[　　*非常流畅*]。〔Ex0227〕/ 他说中文[　　*很流畅*]。〔We0219〕

更には，時量補語を用いたタイプ “SVOV+ 時量補語”（O を / にある時間の長さ V する）の例が見られる。

(36) 私たちは車に 40 分あまり乗りました。
→ 〔中モ〕我们坐车[坐了四十多分钟]。
→ （無）C）h. 我们坐车[　*了超过 40 分*]。〔We0217〕
我们上车[　　大约 40 分钟]。〔Go0212〕

例(35)(36)は何れも目的語 O の後の動詞が訳出されていない。例(35)では，「話すのがとても流暢だ」が“VO+～”の形で訳出され，“V 得”

の使用が見られない。例(36)も「40 分あまり乗る」の部分が“VO+ 継続時間”の形で訳出されている。目的語 O（“车”）の後に動詞（“坐”）の存在が見られない。

6. 翻訳状況と例文一致傾向

第 5 章で構文各種に対する無料翻訳の訳出状況を観察した。それぞれ〔1〕反復疑問文,〔2〕動詞の重ね型,〔3〕動作の回数,〔4〕動作の継続時間,〔5〕連動文,〔6〕単純方向補語“来 / 去”,〔7〕単純方向補語 D,〔8〕複合方向補語,〔9〕動詞重複型,〔10〕目標構文全体，について表に纏めておく。それぞれ A) a.～D) i. について左から順に次の形で纏めてある。

ⅰ．数：各項目に該当する例文数
ⅱ．該当例：各項目における該当例（〔10〕目標構文全体の分は省略）
ⅲ．％（構文内）：各項目の当該構文内の該当率
ⅳ．％（例文全体）：例文総数（32 例）に対する該当率（各種構文に該当する例文数は異なる。よって目標構文全体に占める該当率とは異なる）。
ⅴ．％（目標構文案分後）：目標構文 9 種を均等に案分（それぞれ約 11.1％）した上での，全体における該当率。〔1〕から〔9〕の A) a.～D) i. の目標構文全体に占める該当率をより正確に反映させた数値となる。

表 1 〔1〕反復疑問文

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
D	i	2	(5) (6)	*100.0%*	6.3%	**11.1%**
		2		*100.0%*	6.3%	**11.1%**

表 2 〔2〕重ね型

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	1	(7)	*100.0%*	3.1%	**11.1%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		1		*100.0%*	3.1%	**11.1%**

表 3　〔 3 〕動作の回数

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	3	(8) (9) (10)	*75.0%*	9.4%	**8.3%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	1	(11)	*25.0%*	3.1%	**2.8%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		4		*100.0%*	12.5%	**11.1%**

表 4　〔 4 〕動作の継続時間

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	1	(13)	*25.0%*	3.1%	**2.8%**
	b	2	(14) (15)	*50.0%*	6.3%	**5.6%**
	c	1	(12)	*25.0%*	3.1%	**2.8%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		4		*100.0%*	12.5%	**11.1%**

表 5 〔5〕連動文

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	3	(18) (19) (20)	*50.0%*	9.4%	**5.6%**
	b	1	(17)	*16.7%*	3.1%	**1.9%**
	c	2	(16) (21)	*33.3%*	6.3%	**3.7%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		6		*100.0%*	18.8%	**11.1%**

表 6 〔6〕単純方向補語“来 / 去”と目的語の語順

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	1	(23)	*25.0%*	3.1%	**2.8%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	3	(22) (24) (25)	*75.0%*	9.4%	**8.3%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		4		*100.0%*	12.5%	**11.1%**

表 7　〔 7 〕単純方向補語 D

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	2	(26) (27)	*50.0%*	6.3%	**5.6%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	2	(28) (29)	*50.0%*	6.3%	**5.6%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		4		*100.0%*	12.5%	**11.1%**

表 8　〔 8 〕複合方向補語と目的語の語順

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	5	(30) (31) (32) (33) (34)	*100.0%*	15.6%	**11.1%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		5		*100.0%*	15.6%	**11.1%**

表 9 〔9〕動詞重複型

		数	該当例	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	b	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	c	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
B	d	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	g	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	2	(35) (36)	*100.0%*	6.3%	**11.1%**
D	i	0		*0.0%*	0.0%	**0.0%**
		2		*100.0%*	6.3%	**11.1%**

表 10 〔10〕目標構文全体

		数	%（構文内）	%（例文全体）	%（目標構文案分後）
A	a	9	*28.1%*	28.1%	**22.2%**
	b	3	*9.4%*	9.4%	**7.4%**
	c	6	*18.8%*	18.8%	**14.8%**
B	d	0	*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	e	0	*0.0%*	0.0%	**0.0%**
	f	1	*3.1%*	3.1%	**2.8%**
	g	0	*0.0%*	0.0%	**0.0%**
C	h	11	*34.4%*	34.4%	**41.7%**
D	i	2	*6.3%*	6.3%	**11.1%**
		32	*100.0%*	100.0%	**100.0%**

上の表に挙げたデータでは総例文数は多くない。個々の目標構文の例も極めて断片的ではある。何かを断定するには，より掘り下げた議論が必要となる。しかし，その中の傾向や特性から一定の参考値は提供できると思われる。以下が具体的な内容となる。

（1） A）a. から D）i. の〔1〕から〔9〕の「目標構文案分後」該当率の合計（〔10〕目標構文全体の「目標構文案分後」）を見ると，A）a. は 22.2％となる。A）b. まで含めても 29.6％である。語彙選択を含めて解答例通りに算出されたものは多くない。但し A）a. から A）c. までの数値，即ち A）全体の値となると，44.4％と半数近くになる。a. と b. の合計パーセントから約 1.5 倍に跳ね上がっている。それでも授業の単位認定の基準を 6 割と仮定すると，単位取得を満たすだけの課題代替力を有しているとまでは言い難い。

（2） 合致度の高い例は一定の構文内に集中する。A）a. に属す該当率（各構文内）を示すと次の通りとなる。①〔3〕動作の回数（75％），②〔5〕連動文，〔7〕単純方向補語 D（50％），④〔4〕動作の継続時間（25％），⑤その他（0％）。更に a. 若しくは b. に属す例の該当率は高い方から順に次の通りとなる。①〔3〕動作の回数，〔4〕動作の継続時間（75％），③〔5〕連動文（66.7％），④〔7〕単純方向補語 D（50％），⑤その他（0％）。目標構文のみならず使用語彙のレベルまで解答例との合致度が高い項目を見ると，〔3〕動作の回数，〔4〕動作の継続時間，〔5〕連動文，〔7〕単純方向補語 D の四項目に留まっている。以上 9 項目の中での分布を見ると，a.，b. の形で訳出される構文は局所的となる。A）a. のみ或いは A）a. と A）b. の訳出が見られる例の構文内の該当率は 50％から 75％の中にある。合致度の傾向でも，〔3〕〔4〕

〔5〕〔7〕とその他で一定の開きが見られる。

A) c. も含め A) 全体の該当率に対象を広げると，高い方から順に示すと次の通りとなる。①〔3〕動作の回数，〔4〕動作の継続時間，〔5〕連動文，〔7〕単純方向補語 D（100%），⑤〔1〕反復疑問文，〔2〕動詞の重ね型，〔6〕単純方向補語“来 / 去”，〔8〕複合方向補語，〔9〕動詞重複型（0%）。対象を c. まで広げて A）という枠組みで考察しても，該当項目が大きく増えるわけではない。〔3〕〔4〕〔5〕〔7〕の構文内の該当率は 100% と大幅に上昇する。その他の該当率が 0% であることと比較すると，合致度の傾向が両極に分かれたことが示される。

（3） 解答例との合致度の高い項目には語順の誤用と関わる部分も見られる。中でも〔3〕動作の回数，〔4〕動作の継続時間と目的語 O の語順は参考書等でも解説される重点項目である。「述目間半開放」（藤井，杉村 2018：13-14；杉村 2020：9）という中国語の語順特徴の反映された形式である。例えば（8）(10)(12)(14)について，学習者の中で次の誤答は大いに想定し得る。

（8′）*我看了展览会一遍
(10′) *我见过一次他。
(12′) *昨天晚上他看了电视两个小时。
(14′) *我找了一个多小时他。

この種の誤答は学習者の中である程度構文スキーマが備わった中で起こり得るものとも言える。この段階に達するにはある程度の努力が必要となる。先述した無料翻訳の精度から考えると「勉強せずに労せず点数が取れる」とうい可能性は否定できない。

（4） （2）でも先に指摘したが，解答例との合致度とその傾向性は各

構文で異なる。それは，無料翻訳の対応力も構文によって偏りを持つことを表す。少なくとも，次のタイプの構文についてはある程度の対応力を有しているように推察される。

1．VO における動詞 V が構文内でも動作義を色濃く残している
2．拡張成分と主語 S との関連性が一定程度顕著に見出せる
3．拡張成分の語彙的意味が比較的そのまま文意に反映される

換言すれば，1.2.3. を全て満たしていれば，課題代替力という弊害的力を発揮する可能性も上がる。裏を返せば 1.2.3. から乖離した場合，対応レベルもより未成熟な段階に留まっている。「課題代替力」という懸念材料はまだ見出しにくい。

A）に該当する例の見られない構文を見ると，1. からは〔9〕動詞重複型が外れる。VO は動作よりも話題として機能する。2. から外れる要素として〔6〕単純方向補語“来 / 去”，〔8〕複合方向補語が該当する。方向補語“来”“去”は移動主体が必ずしも主語 S とは限らない。目的語 O の移動を表すことも少なくない。“拿出本子来”等は正に後者の該当例である。この点は方向補語でも客観的な位置移動を表す D（“上下进出”）等とは異なる。3. には，〔1〕反復疑問文，〔2〕動詞の重ね型が挙げられる。前者の例“喝不喝”の“不喝”は「飲まない」という否定に過ぎない。「～かどうか」という疑問の意味は“喝不喝”の中で顕現される。後者の例“看看”における“看”は単独で取り出すと「見る；見舞う」という動作でしかない。「ちょっと」という意味は“看看”という重ね型によって顕現される。

（5）〔10〕目標構文全体を見ると，構文形式と合致しないグループ

B) d. から D) i. の該当率（目標構文案分後）は 55.6％であるが，41.7％が C) h. に属す。同一範囲内で D) i. の 11.1％と合わせて，習得意図とかすりもしない文が圧倒的に多い。目標構文の使用形跡の見出せる不一致は B) f. の 2.8％しかない。B) f. の 2.8％は同時に気になる点でもある。無料翻訳には，負の転移や過剰般化等人間の習得過程で通常起こり得るような作用とはほぼ無縁或いは関係性が薄いように見受けられる。機械翻訳の開発が進むと（8′）（10′）（12′）（14′）で挙げたような段階を通過せず，A）に至る可能性も低くない可能性も十分にある。そうなれば，この 41.7％は A）予備群とも推察される。絶対とも言い切れないが，昨今の Google 英語翻訳機能の進化（日経ビッグデータ編 2017：107-113；井口 2020：18）を考えれば，杞憂とばかりは言っていられそうにはない(28)。

以上の内容を総括すると，本稿で論じた目標構文については「無料翻訳」は第 1 章で示したような課題代替力というまでの性能は有していない。その面では大きく危惧するほどの状況にまでは至っていない。但し，随所にその片鱗を見せている。完全に楽観視できるというものではない」という結論に集約される。

(28) 「駆使すれば」というのは 5 種の「機械翻訳の中で一番適切な解答を選定できれば」という意味である。〔中モ〕の例文を無料翻訳にかけた時，ある機械翻訳では a. に属す例文を算出するが，他のものでは的外れなものを訳出する，ということもある。例えば例(19)では〔We0217〕〔Go0211〕で“我骑自行车”という C) h. に属す文が訳出されている。このような例を課題の解答として選択した場合，主旨に合わないものを提出することになる。

7. まとめと今後の展望

本稿では，「課題代替力」という点に着目し，インターネット上で手軽に使える無料翻訳の対応力を観察した。無料翻訳のサンプルとして 5 種を選んだ。構文サンプルに「動作主 + 動詞 V+ 受動者」という SVO 語順を基礎とし，その拡張が語順類型論から見て不規則的なタイプをサンプルに選んだ。そのプロセスとして目標構文とは直接関わらない語彙選択等の間違いや不一致には極力スポットが当たらないように論を進めてきた。大きくスポットを当てると論点がぼやける恐れがあったからである。

(37)　彼も留学生です。
　　⟶ 〔中モ〕他也是留学生。
　　⟶ （無）A) c. 他也是*一名国际学生*。〔Bi0228〕/ 他也是*国际学生*〔Go0210〕/ 他也是*一名交换生*。〔De0205〕

上の例は『「S も O である」→“S 也是 O”』という中国語学習の初期中の初期で学ぶ構文である。構文翻訳自体は間違っていない。不一致は，目的語 O に当たる“留学生”の部分である。但しこのような初歩的な誤訳に当たると，一昔前の英語翻訳のように「笑い話のネタになるような誤訳が満載の使えない代物」（井口 2020）という印象を受けやすくなる。そのような先入観は，構文翻訳精度への印象にも波及し得る。

構文翻訳の精度ついて，本稿の議論範囲に絞って言えば，既に指摘した通り「先ずは危惧するほどの課題代替力は有していないがその片鱗を見せている」というものであった。

更には，無料翻訳では目標構文を用いずとも中国語として成り立つ状況も少なからず存在する。

（7′） 他生病了，我们去看他一下吧。〔De0207〕

（36′） 我们坐了四十多分钟的车。〔Bi0301〕

（7′）（36′）はそれぞれ（7）（36）の目標構文から見るとD）iに属す。しかし（7′）の“V 一下”は「ちょっと V する」を表す常用表現である。更に（36′）の“V+ 継続時間‘的’+O”は動作の継続時間を表す表現として常用される。何れも通常文法書や教科書でも取り上げられる。もしも採点において目標構文以外の解答も許容される場合，無料翻訳が課題代替力の幅が更に広がることになる。採点の際より注意が必要となる。

本稿では一つ一つの例文を観察することに紙幅を費やしていった。その分第6章で指摘した通り，例文数や議論範囲もごく限られたものとなった。幅広い部分で詳細な検証が必要なことは言うまでもない。更にはAIの進化は日進月歩である。随時その変遷を捉える必要がある。本稿で取り上げたものは現時点の状況に過ぎない。その精度向上により本稿の指摘内容もすぐに「一昔前のもの」言われる状況となっているかもしれない。そうなれば，課題代替力という危惧も現実味を帯びることになるなり得る(29)。何れにしても，今後の動向を注視したい。

用例出典

〔中モ〕東京外国語大学言語モジュール（中国語文法モジュール）（http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/）

〔Bi〕Microsoft Bing（https://www.bing.com/translator?to=ja&setlang=ja）

〔De〕DeepL（https://www.deepl.com/translator）

〔Ex〕Excite（https://www.excite.co.jp/world/chinese/）

〔Go〕Google（https://translate.google.co.jp/?hl=ja&sl=ja&tl=zh-CN&op=translate）

〔We〕Weblio（https://translate.weblio.jp/chinese/）

(29) 無料翻訳の制度が上がれば，有料翻訳の制度も更に高くなることは言うまでもない。もしも受講者が有料翻訳を使うとその危惧は当然更に大きくなる。

参考文献

（日本語）

相原茂，石田知子，戸沼市子 2016.『Why? にこたえる　はじめての中国語文法書 新訂版』同学社。

井口景子 2020. AI 翻訳で英語学習法はこう変わる『Newsweek 日本版』3 月号。18-23 頁。

王軼諞，池田尚志 2007.「日中機械翻訳における存在表現の翻訳処理について」『自然言語処理』14 巻 5 号。

輿水優，島田亜実 2009.『中国語 わかる文法』。東京：大修館書店。

謝軍，卜朝暉，池田尚志 2003.「日中機械翻訳におけるテンス・アスペクトの処理」『自然言語処理』10 巻 4 号。

杉村博文 2020.「中国語教員が知っておくべき中国語文法知識とは」『中国語教育』第 18 号，1-24 頁。

瀬戸口律子 2003.『完全マスター 中国語の文法』。東京：語研。

中国語教育学会学力基準プロジェクト委員会 2007『中国語初級段階学習指導ガイドライン（文法項目表・学習語彙表）』。中国語教育学会。

日経ビッグデータ編 2017.『グーグルに学ぶディープラーニング』。東京：日経 BP 社。

平山邦彦 2008.「日本人学習者を対象とした中国語教育に関する一考察 ── その言語背景を考慮に入れて」『拓殖大学　語学研究』第 117 号，1-32 頁。

平山邦彦 2009.「存現文教学に関する一考察」『中国語教育』第 7 号，64-86 頁。

平山邦彦 2019.「中国語語順体系に貫かれた構成原則に関して ── 基本語順 SVO を骨子とした肉付けに主眼を置いて ──」『拓殖大学　語学研究』第 140 号，105-145 頁。

古川裕 2001.『チャイニーズ・プライマー』。東方書店。

卜朝暉，謝軍，池田尚志 2002. 日中機械翻訳におけるとりたて表現の翻訳について ──「も」，「さえ」，「でも」──『自然言語処理』9 巻 5 号。

丸尾誠 2010.『基礎から発展まで よく分かる中国語文法』。東京：アスク出版。

守屋宏則，李軼倫 2019.『やさしく くわしい 中国語文法の基礎　改訂新版』。東京：東方書店。

（中国語）

陈平 1994. 试论汉语中三类句子成分与语义成分的配位原则《中国语文》第 3 期，161-168 页。

陈平 2004. 汉语双项名词句与话题－陈述结构《中国语文》第 6 期，493-507 页。

储泽祥，王艳 2016. 汉语 OV 语序手段的指称化效用《世界汉语教学》第 3 期，318-330 页。

方梅 1995. 汉语对比焦点的句法表现手段《中国语文》第 4 期，279-288 页。

黄哲，刘丹青 2018. 试析汉语中疑似连动式的话题结构《世界汉语教学》第 1 期，12-25 页。

金立鑫，崔圭钵 2019.“把”字句的结构功能动因分析《汉语学习》第 1 期，3-12 页。

金立鑫，于秀金 2012. 从与 OV-VO 相关和不相关参项考察普通话的语序类型《外国语》，第 2 期，22-29 页。

刘丹青 2003.《语序类型学与介词理论》，北京：商务印书馆。

刘丹青 2012a. 汉语的若干显赫范畴：语言库藏类型学视角《世界汉语教学》第 3 期，291-305 页。

刘丹青 2012b. 汉语差比句和话题结构的同构性：显赫范畴的扩张力一例《语言研究》第 4 期，1-12 页。

陆丙甫 2005. 语序优势的认知解释（上）：论可别度对语序的普遍影响《当代语言学》第 1 期，1-15 页。

陆丙甫 2008. 语序类型学理论与汉语句法研究，沈阳，冯胜利主编《当代语言学理论和汉语研究》，241-256 页。北京：商务印书馆。

陆丙甫 2015.《核心推导语法（第二版）》，上海：上海教育出版社。

陆丙甫，陈平 2020. 距离象似性 —— 句法结构最基本的性质《中国语文》第 6 期，643-661 页。

陆俭明 2021. 亟需解决好中文信息处理和汉语本体研究的接口问题《当代修辞学》第 1 期，1-9 页。

孟琮，郑怀德，孟庆海，蔡文兰 1999.《汉语动词用法词典》，北京：商务印书馆。

沈家煊 1999a.《不对称标记论》，南昌：江西教育出版社。

沈家煊 1999b. 转指和转喻《当代语言学》，第 1 期，3-15 页。

施春宏 2004. 汉语句式的标记度及基本语序问题《汉语学习》第 2 期，10-18 页。

石村广 2003. 表示使动义的趋向性复合动词《現代中国語研究》第 5 期，朋友書店，19-31 页。

石村广 2019. 汉语动结式在语言类型上的两面性 —— 从藏缅语的自动和使动的对立谈起《世界汉语教学》第 4 期，443-455 页。

石村广 2021. 汉语“复合动趋式 + 宾语”的语序问题《语言教学与研究》第 4 期，44-55 页。

叔湘 1986. 叠用“是”和“不知道”《中国语文》第 4 期，320 页。

藤井瑠美，杉村博文 2018. 从不同类型语言“昨天大阪下了一场大雨”的表达方

式看汉语句子的基本格局《对外汉语研究》第 18 期，1-15 页。北京：商务印书馆。

于秀金，金立鑫 2020. 类型学视角下汉语的混合格配置模式《外国语》第 5 期，30-45 页。

张谊生 2013. 句法层面的语序与句子层面的语序 —— 兼论一价谓词带宾语与副词状语表程度《语言研究》第 3 期，40-51 页。

（英語）

Dirven, René and Marjolijn Verspoor (eds.) 1998. *Cognitive Exploration of Language and Linguistics*. Amsterdam /Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.

Dryer, Matthew S. 2017. Word order in Sino-Tibetan languages from a typological and geographical perspective. In Graham Thurgood & Randy J. LaPolla (eds.) *Sino-Tibetan Languages* (2nd edition), 170-82. London/NewYork: Routledge.

Greenberg, Joseph H. 1966. Some Universals of Grammar with Particular Reference to the Order of Meaningful Elements. In Joseph H. Greenberg (ed.) *Universals of Language* (2nd edition), 73-113. Cambridge/MA: MIT Press.

Lyons, Johon. 1977. *Semantic, Vol2*. Cambridge: Cambridge University Press.

【付記】

本稿は令和 3 年度拓殖大学言語文化研究所助成による成果の一部である。

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

〈論　文〉

洋楽歌詞を活用した データベース構想と構築

藤　本　淳　史

要　旨

本研究は，洋楽は教材として成立しないことが前提にある今の風潮と概念に対して，筆者はデータベースを構築することで洋楽が教材として決して劣らないと証明したいとの必然性から始まった。

洋楽にはストーリーがあり，機知に富んだユニークな表現がある。洋楽のストーリー性の魅力は，機知に富んだユニークな表現を無意識に脳内に定着させることであり，筆者はこれを語学学習に利用しようと考えている。

機知に富んだユニークな表現とは何かと考えたとき，筆者は“proverbs and sayings”に着目した。洋楽からであれば，正統派“proverbs and sayings”のみならず，派生した“proverbs and sayings”をも学ぶことができる，これが着眼点だった。下らないと思われてきた派生した“vivid expressions”だが，実は教材として高い可能性を秘めている。派生した“proverbs and sayings”は様々な授業に発展し得る。派生した“proverbs and sayings”を通じて，正統派“proverbs and sayings”を学べるばかりか，独自の“proverbs and sayings”を作りだせるようになり，英語表現の幅は広がる。このため，洋楽と“proverbs and sayings”の融合は合理的であると考える。また，洋楽は将来性のある教材となると確信している。

なお，データベースを構築することで次のことが明らかになった。1. 洋楽は少ない語数の“vivid expressions”を好む傾向がある。2. “vivid expressions”自身が持つ特性によっては，洋楽と相性の良くないものもある。“vivid expressions”の持つ特性が分かれば，洋楽で学び得る“vivid expressions”の特性を見いだせる可能性がある。データベースの構築および派生した“vivid expressions”をより集めることで必ず英語教育の一助となる。

キーワード：洋楽，英語教育，データベース，ことわざ，proverb，saying

1. はじめに
2. 先行研究
3. 洋楽歌詞データベース構築
  3.1 データベース構築の方向性
    3.1.1 音楽の特性：ストーリー性とユニーク性
    3.1.2 生き生きとした表現“vivid expressions”
  3.2 英語における“proverbs and sayings”の存在
  3.3 “vivid expressions”の線引き
  3.4 データベース作成とその方法
  3.5 現在までの作業手順
  3.6 歌詞の抽出作業から見えてきたこと
  3.7 派生した“vivid expressions”から発展し得る授業スタイル
4. おわりに（今後の方向性・展望）

1. はじめに

本研究は洋楽歌詞のデータベース構築を目指している。この研究に着手するきっかけとなったのは筆者の個人的な経験に由来する。このため，まずはそれについて述べることとする。

筆者が洋楽に出会ったのは小学校の音楽の授業中で，担任の先生が時折洋楽を教材として使ったのがきっかけだった。80 年代にはいると，日本では「洋楽ブーム」だった。筆者も洋楽を聴いていたが，そのうち海外の洋楽雑誌の文通コーナーで知り合った海外の方とやり取りをして，テープトレーディング（ダビングしたカセットテープをお互いに交換する）したり，同人誌を発行したりした。勿論，これらの作業を全て英語で行った。この経験を買われ，のちに音楽レコード会社で翻訳や通訳のアルバイトをすることができた。学生アルバイトでありながら，世界中から約一万人の音楽関係者が集まる見本市「MIDEM」にも通訳スタッフとして同行することができた。こういう経験から，筆者自身，英語学習に対する洋楽の貢献は

大きいと常々感じてきた。

では，筆者が洋楽を使ってどのように英語を学んできたか，簡単に触れることとする。洋楽に触れ始めた当時，少ない小遣いやアルバイト代を上手にやりくりする必要があった。このため，より安い輸入盤を買うようにしていた。しかし，当時の輸入盤 LP や CD には歌詞カードが封入されていない場合が多かった。その歌を理解したければ，自分で歌詞を「聞き取る」ことが必要だった。つまりディクテーション作業である。筆者が聞き取りの作業の中で，習得したイディオムは数多くあった。調べる過程で自然に繰り返して口に出していたので，ディクテーションの作業とアウトプットの作業の繰り返しだった。これによって意図せずに自然と覚えることができた。こういった経験から，洋楽を通して英語を学ぶという学習方法は有効的であると考えるため，筆者は授業でも積極的に活用してきた。しかし，洋楽を活用しようとすればするほど，教えたい文法や構文などを即座に見つけ出せる，若い世代の学生達にも受け入れやすい楽曲を探し出せる，洋楽の歌詞のデータベース構築が重要であると気づく。これが本研究をはじめる原点である。

しかしながら，「今まで英語教育界が（洋楽を）娯楽媒体として扱い，本格的な授業活動として期待してこなかった（小林 2003）」ことや「（洋楽は）英語の教材としての価値は教師の間で十分理解されているとは言い難い（角山 2001）」との懸念があるように，英語教育会は洋楽の将来性に目を向けてこなかった。そこで，データベースを構築することで，洋楽が教材として決して劣らないこと，そして教材として将来性があることを証明したいとの必然性から本研究に至った。

よって，本研究の第一の目的はデータベース構築をすること。第二の目的は，洋楽の歌詞のデータベース構築をすることにより，洋楽が単なるレクリエーション的なものにならず，価値を高める一助となること，である。

2. 先行研究

それではまず洋楽を使った授業における，先行研究から始める。小林（2003）は洋楽を授業で使用する利点について，以下の７つに集約している。

1．英語学習者に最も馴染み深い英語媒体であること。
2．授業の雰囲気づくりができること。
3．洋楽の音声に慣れることで，日常会話の音声変化や聞き取りが容易に感じられるようになること。
4．語彙と発音の発達を促すことができること。
5．歌詞に使われる表現やフレーズを何度も繰り返しをさせることで，表現の内在化が進み，定着しやすいこと。
6．英語が不得意な学生に対しても，英語学習に対する動機づけを高めることができること。
7．インパクトとイフェクトの両方を提供してくれること。

補足説明となるが，2. は，授業開始時に洋楽を聞かせることによって，リラックスさせる働きがあり，居眠りを放置させない効果がある，としている。4. は，音声を認識させるためには，脳の「発話器官」で「発音させる」ことが大切であり，発音しなければ音声を認識することはできない，このため，語彙選択や空欄穴埋めのタスクをした上で曲を再生したり，合唱させたりすることが重要である，としている。6. では，教科書にも積極的に洋楽の聞き取りなどの章を設けること，正しい発音で歌うことができた学生に対しては評価対象にいれるべき，と提案している。7. は，英語学習者が英語に対する精神的な距離が縮まること（インパクト）を提供し，

そのイフェクト（効果）によって授業外で英語の歌詞の内容を把握しようとする習慣を身につけさせること，である。

その他の先行研究について，階戸（2014）は，洋楽とディクテーション，プレゼンテーションを組み合わせることで「洋楽への関心」，「英語への気づき」が生まれ，協同学習への効果が見られた（階戸 2014）とし，森（2016）は，洋楽を使用することで，学生の学習意欲を向上させ，それがリスニング力の強化，発音・語彙・表現の修得を促進している可能性が高いこと（森 2016）を示唆した。そして，Higuchi（2018）は，洋楽を使用することで付随的語彙学習だけではなく，英語学習に対する動機を高めたとの結果を報告した。牧野（2012）は，（洋楽は）英語に対する意欲を向上させるだけではなく，クラスの雰囲気を明るくし，学生の英語学習への緊張を取り去るという点で，優れた教材との結論を述べている。数多くの先行研究が授業で洋楽を活用する利点を示している一方で，洋楽が確固たる地位に置かれていない懸念についても記されている。小林（2003）は，洋楽の授業への導入について，今まで英語教育界が娯楽媒体として扱い，本格的な授業活動として期待してこなかったことを指摘し，その上で，生涯の知的資産としてもっと認められるべきではないか，と提言している。また，角山（2001）は，英語の教材としての価値は教師の間で十分理解されているとは言い難い，と懸念を示し，洋楽は Authentic な言語教材として，通常の教材に劣らないこと，更には言語教材としてそれ以上の効果を上げる可能性を秘めていると洋楽が教材としての価値に期待している。以上が先行研究である。また，角山（2001）の「洋楽は『Authentic な言語教材として，通常の教材に劣らない』，言語教材として『それ以上の効果を上げる可能性を秘めている』」という洋楽の教材としての期待に触発されたことが，本研究の出発点でもある。

3. 洋楽歌詞データベース構築

3.1 データベース構築の方向性

既述の通り，先行研究において，角山（2001）は，洋楽は「Authentic な言語教材として，通常の教材に劣らない」，言語教材として「それ以上の効果を上げる可能性を秘めている」と示唆したことに対して，筆者自身もこれには共感し，期待に触発された。では，洋楽が単なるレクリエーション的なものにならず，いかにその価値を高められるのか，この項ではその方法と方向性を考えることとする。

3.1.1 音楽の特性：ストーリー性とユニーク性

洋楽が教材としての価値を高められる方法と方向性は何かを考えたとき，洋楽だからこそ学べるものとは何か，という疑問にたどりつく。考察した結果，洋楽には次の特性があることに気づく。短い時間・歌詞の中でストーリー性がありユーモア性を表すのに最適な言語・表現が詰まっていること。では，ストーリー性とユーモア性とは何であろうか。

2016 年に Bob Dylan がノーベル文学賞を受賞したことは記憶に新しい。Bob Dylan の受賞は世間を大いに驚かせ，沸かせた。歌手として史上初のノーベル文学賞を受賞したからである。山中（2017）は，Bob Dylan の受賞理由を「ベトナム戦争に対する反戦運動の象徴として使われたことで，文化的価値が生まれた一つの要因となった」と分析している。また同じく，以下の通りに記している。

「ディラン氏は言葉をメロディーに乗せることで，より多くの人々の心に届きやすくし，言葉の持つ力を，一層強いものにしました。歌詞であっても，詩であっても，文学であっても，これらを成り立たせるものは『言葉』です。ディラン氏はこの『言葉』の力を甦らせ，以降その力を弱める

ことがありません。『言葉』を甦らせたその功績こそ，ディラン氏がノーベル文学賞を受賞した最大の理由」であると述べている（山中 2017）。

つまり，Bob Dylan 本人は反戦運動の象徴として扱われたことに対して本意であろうと不本意であろうと，少なくとも多くのリスナーには確たるストーリーが音楽に乗せられてメッセージとして届けられたことは確かである。だからこそ反戦の象徴となり得たといえる。山中（2017）のいう，言葉をメロディーに乗せることで，より多くの人々の心に届きやすくし，言葉の持つ力を，一層強いものにした，とあるように，筆者はこの「言葉をメロディーに乗せることで，より多くの人々の心に届きやすくし」をメッセージが出来上がる前の前段階として考える。つまり，言葉によって映像化したストーリーができあがり，そのストーリーは今度「言葉の持つ力を，一層強いものにした」とあるように，言葉に強いインパクト性を与え，人々の脳裏にメッセージとして残ったと考える。つまり，洋楽が持つストーリー性が聞き手それぞれのメッセージへと変換され，そのメッセージがストーリーとともに永遠に脳内に残る，ということである。これこそが音楽の持つストーリー性の魅力である。語学を教える側として，音楽のもつメッセージ性よりも音楽の持つストーリー性がより重要であると考える。メッセージを受け取って行動喚起するのではなく，言葉からストーリーを汲み取って脳内に定着化させるのが目的だからである。このため，聞き手それぞれが全く違うメッセージを受け取ったとしても一向に構わない。重要なのはストーリーを受け取り，あるいはストーリーを作り出し，それが言葉と結びつくことである。言葉が脳内に永遠に残るために，このストーリー性を利用しようとする，これが本研究の狙いの一つである。

では，ユニークさとは何か。音楽は何も平和（例：U.S.A. For Africa “We Are the World”）や反戦（例：John Lennon “Imagine”），政治（例：U2 “Sunday Bloody Sunday”），宗教崇拝（例：Creed “Faceless Man”）や悪魔崇拝（例：Black Sabbath “N.I.B.”），故郷（例：Michael Bublé “Home”）

や人生（例：Bruce Springsteen “The River”）や自然（例：R. Kelly “The World’s　Greatest”）と真面目一徹で歌っているわけではない。中には，ダイエットすべきではないとのメッセージを歌詞に載せた歌（例：Meghan Trainor “All About That Bass”）やありのままのあなたがいい（Bruno Mars “Just The Way You Are”）と軽快に明るくストーリーを届けながら応援メッセージを送る歌もある。こうした歌の多様性は，ストーリー性の多様性と同じであり，しいては言葉の多様性にもなる。例えば，“There is always a ray of light at the end of every dark tunnel.（暗いトンネルの向こうには必ず光が見える）”という王道の proverbs を，“And I still see no light at the end　of their tunnel（彼らのトンネルの向こうに光が見えてこない）（Channel Zero “No Light”）と変形させたり，“There’s no light at the end of the tunnel tonight　Just a bridge that I gotta burn（今夜はトンネルの先には光がない。私が焼き払うしかない橋があるだけ）”（Kelly Clarkson “Gone”）と変化させている歌詞もある。元の proverbs が分からなければ，面白いとも思わないこれらの派生 proverbs。しかし，元の proverbs が分かっていると途端にユニークさが増す。言葉のユニーク性のみならず，音楽にはその時代の文化を映すユニークさもある。さらに例を挙げると，同じくお金について歌っている ABBA “Money Money Money”（1976）と Jessie J ft. B.o.B　“Price Tag”（2011）を比較するだけでも価値がある。前者は「お金持ちは楽しいだろうな」と拝金主義の傾向にある歌詞であるが，後者は「全てをお金で評価するのっておかしくない？　私は私」といかにも現代らしい歌詞内容となっている。このように，歌詞にはその時代の価値観が凝縮されており，その時代その時代のユニークさが織り込まれている。歌詞内容を比較するだけでも大変よい勉強となる。

以上が，洋楽の短い歌詞の中にはストーリー性があり，ユーモア性を表すのに最適な言語・表現が詰まっている，という理由である。そして，洋楽だからこそ学べるものとは何かと考えたとき，洋楽ではストーリー性を

利用し，ユーモア性に富む言葉を学ぶことができる。これらの言語は教科書では学ぶことはできない生き生きさがある。

3.1.2　生き生きとした表現“vivid expressions”

生き生きとした表現とは具体的に何を指すか。これに焦点を絞ったとき，以下の記述に触発を受けた。Li, Hong & Sun, Tao（2011）による *100 Vivid Chinese Expressions*（英語・中国語併記）の序文において，以下のとおり記している。

> “Learning a foreign language is very much like building a house. The foundation（pronunciation）is laid, the structure（grammar）put up, and the bricks（vocabulary）filled in. Yet, an architectural style（vivid expressions）has to be added to make it beautiful.”（Li, Hong & Sun, Tao 2011）

ここに述べられているのは，言語を習得するのは，家を建てるようなものであること。発音で基礎を築いて，文法で骨組みを固め，ボキャブラリーで外壁を作る。しかし，家がきちんと魅力的な家に見えるようにするには美しく施さないといけない，と記されている。つまり，語学習得は，より機知に富んだセンスの良い表現を学ぶことが最終目的である，ということがいえる。*100 Vivid Chinese Expressions* は中国語を学ぶ外国人のために作られた学習参考書だが，文頭に“Learning a foreign language...”と記されてあるとおり，中国語に限らず，どの言語の習得においても共通することと考える。もちろん，英語もしかりである。発音で基礎を，文法で骨組みを，ボキャブラリーで外壁を，と端的に伝えることは大学に限らず，既に小・中・高校での学習においても目指してきている。しかし美しく施す役割を担っているもの，つまり，言語を運用する際にプラスアルファとな

る vivid expressions を最終教育機関である大学で習得すること，これが非常に重要なことに気づく。

Li, Hong & Sun, Tao（2011）は“vivid expressions”を“proverbs and sayings”のことであるとしている。さらに確認していくと“proverbs and sayings”でも「ことわざ」に限定している。人々の英智の蓄積といえる“proverbs and sayings”と洋楽のストーリー性とユーモア性に富む生き生きとした言語表現，いずれも美しく施す役割を担う“vivid expressions”である。しかし，“proverbs and sayings”を単純に学ぶのであれば，巷にあふれる参考書から学べば済むことであり，わざわざ手間暇をかけて洋楽のデータベースを構築する必要もない。けれども，3.1.1 で例を挙げたように，洋楽から学べば，王道の“proverbs and sayings”のみならず，派生した“proverbs and sayings”をも学ぶことができる。派生した“proverbs and sayings”を参考に独自の“proverbs and sayings”を作りだすことができれば，生き生きとした英語表現の幅を広げるだけではなく，言葉にウイットを与え，話し手の人格にも洗練さをプラスしてくれ，発展した学習となる。洋楽と“proverbs and sayings”を融合させる価値や合理性はこの点に尽きるのではないかと考える。これが着目点となり，筆者は洋楽を教材としての価値を高めるには，また，洋楽のデータベースの構築には，洋楽歌詞内の“proverbs and sayings”に焦点を当てるべきとの方向性を見出した。

3.2　英語における“proverbs and sayings”の存在

上項では洋楽を教材としての価値を高めるには，また，洋楽のデータベースの構築には，洋楽歌詞内の“proverbs and sayings”に焦点を当てるべきとの方向性を見出した。しかしながら，ここでもう一つの疑問に突き当たった。それは，日本や中国語における“proverbs and sayings”のその定義と英語における“proverbs and sayings”の定義に違いはあるか，

ということである。“proverbs and sayings”の立ち位置が違えば，論考そのものが成り立たなくなるからである。そこで，アメリカとイギリスでの一般的な人々の“proverbs and sayings”に対する概念を探ることとする。

まずは*Longman Dictionary of Contemporary English*（1995）と*Cambridge Dictionary*（n.d.）を調べてみると，両辞書の“proverb”と“saying”についての定義は以下の通りであった。

表 1　辞書における “proverb” と “saying” についての定義

	Longman Dictionary of Contemporary English	*Cambridge Dictionary*
Proverb	a short well-known statement that contains advice about life in general	a short sentence, etc., usually known by many people, stating something commonly experienced or giving advice: ・The appetite, says the proverb, grows with eating. ・[+that] There is an Arab proverb that everything you write or speak should pass through three gates: Is this kind? Is this Necessary? Is this true?
Saying	1 a well-known short statement that express an idea most people believe is true and wise-compare PROVERB 2 as the saying goes used to introduce a particular phrase that people often say: One thing led to another as the saying goes.	a well-known wise statement that often has a meaning that is different from the simple meanings of the words it contains: ・As the saying goes, “Don’t count your chickens before they’re hatched.”

2つの辞書での定義に大きな違いを見受けられず，要約すると“proverbs and sayings”は人々が真実・賢明であると信じている考え方であり，人生への助言である，ということである。更にインターネットで検索すると，ESLや英語トレーニングの分野において10年以上の教歴があるLindsay McMahonが立ち上げたウェブサイト*English and Culture Tutoring*

Services では，“proverb”と“saying”について次の通りに述べてあるのが確認できる。

> “Proverbs and sayings that are commonly used are a great way to gather clues about cultural values and cultural norms in the United States. Of course, not all people in the U.S. have the same values because the U.S. is made up of so many different kinds of people. However, proverbs do show us patterns and common themes and they tell us what is important to a lot of people.”（McMahon 2011）

ここでは，“proverbs and sayings”は，人種の坩堝であるアメリカだからこそ，文化価値や文化基準に気づかせてくれる。ことわざは多くの人々にとって何が重要な事柄であるのかをまざまざと教えてくれるのである，としている。これは非常に面白い概念であり，多様性を受け入れるアメリカ社会ならではの概念に気づく。また，Peters（2016）は，“proverb”について以下のとおり述べている。

> “Proverbs. They’re old-fashioned, folksy, pithy — and everywhere.”
> “For a native speaker, the worst thing about a proverb is probably its overuse.”
> “Generally, it’s an older saying without a known author that’s considered wise.”

つまり，“proverbs and sayings”は，時代遅れで民俗的ではあるけれども，いたるところにある，それは人々の生活に根付いたものであり，賢明さの現れとみなされている。加えて，Peters（2016）は，「ビジネスとことわざは様々な理由でナチュラル・パートナーである。ビジネスにおいて，時間

というものはお金と同じく貴重なものであると言えるからである」と *The Dictionary of Modern Proverbs* の編集者である Fred Shapiro の言葉を引用し，簡潔に伝えられる“proverbs and sayings”は多忙な現代人と親和性があることを挙げている。更に，Peters（2016）は，“proverbs and sayings”というのは，目新しいものではないが，時代を超越した太古の英知に触れることのできるもの，と作家 John Latham の言葉をも引用して述べている。

アメリカのように，多民族国家ならではの多様な価値観が存在している国は，共通の“proverbs and sayings”を学ぶことで，多様な価値観を一つにまとめてくれる基準や規範の役割を担っている。国によって“proverbs and sayings”の役割に多少の違いがあるものの，一般的な概念，すなわち人々の生活に基づくもの，太古からの英知の蓄積，賢明さの現れ，簡潔に多くを伝えられる，であることは国境を越えても変わらない。

“proverbs and sayings”の一般的概念が変わらないことから，筆者が洋楽を教材としての価値を高めるには，また，洋楽のデータベースの構築には，洋楽歌詞内の“proverbs and sayings”に焦点を当てるべきとの方向性が間違っていないことを確信した。それどころか，いくつもの時代を得てもなお，“proverbs and sayings”は「現代人と親和性がある」ということは，最終教育機関である大学で“proverbs and sayings”を学ぶ必要性を再度認識させられた。

3.3 “vivid expressions”の線引き

全ての疑問を記したところで，作業へと移る。“proverbs and sayings”は一般的には慣用表現・イディオム・ことわざを総称している。その線を引くことは難しいとされている。しかし，ことわざだけでも 2 万 5 千以上もあるといわれている英語の“proverbs and sayings”，これを一括りにしてデータベースを構築するのは，第一段階としては賢明とは言えない。こ

のため，本稿では，Li, Hong & Sun, Tao（2011）がいう“proverbs and sayings”がことわざであることに触発を受け，データベースの構築をまずはことわざに限定することとする。慣用表現・イディオムに関しては第二，第三の段階で引き続き行うこととする。なお，“proverbs and sayings”という表現では慣用表現・イディオム・ことわざを総称してしまうため，本稿ではことわざに限定し，以下これを“vivid expressions”と称することとする。

既述のとおりに定めた方向性から，データベースの構築および洋楽が教材としてその価値を高めるには“vivid expressions”に焦点を当てるべきとした。しかし，2万5千以上もあるといわれる“vivid expressions”をすべてデータベースに構築するのは無理がある。このため，“vivid expressions”を更にふるいにかけて吟味する必要があった。

線引きについて，当初は英検（2級以上）やTOEIC（500点以上）の問題集などから使用頻度の高い順に探し出すことを考えていた。しかし，作業を開始するとすぐに，問題集などには“vivid expressions”の記載は少ないことに気づく。つまり，英検やTOEICはあくまでも，基礎，骨組み，外壁といった端的に伝えることに焦点を当てた試験であるため，美しく施す役割を担っているvivid expressionsの学びを重視していない。このため，“vivid expressions”の記載も少ない，ということである。それならば，英検やTOEICとは関係のないアメリカの小学生はどのような“vivid expressions”を学んでいるのか，という疑問がよぎった。

「文化の知識継承や人々の相互理解を目的」に作成された，アメリカの小学生1〜6年生向けの教科書シリーズ *What Your First Grader Needs to Know*（“*First*”の部分がそれぞれ，学年ごとに“*Second*”，“*Third*”，“*Fourth*”，“*Fifth*”，“*Sixth*”へとかわる）を確認すると，掲載されている“vivid expressions”は146フレーズであることが分かった（Hirsch　2014）。アメリカでは州ごとに多少の違いはあるものの，基本的に小学生は義務教

育内とされ，そして義務教育については以下のとおりに定めている。

To prepare children for citizenship（子供たちに米国市民になるための準備をさせること）
To cultivate a skilled workforce（高度な労働力を育成すること）
To teach cultural literacy（文化的リテラシーを教えること）
To prepare students for college（生徒に大学進学の準備させること）
To help students become critical thinkers（生徒に批判的思考能力を身につけさせること）
To help students compete in a global marketplace
（生徒にグローバル市場での競争力を高める手助けをすること）
（Education Policy in the United States 2001）

我が国の義務教育についても確認したところ，文部科学省が「学校教育（特に義務教育）に関する主な提言事項」において，以下の項目が記載されている。

小学校教育段階及び中学校教育段階：
社会的自立に向けて，人間として，また，家族の一員，社会の一員として，更には国民として共通に身に付けるべき基礎・基本を着実に学習し定着させる。

a. 小学校教育段階では日常生活に必要な各般の能力を養うことにより，社会生活を営むため必要な資質・能力の基礎を身に付けるとともに，自分の個性を発見する素地を育てる。
b. 中学校教育段階では社会的自立のために必要な資質・能力の育成を図るとともに，生徒の興味・関心，能力・適性等の多様化に対応して，選択による学習を行う。

特に進学や職業選択の準備のため，自らの生き方を考えて行動する能力や態度及び主体的に進路を選択する能力を身に付けるとともに，その後の学習や職業生活を通じて一層伸張されるべき自己の個性を見いだしておくことが重要である。（文部科学省 1999）

これらを読む限り，日本もアメリカも初等教育を，社会的自立に向けて，共通に身に付けるべき基礎・基本の学習としている。つまり，初等教育が疎かになると，日常生活に必要な適応力を養うことができず，社会生活を営むために必要な資質や能力の基礎も身に付けられない，そして問題が生じ得る，と言い換えることができる。アメリカの「小学生」が学ぶ“vivid expressions”は，アメリカ社会において至極当然の必須学習であり，アメリカ社会や文化を理解する上でも最も基礎的な知識である。アメリカ人が学ぶ“vivid expressions”を学ぶ→更に一歩踏み込んで，誰もが習う義務教育の中の“vivid expressions”を学ぶ→初めて多人種のアメリカの文化価値や文化基準を知ることができるのである。これは，海外留学する学生や将来海外で働く可能性のある学生とって大変重要なことであり，考えを理解し，共通な話題を見出す一助となる。

これらの理由から，筆者は本研究での“vivid expressions”の更なる線引きをアメリカの小学生が学ぶものに限定する。この明確な線引きにより，教員個人の嗜好による偏りをなくし，有効な“vivid expressions”の選別，バラエティー豊かな楽曲を学生に提供することができる。

3.4　データベース作成とその方法

アメリカ人小学生が学ぶ“vivid expressions”に線引きしたことで，データベース作成を始める。

ネット上では，Lyrics. com をはじめ，Songsear，Azlyrics，Lyricsmode など歌詞を検索するサイト(1) は数多くある。データベースを構築するにあ

たり，筆者はこれらのサイトを参考した。検索の利便性，検索インターフェイスの見やすさなどから，本研究では歌詞を検索する際には Lyrics.com を主なツールとして採用し，その上で，BPM（音楽の 1 分間あたりのビート数）やポピュラリティなどを調べるために Musicstax，Tunebat，Songbpm を用いた。

これらのサイトを使った経験により，使う人の利便性を考慮した結果，本データベースでは次の 13 の項目を導入した。（1. タイトル，2. アーティスト名，3. 発表年，4. vivid expressions 開始秒数，5. 曲の長さ，6. 全体の歌詞，7. 人気度，8. ダンサビリティ，9. ポジティブネス，10. BPM，11. ジャンル，12. 引用，13. 動画サイトリンク）

項目は一見して他のデータベースと同じようだが，本データベースはあくまでも“vivid expressions”を抽出するためのものであるため，教員が教える際に短時間で“vivid expressions”を見つけられるようにと，「4. vivid expressions 開始秒数」では“vivid expressions”の開始位置を数字で表した。また，“vivid expressions”の該当する箇所を即座に聴くことができるようにと，「13. 動画サイトリンク」ではリンクの作成も行った。なお，学習データベースと無関係であろうと思われる「8. ダンサビリティ」と「9. ポジティブネス」は，先行研究から示唆を受けたもので，教員が選曲する際に，曲調がダンサンブルであるか否か，明るい曲調である否かを判断するための目安である。いわば，クラスの雰囲気づくりに役立つ。また，Lyrics.com などの一般的なデータベースでは，“vivid expressions”の検索をかけると，教材として相応しくない楽曲も数多くヒットしてしまう。しかし，本データベースでは，教材として相応しくない楽曲がヒットすることのないようにあらかじめ楽曲を精査している。これで，教員は意図的に楽曲から“vivid expressions”を抜き出す作業が格段に容易となる。

なお，教材として相応しい楽曲であるか否かの判断基準に関しては現行

ある教材を参考にしている[(2)]。

3.5　現在までの作業手順

既に述べたとおり，教科書シリーズ *What Your First Grader Needs to Know*（Hirsch　2014）に掲載されている“vivid expressions”は 1 年生から 6 年生まで全 146 個あった。本稿では，データベースを構築する上で問題点あるか否かを探るために 1 年生で習う 10 表現にのみ着目し，データベース化した。以下の表 2 が“vivid expressions”とその日本語訳である。

これらの“vivid expressions”をデータベース化するには，次の 3 段階（①“vivid expressions”のある楽曲を選出する。② 学習に適した楽曲であるか否かを選別する。③ データベース試作一覧表を作成する。）の手順に分けて行なった。以下が手順の詳細である。

表 2　“vivid expressions”とその日本語訳

	vivid expressions	訳
1	An apple a day keeps the doctor away.	一日一個のリンゴで医者いらず。
2	Do unto others as you would have them do unto you.	あなたが人にしてもらいたいように，あなたの人にしてあげなさい。
3	Hit the nail on the head.	くぎの頭を打つ，小さな的をうまく打つ。
4	If at first you don’t succeed, try, try again.	最初は成功しなくても，何度でも挑戦しろ。
5	Land of Nod.	眠くてうとうとする。ノドの地。
6	Let the cat out of the bag.	袋の外にネコを出す。「秘密をもらす」「暴露する」。
7	The more the merrier.	数が多いほど楽しい。
8	Never leave till tomorrow what you can do today.	今日あなたが出来ることは，決して明日まで延期するな。
9	Practice makes perfect.	練習は完璧にさせる。
10	There’s no place like home.	わが家にまさるところなし。

① “vivid expressions”のある楽曲を選出

（表 3）1 にある“An apple a day keeps the doctor away.”を Lyrics.com で Exact Match（フレーズ完全一致）という条件に絞って検索すると多くの場合，“We couldn’t find any lyrics matching your query.”（あなたの条件にあてはまるものは探せませんでした）と表示される。ヒットするために，Within Lyrics（歌詞内で単語含む）に条件を変えると，“We’ve found 1,189 lyrics, 125 artists, and 50 albums matching An apple a day keeps the doctor away.”（1189 での歌詞，124 のアーティスト，50 のアルバムで見つかりました）というようにヒットした楽曲が表示される。検索結果上位のヒット結果をみると，“apple”，“day”，“keeps”，“doctor”，“away”が表示され，前後に接続するフレーズの断片（チャンク）も確認

表 3　アメリカの小学 1 年生が習う“vivid expressions”に一致した曲数（テキスト表記順）

	vivid expressions	Exact Match（フレーズ完全一致）	Within Lyrics（歌詞で単語含む）	アンダーバーを入れ，a/the，句読点を除いて検索
1	An apple a day keeps the doctor away.	0	1,189	18
2	Do unto others as you would have them do unto you.	0	44,307	7
3	Hit the nail on the head.	10	64,254	54
4	If at first you don’t succeed, try, try again.	0	34,842	3
5	Land of Nod.	38	294	76
6	Let the cat out of the bag.	0	38,760	46
7	The more the merrier.	26	194	153
8	Never leave till tomorrow what you can do today.	0	88,394	0
9	Practice makes perfect.	74	37,177	380
10	There’s no place like home.	86	87,930	365

図 1　Lyrics.com の検索結果

できる（図 1）。これによって，自分が探したい“vivid expressions”であるかどうかを短時間で判別できる。検索結果の下位になるにしたがって，ヒット結果に含まれる語が少なくなる。

Within Lyrics の条件で検索かけるとヒット結果が膨大になりがちである。該当する“vivid expressions”であるかどうかを逐一確認する必要がでてくる。しかし，この検索方法では派生した表現も反映されるため，筆者が期待する機知に富んだユーモアのある表現に遭遇できる可能性を高める。

上記 2 通りの方法で“An apple a day keeps the doctor away.”以外の“vivid expressions”も検索試みたところ，5 つまでの短い単語であれば Exact Match の条件でもヒットするが，6 語以上の長いものはヒットしにくくなることに気づく。そこで，6 語以上の単語であってもヒットしやすいように，更に検索方法を変えてみた。a/the（不定冠詞／冠詞）と句読点を除き，単語と単語の間にアンダーバーを入れる。パソコン操作上，単語と単語の間にアンダーバーを入れると前後の単語に結びつきが生まれる。つまり，“apple_day_keeps_doctor_away”となる。この方法で検索を試みると Exact Match ではヒットしなかった 18 件のヒットが現れる。アンダーバーを入れるこの検索方法により，本研究で求める“すべての語が入っているチャンク”，つまり Exact Match（フレーズ完全一致）で検索するのと同じ効果が得られる。しかしこの方法では，Exact Match と同様，Within Lyrics（歌詞内で単語含む）で検索したような派生した表現が

みられなくなる。

それぞれの検索方法に利点と欠点があることから，Exact Match（フレーズ完全一致）と Within Lyrics（歌詞内一致）とアンダーバーを単語の間に入れて検索する方法も加えて，上位にヒットする曲を選出した。表 5 はそれぞれの検索方法で“vivid expressions”を検索したときにヒットした曲数を表している。

② 学習に適した楽曲であるか否かを選別

上記①の方法で選出した楽曲を一つ一つ確認し，次の項目に当てはまる楽曲を対象から外した。なお，1. の教材として相応しい楽曲であるか否かの判断基準や 5. の BPM 数値は現行ある教材の楽曲を参考し，基準を設けたものである。[(2)] その他の項目については，括弧内を参照していただきたい。

1．スラングや過激な性的描写や暴力的な表現，ドラッグやアルコールを賛美するような表現が含まれているもの（学習には相応しい楽曲であること）。
2．非英語曲であり，一部のフレーズにだけに英語を使用しているもの（英語の歌詞であること）。
3．発表年代が記載されていないもの（すべての年代の英語学習者に適応できるデータベースを作成するため）。
4．カバー曲のように異なる歌手やグループによる重複曲。
5．過度に激しいロック調の曲（BPM が 103 前後のアップテンポなポップスや軽めのロックを主に選定）。

その結果，“vivid expressions”それぞれに，3〜10 曲程度の楽曲が残った。

③　データベース構築試作となる一覧表の作成

上記②で選別された楽曲の項目（「3.4　データベース作成とその方法」の 13 項目を参照のこと）を Lyrics.com やその他サイト[(1)] から抽出し，これをエクセルで一覧表をつくる。

Lyrics.com からの抽出項目：1. タイトル，2. アーティスト名，3. 発表年，4. 開始位置（分・秒数）vivid expressions 開始秒数，5. 曲の長さ，6. 全体の歌詞，11. ジャンル，12. 引用。Musicstax と Tunebat と Songbpm からの抽出項目：7. 人気度（曲の再生回数などから測定された人気度），8. ダンサビリティ，9. ポジティブネス，10. BPM。13. 動画サイトリンクの項目については，楽曲それぞれの公式サイトからリンクを採用した。これらの項目の他に，スラング表現が確認される曲か否かを確認するための Explicit 項目も抽出した。最終データベースに採用された楽曲は最終関門を突破した精査された楽曲であるため，この Explicit 項目が表記されることはない。（表は割愛）

3.6　歌詞の抽出作業から見えてきたこと

Lyrics.com で表 3 の“vivid expressions”をそれぞれ「Exact Match（フレーズ完全一致）」と「アンダーバー，a/the，句読点を除いて検索」で検索したところ，特にヒット数の多かった“vivid expressions”は“Practice makes perfect.”と“There’s no place like home.”であった。一方，いずれの検索にも引っかからなかったのは“Never leave till tomorrow what you can do today.”であった。アメリカの小学 1 年生が習う“vivid expressions”は一般的に使用率が高いにも関わらず，ヒット数ゼロはどういうことか。1. 検索方法に問題があったのか，2. 単語の数に問題があったのか，3. ことわざそのものの特性からか，といった疑問が生じた。よって，以下の通り考察した。

1．検索方法に問題があるか否かについて考察

全ての“vivid expressions”が同じ方法で検索を行ったため，検索方法による差異は生じるにくいと考える。

2．単語の数に問題があったのか否かについて考察

ヒット上位：1位から5位までの“vivid expressions”の平均語数は5語であり，下位：6位から10位までの平均語数は8語である。ヒット数なしの最下位が9語，下から2番目と3番目がそれぞれ9語，11語。語数から考察すると，ある程度の文字数制限のある洋楽では，少ない語数で多くを物語れる“vivid expressions”を好んで使う傾向があり，このため8語程度の長さのあるものはリズムに乗せにくく，使用頻度が下がると考える。これは，Peters（2016）が述べたように，多忙な現代人にとっても洋楽にとっても，簡潔で多くを伝えられる“proverbs and sayings”には親和性があるといえる。

3．“vivid expressions”の特性がヒット数に影響を与えている否かについて考察

表3の“vivid expressions”を考察したところ，表4のような特性があると分かった。

ヒット数ゼロの“Never leave till tomorrow what you can do today.”の特性に目を向けると，人生の指針になる表現を学ぶことで，健全な精神を育む意図があると推測できる。「健全な精神を育む」という意図が暑苦しさに映ってしまって，洋楽では好まれないのか。そこで，同じ特性の“vivid expressions（表3の1，4，7，8，9，10）”を確認した。その結果，ヒット数上位の1位の（3語），2位の（5語），3位の（4語），いずれも「健全な精神を育む」という意図をもつ“vivid expressions”だと分かった（表5参照）。更に，7位の（8語），9位の（9語），10位の（9語）に目を向けても，やはり同じ意図だが，反対に下位にいる。つまり，“Never leave

表 4 “vivid expressions” の特性

特性	表 3 の番号
・身近にある人・モノ・動物を使った表現が多い。 例：Apple，Bag，Cat，Doctor，Home，Nail （興味や関心を喚起する意図がある）	1，6，10
・同じような構造の構文が少ないこと。 （様々な構文に触れることで，表現を豊かにする意図がある）	
・学習・スポーツ・人生・健康維持に応用できる表現があること。 （人生の指針になる表現を学ぶことで，健全な精神を育むという意図がある）	1，4，7，8，9，10
・明示的な意味と暗示的な意味あること。 （教師が問い，生徒が考える表現がある）	3，6
・聖書にも書かれているフレーズや事柄があること。 （聖書に書かれている事柄で道徳的意味合いを持たせた表現である。）	2，5

till tomorrow what you can do today.” はその特性からヒット数に影響したとは考えにくく，やはり，「語数が多すぎた」と考えるのが妥当といえる。

一方で，語数が少ないにも関わらず下位に入ってしまった“Land of Nod (3 語・6 位).” の特性に目を向けると，宗教的な特性を持つ。同じく宗教的な特性を持つ“Do unto others as you would have them do unto you (11 語).” のヒット順位に注目すると，8 位とやはりこちらも下位だった。“Do unto others as you would have them do unto you.” は語数が多い。それゆえに，語数が多いことから下位にいるのか，それともその特性がゆえに下位にいるのかは判断し難しい。しかし，語数が極端に少ないのにもかかわらずヒット数が少ないことを見逃してはならない。このことからは語数に関わらず宗教的な特性を持つ“vivid expressions” は洋楽では歓迎されない傾向にある，ということができるのではないかと考える。けれども，ヒット数がゼロではないことから，特定の分野（宗教的な分野）においては好まれる傾向にあり，洋楽全体の絶対数からは少ないということがいえる。なお，宗教的な特性を持つ“vivid expressions” が洋楽で使用さ

表 5　アメリカの小学 1 年生が習う “vivid expressions” に一致した曲数（ヒット件数順）

ヒット件数順	vivid expressions	語数	アンダーバーを入れ，a/the，句読点を除いて検索
1	Practice makes perfect.	3 語	380
2	There’s no place like home.	5 語	365
3	The more the merrier.	4 語	153
4	Let the cat out of the bag.	7 語	46
5	Hit the nail on the head.	6 語	54
6	Land of Nod.	3 語	76
7	An apple a day keeps the doctor away.	8 語	18
8	Do unto others as you would have them do unto you.	11 語	7
9	If at first you don’t succeed, try, try again.	9 語	3
10	Never leave till tomorrow what you can do today.	9 語	0

れる頻度が下がるのは，宗教多様性の観点と商業的な観点から，より多くの楽曲を売り出すためには特定の宗教に限定する歌詞を避ける傾向にあるからではないかと考える。

以上の考察は現時点での推測でしかないものの，しかし，これは 1 年生のみならず，2 年生から 6 年生が学ぶ “vivid expressions” でも同じ傾向にあるのではないかと筆者は考える。この推測が正しければ，洋楽で学び得る “vivid expressions” の特性を見いだせる可能性がでてくる。洋楽から抽出できる “vivid expressions” をアメリカの小学生が学ぶものに限定せずとも，洋楽から抽出できる “vivid expressions” である否かのある程度の目星を付けることができるようになる。

3.7　派生した “vivid expressions” から発展し得る授業スタイル

Within Lyrics（歌詞で単語含む）を条件に “vivid expressions” を検索すると，言うまでもなく，“vivid expressions” で使用される語数が多けれ

ば多いほど，ヒット数が多くなる傾向である。これが実に興味深い派生した表現を反映してくれた。以下に数例を表示することとする。

派生した表現：

表 6　派生した “vivid expressions” の例

An apple a day keeps the doctor away.		楽曲名
1	An Apple a day Won't keep the doctor away （一日一個のリンゴを摂ったとしても，健康的にはならない）	“An Apple a Day” Lyrics
2	You know an apple a day Won't keep my troubles away （一日一個のリンゴを摂ったとしても，トラブルは避けられない）	
3	It takes an apple a day to keep the doctor away （医者を遠ざけるには一日一個のリンゴが要る）	“Anna Marie” Lyrics
4	It takes a whole lot less to make my baby stay （あの娘を留まらせておくには《リンゴだけでは》全く足りない；リンゴを摂ると医者いらずになるけれど，彼女にリンゴを与えても彼女を満足させられない）	
5	Just a little bit of you every day Will surely keep the doctor away （あなたを毎日少しだけ，きっと医者がいらなくなる）	“Just a Little Bit of You” Lyrics
6	Eat an apple everyday An onion keeps everyone away （リンゴを毎日食べよう，玉ねぎでみんなは離れていく）	“Thanks For The Memory” Lyrics.
7	Eat an apple everyday The doctor has gotta keep away （リンゴを毎日食べよう，医者は近寄らないでくれ）	

機知の富んだ正統派な“vivid expressions”とは異なり，これらの派生表現を見ると，皮肉的な表現や諧謔的な表現，暗示的な表現と様々である。下らないように思われてしまう派生“vivid expressions”も実は教材として非常に高い可能性を秘めている。次に，上記の派生“vivid expressions”で展開し得る授業方法例を紹介する。

上記表 6 の 1 と 2 における可能な授業展開：
英語のアイロニカルな表現の確認。アイロニカルな表現とは，わざと反対のことを述べて，楽しむ目的を含むため，冗談めいた皮肉のことである。シニカルは否定的な意味合いがあるが，アイロニカルはユーモアのある言葉としてとらえると良いことを伝える。その上で，機知の富んだ正統派 “vivid expressions” を真っ向から否定する形をとるのが典型的なアイロニカルな表現であることを伝え，紹介する。
正統派：“There is always a ray of light at the end of every dark tunnel.”
派生表現（アイロニカル表現）：
“There’s no light at the end of the tunnel tonight（“Gone” Lyrics）
文法の確認から，語句の置き替えへと展開し得る。
“An apple a day keeps the doctor away”
（“人／物＋keep+ 人／物＋形容詞 or 名詞 ”）の下線部を別の語などに置き換えて，学ばせることも可能である。
“An apple a day” を “An apple per day” に変更することが可能であることを伝える。

上記表 6 の 3 と 4 における可能な授業展開：
“An apple a day…” との同意味の It takes 構文の歌詞も確認。
“It takes + 名詞 + to do” の不定詞用法を学ばせることが可能。
また，同時に “It takes+ 人 + 時間 +to do” の用法も確認できる。

上記表 6 の 5 における可能な授業展開：
“just a little bit” のニュアンスを確認。
“An apple a day” の代わりに，”Just a little bit of you everyday” と人物にも置き換えることができること（人物をリンゴに見立てている表現，暗示的な表現であることの説明）。
明示的・暗示的な意味の表現を確認させることができる。
更には，Bob Dylan の “Like a Rolling Stone”（“Like a Rolling Stone” Lyrics）を紹介し，正統派 “vivid expressions” である “A rolling stone gathers no moss” を紹介する。イギリスでは「転がる石には苔が生えぬ」というネガティブな意味を持つこの “vivid expressions” はアメリカでは「流水は腐らず」というポジティブな意味を持つ。このため，“Like a Rolling Stone” の一節については様々な解釈がされていて（りりっくりすと 2018），両方の意味を暗示しているといわれていることを紹介できる。

上記表 6 の 6 と 7 における可能な授業展開：
ユーモアのある表現として紹介できる。
have/has gotta… などの口語表現の紹介。
has gotta keep away（近寄らない，離れていく）の意味確認をした後に，have to と have got to のニュアンスの違いを，学ばせることが可能。

上記の例のように，派生“vivid expressions”によってさまざまな授業スタイルに発展し得る。派生した“vivid expressions”の文法構造に触れることで，無意識に正統派“vivid expressions”の文法構造にも着目することができるようになり，無理なく定着化を図ることができる。更には通常の教材では決して触れることのできないアイロニカル表現や明示的・暗示的な表現，ユーモアのある表現に繰り返し触れ，意識（訓練）することで，学生自身もウイットに富む表現が作れるようになると信じている。洋楽が普通の教材として決して劣らない，それどころか，言語教材としてそれ以上の可能性を秘めているというのはこのためである。小話であれば，上記の授業展開一つで十分であろう。しかし，一つの正統派“vivid expressions”に対していくつもの派生した“vivid expressions”を紹介できれば，90 分おろか 105 分間授業でも時間が足りないほどであろう。上記は，派生した“vivid expressions”を中心に試みた授業展開だが，正統派“vivid expressions”に着目すれば，授業展開は更に広がる。例に挙げるのであれば，いくつもの異なる楽曲から同一の正統派“vivid expressions”を学生に提示することで“vivid expressions”を使う場面・シチュエーションを学習することができる。また，正統派“vivid expressions”と日本のことわざの比較も可能であろう。それほど，洋楽を使った授業展開には将来性があると考える。このためには，データベースの構築によってより多くの正統派・派生した“vivid expressions”を集めることは必須である。

4. おわりに（今後の方向性・展望）

本研究は，洋楽は教材として成立しないことが前提にある今の風潮と概念に対して，筆者はデータベースを構築することで，洋楽が教材として決して劣らない，将来性のあるものだと証明したいとの必然性から始まっ

た。

3分間程度しか時間を要しない洋楽だが，ストーリーがあり，機知に富んだユニークな表現がある。洋楽のストーリー性の魅力は，生き生きとした機知に富んだユニークな表現を無意識に脳内の内在化・定着化させることであり，筆者はこれを語学学習に利用しようと考えている。

機知に富んだユニークな表現とは何かと考えたとき，筆者は“vivid expressions”に着目した。洋楽からであれば，王道の正統派“vivid expressions”のみならず，派生した“vivid expressions”をも学ぶことができる，これが着眼点だった。これまでは，下らないと思われてしまった派生した“vivid expressions”だが，実は教材として高い可能性を秘めている。派生した“vivid expressions”は様々な授業に発展し得るからだ。派生した“vivid expressions”を通じて，当然のことながら正統派“vivid expressions”を無意識に学ぶことができる。更には，訓練を通じて，独自の“vivid expressions”を作りだすことができれば，英語表現の幅は格段と広がり，学習者の言葉にウイットを与え，話し手の人格に洗練さをプラスしてくれる。派生した“vivid expressions”により授業が発展した学習となる。このため，洋楽と“vivid expressions”の融合は非常に合理的であると考えるとともに，洋楽は確実に将来性のある教材となり得ることを確信する。

なお，実際にデータベースを構築することで，洋楽は，少ない語数で簡潔に多くを物語れる“vivid expressions”を好む傾向があることが明らかになった。また，“vivid expressions”自体が持つ特性（例：宗教的な特性）によっては，語数に関係なく，洋楽での使用頻度が下がることも分かってきた。使用頻度の低い“vivid expressions”の特性が分かれば，洋楽で学び得る“vivid expressions”の特性を見いだせる可能性がでてくる。将来，教員が学ばせたいと思う“vivid expressions”が洋楽で学ぶのに適したものであるかどうか見分ける一助となるであろう。よって，データ

ベースの構築を通じて，引き続き推測の考察・立証を行っていく予定である。

なお，Peters（2016）が既述した記事“We need proverbs because they reflect who we are”では，“There is always a ray of light at the end of every dark tunnel.（暗いトンネルの向こうには必ず光が見える）”を意図的に派生させ，“There's always another proverb at the end of the tunnel.（トンネルの向こうには必ずもう一つの proverb が見える）”とユニークさと余韻を残しつつ，機知に富んだ表現で締めくくっている。機知に富んだ表現とは何か。それはまさに Peters（2016）が提示したように，正統派“vivid expressions”を派生した“vivid expressions”に作り替えられる能力であろうと考える。データベースの構築により，派生した“vivid expressions”を集めることで，学生も近い将来機知に富んだ表現を作り出せることを確信している。

〈注〉

（1） 本研究で採用した歌詞検索サイト

Azlyrics（https://www.azlyrics.com），Songbpm（https://songbpm.com/），Songsear（https://songsear.ch），Lyrics.com（https://www.lyrics.com），Lyricsmode（https://www.lyricsmode.com），Musicstax（https://musicstax.com/），Tunebat（https://tunebat.com/）

（2） 本研究を始めるにあたり，洋楽を使った授業の現状を探るために，筆者は，すでに教材として出版された教科書のタスクや楽曲の分析をしていた。

分析するにあたり，筆者は洋楽や洋楽アーティストをテーマにした大学向けの教科書を計 20 冊入手した。一番古いものの初版の発行が 1995 年，最新のものは 2020 年のものだった。これらの教科書のタスクの種類を整理し，楽曲の傾向を提示するためには，洋楽を題材とする教科書の定義とは何かを考える必要があった。そこで以下の基準を設けた。

第一に「洋楽そのものを聴かせる教科書であること」

第二に「歌詞そのものを見せている教科書であること」

歌を聴かせない，歌詞が教科書に掲載されていないものは，歌詞を取り扱う本研究には適さないということで定義から外した。

選別によって残った 15 冊で使用されていた楽曲にはどのような傾向があるかをみたところ，全 237 曲中 21 曲が民謡や国歌だった。更にこれを除いた計 216 曲をみていく。「I Don't Want To Miss A Thing」，「I Want It That Way」，「I Just Called to Say I Love You」，「Yesterday Once More」の 4 曲がそれぞれ異なる 4 冊の教科書で使われていることが分かり，これらの楽曲は教材として好まれる傾向が分かった。

更に分析していくと，次のことが分かった。

・教科書で使用されていた洋楽はバラードよりもアップテンポの曲（80〜100BPM）が多く，これはリラックスしたいときの心拍数よりも若干速めの速さであること。

・楽曲の年代別を言えば，1990 年代以降の曲が一番多く，これは教科書や教科書制作者があえて古すぎない，若者の耳にもとっつきやすい楽曲を意識的に選定している可能性が高いということ。

・80 年代の楽曲が少ないことの背景をみると，教科書で使用されていた洋楽は過激な性的描写や暴力的な表現，ドラッグやアルコールを賛美するような表現を含む作品が意図的に避けられたと考えられること。

これらのことから，授業に使用する曲を教員個人が選定する際には，BPM が 103 前後のアップテンポな曲，そして若者にとって懐メロのような敢えて古すぎない楽曲を，過激な性的描写や暴力的な表現，ドラッグやアルコールを賛美するような表現が含まれない楽曲を選定すれば，より教科書に近づくことのできる無難で問題ない教材をつくることができると考える。

参考文献

角山照彦（2001）「英語教育における音楽教材の活用：音楽と異文化トピックを組み合わせた総合教材『ポップスで学ぶ総合英語』の開発」『広島文教女子大学紀要』第 36 号. 9-20.

小林敏彦（2003）.「洋楽を活用したリスニング活動」『小樽商科大学人文研究』第 105 号. 81-121.

階戸陽太（2014）「洋楽を用いたディクテーションとプレゼンテーションを組み合わせたリスニングの実践：協同学習を取り入れた授業の中で」『中部地区英語教育学会紀要』第 43 号. 213-220.

武井昭江（編）（2002）『英語リスニング論』. 河源社. 東京.

牧野眞貴（2012）「英語リスニングにおける洋楽聞き取りの効果検証 ☹ 英語に苦手意識を持つ大学生を対象として）」『リメディアル教育研究』第 7 号. 265-275.

森貞（2016）「洋画・洋楽を用いた英語教育」『福井工業高等専門学校研究紀要. 自然科学・工学』第 49 号. 253-266

文部科学省（1999）. “義務教育（学校教育）の意義・目的に関する提言”. 学校教育（特に義務教育）に関する主な提言事項. https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/gijiroku/04053101/007/001.htm,（参照 2021-09-01）.

山名克弥（2017）「ノーベル文学賞受賞！　ボブ・ディランの歌詞の文学的価値に迫る」. 幻冬舎ルネッサンス新社. https://www.gentosha-book.com/column/column253/ ,（参照 2021-12-06）.

りりっくりすと.（2018）.「Like a Rolling Stone – Bob Dylan　曲の解説と意味も」 https://lyriclist.mrshll129.com/bobdylan-like-arolling-stone/ ,（参照 2021-12-06）.

Cambridge University Press.（n.d.）. Proverb & saying. In *Cambridge dictionary*. Retrieved December 6, 2021, from https://dictionary.cambridge.org

Education Policy in the United States.（2001）. Retrieved September 1, 2021, from https://web.archive.org/web/20140412082515/http://www.pbs.org/kcet/publicschool/get_involved/guide_p2.html

Higuchi, A.（2018）. Second language vocabulary learning: Whether western music is effective for incidental vocabulary learning. *Studies in language and culture*（27）, 1-22, 2018-12.

Hirsch, E.（2014）. *What your first grader needs to know: Fundamentals of a good first-grade education*. New York: Bantam Books Trade Paperbacks.

Li, Hong & Sun, Tao.（2011）. *100 Vivid Chinese Expressions*. Peking University Press: Beijing.

Longman Dictionary of Contemporary English. 3rd Edition.（1995）. Longman Group. Ltd.

McMahon, L.（2011）. *American culture and language - Famous proverbs and sayings* Retrieved December 6, 2021, from http://www.englishandculture.com/blog/bid/57194/American-Culture-and-Language-Famous-Proverbs-and-Sayings

Peters, M.（2016）. “We need proverbs because they reflect who we are” in *WORKLIFE,* BBC. Retrieved December 6, 2021, from https://www.bbc.com/worklife/article/20161117-we-need-proverbs-

because-they-reflect-who-we-are

参考歌詞

All About That Bass Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/31580759/Meghan+Trainor.

An Apple a Day Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved June 28, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/3442921/Aqua.

Anna Marie Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved June 28, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/23186293/Whiskey+Myers.1

Faceless Man Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/2955046/Creed.

Gone Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/9599288/Kelly+Clarkson.

Home Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/7502477/Michael+Bubl%C3%A9.

Imagine Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/21194100/John+Lennon.

Just a Little Bit of You Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved June 28, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/15550321/The+Jackson+5.

Just the Way You Are Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/23432647/Bruno+Mars.

Like a Rolling Stone Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/29065282/Bob+Dylan.

Money, Money, Money Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/24169585/ABBA.

N.I.B. Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/20506/Black+Sabbath.

No Light Lyrics, (n.d.). https://genius.com. Retrieved June 28, 2021, from https://genius.com/Channel-zero-no-light-at-the-end-of-their-tunnel-lyrics

Price Tag Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/23109400/B.o.B.

Sunday Bloody Sunday Lyrics. Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/360205/U2.

Thanks For the Memory Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved June 28, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric-lf/24115934/Slade.

The River Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/14616140/Bruce+Springsteen.

The World's Greatest Lyrics. (n.d.). Lyrics.com. Retrieved December 6, 2021, from https://www.lyrics.com/lyric/6089195/R.+Kelly.

［付記］
本稿は令和 2 年度言語文化研究所助成による成果の一部である。

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

〈論　文〉

レポート・ライティングにおける問題設定に対する指導法

――ID 理論による授業デザインの実践と効果――

中　村　かおり

要　旨

レポート・ライティングは大学生にとって重要であるが，多くの課題が見られる。特に，問いを立て答えるという問題設定がうまくいかなかった場合，内容面に問題が生じ，評価されないレポートとなる。しかし，問題設定に関してはこれまであまり指導されておらず，課題も多く見られるため，指導方法の検討が求められる。そこで本研究では，レポートの問題設定に関する支援を行うために，ID 理論を援用して授業をデザインし，実践を行った。その結果，レポート全体の質と構成に効果が見られた。また，学生への意識調査からも，実際の論文検索・分析タスクと，ピア・レビューが書き方にプラスに影響し，問題設定と根拠の説得性に意識を向けさせたことが示唆された。

キーワード：問い，サンプル論文，ID 第一原理，協働学習，初年次教育

1. はじめに

大学生にとってレポートを書く力の養成は，学士力の基盤となる重要な学習項目の一つである（中央審議会，2008）。そのため 9 割以上の機関で初年次からレポートの書き方が指導されている（文部科学省，2020）が，問題設定等の内容と，序論・本論・結論などの構成や引用形式等の書き方等

において，多くの課題が指摘されている（小野他, 2014，二通, 2001，二通他, 2004，近藤他, 2016，中村他, 2018，岩崎, 2021 等）。特に問いを立てて答えるという問題設定は学生自身が「創造する」部分にあたり，画一的な指導では効果が期待できないことから，これまであまり指導されてこなかった（鈴木・杉谷, 2012）。しかし，自由度が高いレポート課題では問題設定の質が内容に大きく影響する。問題設定でつまずけば，内容が不十分と判断され，形式的な書き方がレポートらしくても，高い評価は得られないであろう。そこで本研究では，まず初年次生にとっての問題設定の難しさについて先行研究から整理する。その上で，インストラクショナルデザイン（以下 ID と略述）理論を援用し，問題設定を支援するための授業をデザインする。そのデザインに沿って実践を行い，効果について検証することで，今後のライティング指導への示唆を得ることを目指す。

2. 問題の背景

2.1 問題設定の難しさ

大学生の書くレポートには，内容に関する問題，書き方に関する問題があるとされる（鈴木・杉谷, 2009）。特に内容面に大きく関わるのが，問題設定である。ここでは問題設定について，「論証して答えを示すことが可能な問いを立てること」と定義する。この問題設定でつまずくと，論点が不明瞭，主張がない，いわゆるコピー＆ペースト（以下コピペと略述）中心になるなど，レポートとして成り立たなくなる。

渡辺（2010）は，初年次生に対する調査を行い，書くのが苦手な学生は問題設定に困難を抱え，レポートに何を書けばよいかわからないために思いつくままに知っていることを書き出し，途中で書けなくなると報告している。問題設定でつまずくことが，書くことに対して苦手意識を強め，ライティングに向き合うことの障害となっているという。書くことが苦手な

学生に見られた書き方は，Bereiter & Scardamalia（1987）のいう「知識伝達モデル（knowledge-telling）」にあたり，持っている情報を語ることは，特別な訓練の必要がない自然な書き方であるとされる。しかし，レポートや論文等のアカデミック・ライティング（以下 AW と略述）で求められるのは「知識変形モデル（knowledge-transforming）」で，目標設定をした上で情報を再構築することで問題解決を行っていくという高次の書き方である。このモデルは自然には習得されず，全体のプロセスの計画や目標設定が必要であり，意識的な取り組みが求められる（Bereiter & Scardamalia, 1987）。そのため，初心者には熟達者からの支援が欠かせない。

縣他（2019）では，論証型のレポート作成プロセスを一つの創造行為と捉える。問題解決の過程における「問題発見」の段階は，「最終的な評価にも強く関連する，極めて重要なプロセス」であるが，支援に課題があるとしている。その根拠として，学習支援センターに寄せられた学生の相談には「課題で求められていることが分からない／引用ばかりで自分の主張がない／問いの立て方が分からない／テーマの候補はあるものの，問いとして絞れない」といった，問いの生成に関わる悩みが寄せられ，レポートに関する相談の半数以上を占めたことを報告している（縣他, 2019）。

このように，問題設定はレポートにおいて重要であるが，学生は漠然とした関心から問題設定を行うことに困難を抱えている。ライティング指導において，問題設定に関する指導や情報は少なく，問題発見のプロセスは自然には習得されないため，初年次から教育的介入が必要である。

2.2　各段階を往還させる必要性

次に支援の現状を見る。問題設定に関する実践は 2 つの系統に分類できる（木林, 2019）。1 つは「発想の整理」で，KJ 法を使ったキーワードの整理などその分野に関する知識があまり求められない方法である。もう 1 つ

は「先行研究の精査」で，先行研究の中から残された問題の解決や課題の拡張などを目指すものであり，分野に関する知識が必要なものである。

初年次生を対象にライティング指導を行うクラスでは，多様な専攻の学生を対象としたクラスも少なくない。そのような場合，初年次生であることや専門分野が広いことから，専門的知識があることを前提にできない。そのため，「発想の整理」のための方法が採られる傾向にある。しかしながら，実際に専門科目で求められるレポートは，完全に自由な問題設定ではなく，授業で学んだことに加え，先行研究も参照しながら，問いを立てることが求められることも少なくない。これには「先行研究の精査」が必要であり，「発想の整理」にとどまらない支援が求められる。

では，「先行研究の精査」による問題設定はどのように支援されているのか。鈴木・杉谷（2012）は「問いを立てる」プロセスを，文献資料を読むことで，直感的に興味や関心をひくトピックを見つける段階の「気づき」，気づきをレポートの問いとして仕立てていく「洗練」，レポートに適した形に整える「定型化」の 3 段階に分けている。縣他（2019）は，このプロセス 3 段階をもとに，支援のためのガイドラインを作成している（図 1）。

このガイドラインは，学習支援センターにおいて，学生に対して 1 対 1 でサポートを行うことを目的とし，個別に対応できるように細かい段階が設定されている。phase2 から 5 までは鈴木・杉谷（2012）の 3 段階と対応しているが，phase1 は問い立ての前提として新たに設定されている。なお，本稿での「問題設定」は，整えられた問いを生成するまでの，phase1 から 5 までのすべての段階にあたる。

このガイドラインでは「問いとは何か」といったメタ認知的な理解から定型化までのプロセスが示されている。これは鈴木・杉谷（2012）の問題発見の理論と同様に，実際にレポートや論文を書くときのプロセスと一致していると考えられる。個別相談に応じて，どこに支援が必要なのかを見極めるためには有効なガイドラインだと思われる。

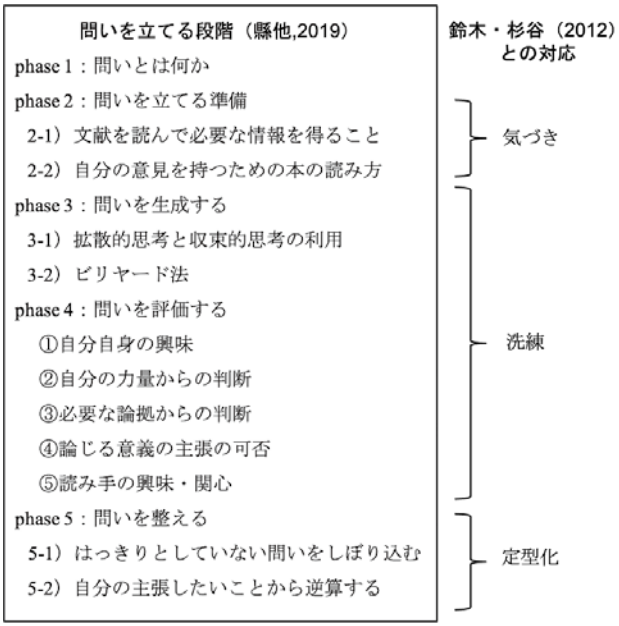


図 1　問いを立てる段階

しかし，このガイドラインを授業で用いるには，工夫が必要である。phase1 の「問いとは何か」という説明には，「端的に書かれた一文で表される疑問文」，「レポート全体を通して答えられるもの」，「答えや主張に対応させて調整しても良い」という観点があるとされる（縣他，2019）。しかし，レポート・ライティング初心者が，抽象的な説明のみでこれらを理解し，自ら問いを立てることは容易ではないと予想される。問いの適切さや大きさ等も含んだ妥当性は，その答えと根拠が揃って初めて理解されるものであり，「問い」にのみ焦点を当てて検討できるものではない。

また，phase4 の評価の具体例にあるような，「②自分の力量からの判断」，「③必要な論拠からの判断」，「④論じる意義の主張の可否」などの問いの洗練は，phase2 で資料収集を進めながら答えや根拠の見通しをつけ，

全体のストーリーラインの作成とともに行われるものである。つまり，phase2から5までを往還しながら徐々にストーリーを作り上げていくことで，問題設定が可能になると言える。縣他（2019）も「これらは短時間のうちに単線的に進められるものではなく，時間をかけて行きつ戻りつしながら複雑に展開するものであ」ると認めている。したがって，このガイドラインに示された各段階を，クラスでどのように示し，学生に意識的に往還させていくかという具体的な方法を検討する必要がある。

2.3　学問的文脈に位置付ける重要性

杉谷他（2009）は特に初年次生が直面しやすい問題設定の難しさとして，先行研究などを批判的に見るという問題の「相対化」，問いを絞り込むという問題の「明確化」，論ずる価値のあるものとして他者に示すという問題の「普遍化」を挙げている。これらに対する意識やスキル，経験が不足しているため，問題設定が適切に行われないとしている。

論ずる価値のあるものとして他者に示す「普遍化」は，問いを考える前提であり，書くことの目的とも言える。これは文部科学省（2008）が示す「人類共有の知的財産の拡大」という学問の意義であり，大学の研究活動の目的である。その結果として投稿される論文は，社会的に価値のある課題について，問いを立て，先行研究を批判的に検討し，また他者が批判的に吟味できる形式で公共化することが求められる。このような学問的意義の理解が学術的な文章の書き方に大きな影響を与えているとされており（西條 2007, 2011），書く目的を意識することで，他者が検証可能で恣意的でない書き方への理解を促進すると考えられる(1)。

レイヴとウェンガー（1993）は「正統的周辺参加」という概念を提唱している。これによれば，初年次生は，教員が行う研究活動を軸とする共同体に，新規に参入した「正規メンバー」と見なされる（鈴木，2018）。そして，熟達者を観察し，支援を受けながらアカデミックな場で共有される文

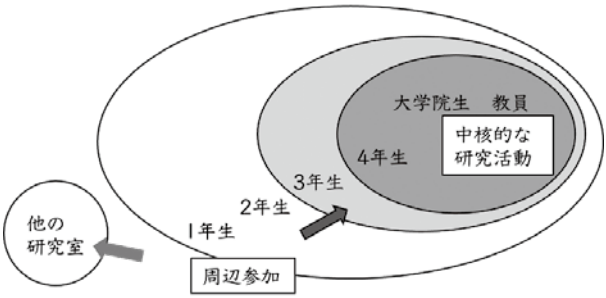


図 2　大学への参加（鈴木, 2018）

脈を徐々に理解し，図 2 のように研究活動に参加していくと考えられる（鈴木, 2018）。しかし，東谷（2019）は，このようなアカデミックな文脈が初年次生には示されない現状が問題であるとし，示す必要性を訴えている。

また，西垣（2010）も，アカデミック・ライティングにおいて書く目的が示されないことが学生の主体的な取り組みを阻害している要因の一つであると述べ，書く目的を明示すべきであると主張している。

これらの先行研究から，初年次生にとっても，レポートを書くことをアカデミックな文脈に位置付け，問題の普遍化を目指すという意義を示し，先行研究を相対化していくことで，問題の明確化が進むことが期待できると考える。しかし，西垣（2012）は，学問的意義を説明することは一時的には効果があるが，長期的な効果には疑問が残るとしており，学問的文脈を宣言的な知識として知らせるだけでなく，深く納得できる体験として理解できるような工夫が求められる。

2.4　書くべき文章のイメージを持つ重要性

学習において，目的と学習目標の理解は学習成果を評価し，学習段階を認識するために重要である。初年次生が正統的周辺参加により，研究活動

に徐々に関わっていくためには，目標となるべきモデルの提示が欠かせない。また，村岡（2014）は，大学院生を対象とした専門日本語教育において，書くためには論文スキーマが形成されていなければならず，そのためには読み手として論文を批判的に読む経験が必要であると述べている。モデルを読むことによって，アカデミックなディスコース・コミュニティーにある暗黙知を理解し，形式スキーマを作り上げることができるという。しかし，初年次生の中には，論文やレポートを読んだことがないという学生も少なくなく，AW に関する形式スキーマが形成されていない可能性がある。そのため，まず形式スキーマの形成のために，初年次生に対してもモデルとなるサンプル論文やレポートを提示する必要があると考えられる。また，小山（2017）は早期に参考文献等を読むことで，レポートの点数が向上する可能性を示唆しており，サンプル提示の時期も考慮する必要がある。

サンプル選定において，内容と難易度の点で課題もある。レポートの内容や書き方は専門によっても異なり，初年次生向けのライティング教材に載っているサンプルレポートが目の前の学生に適さない場合もあると考えられる。内容が専門的になれば理解が難しく，また専門外の内容の場合，興味を持てない可能性もある。このような背景から，レポートを読み慣れていない初年次生の興味を引く，適したレベルのレポートを探すことは難しい。また，時間的な制約からも，ただレポートを読ませることにはコストに比して学習効果が高くないことが予想される。

そして，サンプル数の問題もある。教材の中には，1 本のレポートを見本に，レポートの特徴を詳細に説明していくものが見られる。このような示し方は，各ステップで注意すべき点を理解させる上で効果があるであろう。しかし，レポート初心者にとって，1 つのサンプルからアカデミックなジャンルに普遍的な要素と，そのレポート特有の書き方を区別するのは困難であると思われる。レポートや論文は，分野や研究手法に応じて書き

方が異なるが，すでに学んだ1つの型に沿って，異なる型の文章を書くことで生じる問題も報告されている（近藤他，2017）ことから，これから書くべき文章のゴールを理解させるにはバリエーションを示すことが必要であろう。複数のサンプルを比較することでAWの特徴を分析し，帰納的に理解することができると考えられるためである。アカデミックな文章を書くことを求められる学生には，複数の論文やレポートを読ませることで，書くべき文章の目標を理解させることが必要なのではないだろうか。

2.4　課題の整理と本研究の目的

ここまでの課題から，授業デザインに必要な視点を整理し，本研究の目的について述べる。

⑷　問題設定は「問いとは何か」を理解し，「気づき」「洗練」「定型化」の各段階の往還によって行われるため，ある部分だけを独立して指導することは，効果的な支援にならない。そこで，問いに対する答えとその根拠をつなぐストーリーラインの作成を意識させ，各段階を往還させる工夫が必要である。

⑻　「普遍化」を目指すレポートで問題設定を行うには，アカデミックな文脈に即して書くことの目的を理解することが求められる。その際，単なる説明にとどまらず，学生自身が深く納得できるような工夫が必要である。

⑹　レポートを書くためには目標となるレポートに関する形式スキーマを形成する必要がある。そこで，初年次生にゴールのイメージを持たせるために，複数のサンプルから帰納的に特徴を理解させる工夫が必要である。

以上の3つの課題を踏まえ，本研究では，各課題に対応できる授業をデ

ザインし，問題設定に関する授業実践の効果について検証する。それにより，今後の AW 指導への示唆を得ることを目指す。

3. 授業デザインと実践

3.1 授業デザイン

ここではレポート・ライティングにおいて，学生が適切な問題設定ができるようになることを目標とした授業のデザインを行う。デザインでは，⒜問いに対する答えとその根拠をつなぐストーリーラインの作成を意識させ，各段階を往還させる工夫，⒝アカデミックな文脈において書く目的を理解させ，適切な問題設定につなげる工夫，⒞ゴールのイメージを持たせるために，複数のサンプルから帰納的に特徴を理解させる工夫を，どのように実践に組み込むかを検討する。これらの活動を考えるにあたり，3 つのインストラクショナルデザイン（ID）理論を援用する。

まず，メリルの ID 第一原理（Merrill, 2002，市川・根本, 2016）を参考に，特に「問題設定」に関わる授業の枠組みを検討した。これは ID モデルに共通する 5 つの要素を示したもので，ID 理論全体の基盤になるものである。学習者に現実的な「問題」としてゴールを示し，学習者の経験と関連づける「活性化」を促す。そして，具体例を「例示」し，別のモデルを示すことで学習者に「応用」することに挑戦させ，最後に「統合」し振り返るという流れである。この「問題」は，⒝のアカデミックな文脈に沿って書く目的の提示にあたり，「例示」は⒞の目標イメージの提示にあたる。これらを反映させた授業デザインを表 1 に記す。

より具体的な授業デザインには，ライゲルースの精緻化理論（Reigeluth, 1979，市川・根本, 2016）を援用した。精緻化理論とは，最初に全体が俯瞰できる単純化された課題を示し，その後，ゴール達成に必須の下位要素を増やし，徐々に課題を複雑にしていくものである（市川・根本, 2016）。

表 1　ID 第一原理に基づく授業デザイン

ID 第一原理	原理の説明	授業デザイン
1　問題	現実に起こりそうな問題に挑戦する	サンプルからアカデミックの目標を理解し，新しい知見を示すことを自らの課題として捉えさせる。恣意性を排除し，検証可能性を担保することの難しさを知る。
2　活性化	既に知っている知識を動員する	自分の興味関心の中に，アカデミックな問題設定との接点がないか考えさせる。
3　例示	例示を見せる	複数の例（論文）を見せ，問題設定の問いと答えに関して抽出させ，気づきを促す。
4　応用	応用するチャンスがある	3 と異なる例（レポート）と，その問題設定を見せ，学生が問いを洗練する機会を作る。
5　統合	現場で活用し，振り返るチャンスがある	自分自身で問題設定を行い，ピア・レビューにより，問いの妥当性を根拠とともに評価する。

*5 つの原理は市川・根本（2016）による

これにより，スキーマ形成が進み，下位要素の位置づけがわかりやすくなると考えられる。図 3 に精緻化理論の流れに沿って，デザインを検討したものを示す。実践では最初に実際の論文を用いてストーリー全体を俯瞰させる。しかし，単純化する必要があるため，注目させる部分を論文の要旨，あるいは序論と結論に絞り，そこから問いと答えを探す課題を設定した。複数のサンプル（例示）分析により，問題設定についての理解を深め，自らの問題設定につなげられると考えた。その後，応用として，レポートを分析する活動を取り入れ，問題設定とストーリーラインの理解を深める。それから，各自の興味関心に基づいた問題設定を行い，それに対してピア・レビューを行うことで，根拠の説得性等を含めた問題設定について検討できる工夫を取り入れる。

最後に，活動においては，Collins et. al.（1987）の認知的徒弟制を援用する。これは，新入りの職人が親方のやり方を見ながら学ぶ徒弟制になぞ

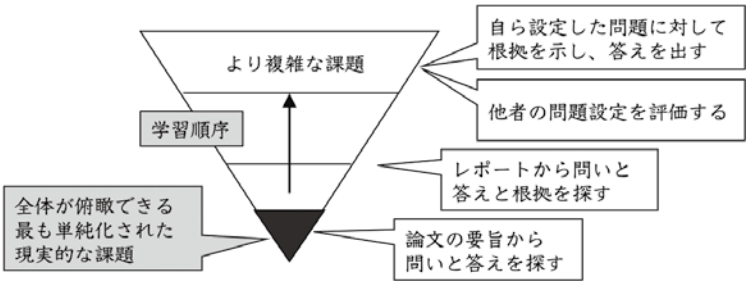


図 3　精緻化理論に基づく授業デザイン

＊市川・根本（2016）をもとに筆者作成

らえ，訓練を要する手続き的知識を獲得する際に用いられる理論である。認知的徒弟制には，1）手本を見せる「モデリング」，2）やり方を教える「コーチング」，3）学生の課題遂行のための支援を行う「足場かけ」，4）理論やプロセスを明確化する「詳述」，5）問題解決のプロセスを振り返る「省察」，6）自分自身の問題設定や問題解決に向かわせる「探索」の 6 つのステップがある。Collins et. al.（1987）は，Bereiter & Scardamalia（1987）が行った知識伝達モデルのライティング実践も認知的徒弟制であると述べており，レポート・ライティングの指導に適した方法だと言える。

また，学習促進のために「詳述」以外にも言語化を促すしかけを取り入れる。他者への働きかけ場面における，理解や獲得した知識の自然な言語化は知識の構築を促すとされる（伊藤，2009）。特に課題に対して複数の解が存在する場合，認知的葛藤が生まれ，それを解消しようとする際に知識構築が促進される。そこで，本実践では，認知的葛藤を生み出すために，多様な解が存在する課題を与えて共有させた上で，協働学習によって，認知的葛藤の解消に取り組ませることとした。このような活動により，AW に関する知識が構築されることを期待した。

以上から，授業デザインには，以下の項目を組み込むこととする（表 2）。【 】内は認知的徒弟制にあてはまる活動を示す。略称は M：モデリング

（Modeling），C：コーチング（Coaching），3）S：足場かけ（Scaffolding and Fading），4）A：詳述（Articulation），5）R：省察（Reflection），6）E：探索（Exploration）である。

❶ 学問的意義について理解する

学問のゴールについて考えるための足場かけを行い【C/S】，協働学習により定義を考える【A】。そして，複数の文章を比較しながら【M】，アカデミックな文章に必要な点（学問的意義の提示，恣意性の排除，検証可能性を示す書き方等）について検討を行い【S/A】，さらに理解を深める。学期末に自由テーマでのレポート提出課題があることを予告する。

❷ 問題設定について理解する

興味のあるテーマについての論文検索活動を行い，3本を選定する【M/C/E】。それらについて，指定された引用ルールに則ってメモをとらせる【C/S】。そして，要旨あるいは序論と結論を読み，そのうち興味を引かれたもの1本を選んで紹介する。その際，「何を明らかにしようとしたものか（問い）」と「明らかになったこと（答え）」を簡単に説明する【S/A】。

❸ レポートの構成や見出しについて理解する

レポートの並べ替えや見出し作成により【S/A】，構成や見出し，参考文献の書き方等に注目をさせる【M/C】。その際，レポートの問いと答え，根拠についても確認を行う【M/C】。* 課題として自分自身の問題設定（問い・答え・根拠の見通しと根拠となる文献）を書く。その際，ストーリーラインを意識させる【E】。

❹ 問題設定を推敲する

各自が考えた問題設定をもとに，レポートのストーリーを口頭で発表し，問題設定についてのピア・レビューを行う【A/R】。グループでつながりや根拠等の項目について質問しあうことで，問題の背景等についても意識させる【S/A/R】。また，他者の発表を聞くことにより，適切な問題設定についてのサンプルを増やす【M/S】。* 課題として初稿レポートを書く

【E】。

❺ レポートを推敲する

構造や書き方等についてのルーブリック評価基準を用いて，各自が持ち寄ったレポートのピア・レビューを行う【S/A/R】。ルーブリックによる得点化はせず，レビューの観点として大まかに活用する。❹とは異なるグループメンバーと読み合うことで，書き方だけでなく，問題設定についても再度推敲させる【S/A/R】。* 課題としてレポートを書き直す【R/E】。

❻ レポートを評価する

ルーブリックを足場かけとして用い，各自が持ち寄ったレポートについて，ピア・レビューを行い，評価する【S/A/R】。* 課題としてレポートを書き直し完成させる【R/E】。

3.2 授業実践

本研究では対象クラスにおいて実践を行い（授業計画は表 2），その結果を検証する[(2)]。

対象クラス：東京都内私立大学の人文社会学系学部の初年次教育クラス（以下，初年次クラスと略述）。レポート・ライティング以外に情報検索等のアカデミック・スキル教育，キャリア教育に関しても指導を行う。

時期：2020 年 4 月 - 8 月（90 分× 11 回）[(3)]

授業計画：全 11 回のうち，2 回目と 3 回目は「アカデミック・スキルの基礎」として大学での学びに関連づけた学習項目❶と❷を取り入れた。7 回目から 10 回目までの 4 回の授業に「アカデミック・スキル：レポート・ライティング」として，❸－❻を取り入れた。

4. 実践結果の調査と分析

上記の授業デザインによる実践を行った結果を，初年次クラスのレポー

表 2　具体的な授業内容と活動

授業回		内容	活動
1	よりよい大学生活へ向けて		
	アカデミック・スキルの基礎（大学で学ぶとは・図書館の使い方・協働学習の進め方）		
2	❶	大学での学びについて考える アカデミックとは何かを理解する	4つの文章を比較し、アカデミックな場に共通の客観性や検証可能性について分析する。
3	❷	学問の広がりを知る 論文の形式と引用形式を理解する 問い・答え・根拠について理解する 資料を検索し、適切な形式で引用する 先行研究の問いと答えを抽出する	自分の興味のあるテーマで論文検索活動を行う。引用形式に注意して3つメモし、そのうち1つ最も興味を惹かれたものを紹介する。その際、何を明らかにしようとしたものか（問い）とその答えについて報告する。
4		協働学習/プレゼンテーション：課題を分類し、解決法について話し合う	
5		他者への情報伝達	
6		異なる意見を統合し、発表する	
7	アカデミック・スキル：レポート・ライティング		
	❸	レポートの構成について理解する レポート執筆プロセスを理解する レポートの構成を分析し、評価する *問いに対し答えと根拠の見通しを立てる	レポートの章ごとに切り離された文章を並べ替えたあと、見出しをつける。表現や内容から、どのような構成がふさわしいかを言語化する。また、その内容の要約にふさわしい見出しを考える。
8	❹	問い・答え・根拠について評価する 問い・答え・根拠について推敲する *初稿レポートを書く	各自が考えた問い・答え・根拠の見通しについて発表し、グループで論理性等について検討する。
9	❺	構造や書き方について評価する *構造や書き方について推敲し、修正する	ピア・レビューを行う。
10	❻	他者の文章を読んで、評価する 書くプロセスを振り返って評価する *最終稿を完成させる	ピア・レビューを行い、評価する。
11	キャリアデザイン・これからの3年半を考える		

*は授業外課題

ト，専門科目のレポート，学生へのインタビューの結果から分析する。

4.1　初年次クラスでの結果

初年次クラスでは，16 名中 15 名が❸の「* 問いに対して答えと根拠の見通しを立てる」という第 1 回目問題設定の課題からすでにストーリーラインを意識して書いており，❹のピア活動にも活発に取り組んでいた(4)。しかし，「* 初稿レポートを書く」課題で，ほぼ流れが整っていたレポートは 6 名分（37.5%）で，問いと答えの整合性や，根拠の説得性に問題のあるも

のが多く見られた。しかし，この初稿に対する❺ピア・レビュー後に推敲し，修正した課題では，16 名中 15 名（93.8%）が，問題設定から根拠の提示まで，問題のないストーリーラインを作成できており，❻の最終稿の評価でも求められる水準以上のレポートを書くことができていた(5)。この授業デザインによる実践により，初年次クラスにおいては，大きな問題なくレポートを書くことができたと言える。しかしながら，初年次クラスでは，クラスメートや教師からのフィードバックによって，レポートの質が大きく影響される。そのため，レポート提出前に，ピア活動がなく，教師からのコメントもない専門科目のレポートをもとに，一人で書く力がどのぐらいついたかを検証し，本実践の効果について分析を行うこととする。

4.2　専門科目レポートの分析と考察

本実践を行ったクラスの在籍者（実践群 8 名）と，それとは異なる初年次クラスの在籍者（統制群 8 名）を対象に，専門科目で求められる期末課題として提出したレポートを評価し，分析を行った。専門科目のレポートは，初年次クラスのように教師のフィードバックが入っておらず，個人の力を比較しやすいと考えられるためである。ただ，同じ専門科目の受講生の人数が多くないため，対象は各 8 名である。統制群の学生は実践群と同じ学科の初年次生で，実践群とは異なるクラスで初年次教育を受けており，レポートの書き方についても指導を受けている。しかし，「情報検索」およびレポートの「ピア・レビュー」は行っていないという違いがある。

評価は筆者と協力者 1 名で行い，協力者は 20 年以上のキャリアを持つベテランの大学講師（専門は日本語教育学）である。レポートの評価項目は，内容に関わる点として，「1 問いと答え」「2 事実に基づく根拠」「3 文章の構成・流れ」があり，表現形式に関わる点として，剽窃に関わる「4 引用形式」，書き言葉を用いて客観性を保つ「5 アカデミックな書き方」，タイトルや学生番号の明記，フォントの統一や見出し等の「6 レポート形式」が

表 3　専門科目のレポート評価の結果

	実践群（n=8）		統制群（n=8）		t 値	p 値
	M	SD	M	SD		
1　問いと答え	3.63	0.35	3.19	0.65	1.67	.12
2　事実に基づく根拠	3.56	0.50	3.19	0.46	1.57	.14
3　文章の構成・流れ	3.56	0.32	2.94	0.50	3.00	.01
4　引用形式	3.00	0.00	2.69	1.13	0.78	.45
5　アカデミックな書き方	2.81	0.65	2.56	0.42	0.91	.38
6　レポート形式	2.75	1.22	2.00	0.85	1.43	.18
合計	19.63	2.28	16.50	2.49	2.54	.02

$p < .05$

ある。以上の 6 項目につき，各項目 5 段階の 4 点満点（S:4，A:3，B:2，C:1，F:0）[(6)] で評価した。実践群 8 名，統制群 8 名の，計 16 名分のレポートを対象に評価を行い，分析には評価者 2 名の平均点を用いた。

分析の結果を表 3 に示す。分析には IBM SPSS Statistics Ver.27 を用い，t 検定（両側検定）による平均値の差を比較した。平均値に有意差が認められたのは「3 文章の構成・流れ」（p = .01）と，「合計」（p = .02）であった。レポート全体の合計点は実践群の方が有意に高かったが，問題設定に直接関わる「1 問いと答え」と「2 事実に基づく根拠」には，有意差は見られなかった。しかし，それらをストーリーとしてつなぐ「3 文章の構成・流れ」について実践群では有意に高かったことから，問題設定を考える際に各 phase を往還しながらストーリーラインを意識するという実践の効果があったことが示唆された。しかし，本調査は対象者が少なく，また，この調査に協力を得られた学生のレポートは，実践群，統制群ともに評価の高いものが多かった。内容に関わる 1 から 3 の項目では両群とも概ね A 評価の 3 以上であり，どのような効果があったか不明である。そこで，次に

学生がどのようにレポートに向き合ったかについてインタビュー調査を行うことで，実践の効果についてより詳細に検証を行った。

4.3　学生に対するインタビュー調査の結果

インタビュー調査は，上記の 16 名のうち，調査への協力が得られた 10 名（実践群 5 名，統制群 5 名）(7) を対象にオンラインで行った。調査は，実践から半年後の 2021 年 2 月に実施した。事前に質問紙への記入を依頼し，その回答についての詳細を半構造化インタビュー形式で聞いた。調査では，大学入学前のレポート執筆経験の有無やライティングに対する苦手意識等の協力者の基本情報に加え，書くこと，学ぶことについて大学入学前後でどのような意識の変化があったか，レポートを書くときに意識しなければならない点は何か，レポートを書くときに難しいところはどこか，レポートの書き方について後輩にどのようにアドバイスするか，大学では何をどのように書くことが求められていると思うか，の 5 つの質問について聞いた。

それらの質問に対する回答を，KJ 法の発展型であるうえの式質的分析法（上野, 2018）を用いて分析した。まず発話をユニット化し，ユニット化したメタ情報を「評価」「学問的意義」のように共通の概念に沿ってコード化し，各コードのユニット数を比較することで量的にも分析した。ユニット数は発話量の多さを示しており，多いものは学生が重視している点だと言える。分析したユニット数を比較したものを表 4 に示す。特徴的なものとして，実践群統制群ともに全員が言及したものを◎，実践群全員が言及したものを●，実践群 4 名以上が選択し，統制群の 4 倍以上のユニット数を示したものを○で示した。

実践群，統制群ともに全員が言及しているのは「問題設定」と「根拠・説得力」についてである。「新しい発見を見つける力が重要」「問いと結論を決めてから書く」といった意見や，「大学はより専門的に自分の分野から

表4　インタビューの結果

分類		書く目的		問題設定・内容				プロセスのメタ認知					文章の質						
コード		評価	学問的意義	問題設定	事実と意見	意見	先行研究・情報	プロセス	訓練	推敲	他者への意識	参考モデル	構成・ストーリー	型	一貫性	根拠・説得力	引用・形式	書き方・表現	文字数
実践群（5人）	人数	4	5	5	4	2	4	5	2	3	5	5	4	0	4	5	1	4	1
	ユニット数	19	26	11	19	6	20	12	6	8	21	14	17	0	6	12	7	8	3
統制群（5人）	人数	3	3	5	4	3	3	4	0	3	4	3	3	2	4	5	1	3	2
	ユニット数	4	20	9	14	9	5	26	0	4	16	7	4	4	10	14	2	6	3
特徴的なもの		○	●	◎			○	●			●	●	○			◎			

見た解決策を書くことが大事」のように，問いを立て，新しい答えを示すことを意識している。そして，「根拠が自分の意見を証明できるかを考える」「目的に対して意見だけでなく根拠があったほうが説得力がある」など，「根拠・説得力」につながる論証を意識して書いていることがうかがえた。

それらに加え，実践群全員が言及していたのが，「学問的意義」「プロセス」「他者への意識」「参考モデル」であった。

「学問的意義」では，「大学で学ぶとは探求すること」「社会的役割や責任を意識するようになり，書くときにあなたは何をするのかが求められている」などの発言があった。学問的探究とレポートを書くこととを関連づけて考えている様子が見られ，実践で，大学で学ぶ意義について考えた活動の影響が見られた。また，「学問的な文章を，受け入れられる形で書くことが必要」というように論文と学問的意義に触れる発話があることから，レポートを学問の延長線上に位置付けており，実践での実際の論文の問題設定の分析活動の影響があることも示唆された。

「他者への意識」と「プロセス」では，ピア・レビューや家族に読んでも

らった経験等を踏まえ，書き手と読み手のギャップに気づいたという発言があった。そこからどのように書くかという「プロセス」に意識を向けていた。そして，実際の論文やレポートを「参考モデル」として役立てたという発言も目立った。「論文を Google Scholar で読んで，研究目的を意識した」「実際の論文検索によって資料の探し方や引用方法を意識した」「論文を読んで，表現や例文の書き方，調査法，構成などを参考にした」という意見があり，さまざまな観点からモデルを参照していることがうかがえた。そして，その経験を「読み書きの量が増えれば，書けるようになる」という訓練の成果につなげる発話も見られた。

また，実践群の 4 名が言及し，ユニット数の差が 4 倍以上になっているのが，「評価」「先行研究・情報」「構成・ストーリー」である。「評価」では，ピア・レビューによる評価とともに，実際の授業で課される課題の評価基準も参考にしていた。「先行研究・情報」では，「先行研究は引用と意見のバランスがいい」ことから，その書き方に近づけるため，「テーマについて広く見るために調べる」「深く知るためにキーワードで調べる」「根拠となる情報を探す」と述べている。このように，問題設定の準備段階から，レポートを書き終わるまで，常に情報を集め，資料を検討している様子が見られた。情報を集めた後は，「論文には，背景や問題提起，意見，データが書いてあるので，そのように書いた方がいい」「言いたいことのために布石を打って，流れを組み立てて書く」ことが必要だというように，全体の構成やストーリーを意識して書いているという。そして，それを完成させるためには「一通り完成させて何回も書き直す」と述べ，推敲の重要性についても触れていた。

4.4 考察

実践群，統制群のレポートでは，両群ともに問題設定や根拠が意識されていたことがわかった。これはそれぞれの初年次クラスにおけるレポー

ト・ライティングの指導の効果であることが推察される。一方，実践群のレポートは，全体の点数と「文章の構成や流れ」の評価が高かった。そして，インタビュー調査から，実践群には先行研究や情報検索への言及と，書く際に実際の論文をモデルにしたこと，論文を真似て構成やストーリーを意識したという発言が，統制群よりも多く見られた。このことは，入学して間もない時期の論文検索活動が初年次生にとってインパクトのある経験になっており，それが書くことにもつながっていることを示唆するものである。そして，評価や他者への意識に関する発話の多さはピア・レビューの影響であったと思われる。以上から，今回の実践がレポートを書く際の学生にとって，インパクトのある体験になっており，ライティングに向かう態度に影響を与えていることが示唆された。

しかし，インタビュー結果から，レポート形式やアカデミックな書き方への意識が低く，レポート評価からもそれらの書き方が不十分であることがわかった。内容面に注目させつつ，形式的な書き方への注意喚起をしていくことも必要であることが明らかとなった。

5. まとめと今後の課題

本研究では，初年次生のレポート・ライティングにおける問題設定を支援するために，ID 理論を援用して授業デザインを行った。主に，実際の論文をモデルとして使用すること，情報検索をしながら問い－答え－根拠の見通しを同時に立ててストーリーラインを作ること，それらの前提となる書く目的，すなわち学問的意義を意識することに焦点を当てた。その結果，レポート全体の質および文章の構成や流れに効果が見られ，ストーリーラインを作成する活動に意味があることが示唆された。また，モデルとなる論文を読んだ経験やピア・レビューの活動が学生にとってインパクトのある経験となり，自分自身が書く際にもモデルを参照するという書き方につ

ながっていることがわかった。

一方で，本研究の目的であった問題設定への支援のうち，問い立てや根拠について，学生の意識は確認できたものの，問題設定の質に対する効果に関しては，今回の調査では明らかにできなかった。また，書き言葉やレポート形式等の表現や形式にかかわる書き方が不十分であることも明らかになった。内容と形式とは時間的な制約からトレードオフの関係のように思われるが，アカデミックな文脈を意識させることで，少しでも両者を同時に意識させることができるのではないか。今後は，授業デザインを改善した上で実践を行い，さらに対象者を増やして検証した上で，よりよい指導法の提案につなげたい。

〈注〉

（1） 本研究では「学問的」意義と「学術的」な書き方のいずれも包括する概念として「アカデミック」という用語を用いる。

（2） このクラスを含めた一連の研究に関して，研究倫理委員会の承認を得て，全ての協力者から同意を得た上で調査を行っている。

（3） 授業は，コロナ禍により例外的に 11 回で，オンラインで実施した。

（4） 1 名は課題提出が遅れるなど，オンラインでの学習に問題が見られた。

（5） 0 点から 4 点までの 5 段階ルーブリック評価で 4 点以上のものを指す。

（6） S は修正が必要ないもの，A は若干の修正が必要だが，ほぼ満足の行くもの，B は必要な修正が多いもの，C は不十分，F は不可を表す。評価は詳細を記したルーブリックを用い，サンプルをもとに基準を確認して行った。

（7） 全員レポート総合評価が A 以上で，ライティング成功者であると言える。

参考文献

縣拓充・玉田優花子・木村真理子・相原貴次（2019）「レポートライティングにおける『問いを立てること』の支援方法の検討」『東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要』5, pp. 121-134

市川尚・根本淳子編著（2016）鈴木克明監修『インストラクショナルデザインの道具箱 101』北大路書房

伊藤貴昭（2009）「学習方略としての言語化の効果 ── 目標到達モデルの提案 ──」『教育心理学研究』57，pp. 237-251

岩崎千晶（2021）「初年次生のレポートに表出した課題分析とライティングセンターの寄与」『関西大学高等教育研究』12, pp. 25-35
上野千鶴子（2018）『情報生産者になる』ちくま新書
小野和宏・西山秀昌・八木稔・ステガロユ　ロクサーナ・重谷佳見・山村健介・井上誠・前田健康（2014）「大学学習法へのパフォーマンス評価導入における実践的課題」『新潟大学高等教育研究』1 (2), pp. 5-8
木林理恵（2019）「レポート・論文等における問いの立て方と『質問づくり』の手法」『日本語教育方法研究会誌』26 (1), pp. 76-77
小山治（2017）「初年次教育におけるレポートを書く力の向上要因 ── 授業履修者に対する3時点にわたる質問紙調査による検証 ──」『大学教育実践ジャーナル』15, pp. 1-8
近藤裕子・中村かおり・向井留実子（2016）「アカデミック・ライティングにおける引用指導の課題 ── 教材分析を通して ──」『日本語教育方法研究会誌』23 (1), pp. 8-9
────（2017）「大学初年次のアカデミック・ライティング指導に向けたレディネス調査」『日本語教育方法研究会誌』24（1），pp. 102-103
西條剛央（2007）『ライブ講義・質的研究とは何か（SCQRM ベーシック編）』新曜社
────（2011）「SCRM における［論文の公共性評価法］の定式化 ── 論文の「型」をめぐる難問解消に向けてー」西條剛央・京極真・池田清彦（編著）『よい教育とは何か（構造構成主義研究 5）』北大路書房，pp. 240-273
杉谷祐美子・長田尚子・小林至道（2009）「協調学習を通した気づきと問題設定の深まり」鈴木宏昭（編）『学びあいが生み出す書く力 ── 大学におけるレポートライティング教育の試み ──』青山学院大学総合研究所叢書, pp. 87-112，丸善プラネット
鈴木克明（2018）『学習設計マニュアル ──「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン ──』北大路書房
鈴木宏昭・杉谷祐美子（2009）「レポートライティング教育の意義と課題」鈴木宏昭編『学びあいが生みだす書く力：大学におけるレポートライティング教育の試み』丸善プラネット，pp. 1-14.
────（2012）「レポートライティングにおける問題設定支援」『教育心理年報』51, pp. 151-166
中央審議会（2008）大学分科会制度・教育部会「学士課程教育の構築に向けて」（審議のまとめ）https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2013/05/13/1212958_001.pdf（2021/4/6 閲覧）

東谷護（編著）（2019）『表現と教養　スキル重視ではない初年次教育の探究』ナカニシヤ出版

中村かおり・近藤裕子・向井留実子（2018）「アカデミック・ライティングにおける論証技術習得を目指した指導の実践：── 文レベルでの論理的つながりの意識化と明文化を中心に ──」『日本語教育方法研究会誌』24（2）, pp. 8-9

西垣順子（2010）「大学生のアカデミックライティング教育におけるアカデミックリテラシーズアプローチの可能性と課題」『大阪市立大学　大学教育』8（1）, pp. 47-51

────（2012）「学士課程学生に対する先行研究の引用に関するレポート指導授業の開発とその効果に関する検討」『大阪市立大学　大学教育』10（1）, pp. 1-12

二通信子（2001）「アカデミック・ライティング教育の課題 ── 日本人学生および日本語学習者の意見文の文章構造の分析から ──」『北海学園大学学園論集』110, pp. 61-77

二通信子・大島弥生・山本富美子・佐藤勢紀子・因京子（2004）パネルセッション「アカデミック・ライティング教育の課題」『2004 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 285-296

村岡貴子（2014）『専門日本語ライティング教育 ── 論文スキーマ形成に着目して ──』大阪大学出版

文部科学省（2008）「学術研究推進部会 人文学及び社会科学の振興に関する委員会（第 12 回） 配付資料 ── 序「学問」について」https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/015/siryo/attach/1343350.htm（2021/8/6 閲覧）

────（2020）「平成 30 年度の大学における教育内容等の改革状況について」https://www.mext.go.jp/content/20201005-mxt_daigakuc03-000010276_1.pdf（2021/3/20 閲覧）

レイヴ, J.・ウェンガー, E.（著）, 佐伯眸（訳）（1993）『状況に埋め込まれた学習』産業図書

渡辺哲司（2010）『「書くのが苦手」をみきわめる ── 大学新入生の文章表現力向上をめざして ──』学術出版会

Bereiter, C., & Scardamalia, M.（1987）, The psychology of written composition. *Hillsdale*, NJ: Lawrence Erlbaum.

Brown. J. S., Collins. A. & Daguid. P.（1989）Situated Cognition and the Culture of Learning, *Educational Researcher*, 18（1）1, pp. 32-42

Collins, A, Brown, J. S.& Newman, S. E.（1987）, *Cognitive Apprenticeship: Teaching the craft of Reading, Writhing, and Mathematics*, Technical Report No. 403, Center for The Study of Reading. University of Illinois

Merrill, M. D.（2002）, First Principles of Instruction: Educational Technology, *Research and Development;* 50, 3; ProQuest Education Journals, pp. 43-59

Reigeluth, C. M.（1979）, In search of a better way to organize instruction: The elaboration Theory, *Journal of instructional Development*, JSTOR

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

〈論　文〉

スペイン語前置詞句 dentro de の空間的意味「〜先」について[(1)]

長　縄　祐　弥

要　旨

本稿では，dentro de 100 metros「100 メートル先」という表現における dentro de の空間的意味について考察をおこなう。この前置詞句は dentro de 5 minutos「5 分後」のように主に時間的意味に使用される表現であるが，この時間的意味のような振る舞いで用いられる空間的意味も存在する。コーパスにおけるこの空間的意味は，用例数は乏しいものの，文法的に問題はなく，容認される。ただし，時間的意味から空間的意味への拡張という，通例とは反対の方向に意味拡張がおこなわれる点について考察をおこなう必要があると考えられる。結論として，この前置詞句は発話時を基準としたとき，空間よりも時間のほうが必ず「先」を表せる点で時間的意味として用いられやすいことを確認した。これに加え，発話時の地点から終点まで断続的に移動することを含意する必要のある空間的意味は時間的意味に比べ，文脈が限定されるため，時間的意味から空間的意味へ拡張しているととらえることが可能であるとした。

キーワード：スペイン語学，空間と時間，意味論

（1）　本稿は 2018 年 11 月 25 日に関西学院大学梅田サテライトキャンパスにておこなわれた関西スペイン語学研究会第 419 回例会での口頭発表をもとにしている。例会参加者のみなさまから貴重なコメントおよび質問をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

0. はじめに

本稿では，スペイン語の前置詞句 dentro de のこれまで提案されてきた空間的意味「〜の中に」に加え，「〜先」と解釈される文脈も存在することを提示し，その用法について記述をおこなう。そして，その記述をもとに dentro de の時間的意味である「〜後」との関連を考察し，あらためて dentro de の空間的意味と時間的意味の分布を明らかにする。

前置詞句 dentro de の空間的意味は（1）のように，概して「〜の中」と解釈される一方で，（2）にみられるように「〜先」と解釈可能な場合も観察される(2)。

（1） El balón está **dentro de** la caja.
（2）(3) **Dentro de** 100 metros gire a la derecha.
（3） Te llamaré **dentro de** quince minutos.
— RAE y ASALE(4)（2009: 2267）太字は筆者による

（2）の用法は（1）の用法と意味的な関連がみられるというよりもむしろ，（3）で用いられる dentro de の時間的意味である「〜後」にその振る舞いが類似しているため，時間的意味から空間的意味が拡張した用法と考えることが可能である。すなわち，（3）では発話時から 15 分経った時点

（2）「100 メートル以内」という解釈も考えられると思われるが，dentro de cinco minutos が「5 分以内」を表すことができないことをふまえると，「100 メートル以内」という解釈はできないものと思われる。
（3） 主にカーナビゲーションで出現する表現である。
（4） Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española を指す。以下同様。

において llamar「電話する」で表された行為が実現される一方，（２）では発話時にいる地点から 100 メートル先の地点において girar「曲がる」で表された行為が実現されることを表しており，発話時を起点とした期間と発話時を起点とした移動距離が対応している。

空間的意味から時間的意味への拡張に関して，例えば Lakoff & Johnson（1980）は TIME IS SPACE【時間は空間である】(5) という概念メタファーを提起し，時間的意味は空間的意味からメタファーを介して拡張していると述べている。このことはスペイン語においても主張されており，Cuenca y Hilferty（1999）は空間を進めば進むほどそれだけ時間が経過するため，空間と時間の間には明らかな相関関係がみられると主張している。

> Lógicamente, para ir desde el punto de partida hasta el punto de llegada, el viajero tiene que recorrer el trayecto. Más aún, existe una clara correlación entre el espacio y el tiempo: progresar en el espacio implica necesariamente progresar en el tiempo. Por consiguiente, cuanto más camino se recorre, más tiempo pasa.
>
> — Cuenca y Hilferty（1999: 138）筆者により一部変更

しかしながら，この（２）に見られる意味は時間的意味である「～後」から拡張していると考えられ，空間的意味から時間的意味が拡張するプロセスとは反対の方向に意味拡張がされているように思われる。というのも，dentro de の空間的意味に関して，DRAE をはじめとした辞書には（1）の「内部」の意味は記載されているものの，（２）の「～先」の意味は記載されておらず，（２）の意味に類似していると考えられる（３）の時間的意味「～後」は記載されているためである。そこで，本稿では dentro de が「～

（５） スペイン語では EL TIEMPO ES ESPACIO。

先」と解釈可能な場合を考察し，そのうえで，これまで提案されてきた dentro de の空間的意味および時間的意味の意味関係を見直す。

1. dentro de の空間的意味と時間的意味

本章では，前置詞句 dentro de の空間的意味および時間的意味に関する先行研究を概観する。副詞 dentro は Pavón Lucero（1999）が指摘しているように，de を伴って前置詞句を形成しない場合には時間的意味を有しない。例えば，（4）は発話時から 2 週間後に entregar で表された行為が実現されることが示されているが，（5）のように dentro のみで使用される場合には，時間的意味は失われ，空間的意味として解釈される。すなわち，dentro 単体だけでは「〜後に」といった時間的意味ではなく，建物などの「内部で」といった空間的意味で解釈されるのである。

（4） Te lo entregaré **dentro de** dos semanas.
— Pavón Lucero（1999: 603）太字は筆者による

（5） Te lo entregaré **dentro**.
— Pavón Lucero（1999: 603）太字は筆者による

続いて，前置詞句 dentro de に関する記述を確認する。まず DRAE は，空間的意味であれば「〜の中に」を表す一方で，時間的意味であれば「〜後に」を表すと述べており，見出しは時間的意味を先に記載している。このことは dentro de がもっぱら時間的意味で用いられる証拠のひとつになりうるが，この dentro de が有する時間的意味で特徴的なことは，以下の 1 に記述があるように，発話時を基準としてその時点から示された期間を経た後に動詞で表された行為が実現するということである。

1．U. para indicar el término de un período de tiempo visto desde la perspectiva del presente. *Dentro de dos meses.*

2．En el interior de un espacio real o imaginario. *Dentro de un cajón, de una ciudad, del corazón, del alma.*

— DRAE（s.v. dentro）

一方，Salamanca では dentro の意味自体は «En el interior de un lugar o espacio»（Salamanca: s.v. dentro）と表されるものの，以下の 1 と 2 に示すように前置詞句 dentro de の項には空間的意味に関する記述はなく，時間的意味のみを有しているような記述がなされている。

1．En la época o periodo de tiempo que se indica

2．En el preciso momento en que se cumple el periodo que se indica

— Salamanca（s.v. dentro）

Salamanca における dentro de の 1 と 2 の時間的意味にあたる日本語の表現はそれぞれ「～中に」，「～後に」であり，前者は空間的意味の「～の中に」に対応する。長縄（2015）では，dentro de の空間的意味が 2 つの時間的意味へどのように拡張しているのか考察したのち，dentro および dentro de の意味分布を表 1 のようにまとめている。

表 1　dentro, dentro de の空間的意味と時間的意味の分布

	日本語にあたる表現	空間的意味	時間的意味
dentro	中に	○（A）	×（B）
dentro de	～の中に / ～以内に	○（C）	○（D）
	～後に	×（E）	○（F）

— 長縄（2015: 110）筆者により一部編集

意味が認められる場合には○を，認められない場合には×を表内に記している。例えば，(B) には×印が付してあるが，これは先に（4）および（5）をあげながら述べたように dentro のみでは時間的意味が表されないためである。その一方で，dentro de については，空間的意味の (C) から時間的意味の (D) と (F) がそれぞれ派生していると考えられる。そして，本稿でとりあげるのは (E) で示されている dentro de の空間的意味であるが，長縄（2015）では，空間的距離や，空間的距離を時間表現で表す用例がコーパスにおいて確認されなかったため，この (E) の意味は表れないと結論づけている。

> 『(前略) dentro de と数詞が共起する場合にそれに続くのは時間表現がほとんどであることが明らかであり，さらに得られた例文を詳細に観察すると，dos kilómetros のような空間的距離を表す表現と共起する例や時間表現で空間的距離を表す例はなかった。』
>
> — 長縄（2015: 109）

しかしながら，先にあげた（2）Dentro de 100 metros gire a la derecha. は，発話時を起点とした移動距離と発話時を起点とした期間が対応していることを考えると，(F) が (E) へ拡張していると思われる。そこで，本稿ではこの (E) に該当する空間的意味は，(F) の時間的意味から派生していると仮定したうえで考察をおこなう。

2. Real Academia Española とインフォーマントの見解

本章では，Real Academia Española[(6)]（スペイン王立アカデミー）とイ

（6） 以下 RAE と表す。

ンフォーマント1名の dentro de の空間的意味について対する見解を記す。以下でそれぞれの回答の詳細を記述するが，結論から述べるといずれも容認可能という返答を得た。

2.1. RAE の見解

先行研究だけでは「～先」にあたる dentro de の記述が見当たらなかったため，本研究をおこなうにあたり，RAE に（6）を提示したうえで，dentro de, a, en のいずれがふさわしいかを尋ねた。

（6）［Dentro de / A / En］100 metros, gire a la derecha.

この問いに対して，dentro de 加えて después de が一般的であるとの回答が得られた[(7)]。一方，a は誤りではないものの，この文脈においては適切な前置詞であるとは言えず，また en もよく用いられるものの，避けたほうがよいとしている[(8), (9)]。

この回答により，（6）で提示した選択肢は，許容度は異なるものの規範的にはいずれも容認されることが確認された。しかしながら，DRAE の

（7） RAE のサービスを利用した。
Desde octubre de 2012, el departamento también presta este servicio de atención a consultas lingüísticas a través de la cuenta @RAEinforma en la red social Twitter. Las respuestas que se ofrecen en ese ámbito van siempre encabezadas por la etiqueta #RAEconsultas.（https://www.rae.es/espanol-al-dia［最終アクセス日：2021 年 10 月 16 日］）

（8） Lo más normal y recomendable es usar «dentro de» o «después de». El uso de «a» no es incorrecto, pero es poco preciso en este contexto. Aunque también es frecuente el uso de «en», es preferible evitarlo.

（9） これは時間的意味「～後に」を表す dentro de の代わりに en を用いることを避けたほうがよいとしている理由と同等であると思われる。この en の用法については長縄（2015）で論じているため，本稿では議論しない。

dentro de の記述には時間的意味のみが記載されているため，時間的意味でなくとも（6）のような表現は容認されるのか尋ねた。この問いに対して RAE は，適切な文脈であれば空間的な表現と共起可能であり，（6）のように動いている乗り物に乗っていることが示唆されるような文脈において用いることが可能であると述べている(10)。

2.2. インフォーマントの見解

RAE に加え，スペイン出身のインフォーマント 1 名に（6）を提示しながら，同じ質問をおこなったところ，この文はカーナビゲーションで使われる表現であり，dentro de 100 metros および en 100 metros を用いることが可能であるという回答を得た。RAE の回答と同様，乗り物において用いられる表現であるとした。

以上の回答から導きだせるのは，まず dentro de 100 metros は問題なく容認されるということ，そして用いられる文脈は自動車など動いている乗り物に乗っている場合であるということである。しかしながら，この空間的意味が時間的意味から派生しているのかどうかについてははっきりせず，これらの回答だけで判断するのは困難であるが，（2）の dentro de の用法はかなり限られた文脈でしか生じないと思われる。それゆえ，（2）のようなカーナビゲーション上で用いられる以外の用例を収集し，dentro de の空間的意味，すなわち表 1 の（E）を認めるかどうかを考察する必要がある。次章では RAE の回答から得られた，dentro de とそれと交替可能であるとされる a と después de の用法を観察する。

---

(10) «dentro de» se puede combinar con una expresión espacial en el contexto adecuado, como por ejemplo cuando se va en un vehículo en marcha.

3. dentro de と交替可能とされる表現 ── a と después de

本章では空間的意味「〜先」を表す dentro de と交替可能であるとされる a および después de の時間的意味について，先行研究の記述をもとに考察する。

3.1. a の時間的意味

はじめに a の時間的意味について確認する。DRAE の a の時間的意味には「物事が生じた場所，あるいは時間を明確にする」とあり，それ以上のことは記載されていない。

> 6．Precisa el lugar o tiempo en que sucede algo. *Le cogieron a la puerta. Firmaré a la noche.*
>
> ― DRAE（s.v. a）

この DRAE に示されている a についてさらなる観察をおこなうと，a は（7）のように2点間の距離を表すことが可能である。すなわち，（7）では coche「車」と mi casa「わたしの家」との距離が2キロメートルであることが示されている。その一方で（8）では，移動手段は書かれていないものの，colegio「学校」と casa の距離が10分であることが表されている。このように，スペイン語では時間の表現を用いることによっても距離を表すことが可能である。

（7） El coche está **a dos kilómetros** de mi casa
― Cabezas Holgado（2015: 26）太字は筆者による

（8） El colegio para nuestro hijo está **a diez minutos** de casa, el

hospital también.

— CREA 太字は筆者による

以上のことをふまえれば，dentro de と a の交替が認められそうであるが，先に述べたように RAE は dentro de 100 metros を a 100 metros と表すのはあまり好ましくないとしている。これは基準となる時点が dentro de は発話時である一方で，a は発話時以外の一時点であるためと思われる。このことに関して，RAE y ASALE（2009）によれば，定められる時点は時間の表現によって大きく 3 つのグループに分類される。すなわち，発話時を基準とするグループ，発話時以外のある一時点を基準とするグループ，そしてあらゆる時点を基準とできるグループである。

1．Adjuntos temporales orientados en relación con el momento del habla（ANCLAJE DEÍCTICO）
2．Adjuntos temporales orientados en relación con un punto temporal que no sea el momento del habla（ANCLAJE ANAFÓRICO）
3．Adjuntos temporales orientados en relación con cualquier punto temporal（ANCLAJE VARIABLE）

— RAE y ASALE（2009: 1817）

このうち，dentro de は上記のグループ 1 に該当する一方で，a はグループ 2 に該当する。つまり，これらの 2 つの表現の意味は類似しているように思われるものの，基準時が異なる。例えば，RAE y ASALE（2009）が述べているように dentro de dos días は発話時から 2 日後と解釈されるのに対して，a los dos días は発話時以外のある時点から 2 日後と解釈されるのである。

No equivalen, en consecuencia, *Llámame dentro de dos días* y *Llámame a los dos días*. En la primera oración se habla de dos días transcurridos desde el momento en que se pronuncian esas palabras, mientras que en la segunda se habla de dos días transcurridos después de cierto punto temporal del que solo se sabe que no coincide con el momento del habla.

— RAE y ASALE (2009: 1818)

さらに，（9）の a diez minutos は「10 分後」を表すが，発話時以外のある時点から10分後を表すことが可能であるため，過去時制でも用いることが可能である。一方で dentro de は発話時が基準であるため，共起する動詞は概して現在形あるいは未来形である(11)。

（9） El[sic] salió primero de la habitación y quedamos en encontrarnos en el bar, cuando yo bajé **a los diez minutos** estaba en animada conversación con una dama.

— CREA 太字は筆者による

これを空間的意味にも適用すると，dentro de 100 metros は「発話時にいる地点から 100 メートル先」を表すが，a と交替させると発話時が基準時ではなくなるため，起点が明示されない。そのため，RAE が a 100

(11) RAE（2009: 1818）によれば，dentro de は，かつては先に示したグループの 3 に属しており，あらゆる時点を基準とすることが可能であった。

Este último grupo preposicional pertenece al grupo *1* en la lengua actual (como en *Llegará dentro de dos días*), pero pertenecía al *3* en el español antiguo, en el que se admitía, además del uso actual, la opción *Llegó dentro de dos días* (en el sentido de '… al cabo de dos días'), como se explica en el § 29.6ñ.

metros を好ましくない表現であると述べていると思われる。

3.2. después de の時間的意味

続いて，después de の振る舞いについて観察する。まず，先の a と同様に DRAE の después de の時間的意味の項目を確認する。

> 1．Detrás o a continuación. *El ejemplo va después DE la definición.*
> 2．Más tarde, o con posterioridad. *Te veré después. Después DE amanecer. Después DE que llegue.*
> 3．Denota posterioridad en el orden, jerarquía o preferencia. *Esquines fue el mejor orador de Grecia después DE Demóstenes.*
> — DRAE（s.v. después）

después は副詞として単独で「後で」と表せることが可能であることに加え，de を伴うと以下に不定詞や節を導くことができ，不定詞や節内で表されている動詞の「行為が完了した後」を表す。また，RAE y ASALE（2009）の記述からも明らかであるように，［時間的意味を有する副詞 + 前置詞］は出来事あるいは時間を表す表現とも共起可能であるが，時間を表す表現が共起する場合には，例えば antes de dos años であれば antes de que transcurran dos años のように動詞が文脈によって補完され，「（ある時点から）2 年経過する前に」という意味が表される。

> El término de la preposición con la que se construyen muchos adverbios temporales designa un evento (*posteriormente a la boda; luego de su triunfo electoral; previamente a su maternidad*) o un período (*antes de dos años 'de que transcurran dos años'; después de la primavera*).

— RAE y ASALE（2009: 2320）

このような時間的意味を有する副詞，とりわけ本稿で観察している después de は2つの事物あるいは出来事の順序を明確にする振る舞いをおこなうという点で dentro de と異なる。

先に述べたように，después de 以下に時間を表す表現が共起する場合には「（ある時点から）経過した後に」というニュアンスが文脈によって補完されるが，これと同様に，時間を表す名詞句でないとしても，RAE y ASALE（2009）によれば，例えば，después de tres cervezas という表現は tomar が補われ，「ビールを 3 杯飲んだ後に」と解釈される。

> En ocasiones se admiten, en esa misma función, sustantivos que no designan inherentemente unidades temporales si el contexto las suple, como en *después de tres cervezas* (donde se sobrentiende 'tomar') o *antes del último autobús* (donde se interpreta 'que pase').
>
> — RAE y ASALE（2009: 2320）

以上のことを考慮し，改めて（2）Dentro de 100 metros gire a la derecha. の Dentro de を Después de に交替させると，例えば，Después de recorrer 100 metros... と文脈によって意味が補完されるため，問題なく容認される。

ここまで dentro de と después de について先行研究の記述をもとに観察したが，文脈によっては dentro de と después de は交替可能であるものの，このことはこれら 2 つの表現の意味および振る舞いがまったく同じであることを意味していない。すなわち，dentro de 100 metros における dentro de が時間的意味を表す場合，発話時を基準時としてその時点からの期間を de 以下で表すため，その期間を空間的距離の表現と交替させる

ことで「〜先」という空間的距離を表すことが可能である。その一方で，después de は de 以下に不定詞や節をしたがえることが可能である点で dentro de と統語的振る舞いが異なる。つまり después de は，de 以下に共起する表現が時間を表す名詞句であっても，空間的距離を表す名詞句であっても，その時間の経過や距離を進むことを示す表現が明示されることなく文脈によって補完される。そのため，例えば después de 100 metros であれば「100 メートル進んだ後で」のように，起点から終点までの移動のニュアンスが表されると思われる。

本章では，a および después de の時間的意味を dentro de と比較しながら確認したが，次章ではコーパスを用いて，実際の用例を観察する。

4. CORPES での検証

本章では，RAE のコーパスである Corpus del Español del Siglo XXI（CORPES）を用いて，用例の観察をおこなう。最初に，dentro de と共起する数詞を伴った表現[(12)]を検索する。この検索は長縄（2015）においてもおこなっているが，このときのコーパスには Corpus de referencia del español actual（CREA）を用いたため，今回は別のコーパスで改めて同様の語句を検索し，dentro de と共起する空間的距離を表す表現の存在を確認する。さらに，dentro de が「〜先」を表す場合にこの前置詞句と交替可能であるとされる después de についても同様に，de 以下に空間的距離を伴う用例があるかどうかを観察し，この前置詞句が用いられる文脈を確認する。

(12)　以降，［dentro de + 数詞］と表す。以降に考察する después de に関しても，［después + 数詞］と表現する。

4.1. dentro de + 数詞

まず，［dentro de + 数詞］と共起する名詞を検索する。検索する語句は dentro de とその直後の数詞とし，地域をスペインに限定した(13)。この条件で検索をおこない，［dentro de + 数詞］と共起している名詞を用例の多い語から順に並べ，表 2 にまとめた。

表 2 ［dentro de + 数詞］と共起する名詞

名詞	件数
años(s)	513
día(s)	145
semana(s)	116
mes(es)	107
hora(s)	77
minutos(s)	52
その他	113
用例数	1,143

得られた結果を観察すると，dentro de が数詞と共起するときに出現する名詞は時間を表すものがほとんどであり，空間的距離を表す語彙と共起する例は確認されなかった。つまり，dentro de は数詞が伴えば時間的意味として用いられ，dentro de 100 metros のような空間的意味を表す例を時間的意味から派生した意味と定めることは自然であるように思われる。

---

(13) 具体的な検索条件は以下の通りである。
Forma: dentro de
+Proximidad Clase de palabra: numeral / Distancia 1 Derecha
+Subcorpus Origen: España

4.2. después de + 数詞

続いて，［dentro de + 数詞］と交替可能であるとされる［después de + 数詞］と共起する語句を確認する。検索条件は dentro de の部分を después de に交替させたものを用い，dentro de のときと同様，共起している名詞を件数の多い順に並べ，その結果を表 3 にまとめた。

表 3 ［después de + 数詞］と共起する名詞

名詞	件数
años(s)	815
mes(es)	179
día(s)	143
semanas(s)	70
minuto(s)	45
temporada(s)	25
その他	513
用例数	1,790

después de も dentro de と同様に時間を表す名詞と共起する例がほとんどであり，数詞を伴う場合には，概して時間的意味を表すと思われる。ただし，dentro de とは異なり，kilómetros と共起する例が 12 例確認された。

(10) **Después de 12 kilómetros de conducción temeraria**, el Seat Ibiza, que había golpeado dos kilómetros antes a otro coche sin provocar heridos, colisionó frontalmente con un Renault Safrane, en el que viajaba una pareja con dos niños de cuatro y seis años.

— CORPES 太字は筆者による

（11） **Después de veinte kilómetros de carreteras polvorientas**, llegabas a esa especie de oasis en medio de la nada. Pese a todos los esfuerzos, el arranque del campeonato 2006 era tan triste y desolado como el paisaje.

— CORPES 太字は筆者による

(10)および(11)は12例のうちの2例であるが，después de 12 kilómetros de conducción temeraria「12 キロメートルにわたる無謀な運転の後」と después de veinte kilómetros de carreteras polvorientas「ほこりだらけの街道を 20 キロメートル進んだ後」は，それぞれ空間的距離と共起している。先の章で見たようにこれらは単に 12 キロメートル先あるいは 20 キロメートル先ということではなく，明示された距離を移動することが示唆される表現が補完され，después de の時間的意味が維持されているものとして解釈される。しかしながら，de 以下に空間的距離を共起させ，文脈によって意味を補完することが可能であるものの，用例が少ない点に関しては dentro de と同様である。

4.3. dentro de と共起する他の表現

CORPES では［dentro de + 数詞］と共起する空間的距離を表す名詞は確認されなかったが，dentro de 100 metros 以外で dentro de が「～先」を表す表現を検索エンジンである Google[(14)] を用いて検索した。「乗り物に乗った状態である」ことを参考に parada「バス停」や estación「駅」を検索語句に指定[(15)]することで，「現時点から 2 つ目の停留所」あるいは「2 つ目の駅」などといった表現が dentro de を用いて表すことが可能であるか

(14) https://www.google.es［最終アクセス日：2021 年 10 月 20 日］

(15) 例えば，“dentro de dos paradas”や“dentro de dos estaciones”といった語句である。

観察した。その結果，先のコーパスでの検索と同様に，例文数は少なかったものの (12)～(14) のような，いずれも「～先に」という空間的意味を表す例が確認された。

(12) Además, **dentro de dos paradas** llegaremos al hospital y una actuación urgente es perfectamente posible[16].

(13) Bajo del autobús **dentro de dos paradas**[17]

— Solsona Martínez (2010: 295) 太字は筆者による

(14) A veces es fácil encontrar una estación adaptada para meterte en el metro, pero luego depende de donde estés a ver como sales cerca de tu destino, no vale que te digan, **dentro de tres estaciones** hay un ascensor. Pero es que no entienden que tu vas a un sitio cerca de esa estación, si te tienes que ir tres estaciones más adelante, el metro pierde su sentido[18]; …

(13) は「今乗っているバスが 2 つ目の停留所で病人に到着すること」，(14) は「2 つ先の停留所で下車すること」，そして (15) は「3 つ先の駅にエレベーターがあること」が示されている。また，(15) に関しては下線部の ir tres estaciones más adelante が dentro de tres estaciones を言い換えているものと思われる。

以上，コーパスを用いて dentro de が「～先」という空間的意味で用い

(16) https://www.jubicam.org/index.php?menu=documentos&id=116&id_doc=2248&show=1 太字は筆者による。［最終アクセス日：2021 年 10 月 20 日］

(17) Solsona Martínez, Carmen (2010) "Indicadores de adquisición: los errores en el proceso de aprendizaje de la preposición italiana tra/fra por parte de hispanohablantes", *STVDIVM. Revista de Humanidades*, 16 pp. 287-307.

(18) https://disgrup.org/diario-de-un-discapacitado-10-guille-egido-en-el-metro 太字および下線は筆者による。［最終アクセス日：2021 年 10 月 20 日］

られている例を観察したが，この意味で用いられる dentro de は文法的に容認されるものの，用例数は乏しいことが明らかになった。次章ではこの意味が時間的意味から空間的意味へ拡張する様子を考察する。

5. 時間的意味から空間的意味への拡張

本稿では dentro de の時間的意味と空間的意味に関する考察をおこなっているが，冒頭で述べたように，空間と時間には相関関係が見られ，「時間は空間である」という概念メタファーの存在が確認される。この相関関係について語彙レベルで観察すると Fernández Jaén（2014）が述べるように，例えば前置詞 en は，本来は空間的意味のみを有する語であったが，時の経過とともに空間から時間へのメタファー的拡張がなされたことで，時間的意味をも有するようになった。

> Los sintagmas preposicionales encabezados por la preposición *en* tenían en español antiguo un significado únicamente espacial (*El caballero estaba en su castillo*). Sin embargo, con el transcurso de los años estas estructuras han ido adquiriendo un significado nuevo por la acción de la expansión metafórica espacio > tiempo. De esta manera, estos sintagmas han llegado a adquirir la capacidad de expresar significados temporales (*Vuelvo en diez minutos*).
>
> — Fernández Jaén (2014: 90)

さらに定延（2002）も空間と時間に関して，人間にとっては時間より空間のほうがわかりやすいため，語彙の空間的用法が時間的用法に拡張するのは自然なことであると述べている。

『語彙が空間的用法と時間的用法を持つ場合，（何語にかぎらず）（通時的にも共時的にも）空間的用法が基本で時間的用法が派生的という傾向がある$_{A}$。（そしてこのことは，偶然によるものでなく，認知的動機に基づいている。つまり人間にとって空間は時間よりわかりやすく基本的なので$_{B}$，人間が語彙の空間的用法をもとに，時間的用法を派生させるのは，自然なことである。）』

— 定延（2002: 184）原文ママ

定延（2002）によれば，論の細部に違いはあるものの，下線部 A を支持し，その根拠として下線部 B を提示する研究者が多い。また，引用のかっこ内の内容は主張される場合もされない場合もあるが，「何語にかぎらず」という点と，これまでの引用の内容を考慮すると，スペイン語に関してもこのことは言えそうである。このように定延（2002）は空間的用法から時間的用法が拡張すると主張する研究者は多いと述べたうえで，この説とは反対である，語彙の時間的用法が基本で空間的用法が派生的と見える現象を (15) や (16) などをあげながら指摘している。

(15)　さっきレストランがあったけど，あそこはおいしいの？

— 定延（2002: 187）

(16)　あと 5 分したらドライブインがあるから，そこで休もうね

— 定延（2002: 188）

(15) の「さっき」はさきほどまでレストランがあったが，今はもうないという時間的意味ではなく，「少し前の地点」という空間的意味として解釈されるのが自然である[(19)]。一方で，(16) の「あと 5 分したら」は 5 分間何

(19)　定延（2002）は以下のように「視野仮説」を持ち出すが，これでは不十分と

もせずにいることを表しているのではなく，5 分間移動した結果としてドライブインが見つかるということであり，この表現は空間的意味に分類される。

このような現象が生じていることに対して，定延（2002）は空間一般と個別空間を区別したうえで，見知らぬ個別空間よりはその空間を探索する時間をもとにするほうがわかりやすく基本であるとし，時間的意味から空間的意味への拡張が生じると述べている。

> 『空間一般がどれほどわかりやすく基本的としても，話し手が或る個別空間を見知っていなければ，その個別空間は話し手にとってわからないものにすぎない。見知らぬ個別空間よりはわかりやすく基本的なので，その個別空間のありさまを語る場合は，その個別空間を探索領域とする探索の時間をもとにして（中略）表現する。』
>
> — 定延（2002: 195）

この定延（2002）の主張は，dentro de が時間的意味から空間的意味へ拡張している根拠というよりはむしろ，この前置詞句がもっぱら時間的意味として用いられる根拠になると思われる。というのも，発話時から先のことを見通すときには空間よりも時間のほうがより確実に表されるためである。この前置詞句は発話時が基準時となり，de 以下で表された期間を経た後にこの表現と共起している動詞で表された行為が実現される。時間軸

し，後の「探索仮説」でその不足を補っている。

『「さっきレストランがあったけど～」の意味とは，「走行中のバスから流れゆく者が異風景を眺める私の視野内に，先刻レストランがあった（つまりつい今しがたバスからレストランが見えた）けど～」というものではないか。時間語彙「さっき」が表しているのは，「少し戻ったところ」という地点ではなく，やはり「先刻」という時点ではないか。（中略）以上の考えを「視野仮説」と仮に呼ぶ。』

上では，時間が発話時からその期間分を必ず「移動」することになるが，行為を実現する人が実際に物理的な移動をしているとは限らない。その一方で，空間的意味で用いられる場合には時間の経過と同じように空間的な移動が断続的におこなわれる必要がある。つまり，時間軸上の「移動」がそのまま空間的移動に置き換えられる必要があり，止まらないことが前提となる。RAEがこの空間的意味を使える条件として「移動している乗り物に乗っているとき」を提示しているのはこのためであると思われ，時間的意味に比べ文脈が制限される。

これに対して，先に提示したaを用いた（7）および（8）は，定延(2002)が述べる個別空間がはっきりしているため，空間的距離でも時間でも表すことが可能であると思われる。つまり，（7）であれば車と家の間の個別空間，（8）であれば学校と家の間の個別空間が明確である。

（7） El coche está **a dos kilómetros** de mi casa
（8） El colegio para nuestro hijo está **a diez minutos** de casa, el hospital también.

以上のことをふまえると，この dentro de は時間的意味からより制限のかかった空間的意味へ拡張しているととらえるのは妥当であると思われる。

6. おわりに

本稿ではDentro de 100 metros gire a la derecha. に見られる dentro de の空間的意味について考察をおこなった。dentro de は数詞が伴うと概して時間を表す名詞と共起するため，時間的意味である「〜後」として解釈されるが，時間を表す表現の代わりに空間的距離と共起することで空間的

意味である「～先」が表される。空間的意味から時間的意味が拡張することは通時的に確認されており，メタファー的拡張がおこなわれていることも指摘されている。ただし，この dentro de に関しては，時間的意味から空間的意味へ，つまり，通例とは逆の方向で意味拡張がおこなわれているように見えるため，本稿ではこの空間的意味の考察をおこなった。

RAE やインフォーマントによれば，この用法に文法的誤りはなく，問題なく容認されるものの，コーパスによる検索をおこなうとこのような空間的意味を表す dentro de の例はほとんど確認されなかった。また，dentro de に加えて，después de や a も同じような意味を表し，特に前者は después de 100 metros と問題なく用いることが可能であるが，この 2 つには大きな統語的相違が見られる。すなわち，después de は dentro de とは異なり de 以下に不定詞や節を導くことが可能であるため，100 metros のような名詞を共起させたとしても，文脈によって「移動」などの意味が補完される。その一方で，dentro de はこのような統語的振る舞いをしないため，この前置詞句は después de と同様のニュアンスが付加されないと考えられる。

この dentro de に観察されるような，時間的意味から空間的意味への意味拡張に関して，日本語の現象ではあるものの，定延（2002）が議論をおこなっている。そのなかで，空間一般と個別空間を区別したうえで，見知らぬ個別空間よりはその空間を探索する時間をもとにするほうがわかりやすく基本であると述べている。この主張によって dentro de に関して，空間的意味に比べて時間的意味のほうが優位であることが裏付けられていると思われるが，これは発話時を基準としたときに時間のほうが確実に「先」を表すことが可能であるためである。つまり，dentro de cinco minutos は主体がどのような行為をしたとしても必ず 5 分が経つが，dentro de 100 metros は主体が移動しない限りは表現できない。そのため，発話時の時点で主体は断続的に移動していることが示唆される。こうして，時間的意味

よりも空間的意味のほうが使用範囲は制限されると考えられることから，時間的意味が空間的意味へ拡張しているととらえることが可能であると思われる。

最後に，本稿の考察をもとに，改めて dentro de の空間的意味と時間的意味の分布を表 4 にまとめた。

表 4　dentro, dentro de の空間的意味と時間的意味の分布（改）

	日本語にあたる表現	空間的意味	時間的意味
dentro	中に	○	×
dentro de	～の中に / ～以内に	○	△
	～先 / ～後に	△	○

表 1 からの変更点は，dentro de の空間的意味である「～先」と時間的意味である「～以内に」の個所に△を記した点である。この△は意味としては認められるものの，用例数が少ないことを表している。頻度の低い点を反映させると，時間的意味が「～以内」と用いられる場合も頻度が低いため(20)，この個所もあわせて△とした。

今後も，dentro de の空間的意味と時間的意味の非対称性に注目しつつ，dentro de が用いられる文に注視しながら，特に「～先に」が用いられる用例を収集し，その振る舞いを観察するとともに，時間的意味から空間的意味へ拡張しているような他の表現の収集および考察をおこなう。

参考文献

Bosque, Ignacio y Violeta Demonte（dirs.）（1999）*Gramática descriptiva de la lengua española*, 3vols., Madrid, Espasa-Calpe.

Cabezas Holgado, Emilio（2015）*La preposición I*, Arco Libros.

（20）　dentro de の時間的意味「～以内に」の頻度が低いことについては長縄（2015）において論じている。

Cuenca, María Josep y Joseph Hilferty（1999）*Introducción a la lingüística cognitiva*, Ariel.

DRAE: Real Academia Española（2014）*Diccionario de la lengua española 23ª edición*, Espasa-Calpe.

Fernández Jaén, Jorge（2014）*Principios fundamentales de semántica histórica*, Arco Libros.

Lakoff, George & Mark Johnson（1980）*Metaphors We Lived By*, University of Chicago Press.

Pavón Lucero, M.ª Victoria（1999）*Clases de partículas: preposición, conjunción y adverbio*, en Bosque y Demonte（1999）pp. 565–655.

RAE y ASALE: Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española（2009）*Nueva gramática de la lengua española*, Espasa-Calpe.

Salamanca: Gutiérrez Cuadrado, Juan（dir.）（1996）*Salamanca: Diccionario de la lengua española*, Santillana.

定延利之（2002）「時間から空間へ？〈空間的分布を表す時間語彙〉をめぐって」生越直樹（編）『対照言語学』東京大学出版会: pp. 183–215.

長縄祐弥（2015）「時間表現と共起する en と dentro de に関する一考察」*Estudios Hispánicos 39*: 93–120.

山田善郎他（1995）『中級スペイン文法』白水社。

資料体

REAL ACADEMIA ESPAÑOLA: Banco de datos（CORPES XXI）［en línea］Corpus del Español del Siglo XXI（CORPES）<http://www.rae.es>［20/X/2021］

REAL ACADEMIA ESPAÑOLA: Banco de datos（CREA）［en línea］Corpus de referencia del español actual. <http://www.rae.es>［20/X/2021］

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

〈研究ノート〉

日本語版作家名再認テスト作成のための予備調査

── 日本人高校生における読書量測定のための予備調査データの検討 ──

長谷川　文　子

要　旨

本稿は,「日本語版作家名再認テスト」作成のために実施した予備調査の結果を中心に報告するものである。「作家名再認テスト」とは，学校外における読書量を測るのに信頼度が高い指標として海外では広く使われてきた調査であるが，国内における研究はまだ極めて少ない。大学生を対象とした日本語版作家名再認テストは小山内ら（2015）によって作成されているが，高校生を対象とした再認テストはまだ開発されていない。そこで本研究では，高校生を対象とした日本語版作家名再認テストの項目化を検討し，125 項目からなる質問紙を作成した。調査は 297 名の高校生を対象として行った。本稿で報告する予備調査の結果をもとに，本調査で用いる項目の検討が今後の課題となる。

キーワード：読書量, 作家名再認テスト，Author Recognition Test

1. 問題と研究の目的

読書が認知機能に及ぼす影響については，これまでに多くの教育心理学的研究が行われてきた。海外の蓄積されたデータによって，読書量と言語

能力，歴史や文化に関する知識量，論理的推論能力などの認知機能には正の関係があることが明らかとなっている。近年，欧米圏を中心に，読書が言語能力に与える影響についての研究が継続的に行われており，言語能力のサブスキルとされる語彙力，書字能力，文章理解力，文法力，読解速度，流暢さと読書量の間に緊密な相互関係が存在することが報告されている。このことから，読書経験や読書習慣が読解力を育成し，言語能力を高めるのに効果があると考えられている（Stanovich，1986; Cain，Lemmon，& Oakhill，2004; Cain，Oakhill，& Elbro，2003; Swanborn & de Glopper，1999，2002; Krashen，1993a, 1993b; Pressley，2002）。

読書量の測定法には，質問紙法（読書頻度，読書冊数，読書時間，所有本冊数などの普段の読書習慣の自己報告），生活時間帯調査，活動選好調査，日誌法，再認テスト法，図書貸出数などがある。この中でも海外で最も広く用いられているものが再認テスト法で，作家名再認テスト（Author Recognition Test，ART; Stanovich & West，1989）とタイトル再認テスト（Title Recognition Test，TRT; Cunningham & Stanovich，1990）が代表的な推定法である。作家名再認テストは，Stanovich and West（1989）によって開発され，以後，学校外における読書量を測るのに信頼度が高い指標として広く使われてきた。ART が大学生や成人を対象とした研究で使用される一方，児童を対象とした研究では，Cunningham and Stanovich（1990）が作成した TRT が多く用いられている。作家名再認テストは，実在する本の作家名（ターゲット）と実在しない偽の作家名（フィラー）を混在させたリストを提示し，「あなたが知っている作家名に○をつけて下さい」と参加者にチェックさせるものである。リストに含める実在の作家名は，各ジャンルの著名な人気作家の名前を売上ランキングなどを参考に収集し，予備調査によって選別する。フィラーよりもターゲットに多く○を付けることができた程度を読書量の推定値とする。より正確に，より多くの作家名を知っている方が，たくさん読書をしている可能性が高い，と

いう考えに基づいている。この方法では，記憶に基づく指標であることから，故意に読書量を多めに申告することができず，回答が社会的望ましさなどに左右される可能性を排除できる。歪みの少ない読書量の相対的な個人差を測ることができることから，欧米圏の調査ではこれらの再認テストが読書量を推定するのに標準的に用いられている。TRT は ART の作家名を本のタイトルに置き換えたものである。

作家名再認テストを用いた調査は海外では盛んに行われている一方，国内においてはまだ極めて少ない。小山内ら（2015）は，大学生を対象とした作家名再認テストを Stanovich & West（1989）を参考にして作成した。作家名項目，フィラーとなる人名項目をそれぞれ 52 項目の計 104 項目を作成し，他の読書量推定指標との関連を検討した。その結果，日本語版作家名再認テストが相対的読書量の推定指標として妥当性を有すると報告している。小山内（2018）は，余暇活動の頻度，調査読書冊数調査，電子書籍の利用度調査に加えて小山内ら（2015）が作成した日本語版作家名再認テスト（ART-J）を用いて，保育，教育職を目指す学生の読書量を測定した。大竹ら（2019）は絵本知識を測定するために，養育経験や子どもに接する機会の少ない大学生，子どもや絵本に触れる機会のある保育学生，養育者を対象に絵本作家の著者リストを作成し，妥当性を検証した。その結果，著者リストの得点は，絵本の読み聞かせ環境の豊かさを反映する複数の指標と相関をもち，養育経験や子どもと接する機会の多さを反映していることからその妥当性が検証されたと報告している。

大学生以上を対象とした再認テストは存在するが，現在のところ，高校生を対象とした日本語版作家名再認テストは見当たらない。そこで本研究では，高校生を対象とした作家名再認テストの日本語版（JART: Japanese Author Recognition Test）の作成を試みる。この予備調査で得られたデータから各項目を採否し，本調査に使用する項目を選択する。

2. 予備調査

2.1 調査対象と調査期間

東京都と群馬県内の高校 2・3 年生 297 名（男性 53 名，女性 244 名）を対象に，知っている作家名を尋ねる質問紙調査を実施した。調査時期は 2020 年 9 月～10 月で，調査先の各高校の英語担当教員に授業中 5 分程度で実施してもらった。回答者には学年・性別・年齢のみ記述してもらい，無記名式にて行った。

2.2. リストの選定方法

作家名は 2010 年 1 月から 2020 年 8 月までの各ジャンルの作家売上ランキングから抽出した。Stanovich and West（1989）が作成した基準に沿って，人気作家のみを 123 名抽出し，教科書など学校教育で触れることの多い作家名は除外した。本研究は本調査に向けての作家名選別を目的とした予備的調査のため，Chen and Fang（2015）の予備調査（ターゲット 239 項目，フィラー 6 項目）を参考に，実在する作家名 123 項目とフィラー 2 項目，計 125 項目で構成したリストを作成した。 参加者に，作家名リストを呈示し，作家として知っている項目をすべて選択してもらった。

3. 結果と考察

実在する項目を選択した数（正反応数）から実在しない項目を選択した数（エラー数）を減じた値が ART 得点となるが，今回の調査でエラー数は確認できなかった。その結果，作家名再認テストの得点の平均値は 7.78（最小値 0－最大値 108，SD = 8.89）であった。表 1 は作家名のチェック率の分布をまとめたもので，表 2 はチェック率の高かった上位 56 位までの作

表 1　チェック率と作家名数の分布

チェック率	作家名数
90%-	0
80%-89%	0
70%ー79%	2
60%ー69%	0
50%-59%	3
40%-49%	1
30%ー39%	2
20%-29%	0
10%-19%	10
1%-9%	77
0%	28

家名一覧とチェック率（作家名の選択率）を表している。

次に，本調査のために使用する作家名を採択した。Stanovich and West（1989）の ART では，実在する作家名は 52 項目で構成されているのを参考に，上位 52 位までを採否の基準とした。そのうち，チェック率 1 位となった項目に関しては，作家としてよりもむしろ本業における知名度が高いので，本調査のリストからは除外することにした。これにより，2 位から 53 位までの 53 項目（53 位は 2 項目あるため）を本調査で使用するリストにおいてターゲットにする。同数のフィラーは，公刊されているライトノベル作品から登場人物名を抽出し，その姓と名を無作為に組み合わせて作成していく。

しかし，作家名や本のタイトルを知っていることが，必ずしもその本を読んだことにはならないという問題点も再認テスト法には指摘されていることから，この点を改善した Martin-Chang and Gould（2008）の質問用紙を参考にし，本調査のリストを作成する。Martin-Chang and Gould は，作家名再認テストの概念を PPK（primary print knowledge）と SPK（secondary print knowledge）の 2 つの側面に分け，Stanovich and West

表 2　上位 56 位の作家名リストとチェック率

順位	作家名	チェック数	チェック率
1	又吉直樹	220	78.85
2	新海誠	202	72.40
3	村上春樹	160	57.35
4	東野圭吾	154	55.20
5	住野よる	147	52.69
6	湊かなえ	118	42.29
7	あさのあつこ	84	30.11
8	池井戸潤	83	29.75
9	朝井リョウ	53	19.00
10	宮部みゆき	47	16.85
11	重松清	46	16.49
12	よしもとばなな	43	15.41
13	星新一	33	11.83
14	有川浩	32	11.47
15	三浦しをん	31	11.11
16	恩田陸	30	10.75
16	辻村深月	30	10.75
18	瀬尾まいこ	27	9.68
19	川村元気	25	8.96
19	司馬遼太郎	25	8.96
19	西尾維新	25	8.96
22	有栖川有栖	22	7.89
22	森絵都	22	7.89
24	赤川次郎	21	7.53
25	伊坂幸太郎	20	7.17
26	西加奈子	19	6.81
26	西村京太郎	19	6.81
28	七月隆文	18	6.45
28	百田尚樹	18	6.45
30	ブレイディみかこ	15	5.38
30	綿矢りさ	15	5.38
32	原田 マハ	14	5.02
33	いとうせいこう	13	4.66
33	松本清張	13	4.66
35	乾くるみ	12	4.30
36	荻原浩	11	3.94
36	知念実希人	11	3.94
38	綾辻行人	10	3.58
38	村上龍	10	3.58
40	冲方丁	9	3.23
40	桜庭一樹	9	3.23
42	浅田次郎	8	2.87
42	角田光代	8	2.87
42	京極夏彦	8	2.87
42	佐野徹夜	8	2.87
42	村田沙耶香	8	2.87
47	江國香織	7	2.51
47	小川洋子	7	2.51
47	宗田理	7	2.51
47	梨木香歩	7	2.51
47	森見登美彦	7	2.51
47	横山秀夫	7	2.51
53	暁なつめ	6	2.15
53	上橋菜穂子	6	2.15
56	青柳 碧人	5	1.79
56	石田衣良	5	1.79
56	小野不由美	5	1.79
56	海堂尊	5	1.79
56	筒井康隆	5	1.79
56	中村文則	5	1.79
56	凪良ゆう	5	1.79
56	宮下奈都	5	1.79

(1989) のテストに質問項目を追加することで，より正確な実際の読書量の推定方法となる CART（Chinese Author Recognition Test）を開発した。回答者が作家名を知っているか，知らないかだけではなく，(1)この作家の名前は聞いたことがあるが，読んだことはない，(2)この作家の本を読み始めたが，最後までは読まなかった，(3)この作家の本を 1 冊以上読んだことがある，の選択肢を追加した。これにより，「名前は知っている」と「過去に読んだことがある」を区別することができ，実際の読書量をより正確に測定できると考えた。

そこで，本調査に使用する日本語版作家名再認テスト作成にあたり，本稿で選別した 53 の作家名（ターゲット）と実在しない作家名（フィラー）を同数作成し，Martin-Chang and Gould（2008）の質問紙に従って選択肢を作る。回答者には，(1)知らない，(2)この作家の名前は聞いたことはあるが，1 冊も読んだことはない，(3)この作家の本を実際に手に取って読み始めたが，最後まで読まなかった，(4)この作家の本を 1 冊以上読んだことがある，の 4 つの選択肢を与え，チェックをしてもらう形式で本調査を行う。次に実施する本調査では，他の読書推定指標との関連によって相対的読書量の推定指標として妥当性を有するのか検討を行う。

参考文献

Cain, K., Lemmon, K., & Oakhill, J. (2004). Individual differences in the inference of word meanings from context: The influence of reading comprehension, vocabulary knowledge, and memory capacity. *Journal of Educational Psychology, 96* (4), 671-681.

Cain, K., Oakhill, J. V., & Elbro, C. (2003). The ability to language comprehension difficulties. *Journal of Child Language, 30* (3), 681–694.

Chen, S. Y., & Fang, S. P. (2015). Developing a Chinese version of an Author Recognition Test for college students in Taiwan. *Journal of Research in Reading, 38* (4), 344–360.

Cunningham, A. E., & Stanovich, K. E. (1990). Assessing print exposure and

orthographic processing skill in children: A quick measure of reading experience. *Journal of Educational Psychology*, *82* (4), 733–740.

Krashen, S. (1993a). The case for free voluntary reading. *Canadian Modern Language Review*, *50* (1), 72–82.

Krashen, S. (1993b). *The power of reading*. Englewood, CO: Libraries Unlimited. (長倉 美恵子・塚原 博・黒澤浩訳 (1996)『読書はパワー』金の星社)

Martin-Chang, S., & Gould, O.N. (2008). Revisiting print exposure: Exploring differential links to vocabulary, comprehension and reading rate. *Journal of Research in Reading*, *31*, 273-284.

小山内秀和. (2018). 保育・教職養成大学学生の読書行動と読書量：作家名再認テストを用いた測定の試み. 浜松学院大学教職センター紀要, 7, 27-38.

小山内秀和・米田英嗣・古見文一・楠見孝. (2015). 日本人大学生における読書量の測定：日本語版 Author Recognition Test の作成. 日本心理学会第 79 回大会発表論文集.

大竹裕香, 奥村優子, 山田祐樹, 小林哲生. (2019). 日本における絵本知識測定リストの作成. 認知科学, 26 (2), 243-253.

Pressley, M. (2002). *Reading instruction that works: The case for balanced reading* (2nd ed.). New York: Guilford.

Stanovich, K. E. (1986). Matthew effects in reading: Some consequences of individual differences in the acquisition of literacy. *Reading Research Quarterly*, *21*, 360-407.

Stanovich, K. E., & West, R.F. (1989). Exposure to print and orthographic processing. *Reading Research Quarterly*, *24*, 402-433.

Swanborn, M. S. L., & de Glopper, K. (1999). Incidental word learning while reading: A meta-analysis. *Review of Educational Research*, *69*, 261-285

Swanborn, M. S. L., & de Glopper, K. (2002). Impact of reading purpose on incidental word learning from context. *Language Learning*, *52*, 95-117.

（原稿受付　2021 年 10 月 20 日）

〈調査報告〉

2021年度前期における中文日訳授業での翻訳ソフトの誤訳と学生の誤訳の比較

関　口　美　幸

要　旨

筆者は，中国語学科の中国語ビジネスコースで２年生を対象にした「ビジネス中国語講読ⅠⅡ」を担当している。講読の授業だが，長文は授業前に翻訳をさせたものをパソコンで印字させて提出というやり方を長年とってきた。しかし，数年前から数人の学生の誤訳に共通点が増えたことに気づいた。問い詰めてみると，インターネット上で無料で使用できる翻訳ソフトを使用していることが判明した。

昨今，通訳・翻訳分野における機械化が著しい。スマートフォン一台あれば，全く言葉の通じない外国にいっても，翻訳アプリと発声アプリを使って簡単な会話が出来てしまう。外国語のインターネットのサイトでも日本語訳のキーを押せば，多少不自然ではあるが意味の通じる日本語が表示され，YouTube(1) でも機械音声が増えている。実務でも機械翻訳を下訳にして，担当者が日本語を添削するという方法で時間短縮をはかっている企業が増えていると聞き及んでいる。そうした現状の中で学生と機械の翻訳における不得手な部分を明らかにすることは，人間による翻訳の可能性を未来に残すことに繋がると筆者は考える。

そのため，先ずは翻訳ソフトの誤訳と学生の誤訳を比較することにした。

キーワード：機械翻訳，翻訳ソフト，誤訳

1　調査方法

1-1　調査対象とする授業と教科書

授業の概要：中国語学科中国語ビジネスコース 2 年生対象のコース科目「ビジネス中国語講読Ⅰ」，2021 年度の当該科目履修学生は 15 名（内，2 名は日本語・中国語バイリンガルの学生のため，今回の調査対象とはしない。

教科書の概要：陳珺・陳澤涵『縦横商務漢語 1』高等教育出版社，2013 年

1-2　調査対象とする翻訳ソフトと翻訳方法

1-2-1　翻訳ソフト

調査する翻訳ソフトはインターネットの検索サイトで「翻訳」と入力して出てくる翻訳ソフトの内の上位 2 位の Google 翻訳（https://translate.google.co.jp/），Deepl 翻訳（https://www.deepl.com/translator）と日中・中日翻訳に長けている百度（Baidu）翻訳（https://fanyi.baidu.com/）とした。

1-2-2　調査時期

学生の翻訳は 2021 年 4 月から 7 月までの対面授業の指定日に提出されたものを採用し，Google 翻訳と百度翻訳は 2021 年 10 月に翻訳させたもの，Deepl 翻訳は 2021 年 12 月に翻訳させたものを採用した。

1-3　調査サンプル採集方法

① 学生に絶対に翻訳ソフトを使用しないことと別の学生の日本語訳を写さないことを約束させた。ただし，インターネット上で辞書を引くことと，百度検索サイト（https://www.baidu.com/）を調べることは許可し

た。

② インターネットからの安易なコピーペーストを防ぐため，手書きにさせ，対面授業での提出とした。

③ バイリンガルの学生の翻訳（中国語学科には学年に1〜2名中国語と日本語のレベルが同等の学生がおり，そうした学生の誤訳は，助詞の使い方や自動詞と他動詞の活用の間違いなどの日本語の文法的問題に限られ，一般学生の誤訳とは全く異なる）はサンプルとして採用しなかった。2021年度は該当者2名。

1-4 調査例文

1-3の条件を満たし，当該科目の履修者数の1/3以上（当該科目履修者合計は15名）のサンプルを収集できた以下の例文を調査例文として採用した。

例文1：“略读”（『縦横商務漢語1』9頁〜10頁）
例文2：“同事关系”（『縦横商務漢語1』39頁）
例文3：“中国的等级观念”（『縦横商務漢語1』41頁）

上記3例文は，添付資料に中国語原文，Google翻訳，百度翻訳，Deepl翻訳をあげた。

2 調査結果

2-1 例文1：“略读”（『縦横商務漢語1』9頁〜10頁）

（中国語原文と翻訳ソフトの日本語訳については，添付資料参照）

2-1-1　間違いの数

（日本語が多少不自然でも意味が通じている場合は間違いに含まない，また同じ単語や表現の間違いが複数ある場合は，1 箇所と数える）

⑴　Google 翻訳：12 箇所
⑵　百度翻訳：12 箇所
⑶　Deepl 翻訳：10 箇所
⑷　学生翻訳（サンプル数 12 人）：平均 10 箇所（小数点 1 位を四捨五入）最少：1 箇所　最多：20 箇所

2-1-2　具体例

①　眼看下周就要去实习单位报到了，大四的小秦忐忑不安。

【正解】

来週にはインターンシップ企業に着任します。大学 4 年生の秦さんは不安でたまりません。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

彼が来週インターンシップユニットに報告するのを見て，先輩の秦は不安です。

⑵　百度翻訳

来週はインターンに行くところです。四年生の秦さんは不安でたまりません。

⑶　Deepl 翻訳

来週のインターンシップに向けての報告を控え，シニアのシャオチンは不安を抱えています。

⑷　学生の誤訳（8 例）

a：すぐ来週には実習機関に行く報告をした。大学 4 年生の秦さんは

不安だ。

b：もうすぐ行く来週のインターンシップの報告をし，大学4年生の秦さんは不安で気が気でない。

c：来週インターンシップに行く報告を見て，小秦は不安でした。

d：来週には実習単位が発表される。大学4年の小秦は

e：すぐ来週には実習の報告をしますが，四年生の秦さんは心中不安で気が気でないです。

f：すぐに来週勤め先に報告しに行かなければならず，大学4年生の小秦は気が気ではない。

g：もうすぐ来週の実習について職場に知らせる必要があり，大学四年生の小秦は心中不安で気が気でない。

h：来週インターンシップに行く報告を見て，小秦は不安でした。

【分析】

・ここでの“眼看”には「見る」の意味はない。Google翻訳と一部の学生はこれを「見る」と解釈している。

・“报到”は「到着を報告する」という意味で日本語に訳すのは難しい。ここでは「着任」又は「実習が始まる」などと訳すのが正しい。Google翻訳，Deepl翻訳と一部の学生は単に「報告」と訳している。

・“大四”は「大学4年生」のこと。翻訳ソフトでこれを正確に訳せたものはなかった。それに対して正しく訳せている学生が多い。

・百度翻訳は一見間違いが少ないと思われるが，“眼看”“报到”“大四”など意味の取りづらいところを省略して前後をつなげている。

② 但自己是新人，直接叫名字会不会太随便，要不要加后缀？

【正解】

しかし，私は新入社員なので直接名前を呼ぶのは少し軽率なのではないか，名前の後ろに何か付け加えるべきではないのか。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴ Google 翻訳

しかし，私は新参者なので，自分の名前を直接呼び出すのはあまりにもカジュアルですか？　接尾辞を追加する必要がありますか？

⑵ 百度翻訳

しかし自分は新人で，直接名前を呼ぶのはあまりにも気軽ではありませんか？

⑶ Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷ 学生の誤訳（2 例）

a：しかし，私自身新人で，名前を直接呼んだり，接尾語をつけるのは気軽すぎるのでは？

b：しかし，自分は新人で，直接名前を呼ぶことができるか大変いい加減で，接尾語は必要なのか？

【分析】

・百度翻訳は“要不要加后缀？”を抜かしている。

・“直接叫名字”では誰の名前かを言っていないが，Google 翻訳では恐らく直前に“自己”とあるので「自分の名前」を付け加えたのではないかと思われる。

・学生 a は“随便（気軽）”を“直接叫名字（直接名前を呼ぶ）”と“后缀（後ろに付け加える）”の両方に掛けてしまっている。

・学生 b は“会”を「～ことができる」と訳しているが，ここでは「～だろう」又は「～はずだ」の意味。

・Deepl 翻訳の日本語訳には間違いはみられない

③ “比如有位叫 Anna 的女同事，是直接叫她 Anna，还是 Anna 姐，或是 Anna 前辈？”

【正解】

「例えば，アンナという女の同僚がいるとして，直接アンナと呼ぶのがいいのか，アンナ姉さんと呼ぶのかいいのか，それともアンナ先輩と呼ぶのがいいのか」

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴ Google 翻訳

「たとえば，アンナという名前の女性の同僚がいる場合，彼女は彼女のアンナに直接電話しますか，それとも姉妹のアンナ，またはアンナの先輩に電話しますか？」

⑵ 百度翻訳

間違いなし。

⑶ Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷ 学生の誤訳（1 例）

a：“例えば，位を付けて Anna という女同僚を呼ぶと，それは直接彼女を Anna と呼ぶのか，又は Anna 姐なのか，あるいは Anna 先輩なのか？”

【分析】

・“叫”に「電話をかける」の意味はない。また，“姐”に「姉妹」の意味もない。Google 翻訳は完全な誤訳。

・“位”の第一義は「位（くらい）」だが，ここでは人を数える量詞として使っている。学生 a は「位をつけて」と訳している。

・百度翻訳と Deepl 翻訳の日本語訳には間違いはみられない。

④ 他觉得直接叫 Anna 有点随便，但叫 Anna 姐，女人大都忌讳年龄，这样会不会冒犯对方？

【正解】

彼は直接アンナと呼ぶのは少し軽率なのではないかと思った。多くの女性は年齢のことを言われるのがタブーなので，アンナ姉さんと呼ぶと，相手の機嫌を損ねることになりはしないだろうか。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴ Google 翻訳

アンナに直接電話するのは少しカジュアルだと彼は思っていますが，ほとんどの女性のアンナ姉妹は年齢についてタブーです，これは相手を怒らせるでしょうか？

⑵ 百度翻訳

彼は Anna と直接呼ぶのはちょっと適当だと思いますが，Anna 姉さんといいます。女性は大体年齢を避けています。これで相手を犯すことができますか？

⑶ Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷ 学生の誤訳（3 例）

a：彼は直接 Anna と呼ぶにはむとんちゃくさが少しあると感じて，ただ Anna 姉さんと呼ぶのは，ほとんどの女性が嫌がる年齢で，このように相手側を怒らせてしまうのではないか？　となった。

b：彼は直接 Anna と呼ぶには少しいいかげんに思ったが，Anna 姉さんと呼ぶには，女性はみな嫌うような年齢なので，このように相手の機嫌を損ねないだろうか？

c：彼は直接彼女を Anna と呼ぶことは軽率だと思ったが，Anna 姐と呼ぶことは，女性のほとんどが避ける年齢で，このことは相手にとって失礼ではないのだろうか。

【分析】

・Google 翻訳では“叫”を「電話をかける」と訳している。

・百度翻訳では“随便”を「適当」と訳している。「適当」には「いい加減」の意味もあるが，この文脈だと「適切」の意味にとれてしまう(2)。また，“冒犯”を「犯す」と訳している。
・学生の誤訳では，3人とも同じ種類の間違いを犯している。“忌讳年龄”は動詞-目的語フレーズなので，“年龄（年齢）”を「忌讳（避ける，嫌う，タブーとする）”とすべきであるが，3人はこれを連体修飾語-被修飾語フレーズと理解し，“忌讳（避ける，嫌う，タブーとする）年龄（年齢）”と訳してしまっている。
・Deepl翻訳の日本語訳には間違いはみられない。

⑤　不少新人会问，“职场上有没有能通吃的称呼啊？

【正解】

多くの新入社員が問うであろう。「職場で通用する呼び方はありますか」

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

(1)　Google翻訳

間違いなし。

(2)　百度翻訳

職場でよく食べられる呼び名がありますか？

(3)　Deepl翻訳

間違いなし。

(4)　学生の誤訳（5例）

a：少なくない新人は問うであろう。“職場ではなんと呼ぶことができますか？”

b：多くの新人は呼称が何でもよい職場はないのかと聞きます。

c：少なからず新人なので会って聞いた，「職場上の名前を呼ぶことをすべて取ることはできますか？」

d：少なからずの新人は「職場では何でも呼んでいいのですか？」とたずねた。

e：少なくない新人が聞くことができます，職場で全部食べられる呼称がありますか？

【分析】

・ここでは「通吃」は比喩的に使っていて，「吃」に食べるの意味はない。百度翻訳と e の学生は「吃」を食べると訳している。

・c の学生は「会」を「会う」と訳している。

・百度翻訳と Deepl 翻訳の日本語訳には間違いはみられない。

⑥　像这样在乎年纪的同事，千万别喊‘姐’啥的，说不准就会惹来对方的不爽。

【正解】

このように年齢を気にする同僚に対しては，絶対に「お姉さん」などと呼んではいけません。相手を不快にさせるかもしれません。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

このように年齢を気にする同僚は，「姉妹」などとは呼ばないでください。確信が持てない場合は不快になるからです。

⑵　百度翻訳

このように年頃の同僚を気にして，「姉さん」などとは絶対に言わないでください。相手に不快感を与えてしまうかもしれません。

⑶　Deepl 翻訳

年齢を気にするなら，“お姉ちゃん”などと呼ばないように，彼女を怒らせてしまうかもしれません。

⑷　学生の誤訳（8 例）

a：このように年齢を気にする同僚に，くれぐれも‘姉さん’と呼ば

ないように，よく知らずに手を出すと相手を不快な気持ちにする。

b：同じくらいの年の同僚に，決して「姐」と呼ばせないようにしていて，相手を不快にさせることを引き起こすかもしれない。

c：このような年頃の同僚のイメージを気にかけてむやみに“姉”なんて呼ぶのは，相手にもしかしたら不快感を与えてしまうかもしれません。

d：このように年配の同僚を気にしています，くれぐれも大声で姉さんと呼ばないで，何の言うことが正確に相手の不快を招きます。

e：写真の同僚世代の格好を気にかける，全く「姐」と呼ばない，先方に嫌な印象を与える。

f：このような年齢の同僚になると，絶対にやたらと「姐さん」などと呼ばないことだ。相手を不快にさせないとはいえないだろう。

g：例えばこのような同僚が居ても，ぜひともむやみに“～さん”と呼ぶな，しかし呼んでも相手に不快感を与えるとは限らない。

h：このような像の年齢の会社の人には，どんなことがあってもむやみに“姉さん”などと呼ぶな，許可なくただ相手に不快感を引き起こさせるのだ。

【分析】

・前半部分の構造は複雑である。“像这样在乎年纪的”と“同事（同僚）”が先ずは連体修飾語-被修飾語になっており，“像这样（このように）”と“在乎年纪”が連用修飾語-被修飾語になっており，“在乎”と“年纪”が動詞-目的語になっているという複雑な構造を理解しないと正しく訳せない。百度翻訳と学生の誤訳はこの構造を理解していない，又は“像（～のように）”の意味を正しく理解していないと思われる。

・“说不准”は「～かもしれない」の意味である。Google翻訳でどうしても「確信がもてない」を使いたいのであれば，「相手方の不快を引き

起こさないという確信は持てない」とすべきである。

・Deepl 翻訳では，“同事”が訳されていない。

2-2　例文 2：“同事关系”（『縦横商務漢語 1』39 頁）

（中国語原文と翻訳ソフトの日本語訳については，添付資料参照）

2-2-1　間違いの数

（日本語が多少不自然でも意味が通じている場合は間違いに含まない，また同じ単語や表現の間違いが複数ある場合は，1 箇所と数える）

⑴　Google 翻訳：5 箇所
⑵　百度翻訳：5 箇所
⑶　Deepl 翻訳：2 箇所
⑷　学生（サンプル数 7 人）：平均 4 箇所（小数点 1 位を四捨五入）最少：0 箇所　最多：6 箇所

2-2-2　具体例

①　亲友之间一时的失礼，可以用亲情来弥补，而同事之间的关系是以工作为纽带的，一旦失礼，创伤难以愈合。

【正解】

友人関係で一時的に失礼なことがあった場合，友情によって補うことができるが，同僚同士の関係は仕事を絆としているので，一旦，失礼なことがあると，修復するのが難しい。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

親戚と友人の間の一時的な偽物は家族の愛情によって補うことができますが，同僚の間の関係は仕事に基づいています。一度偽物のパパ

になると，傷を癒すのは困難です。

⑵　百度翻訳

間違いなし。

⑶　Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷　学生の誤訳（1 例）

a：親戚や友人との間での一時的な無礼は家族への情で補うことができますが，同僚間の関係は仕事をかなめとして基づくため，無礼をすると，傷を癒やすことは困難である。

【分析】

・Google では“失礼”を「偽物」と訳している。

・百度翻訳と Deepl 翻訳には間違いはなかった。

② 即使是小的款项，也应记在备忘录上，提醒自己及时归还，以免遗忘而引起误会。

【正解】

例え少額であっても，メモに書くようにし，忘れて誤解を生まないために，すぐに返すことを自分に言い聞かせる。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

メモに少量でも記録して，返却することを忘れないようにしてください。時間。忘れないように，そして誤解を引き起こさないように。

⑵　百度翻訳

たとえ小さいお金でも，メモに記入して，忘れて誤解を起こさないように注意してください。

⑶　Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷　学生の誤訳（2 例）

a：たとえ小さなお金でもメモに記入して，忘れて誤解が起こらないように，適時自分に返却するようにしてください。

b：例え小さな金額であっても，メモに記録するべきです。忘れて誤解を引き起こさないように，その都度返却してください。

【分析】

・いずれの場合も“提醒自己及时归还”をきちんと訳していない。Google 翻訳は「時間。」とだけ訳し，百度翻訳は完全に抜かしている。学生も意味をきちんと把握していない。

・Deepl 翻訳には間違いはなかった。

③　向同事借钱，借物，应主动给对方打张借条，以增进同事对自己的信任。

【正解】

同僚にお金や物を借りた場合，同僚に対し自発的に借用書を書くべきである。それにより自分に対する同僚の信頼を強めることができる。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

間違いなし。

⑵　百度翻訳

同僚からお金を借りたり，借りたりしたら，自発的に相手に貸しをして，同僚の信頼を増進させます。

⑶　Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷　学生の誤訳（1 例）

a：同僚からお金を借りたり，物を借りたりしたら，自発的に相手に貸しをして，自分への信頼を高めます。

【分析】

・百度翻訳と学生 a は“打张借条”を正しく理解していない。

・百度翻訳と学生 a の誤訳は酷似している。

・Google 翻訳と Deepl 翻訳の日本語訳には間違いはみられない。

④　有时，借出者也可主动要求借入者打借条，这并不过分，借入者应以理解。

【正解】

貸す人が借りる人に自発的に借用書を要求する場合もあるが，これは行き過ぎた行動ではなく，借りる人は理解を示すべきだ。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

場合によっては，貸し手が率先して借り手に IOU を作成するように依頼することもできますが，これは過度ではなく，借り手はそれを理解する必要があります。

⑵　百度翻訳

時には，借り手も自ら借り手に貸しを求めることができます。これは決して過言ではありません。借り手は理解するべきです。

⑶　Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷　学生の誤訳（2 例）

a：時には借り手が自ら借り手に貸しを求めることがあります。これは決して過言ではなく，借入者は理解すべきです。

b：ある時は，貸出人も自主的に借受人に信用証を作ることを要求することができる，これは決してぜいたくではない，借受人は理解をしてやらなければならない。

【分析】

・百度翻訳と学生は，いずれも“打借条（借用書を作る）”と“并不过分（別に行き過ぎではない）”の意味を正しく理解していない。

・百度と学生 a の誤訳は酷似している。この学生 a と③の学生 a は同一人物。

・Google 翻訳と Deepl 翻訳の日本語訳には間違いはみられない。

⑤　如果所借钱物不能及时归还，应提前向对方说明情况。

【正解】

もし，借りたお金や借りた物をすぐに返すことができない場合は，前もって相手に状況を説明すべきである。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

借り入れたお金が間に合わない場合は，事前に相手方に状況を説明してください。

⑵　百度翻訳

お金を借りたものがすぐに返されない場合は，事前に状況を相手に説明するべきです。

⑶　Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷　学生の誤訳（2 例）

a：もしお金，物を借りてすぐに返すことができないのなら，相手の状況の説明に応じて繰り上げなければならない。

b：もしも，借りたお金が間に合わない時は，事前に相手に状況を説明してください。

【分析】

・Google 翻訳と百度翻訳はいずれも“及时归还”を正確に訳せていない。

・学生 a は，“提前”を「繰り上げる」と訳している。
・Google 翻訳と学生 b の誤訳は酷似している。
・Deepl 翻訳には間違いはなかった。

⑥　在物质利益方面无论是有意或者无意地占对方便宜，都会使对方感到不快，从而降低自己在对方心目中的位置。

【正解】

物質的な利益の面で，故意か故意でないかに関わらず，相手に損をさせ自分が得をすると，相手を不快にさせ，それにより相手の中の自分の地位を下げることになる。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴　Google 翻訳

重要な利益に関しては，相手を利用することが意図的であろうと非意図的であろうと，相手を不幸に感じさせ，それによって相手の心の中での立場を低下させます。

⑵　百度翻訳

物質的な利益の面では，意図的であろうと，意図的であろうと，意図的であろうと，意図的に相手の安さを占うと，相手に不快感を与えます。それによって自分の相手の心の中の位置を下げます。

⑶　Deepl 翻訳

物質的な利益の面で相手を利用することは，相手に不快感を与え，相手の中での自分の立場を低下させることになります。

⑷　学生の誤訳（4 例）

a：利益のある物質はたとえ意識していなくても相手を利用すると，相手を不快にさせ，それによって相手の心の中での自分自身の地位を下げます。

b：物質的な利益の面では，意図的または意図的に相手の安さを占っ

て，相手に不快感を与え，相手の心の地位を低くします。

c：物質の利益の面を問わないのは，相手の都合がよい時を獲得することになんということなしであろということだ，全て相手を不快に感じさせることができ，それによって自分の相手の心の中にある地位が低くなる。

d：物の利益の面で，たとえ故意であろうがなかろうが相手の都合で，みんなを不快にさせたり，相手の思っているより自分を低く見せる。

【分析】

・“占对方便宜”は「相手に損をさせ自分が得をする」という意味である。Google 翻訳と Deepl 翻訳と学生 a は，これを「相手を利用する」と訳している。

・Deepl 翻訳は“有意或者无意地”を完全に抜かしている。

・百度翻訳と学生 b は“有意”と“无意”をともに「意図的」と訳している。また，“占对方便宜”を「安さを占う」と訳すなど，似ている点が多い。

・学生 c が「物質の利益の面を問わないのは」としたのは“无论”を後ろの“是有意或者无意地占对方便宜”にかけずに，前の“在物质利益方面”にかけてしまったからと思われる。

2-3　例文 3：“中国的等级观念”（『縦横商務漢語 1』41 頁）

（日本語が多少不自然でも意味が通じている場合は間違いに含まない，また同じ単語や表現の間違いが複数ある場合は，1 箇所と数える）

2-3-1　間違いの数

（日本語が多少不自然でも意味が通じている場合は間違いに含まない，また同じ単語の間違いが複数ある場合は，1 箇所と数える）

⑴ Google 翻訳：2 箇所

⑵ 百度翻訳：3 箇所

⑶ Deepl 翻訳：1 箇所

⑷ 学生（サンプル数 8 人）：平均 2 箇所（小数点 1 位を四捨五入）最少：1 箇所　最多：3 箇所

2-3-2　具体例

①「卡琴」の不統一

【正解】

カーチン

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴ Google 翻訳

「カッチェン」「ケーヘン」「Kaqin」「カジン」

⑵ 百度翻訳

「カゲ」「カーガン」

⑶ Deepl 翻訳

「カーチェン」「カッチェン」「カッチャン」「Kachen」

⑷ 学生の翻訳（1 例）

「カッヘン」「カッテン」

【分析】

・翻訳ソフトはいずれも名前を統一することができなかった。それに対して，学生での不統一は一例だけだった。

②　不越雷池一步[(3)]

【正解】

一定範囲を超えようとしない。

【誤訳】＊間違っている箇所には下線を引いた。

⑴ Google 翻訳

雷のプールを踏み越えません。

⑵ 百度翻訳

雷を越えないで

⑶ Deepl 翻訳

間違いなし。

⑷ 学生の誤訳（3 例）

学生 a：雷池を一歩も超えない。

学生 b：雷池を一歩も超えようとしない。

学生 c：完全に抜かしていた。

【分析】

・これは“二是因为受到孔孟之道的影响，做事循规蹈矩，不越雷池一步”という文の一部で，このまま百度翻訳に翻訳させると，“不越雷池一步”を完全に抜かしてしまうので，“不越雷池一步”だけ切り取って再度翻訳させて，上記の翻訳を導き出した。

・Deepl 翻訳は間違っていなかった。

3，結論に替えて

2021 年度の前期は 9 回課題の提出があったが，コロナ禍の影響で遠隔授業になったため，3 回しか手書き提出を実現できなかった。3 例文だけの分析で結論を出すのは早急に過ぎるが，一定の傾向は見えてきた感がある。

まず，誤訳の数に関してだが，翻訳ソフト学生の間ではさほどの差は見られない。翻訳ソフトでは，Deepl 翻訳の誤訳が Google 翻訳と百度翻訳より 3 例文とも 1〜2 箇所少なかった。

例文 3 の“卡琴”のように，翻訳ソフトは人名を統一することが苦手のようである。これが西洋人の名前に限ることなのか，地名などでもこうい

う現象が起こるのか，今後サンプル数を増やして調査していきたい。

翻訳ソフトによって癖のようなものがある。一つ顕著な特徴は，百度翻訳では文章全体を訳させると，抜かす部分が多いので，その場合は，センテンスに区切って訳させたが，それでもGoogle翻訳やDeepl翻訳と比べると分からないところを抜かして前後を繋げる傾向があるということである。これもサンプル数を増やして調査していきたい。

今回，二人の学生の誤訳が翻訳ソフトの誤訳と酷似しているという現象が見られた。もし，今後もこのような現象が続くようであれば，誤訳の比較だけでなく，間違っていないところについても，学生の翻訳と翻訳ソフトの翻訳を比較調査したいと思う。

2021年度の後期は10月から対面授業になった。これが続けば，後期終了までに10の例文が採集できそうである。また，「ビジネス中国語講読ⅠⅡ」では，あと数年は『縦横商務漢語1』を使う予定である。今後も学生の誤訳サンプルを増やし，定期的にGoogle翻訳，百度翻訳，Deepl翻訳で翻訳させ，同じ文の誤訳がどのように変化していくか，調査を続けていく予定である。

〈注〉

（1） 無料又は有料で使用できる動画共有プラットフォーム

（2） 適当：①ある条件・目的・要求などに，うまくあてはまること。かなっていること。ふさわしいこと。また，そのさま。②程度などが，ほどよいこと。またそのさま。③やり方などが，いいかげんであること。また，そのさま。（『デジタル大辞泉』より）

（3） 雷池：安徽省にある川の名。“不敢越雷池一步”（ある範囲を超えようとしないというたとえ）という成句に用いられる。（『中日辞典第3版』北京・商務書館／小学館共同編集より）

【添付資料】

例文 1（『縦横商務漢語 1』P9～P10）：中国語原文

略读

略读是指看一遍文章，看懂文章的中心意思，大概内容和整体结构。商务活动中很多材料只需要看个大概即可。有些很重要的文章，往往也是先用略读的方法扫一遍，重要的地方再通读或者慢慢细读。在略读的时候，一般要求先看文章，再回答问题。重点抓住中心思想和段落大意，细节可以略去。如：

眼看下周就要去实习单位报到了，大四的小秦忐忑不安。新公司是家外企，大家都有英文名字，理论上说应该称呼英文名字。但自己是新人，直接叫名字会不会太随便，要不要加后缀？他举例说："比如有位叫 Anna 的女同事，是直接叫她 Anna，还是 Anna 姐，或是 Anna 前辈？"

他觉得直接叫 Anna 有点随便，但叫 Anna 姐，女人大都忌讳年龄，这样会不会冒犯对方？如果叫 Anna 前辈，会不会太"做作"了，说不定别人还以为你韩剧看多了。为此，小秦纠结了好一阵。

不少新人会问，"职场上有没有能通吃的称呼啊？"混迹职场多年的刘小姐对此就颇有心得："曾经有，但现在更讲究因人而异。"在大部分公司，喊"哥哥"，"姐姐"很吃得开。她就用"姐姐"称呼女上司。"这其实是弹性很大的一个称呼，既有对年龄身份的确认，表示尊重；又暗含了撒娇的味道，能迅速拉近感情。"

不过，具体情况还是要因人而异。她提到隔壁部门的一个女主管，看起来 30 多岁了，还是单身，也从不对外透露年龄。"她对打扮特别讲究，还热衷研究各类保养品。像这样在乎年纪的同事，千万别喊'姐'啥的，说不准就会惹来对方的不爽。"

叫声"老师"总没错

新人进单位，实在不知道怎么叫，叫声"老师"总没错。

喊高**不喊低**

刚进公司，如果不清楚同事的职位，适当称呼"高"一点，可以暗示他在你心里的地位。同时，千万不能把资历比较久或者担任领导的人喊"低"。

最好"**投其所好**"

想称呼得当，还要考虑对方的性格和喜好，尤其是领导。如果对方是"死板"型的，称呼"经理，某总"就好；如果是战友型，叫"头儿"，"老大"挺合适；如果是海归型的，可以投其所好叫他英文名。

例文1：Google 翻訳 https://translate.google.co.jp/
翻訳時期：2021年10月
＊間違いには下線を引いた。

スキミング

スキミングとは，記事を1回読んで，記事の中心的な意味，一般的な内容，および全体的な構造を理解することです。事業活動の多くの資料は，大まかな概要を見るだけで済みます。いくつかの非常に重要な記事は，最初にスキミングによってスキャンされ，次に重要な場所を読み通すか，ゆっくりと熟読することがよくあります。スキミングするときは，通常，最初に記事を読んでから質問に答える必要があります。お気に入り：彼が来週インターンシップユニットに報告するのを見て，先輩の秦は不安です。新会社は外国企業で，誰もが英語の名前を持っています。理論的には英語の名前と呼ばれるべきです。しかし，筆者は新参者なので，自分の名前を直接呼び出すのはあまりにもカジュアルですか？接尾辞を追加する必要がありますか？彼は例を挙げました：「たとえば，アンナという名前の女性の同僚がいる場合，彼女は彼女のアンナに直接電話しますか，それとも姉妹のアンナ，またはアンナの先輩に電話しますか？」アンナに直接電話するのは少しカジュアルだと彼は思っていますが，ほとんどの女性のアンナ姉妹は年齢についてタブーです，これは相手を怒らせるでしょうか？　あなたがシニアアンナと呼ぶなら，あなたはあまりにも「工夫されている」でしょうか，多分人々はあなたがあまりにも多くの韓国ドラマを見ていると思うでしょう。この目的のために，シャオ秦はしばらく苦労しました。多くの新参者は，「職場に包括的な名前はありますか？」と尋ねます。彼女は上司を「姉妹」と呼んだ。長年職場にいる劉さんは，これについて多くの経験があります。「以前はそうでしたが，今ではより具体的で，人によって異なります。」ほとんどの企業では，「兄弟」と「姉妹」を叫ぶのはとてもおいしいです。彼女は上司を「姉妹」と呼んだ。「これは実際には非常に柔軟なタイトルであり，年齢のアイデンティティを確認し，敬意を表すだけでなく，赤ちゃんのように振る舞う味を意味し，すぐに愛情を引き出すことができます。」ただし，具体的な状況は人によって異なります。彼女は，隣の部署の女性の上司は30代のようで，まだ独身で，年齢を明かさなかったと述べた。「彼女はドレッシングに非常にこだわっており，さまざまなスキンケア製品の研究にも熱心です。このように年齢を気にする同僚は，「姉妹」などとは呼ばないでください。確信が持てない場合は不快になるからです。

「先生」と呼ぶのは常に正しい

新人がユニットに入るとき，彼らは本当に彼らを呼ぶ方法を知りません。「先生」という呼びかけは常に正しいです。

低くはなく，高く叫ぶ

入社したばかりの場合，同僚の立場がわからない場合は，適切に「より高い」と呼ぶことができます。これは，同僚の心の中での立場を暗示している可能性があります。

同時に，資格が比較的長い人やリーダーである人を「低い」と呼んではいけません。

「好きなものを置く」のが一番です

適切に呼ばれたい場合は，相手，特にリーダーの性格や好みも考慮する必要があります。相手が「堅い」場合は，単に「マネージャー，ゼネラルマネージャー」と呼んでください。同志タイプの場合は，「ボス」または「ボス」と呼ぶのが適切です。あなたが帰国者であるならば，あなたはあなたが望むように彼を英語の名前と呼ぶことができます。

例文 1：百度翻訳 https://fanyi.baidu.com/
翻訳時期：2021 年 10 月
＊間違いには下線を引いた。

ざっと読む

略読とは文章を読んで，文章の中心的な意味，大体の内容と全体の構成を理解することです。ビジネスには多くの材料があります。大体のところを見ればいいです。いくつかの重要な文章は，まず略読の方法で掃いて，重要なところを通読したり，ゆっくりと詳しく読んだりします。略読する時は，まず文章を見てから，質問に答えます。中心思想と段落の大意を重点的に捉え，細部は省略できる。例えば：

来週はインターンに行くところです。四年生の秦さんは不安でたまりません。新会社は外資系企業で，みんな英語の名前があります。英語の名前を呼ぶべきです。しかし自分は新人で，直接名前を呼ぶのはあまりにも気軽ではありませんか？　彼は例を挙げて言った。「アンナという女性の同僚がいますが，直接アンナと呼びますか？　それともアンナさんですか？　それともアンナ先輩ですか？」彼は Anna と直接呼ぶのはちょっと適当だと思いますが，Anna 姉さんといいます。女性は大体年齢を避けています。これで相手を犯すことができますか？　Anna 先輩というと，「作りすぎ」というか，韓国ドラマを見すぎたと思われてしまうかもしれません。そのため，秦さんは長い間悩んでいました。

職場でよく食べられる呼び名がありますか？　職場にまぎれこんで長年の劉さんはこれに対してかなり心得があります。「あったことがありますが，今は人によって

違います。多くの新人が聞きます。ほとんどの会社では，「お兄さん」や「お姉さん」と呼んで食べられます。彼女は「お姉さん」を使って女性上司を呼んでいます。「弾力性の高い呼び方です。年齢の確認と尊重の意味があります。甘えの味が隠れていて，感情を早く引き寄せることができます」でも，具体的には人によって違います。彼女は隣の部門の女性の主管に言及して，見たところ30数歳になりました。まだ独身です。「彼女はおしゃれにとてもこだわっています。このように年頃の同僚を気にして，「姉さん」などとは絶対に言わないでください。相手に不快感を与えてしまうかもしれません。

「先生」と呼ぶのは間違いない

新人が職場に入ってきて，どうやって呼ぶか分かりません。「先生」というのは間違いないです。

声を限りに叫ぶ

入社したばかりで，同僚の職位がよく分からないなら，「高い」を適当に呼んで，彼の心の中の地位を暗示します。同時に，資格が長い人や指導者を「低い」と呼んではいけません。

ベスト「いいところに行く」

適切な呼び方をするには，相手の性格や好み，特に上司を考慮しなければならない。もし相手が「堅苦しい」タイプだったら，「社長，社長」と呼んだらいいです。戦友タイプなら，リーダー，ボスと呼ぶのがいいです。海帰型なら，英語で呼んでいいです。

例文1：Deepl翻訳 https://www.deepl.com/translator
翻訳時期：2021年12月
＊間違いには下線を引いた。

スキミング

スキミングとは，テキストの中心的な意味，一般的な内容，全体的な構造を把握するためにテキストを読み進めることです。 ビジネス活動における多くの資料は，一般的な読み方をすればよいのです。非常に重要な文章も，まずはざっと目を通し，重要なポイントは目を通したり，ゆっくりと丁寧に読んだりすることが多いです。スキミングをする際には，通常，まず文章を読んでから質問に答えるように言われます。 中心となるアイデアや文章の全体像に焦点を当て，詳細は省略可能。 例えば，以下のように。

来週のインターンシップに向けての報告を控え，シニアのシャオチンは不安を抱

えています。 新会社は外資系企業であり，全員が英語名を持っているので，理論的には英語名で呼ぶべきだと思います。 しかし，彼は新人なので，下の名前で呼ぶのはカジュアルすぎて，接尾語をつけるべきでしょうか。 例えば，「アンナという女性の同僚がいたら，アンナと呼べばいいのか，シスターアンナと呼べばいいのか，シニアアンナと呼べばいいのか」。”

彼は彼女を直接アンナと呼ぶのは少しカジュアルだと思ったが，女性は自分の年齢を恥ずかしがる人が多いので，シスター・アンナと呼ばれたら彼女は気を悪くするだろうか？ アンナ先輩というと，「気取っている」と思われたり，「韓流ドラマの見過ぎ」と思われたりするかもしれません。そのため，秦氏はしばらく悩んでいた。

多くの新人は，“職場で使える名前はありますか？”と質問します。 長年，職場に携わってきたミス・リュウは，「昔はあったけど，今は人と人との違いを重視するようになった」と，このことについて語っています。 ほとんどの会社では，「兄弟」「姉妹」と叫ぶことが流行っています。 彼女は女性の上司を指して「妹」という言葉を使っています。“実際には非常に柔軟な敬語で，年齢を確認したり，敬意を示したりしますが，ちょっとした小心者のニュアンスも含まれており，一気に距離を縮めることができます。”

それでも，具体的な内容は人によって異なります。 隣の部署の女性上司の話をすると，彼女は 30 代に見えるが，まだ独身で，自分の年齢を公開していない。“身だしなみ”には特にこだわりがあり，あらゆるメンテナンス用品の研究にも余念がありません。 年齢を気にするなら，“お姉ちゃん”などと呼ばないように，彼女を怒らせてしまうかもしれません。”

「先生」と呼びかけるのは，常に正しい行為です

ユニットに入ったばかりで呼び方が分からない場合は，必ず「先生」と呼ぶのが良いでしょう。

低い声ではなく高い声で

同僚の立場がわからない場合は，心の中で彼の立場を暗示するために，「高」と呼びかけるとよいでしょう。 同時に，目上の人やリーダー格の人を「低い」と言ってはいけません。

“名前で呼ぶ”のが一番です

きちんとした対応をしたいのであれば，相手（特にリーダー）の性格や好みも考慮する必要があります。 相手が「お堅い」タイプであれば，「部長，大将」，同志タイプであれば，「主任」，「ボス」と挨拶するのが良いでしょう。 相手が「お堅い」タイプであれば「マネージャー」や「ジェネラル」，同志であれば「チーフ」や「ボス」，帰国子女であれば「イングリッシュネーム」で呼んでもいいでしょう。

例文 2（『縦横商務漢語 1』P39）：中国語原文

同事关系

处理好同事关系，在礼仪方面应注意以下几点；

尊重同事

互相尊重是处理好任何一种人际关系的基础，同事关系也不例外。同事关系不同于亲友关系，它不是以亲情为纽带的社会关系。亲友之间一时的失礼，可以用亲情来弥补，而同事之间的关系是以工作为纽带的，一旦失礼，创伤难以愈合。所以，处理好同事之间的关系，最重要的是尊重对方。

物质来往一清二楚

同事之间可能有相互借钱，借物或馈赠礼品等物质上的往来，但切忌马虎，每一项都应记得清楚明白，即使是小的款项，也应记在备忘录上，提醒自己及时归还，以免遗忘而引起误会。向同事借钱，借物，应主动给对方打张借条，以增进同事对自己的信任。有时，借出者也可主动要求借入者打借条，这并不过分，借入者应以理解。如果所借钱物不能及时归还，应提前向对方说明情况。在物质利益方面无论是有意或者无意地占对方便宜，都会使对方感到不快，从而降低自己在对方心目中的位置。

不在背后议论同事的隐筆者

每个人都有隐筆者，隐筆者与个人的名誉密切相关。背后议论他人的隐筆者，会损失他人的名誉，引起双方关系的紧张甚至恶化，因而是一种不光彩的，有害的行为。要和同事处理好关系，就切忌不要在背后议论他人的隐筆者。

例文 2：Google 翻訳 https://translate.google.co.jp/

翻訳時期：2021 年 10 月

＊間違いには下線を引いた。

同僚との関係

同僚との関係をうまく処理するために，エチケットの次の点に注意してください。

同僚を尊重する

相互尊重は，あらゆる種類の対人関係を処理するための基礎であり，同僚の関係も例外ではありません。同僚との関係は，親戚や友人との関係とは異なり，家族の愛情をつなぐ社会的な関係ではありません。親戚と友人の間の一時的な偽物は家族の愛情によって補うことができますが，同僚の間の関係は仕事に基づいています。一度偽物のパパになると，傷を癒すのは困難です。

したがって，同僚同士の関係を処理するために最も重要なことは，お互いを尊重することです。

物質的な相互作用は明らかです

同僚は，お金を借りたり，物を借りたり，贈り物をしたりするなどの物的交換を行う場合がありますが，だらしなくしないでください。各アイテムを明確に覚えておく必要があります。メモに少量でも記録して，返却することを忘れないようにしてください。時間。忘れないように，そして誤解を引き起こさないように。同僚からお金や物を借りるときは，率先して相手に IOU を与え，同僚の自分への信頼を高める必要があります。場合によっては，貸し手が率先して借り手に IOU を作成するように依頼することもできますが，これは過度ではなく，借り手はそれを理解する必要があります。借り入れたお金が間に合わない場合は，事前に相手方に状況を説明してください。重要な利益に関しては，相手を利用することが意図的であろうと非意図的であろうと，相手を不幸に感じさせ，それによって相手の心の中での立場を低下させます。

背後にいる同僚のプライバシーについて話さないでください

誰もがプライバシーを持っており，プライバシーは個人の評判と密接に関係しています。背後にいる他人のプライバシーについて話すことは，他人の評判を失い，緊張を引き起こしたり，両者の関係を悪化させたりするため，恥ずべき有害な行動です。同僚との関係を管理するために，背後にいる他の人のプライバシーについて決して話してはなりません。

例文 2：百度翻訳 https://fanyi.baidu.com/

翻訳時期：2021 年 10 月

＊間違いには下線を引いた。

同僚関係

同僚との関係をうまく処理するには，礼儀について以下の点に注意しなければならない。

同僚を尊重する

お互いに尊重することはどんな人間関係をうまく処理する基礎であり，同僚関係も例外ではない。同僚の関係は親友と違って，親心をきずなとする社会関係ではありません。親友同士の一時の無礼は，親心で補うことができますが，同僚同士の関係は仕事を紐としています。一度無礼になると，傷は治りにくいです。ですから，同僚との関係をうまく処理するには，相手を尊重することが一番大切です。

物質の往来がはっきりしている

同僚の間にはお金を借りたり，贈り物を贈ったりといった物質的な付き合いがあるかもしれませんが，油断は禁物です。一つ一つはっきり覚えてください。たとえ小さいお金でも，メモに記入して，忘れて誤解を起こさないように注意してください。同僚からお金を借りたり，借りたりしたら，自発的に相手に貸しをして，同僚の信頼を増進させます。時には，借り手も自ら借り手に貸しを求めることができます。これは決して過言ではありません。借り手は理解するべきです。お金を借りたものがすぐに返されない場合は，事前に状況を相手に説明するべきです。物質的な利益の面では，意図的であろうと，意図的であろうと，意図的であろうと，意図的に相手の安さを占うと，相手に不快感を与えます。それによって自分の相手の心の中の位置を下げます。

同僚のプライバシーを陰で騒がない

すべての人はプライバシーを持っています。プライバシーは個人の名誉と密接に関係しています。陰で他人のプライバシーを議論すると，他人の名誉を傷つけ，双方の関係の緊張を悪化させます。したがって，不名誉で有害な行為です。同僚と仲良くするためには，陰で他人のプライバシーを議論しないようにしましょう。

例文 2：Deepl 翻訳 https://www.deepl.com/translator
翻訳時期：2021 年 12 月
＊間違いには下線を引いた。

同僚との関係

同僚との関係を管理する上でのエチケットとして，以下の点に留意する必要があります。

仲間を大切にする

どのような対人関係であっても，相互に尊重し合うことが基本であり，同僚との関係も例外ではありません。 同僚関係は，家族や友人関係とは異なり，愛情で結ばれた社会的関係ではありません。 友人や親戚の間では，一時的な無礼は愛情で補うことができますが，同僚との関係は仕事上のものであり，一度無礼を働いてしまうとその傷はなかなか癒えません。 そのため，同僚との関係を管理する上で最も重要なことは，お互いを尊重することです。

材料取引の明確なイメージ

同僚同士で金品の貸し借りや贈り物をするなど，物質的な取引をすることがありますが，だらしなくならないように，一つ一つの項目を明確に理解できるように覚

えておく必要があります。たとえ少額のお金であっても，忘れて誤解を招かないように，メモに書いて期日までに返すことを忘れないようにしましょう。 同僚から金品を借りる際には，率先して借用書を渡し合うことで，同僚からの信頼を高めることができます。 時には，貸し手側も率先して借り手に借用書を作成してもらうこともありますが，これは過大なものではなく，借り手に理解してもらう必要があります。 借りた金品の返却が間に合わない場合は，事前にその事情を相手に説明する必要があります。 意図的であろうとなかろうと，物質的な利益の面で相手を利用することは，相手に不快感を与え，相手の中での自分の立場を低下させることになります。

同僚のプライバシーを陰で語らない

人にはプライバシーがあり，プライバシーは人の評価と密接に関係しています。他人のプライバシーを陰で語ることは，相手の評判を落とし，緊張感を与えたり，関係を悪化させたりするので，不名誉で有害な行為です。 同僚と良い関係を築くためには，他人のプライバシーを陰で語らないことが大切です。

例文 3（『縦横商務漢語 1』P41）：中国語原文

中国的等级观念

中国是一个注重全力等级的国家，老板就是老板，无论你们相处如何，无论你是否喜欢他办事的方式，反正你就得听老板的。如果是你分内的工作，你可以做。如果不是你分内的工作 ，你就不用管。如果你管了闲事，你的努力也未必会得到承认。

而美国人在这方面是另一种态度。弗吉尼亚・卡琴女士是 TSC 公司的主任。她曾经在美中商会做过义工，并且在中国银行纽约分行工作过。卡琴说：“在像美国这样等级观念比较弱的国家，我们可以向权威提出质疑，我们可以冲着老板大声叫。如果警察在马路上给我们开罚款单，我们也可以质问警察。”

卡琴认为，中国人重视权力差距一是由于中国五千年的封建历史等级观念；二是因为受到孔孟之道的影响，做事循规蹈矩，不越雷池一步。但是，卡琴指出，权力差距在中国的经济领域正在缩小。人们由于经济地位的提高，个人主义思想也在上升，敢于对老板说“不”的人数正在增多。

例文 3：Google 翻訳 https://translate.google.co.jp/
翻訳時期：2021 年 10 月
＊間違いには下線を引いた。

中国の階層

中国は権力のレベルに注意を払う国であり，上司は上司です。どんなに仲良くしても，彼のやり方が好きかどうかにかかわらず，とにかく上司に耳を傾ける必要があります。それがあなたの仕事なら，あなたはそれをすることができます。それがあなたの仕事でなければ，あなたはそれについて心配する必要はありません。あなたがおせっかいであるならば，あなたの努力は認められないかもしれません。アメリカ人はこの点で別の態度を持っています。バージニア・カッチェン氏は TSC のディレクターです。彼女はかつて米中商工会議所でボランティアをし，中国銀行のニューヨーク支店で働いていました。ケーヘン氏は，「米国のように階層が弱い国では，権威に疑問を投げかけたり，上司に怒鳴ったりすることができる。警察が道路で罰金を科した場合，警察に質問することもできます。」Kaqin は，中国の人々は，中国の 5000 年にわたる封建的歴史的階層のために，第一に権力格差を評価していると信じています。第二に，儒教と孟子の影響のため，筆者たちは規則に従い，雷のプールを踏み越えません。しかし，カジン氏は，中国の経済圏では電力格差が縮小していると指摘した。人々の経済状況が改善するにつれて，個人主義的な考え方も

高まり，上司に「ノー」とあえて言う人が増えています。

例文 3：百度翻訳 https://fanyi.baidu.com/
翻訳時期：2021 年 10 月
＊間違いには下線を引いた。

中国の等級観念

中国は全力等級を重視する国です。社長は社長です。お互いの付き合いがどうであれ，彼の仕事のやり方が好きかどうかに関わらず，とにかく社長の言うことを聞かなければなりません。あなたの仕事なら，できます。あなたの分の仕事でないなら，構わないでください。あなたが余計なお世話をしたら，あなたの努力も認められるとは限りません。アメリカ人はこの面では別の態度です。バージニア・カゲさんはTSCの主任です。彼女はかつて米中の商工会議所でボランティアをしたことがあり，中国銀行ニューヨーク支店で働いたことがあります。カーガンは言います。「米国のような等級観念が弱い国では権威に疑問を持つことができます。社長に向かって大声で叫ぶことができます。警察が道で罰金の申告をすれば，警察にも質問できます。カーガンは，中国人が権力の格差を重視するのは，一に中国の五千年の封建的な歴史的等級観念によると考えています。第二は孔孟の道の影響を受けて，事をするのは規則に則っています，雷を越えないで。しかし，権力の格差は中国の経済分野で縮小していると指摘しました。人々は経済的地位の向上のため，個人主義思想も上昇しています。思い切って社長に「いいえ」と言う人が増えています。

例文 3：Deepl 翻訳 https://www.deepl.com/translator
翻訳時期：2021 年 12 月
＊間違いには下線を引いた。

中国のヒエラルキーの概念

中国は完全なヒエラルキーを重視する国で，ボスはボス，どんなに仲が良くても，彼のやり方が気に入らなくても，とにかくボスの言うことを聞かなければなりません。 自分の仕事であれば，できるはずです。 自分の仕事でないならば，やらなくてもいいのです。 そうすると，自分の努力が認められないかもしれません。

その点，アメリカ人は態度が違います。 TSC のディレクターであるヴァージニア・カーチェン氏。米中商工会議所でのボランティア活動や，中国銀行ニューヨー

ク支店での勤務経験があります。 アメリカのようにヒエラルキーが弱い国では，権威に疑問を持ったり，上司に叫んだりすることができます」とカッチェンは言います。 また，道路で罰金を取られた場合，警察に質問することもできます。”

カッチャンによると，中国人がパワーギャップを大切にするのは，1つには中国が5000年の封建的なヒエラルキーの歴史を持っているからであり，2つ目には，儒教や孟子の影響で，杓子定規に物事を進め，一線を越えないようにしているからだという。 しかし，中国の経済圏では力の差が縮まっていると Kachen 氏は指摘する。 経済的地位の向上に伴い，人々はより個人主義的になり，あえて上司にノーと言う人も増えてきました。

（原稿受付　2021年10月27日）

〈資　料〉

スペイン語の musmé をめぐって

松　下　直　弘

要　旨

日本語からスペイン語に入った語のひとつに musmé がある。今ではほとんど使われなくなったが，19 世紀末から 20 世紀初頭，スペイン語圏でよく用いられた時期があった。フランス人ピエール・ロチの著作がスペイン語に訳されて紹介されたとき，ロチの使っていた語 mousmé が musmé に置き換えられて広まったようである。スペイン語で書かれた紀行文や小説・詩歌・演劇，さらに新聞記事などをたどっていくと，musmé は「若い女，娘」の意味だけでなく，姿形の美しい女，どこか魅力的な女，異国情緒を漂わせた女など，さまざまなニュアンスを含む語として用いられたことがわかる。

キーワード：musmé，娘，外来語，日本語とスペイン語

1. はじめに

19 世紀末から 20 世紀初頭にかけてスペイン語圏から来日した作家たちの紀行文を読んでいると，奇妙な表記に出会うことがある。若い娘を表す際，スペイン語には muchacha，joven など，いくつもの語彙があるにもかかわらず，何人もの作家が musmé と記している。現代のスペイン語にはほとんど見られない表記である。今なら，日本語の「娘」をスペイン語に転写する場合，musume と綴るのが普通である。スペイン語の musmé はいつ頃から使われるようになったのだろうか。また，muchacha ではなく

musmé と書いた作家たちには，この語に対する特別な思い入れがあったのだろうか。

2. Pierre Loti の mousmé

19 世紀に来日した欧米人たちの多くは，日本滞在期間中に耳に残った日本語をそれぞれの母語に取り入れて紀行文を記した。moosme，moosmee などは，英語の文章の中で早くから用いられた綴りである。そんな中，フランス人ピエール・ロチ（Pierre Loti 1850-1923）の著した *Madame Chrysanthème*（『お菊さん』1887 年）[(1)] と *Japoneries d'automne*（『秋の日本』1889 年）[(2)] が多くの読者を獲得し，作品中よく出てくる mousmé という言葉が欧米の人たちの間で広く知られるようになった。それとともに，フランス語に近いイタリア語の musmè，スペイン語の musmé，ポルトガル語の musmé なども，「若い女，娘」を表す語として多く用いられるようになったようである。

ピエール・ロチは mousmé という語に特別な思い入れがあった。なぜフランス語を使わずに日本語の「娘」の転写である mousmé を用いたか，『お菊さん』の中で詳細に説明している。言葉の響きも，そこに込められた意味も，ピエール・ロチには快く感じられるものだった[(3)]。

ピエール・ロチの作品はスペイン語圏でもよく読まれた。両作品とも 1889 年に最初のスペイン語訳が出され[(4)]，フランス語の mousmé はスペイン語の発音に合わせて musmé と置き換えられた。アクセントのない musme でもよかったはずだが，フランス語に合わせてアクセントを付けたものと思われる。

特に，グアテマラ出身でパリに長く滞在していたジャーナリスト，エンリケ・ゴメス・カリージョ（Enrique Gómez Carrillo 1873-1927）は，いち早く『秋の日本』を手に取っていたようで，後に来日して吉原や日光を訪

れたときも，ピエール・ロチの日本観と対比させながら自分の印象を記している[(5)]。

19 世紀のヨーロッパではジャポニスムが広がり，日本の浮世絵や装飾品が多くの人の目にとまった。春信や歌麿などの作品のタイトルに付けられた mousme や mousmé などの語は，スペイン語圏の人々の目にも入っていたはずである。最初はそうした綴りが用いられていたと思われるが，やがてスペイン語の発音に合わせた自然な綴り musmé が用いられるようになる。そのきっかけとなったのがピエール・ロチの作品のスペイン語訳だったと言える。

3. Eduardo Wilde の紀行文に見られる musmé ── 表記の揺れ

ピエール・ロチの『秋の日本』から 10 年後に刊行されたのが，医学者であり作家でもあったエドゥアルド・ウィルデ（Eduardo Wilde 1844-1913）の *Por mares i por tierras*（『海を渡り，陸を巡り』）[(6)] である。これは，自国アルゼンチンからヨーロッパ，アフリカ，アジア，北米へと，世界を広く見聞して回ったエドゥアルド・ウィルデの紀行文で，全 700 頁の長さになるが，396 頁から 610 頁までが日本についての記述に充てられている。その中に musmé という語は 30 回以上出てくるが，その表記はかなり揺れている。

> musmees（niñas）con los pies desnudos, limpios, rosados i chicos[(7)]
> 清潔な，薄紅色の，かわいらしい素足を見せているムスメ（若い女）たち
>
> la musmé vendedora　売り子のムスメ（少女）
>
> la misma musmé　先ほどと同じムスメ（若い女）
>
> musmé de quince años　15 歳のムスメ（少女）

una musmé entra en tan penoso ejercicio　ムスメ（若い女）はそんなに辛い仕事につく

las musmés del Japon　日本のムスメ（若い女）たち

La musmé declara haber recibido　そのムスメ（若い女）は（……）を受け取ったと述べる

la musmé retiene para sí　そのムスメ（若い女）は自分のほうに（……）を取っておく

La musmé se compromete a servir con buena voluntad　ムスメ（若い女）は喜んで働くことを約束する

una musmé paseando en sus jardines　庭園を散歩しているムスメ（若い女）

en agradable compañía de musmés delicadas　優美なムスメ（若い女）たちが快く接待してくれて

Las diminutas musmés bajan la cabeza　小柄なムスメ（若い女）たちはうなだれた。

la belleza de la musmé que la tocaba　それを演奏していたムスメ（若い女）の美しさ

no hai sino musmés（niñas）（男子は生まれず）ムスメ（娘）たちしかいない

musmés músicas　音楽を担当するムスメ（若い女）たち

las musmés jugaron　ムスメ（若い女）たちはゲームをした

la musmé que yerra　間違ったムスメ（若い女）

la composición del *obi* de una musmé　ムスメ（若い女）の帯の結び方

las musmés de kimono vistoso　派手な着物を着たムスメ（若い女）たち

musmés delicadas　優美なムスメ（娘）たち

la sola musmé　たった一人のムスメ（娘）

Las graciosas musmés　魅力あるムスメ（若い女）たち

cuatro musmes bonitas　きれいな 4 人のムスメ（若い娘）

Entre doscientas musmes noté una　200 人のムスメ（若い娘）たちの中にひとりの娘を見つけた

las musmes mas distinguidas[8]　極めて優れたムスメ（若い娘）たち

servido por musmes agradables　感じの良いムスメ（若い娘）たちに給仕してもらった

las Musmees o queridas　ムスメ（若い女）たち，つまり愛人たち

などの用例が見られる。

単数形 musmé にはいずれもアクセントが付けられているが，複数形になると，musmés と musmes のようにアクセントがあったりなかったりする。ただし，この語以外にも，本来アクセントが付けられるべきところにアクセントが入っていない例（たとえば，Japón が Japon と表記される）も見られるので，アクセントのあるなしが不統一のまま出版されてしまった可能性もある。

言葉の揺れは，もう一つある。musmé の複数形として musmés と musmees，2 種類の綴りが見られる点である。エドゥアルド・ウィルデと同じ時代，英語やフランス語の文章で，mousme の代わりに mousmee，mousmé の代わりに mousmée と綴る作家が少なくなかった。例えば，ダグラス・スレーデン（Douglas Sladen 1856–1947）は 1895 年に発表した著作 *A Japanese Marriage*（『日本式結婚』）[9] の中で，mousmee とその複数形 mousmees を合計 23 回用いている。おそらくエドゥアルド・ウィルデはそうした文章から影響を受け，e を 2 つ重ねる ee が頭に浮かび，アクセントを付けないまま musmees と綴ったのではないだろうか。彼は横浜に上陸

した後，友人宛の手紙をフランス語で書いているが，その中で une musmée と綴っている。

エドゥアルド・ウィルデより後の時代になっても，スペイン語の文章中，musmé ではなく musmée あるいは musmee と記された例がいくつかある。

1917 年に刊行された *Cine-Mundial*（『世界の映画』）(10) の「蝶々夫人」の記述には“el triste y delicado papel de Musmee, esperando eternamente la llegada del amado”（悲しみと美しさを湛え，愛人がやって来るのをいつまでも待ち続けるムスメの役）と綴られている。

新たにスペイン語に導入されたものの，musmé という語の表記にはいくつかのバリエーションがあり，最初から統一されていたわけではなかった。

4. Francisco de Reynoso の『帝都にて ── 日本スケッチ集』に見られる musmé ── 単複同形

1904 年に刊行された *En la corte del Mikado: bocetos japoneses*（『帝都にて ── 日本スケッチ集』）(11) の著者フランシスコ・デ・レイノソ（Francisco de Reynoso 1856-1938）は，若い頃外交官として来日し，歴史・政治・産業など日本の事情について詳しく調査している。この著書の中に，musmé という語は 43 回出てくるが，その使い方にある特徴が見られる。musmé という名詞を単複同形とし，単数の場合も複数の場合も musmé と記している。2 例を除き，複数形 musmés を用いていない。語末に s を付け足すだけで複数形になることは十分承知していたはずだが，あえてそういうことはせず，musmé を外来語の範疇に留めたと思われる。同様に，kimono（着物）も複数形 kimonos を使わず，単数の場合も複数の場合も kimono と綴っている。

alguna de las musmé　ムスメ（若い女）たちの中の誰か

las supersticiosas musmé　迷信を信じやすいムスメ（少女）たち

las musmé, con sus kimono más flamantes　ムスメ（若い女）たちは，特にまばゆいばかりの着物を着て

las musmé cuidadosamente acicaladas　念入りに化粧をしたムスメ（若い女）たち

encantadoras musmé　魅力的なムスメ（若い女）たち

las lindas musmé　美しいムスメ（娘）たち

una multitud de compuestas y acicaladas musmé　着飾って化粧した何人ものムスメ（若い女）たち

los grupos de acicaladas musmé　化粧したムスメ（若い女）たちのグループ

las musmé sentadas en cuclillas sobre el tatami　畳の上に正座したムスメ（若い女）たち

un grupo de alegres musmé　陽気なムスメ（若い女）たちのグループ

un grupo de elegantísimas musmé　とても優雅なムスメ（若い女）たちのグループ

las curiosas musmé　好奇心の強いムスメ（若い女）たち

5. Enrique Gómez Carrillo の musmé ── 美しさの表現としての musmé

El Japón heroico y galante（『勇壮にして優しき日本』）[(12)] を著したエンリケ・ゴメス・カリージョ（Enrique Gómez Carrillo 1873-1927）は，世界のあちこちに出かけ，自分の目で見た光景をヨーロッパや中南米の人たちに伝えたジャーナリストだった。日本に関する記事を何度も新聞に載せ，

すぐ本にまとめたのは，日露戦争直後の日本をつぶさに報道したいという気持ちが強かったためだと思われる。日本の風景，日本人が抱く名誉や恥の概念，日本人の礼儀作法や微笑など，様々な観点から日本と日本人を観察しているが，ラフカディオ・ハーンやモラエスなどと比べると，内容に深みが感じられない。すでに何人かの作家たちによって著されていた日本人論の焼き直しになってしまったためだろうか。しかし，日本についての知識がほとんど皆無の状態に近かった読者，特にスペイン語圏の読者にとっては，貴重な情報源になったと思われる。

エンリケ・ゴメス・カリージョは，19 世紀以降，何人もの欧米人が発表してきた日本滞在記や日本人論を超えるものを著すことはできなかったが，他の作家に見られない新しい文体を作り出す能力には長けていた。自分の目の前に現れた人物，特に女性の身なりや表情やしぐさを的確な言葉で写し取っていく力である。

Las mujeres, sobre todo, sonríen perpetuamente; las viejas más que las jóvenes, las niñas más que las viejas. Aquí, en mi coche, hay hasta media docena de musmés que no deben tener arriba de quince años, y que de seguro pertenecen á altas clases sociales.

女たちは特にいつも笑っている。若い女より年取った女のほうが，年取った女より子どものほうが。今，私がいる車内には，まだ 16 歳に達していないと思われるムスメ（少女），しかもきっと上流階級に属するムスメ（少女）が 6 人は乗っている。

De pie en la puerta de la estación, una musmé me sonríe, ó mejor dicho, se sonríe á sí misma.

駅の入り口に立っているムスメ（若い女）が私に微笑んでいる。と言うより，彼女は自分自身に向かって微笑んでいる。

De vez en cuando una musmé pasa, rítmica y menuda, bajo la aureola blanca de su paraguas de papel.

ときどき，ムスメ（若い女）が軽快な足取りで通り過ぎてゆく。紙でできた白い後光のような傘をさして。

A través de las páginas de Loti y de Lowell, había visto á las musmés colocadas en sus escaparates como juguetes de carne que todo el que pasa puede comprar.

ロッチやローウェルが書いた本の頁から私の頭に浮かんだのは，通り過ぎる人たちが誰でも買える，まるで生きた玩具のようにケースに陳列されているムスメ（若い女）たちの姿だった。

エンリケ・ゴメス・カリージョは単数の musmé と複数の musmés を使い分け，形容詞を付ける場合もそれぞれ正確に記している。そして，浮世絵に描かれた musmé だけでなく，日常生活を営んでいる様々な musmé がいることを伝え，駅にたたずむ musmé，街を歩く musmé などの姿を生き生きと描写した。musmé という語を初めて目にした読者も，エンリケ・ゴメス・カリージョの文章を読み進めるうちに，この語に対する違和感がなくなっていったのではないだろうか。スペイン語圏の人たちにとって，musmé という語は単なる外来語ではなく，それまでのスペイン語になかった独特の美を表す語になった。若い女という意味だけでなく，しぐさや一瞬の表情が美しい女，異国情緒を漂わせた女などの意味を内包する言葉に変わったと言える。

6. Vicente Blasco Ibáñez の musmé ── musmé から musko へ

ビセンテ・ブラスコ・イバニェス（Vicente Blasco Ibáñez 1867-1928）

は時代の動きに敏感な作家だった。関東大震災直後の日本の光景を目の当たりにし，日本の将来について思いを巡らしている。また，小説家らしい鋭い眼差しで，出会った人物たちを克明に描写している。帰国後の1924年に刊行された *Vuelta al mundo de un novelista*（『小説家の世界周遊』）[(13)]は3巻から成る長い旅行記だが，その第1巻に日本編が含まれている。この中でビセンテ・ブラスコ・イバニェスはmusméという語を13回用いているが，さらに目を引くのはmuskoという語を6回用いていることである。しかも，「少年，男児」（muchachoあるいはniño）の意味で用いている。musméが「少女」を表すのなら，「musko」は「少年」のことだろうとビセンテ・ブラスコ・イバニェスは早合点したわけだが，たとえ誤用であっても，muskoという語を用いた文章には，当時の日本の少年たちの姿が生き生きと写し出されている。

Además, las madres llevan también el último *musko* sujeto a su espalda (...).
それに，母親たちは自分の背中に末っ子のムスコ（男児）をしっかり結びつけている。

(...) nuestro automóvil abre grupos vociferantes de *muskos*, (...).
われわれが乗った自動車は，大声を出しているムスコ（少年）たちのグループの間に道を開いて進んでいく。

Hasta en los caminos más apartados del Japón he encontrado pequeños *muskos* con un kimono azul (…).
日本の人里離れた土地の道にさえ，青い着物を着た幼いムスコ（男児）たちの姿を私は見つけた。

Los *muskos* vuelan cometas que son flores caprichosas o espantables dragones de papel.

ムスコ（少年）たちは凧を揚げている。風変わりな花や恐ろしい竜が描かれた紙でできた凧である。

Los *muskos*, libres de la escuela en estos días, pueblan la atmósfera con una fauna de cometas en forma de dragones, que ondean sobre el azul celeste sus rabos de papel.

この時期，学校が休みになっているムスコ（少年）たちは，竜の形をした凧を空いっぱいに揚げ，紙でできたその尾は青空に波打っている。

Grupos de *muskos* corretean ante las casitas (...).

ムスコ（少年）たちのいくつかのグループが，建ち並んだ小さな民家の前で走り回っている。

7. 文学作品に見られる musmé ── 異国情緒を醸し出す musmé

19 世紀末から 20 世紀初めに現れた文学者たち，とりわけ，近代主義（el modernismo）という文学の潮流に乗り，新しい表現スタイルを模索した詩人たちの何人かは musmé という語を用いている。だが，多くの場合は異国趣味，表面的な日本趣味にとどまっている。来日して，間近に日本人を観察した作家たちの描写とは異なり，工芸品や美術品に描かれた着物姿の「娘」を作品に写したものが多い。

スペインの劇作家ラモン・マリア・デル・バリェ・インクラン（Ramón María del Valle-Inclán 1866–1936）は，*La Marquesa Rosalinda, Farsa sentimental y grotesca*（『ロサリンダ侯爵夫人，センチメンタルでグロテス

クな笑劇』)[14] と名付けた 1912 年初演の劇作品の中で，花弁をむしりながら庭を歩く女性のしぐさを「ムスメ（musmé）のような優雅な手つきで」と形容している。

> Cruza el jardín con leve pie. La mano deshoja una flor con la gracia de una musmé (...).
> 彼女は軽やかな足取りで庭を横切っていく。ムスメのような優雅な手つきで，一輪の花の花弁をむしりながら。

後にスペインを代表する詩人の一人となるフアン・ラモン・ヒメネス（Juan Ramón Jiménez 1881-1958）は，1906 年に発表した詩集 *Las hojas verdes*（『緑の葉』)[15] に musmé という語を用いた情熱的な作品を載せている。若き詩人にとって musmé は理想の女性像を導き出す言葉になっていた。

> Háblame tú con tu voz
> de musmé fresca y gentil,
> 僕に語っておくれ
> 清らかで気品あふれるそのムスメの声で

さらに，フアン・ラモン・ヒメネスに続いたマウリシオ・バカリセ（Mauricio Bacarisse 1895-1931）も，1917 年刊行の詩集 *El esfuerzo*（『努力』)[16] に musmé という語を取り入れ，華奢で純真な若い娘の姿を描いている。

> (...)
> y eres como una musmé

cuyo diminuto pie
caber podría en mi mano.
そして，君はムスメのよう
その小さな足は
僕の手の中に収まりそう

比喩と諧謔を併せ持つ短い作品を次々と発表したラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ（Ramón Gómez de la Serna 1888-1963）も，musmé という語を読み込んだユニークな作品を作っている(17)。

La luna la inventaron los japoneses.
Por eso tiene cara de *musmé*.
お月さまは日本人がこしらえた。
だから，ムスメの顔をしているのだ。

小説の分野では，ルイス・バレーラ（Luis Valera 1870-1926）が 1903 年刊行の短編集 *Visto y soñado*（『見たこと，夢見たこと』）(18) に収めた“Yoshi-san la musmé”（「芸者ヨシさん」）がある。スペインの外交官として中国に滞在した Luis Valera は写実的な描写にすぐれていた。この作品では musmé という語がタイトルを含め 34 回使われているが，いずれも「芸者」の意味である。

また，南米のベネズエラでも，ロムロ・ガジェゴス（Rómulo Gallegos 1884-1969）が 1920 年刊行の長編小説 *El último solar*（『最後の地』）(19) の中で，musmé という語を 2 回用いている。西洋文明の行き詰まりを感じた男が，東洋への憧憬の念を吐露する場面である。

Quiero morir en una borrachera de *haschid*, en un palanquín, bajo

un quitasol nipón, en brazos de una musmé.

麻薬（大麻）に溺れ，かごに乗り，日本の日傘の下，ムスメの腕の中で俺は死にたいのだ。

スペイン語圏で musmé という語がよく使われるようになったのは，ちょうどオペレッタ（喜劇タッチの小歌劇）がスペインで人気を集めていた時代だった。日本を舞台にした作品が次々と上演され，登場する娘役は文字通りムスメ（musmé）と呼ばれた。フェリペ・サッソーネ（Felipe Sassone 1884-1959）脚本，マヌエル・パネーリャ（Manuel Panella 1880-1939）作曲による *La muñeca del amor*（『愛の形代（かたしろ）』1914 年初演）をはじめ，1910 年代に作られたオペレッタには musmé という語がたびたび用いられている[20]。

8. 新聞・雑誌に見られる musmé ── スペイン語に根付き始める musmé

スペインの伝統的な新聞社 ABC は，早くから日本文化に関する記事を書いている。ABC 社が 1907 年 3 月 16 日に発行した情報誌 *Blanco y Negro* には，那須与一をモデルにしたと思われる源平合戦のエピソードがイラストと共に載っているが，その中に musmé という語が出てくる[21]。

Entre un bosquecillo de rosas y crisantemos, más hermosa que la luna, una musmé cantaba.

薔薇や菊の咲く木立の中，月よりも美しい姿で，ひとりのムスメ（若い女）が歌っていた。

さらに 1935 年 11 月 24 日付けと 1942 年 12 月 11 日付けの日刊紙 *ABC* の

日本文化紹介記事にも musmé という語が見られる。

このように，20 世紀の前半には musmé という語が多くの読者の目に触れるようになっていたことがわかる。musmé がスペイン語の語彙に根を下ろし始めていたと言っていいだろう。

9. 大衆芸能（歌謡曲）に見られる musmé

歌謡曲にも日本的なものを織り込み，異国情緒を感じさせるという手法が取り入れられた。中でも，ホセ・ディアス・ボリオ（José Díaz Bolio 1906-1998）作詞，エミリオ・デ・ニコラス（Emilio de Nicolás 1890-1960）作曲の Musmé は，20 世紀半ば，アルフォンソ・オルティス・ティラード（Alfonso Ortiz Tirado 1893-1960）やペドロ・バルガス（Pedro Vargas 1906-1989）など甘い声を持つ人気歌手によって歌われ，メキシコで大ヒットした。この時代，メキシコシティで暮らす人々の日常生活を活写したエレーナ・ポニアトウスカ（Elena Poniatowska 1932- ）のルポルタージュ *Todo empezó el domingo*（『すべては日曜日に始まった』[22] にも，野外で Musmé を歌う人物が描かれている。

> “(...) Para ustedes: ¡Musmé!”. Subió a la plataforma un señor gordo (...).
>
> 「皆さんにこの歌を贈ります。ムスメです！」
>
> やがて，肥った男が壇上へ進んだ。

10. スペイン語の辞書に見られる musmé

19 世紀以降たくさんの辞書が作られているが，ほとんどの辞書は musmé という語を載せていない。1988 年刊行の外来語辞典 *Diccionario de*

palabras y frases extranjeras[23] には，「日本語から入った語で，スペイン語の muchacha を表す。初出は 1906 年の L. Morote」と簡単な説明が付けられている。

musmé. jap. ‘muchacha’. (1906: L.Morote.)

また，Manuel Seco 他編 *Diccionario abreviado del español actual*[24] にも musmé の項があり，「今日ではあまり用いられない。Muchacha japonesa（日本人の若い娘)」と説明されている。

musmé *f* (*hoy raro*)　Muchacha japonesa.

日本で出版された辞書，山田善郎他監修『スペイン語大辞典』にも musmé の項が見られる。日本語から入り，古語的，という説明が付き，「日本娘」と短く定義されている[25]。

電子化された辞書の中では，Real Academia Española 編纂 *CDH*（*Corpus del Diccionario histórico de la lengua española*）に 2 例が載せられている。ひとつは前述したラモン・マリア・デル・バリェ・インクランの劇作品 *La Marquesa Rosalinda, Farsa sentimental y grotesca*（『ロサリンダ侯爵夫人，センチメンタルでグロテスクな笑劇』1912 年）中の musmé，もうひとつは 1939 年に刊行されたコンセプシオン・カステリャ・デ・サバーラ（Concepción Castella de Zavala 1989-1966）作の小説 *Cruz de flores*（『花の十字架』）中の Musmé で，それぞれ 1 回だけ用いられている。

11. 日本語教本の中の musume

スペイン語圏の人たちに対する日本語教育の中では，musmé ではなく musume と綴られたテキストが古くから用いられている。1897 年（明治 30 年）に東京の丸善から発行された日本語教本 *Vocabulario japonés & lecciones de japonés*[26] には，日本語とスペイン語の基礎語彙が，ローマ字書き対訳式で載っている。その中に次のような記述が見られる。

MUSUKO ..... Muchacho, hijo
MUSUME ..... Muchacha, hija

この日本語教本を執筆したのは，日本人ではなくスペイン語圏から来日したイニゴ（C. Yñigo）[27] だった。日本を訪れたスペイン語圏の人たちの間で musmé という語が使われ始めた頃，日本語に堪能だった人物が musume と綴っているのは興味深い。

結　語

19 世紀末から 20 世紀初頭，さらに 20 世紀半ばまで，スペイン語圏でよく用いられた語 musmé について，筆者が目を通した資料に基づいて考察してきた。わずか一語ではあるが，musmé という言葉の意味やイメージが，使い手によって様々に広がったことがわかる。また，musmé の綴り方や用い方も，最初から同一だったわけではなく，いくつかの揺れが生じていたことが新たに確認できた。かつてスペイン語に根を下ろしかけた musmé は，現在ではもうほとんど使われていない。誰にも用いられず，忘れ去れた言葉はやがて死語となっていく。それでも幸いなことに，百年近

く前に書かれた紀行文や文学作品の多くはまだ残されている。輸送手段が飛行機ではなく船だった時代に，何十日も費やして日本を訪れた人たち，あるいは遙かな極東の地に思いを馳せながらペンを走らせた人たち，そうした様々な旅人たちの日本に対する想いを，この musmé という語は伝えている。

〈注〉

（1） フィガロ紙（Le Figaro）に発表されたのは 1987 年だったが，単行本の出版はその翌年だった。Pierre Loti, *Madame Chrysanthème*, Paris, Calmann Lévy, 1888. 日本語訳にはピエール・ロチ『お菊さん』野上豊一郎訳，新潮社，1915 年（1929 年，岩波文庫に収められる）などがある。

（2） Pierre Loti, *Japoneries d'automne*, Paris, Calmann Lévy, 1889. 日本語訳にはピエール・ロチ『秋の日本』村上菊一郎・吉氷清訳，角川文庫，1953. ピエール・ロチ『日本秋景　ピエール・ロチの日本印象記』市川裕見子訳，中央公論新社，2020 年などがある。

（3） ピエール・ロチを読んだフィンセント・ファン・ゴッホが，この言葉に触発されて，La Mousmé（ラ・ムスメ）というタイトルで少女の肖像画を描いたことが知られている。

（4） *Madame Chrysanthème* は書名がフランス語のままだったが，2006 年に新訳が出されたとき，スペイン語風の書名 *Madame Crisantemo* になった。一方，*Japoneries d'automne* は *Japonerías de otoño* と訳された。

ピエール・ロチの著作がいつスペイン語に訳されたかについては，Encarnación Medina Arjona, *DHTE*（*Diccionario histórico de la traducción en España*）, edición digital, Universitat de Barcelona, 2021 の中にまとめられている。

（5） Enrique Gómez Carrillo, *El Japón heroico y galante*, Madrid, Renacimiento, 2010, pp. 27-28.

（6） Eduardo Wilde, *Por mares i por tierras*, Buenos Aires, Jacobo Peuser, 1899.

（7） Eduardo Wilde は接続詞 y をすべて i と記している。また，動詞 hay も hai と表記している。

（8） アクセントの付いた más が正しいが，Eduardo Wilde の文章にはアクセントなしの表記がしばしば見られる。

（9） Douglas Sladen, *A Japanese Marriage*, London, George Bell and Sons and Bombay, 1895.

（10） Organo de la industria cinematográfica, *Cine-Mundial*, Nueva York, Caja editorial de Chalmers, 1917.

（11） Francisco de Reynoso, *En la corte del Mikado: bocetos japoneses*, Madrid, Imprenta de Bailly-Bailliere e Hijos, 1904.

フランシスコ・デ・レイノソの業績は，様々な観点から評価されているが，彼がスペイン語の文章を綴る際，日本語をどのように取り入れたかについては次の論文で詳しく述べられている。Alberto Millán Martín, “Los japonesismos de《En la Corte del Mikado》(1904) del diplomático español Francisco de Reynoso: análisis gráfico-fonológico y morfosintáctico,” *CANELA* vol. 30, 2019, pp. 13–35.

（12） 初版は Enrique Gómez Carrillo, *El Japón heroico y galante*, Madrid, Renacimiento, 1912. 2010 年に現代スペイン語の表記になったものが刊行されている。

（13） Vicente Blasco Ibáñez, *Vuelta al mundo de un novelista*, Valencia, Prometeo, 1924.

（14） 初版は 1913 年に出されている。Ramón María del Valle-Inclán, *La Marquesa Rosalinda, Farsa sentimental y grotesca*, Madrid, Imprenta Alemana, 1913.

（15） Juan Ramón Jiménez, *Las hojas verdes* (*1906*), *Baladas de primavera* (*1907*), Madrid, Taurus, 1982 年版より引用。

（16） Mauricio Bacarisse, *El esfuerzo*, Madrid, José Yagües, 1917.

（17） Ramón Gómez de la Serna, *Total de greguerías*. Madrid, Aguilar, 1962.

（18） Luis Valera, *Visto y soñado*, Madrid, Est.Tip. de la viuda e hijos de Tello, 1903.

（19） Rómulo Gallegos, *El último solar*, Caracas, Imprenta Bolívar, 1920.

（20） さらに，エルメネヒルド・デ・ボニス（Hermenegildo de Bonis）とマヌエル・ベラ（Manuel Vela）が脚本を書き，ラファエル・ミリャン（Rafael Millán）が曲を担当した *La Rosa de Kioto*（『京都の薔薇』1918 年初演），アントニオ・パソ（Antonio Paso）とアントニオ・ビダル・モヤ（Antonio Vidal Moya）が脚本を書き，レベリアーノ・ソウトゥーリョ（Reveriano Soutullo）とフアン・ベルトゥ（Juan Vert）が曲を担当した *El capricho de una reina*（『女王の気まぐれ』1919 年初演）なども，その例であるが，欧米ではオペレッタ『ミカド』（初演 1885 年），オペラ『イリス』（1898 年初演），

『蝶々夫人』（初演 1904 年）など，日本を舞台にした作品がすでに好評を博していた。

この頃のスペインのオペレッタ（zarzuela）界について述べた論文には次のようなものがある。Juan Urdániz Escolano, “El País del Sol Naciente=El País del Sol. El particular japonismo de *La ciudad sin noche* de Ernesto Burgos y Manuel Tabuenca” *Japón, España e Hispanoamérica: identidades y relaciones culturales*, Zaragoza, Prensas de la Universidad de Zaragoza, 2019, pp. 229–265.

（21） Diario ABC, *Blanco y Negro*, Madrid, 16 de marzo de 1907, pp. 7–8.

（22） Elena Poniatowska, *Todo empezó el domingo*, México, Océano, 1997.

（23） Arturo del Hoyo, *Diccionario de palabras y frases extranjeras*, Madrid, Aguilar, 1988.

（24） Manuel Seco, Olimpia Andrés y Gabino Ramos, *Diccionario abreviado del español actual*, Madrid, Aguilar, 2000, p. 1229. 同じ編纂者たちによる *Diccionario del español actual*, segunda edición actualizada, vol. II, Madrid, Aguilar, 2011, p. 3145 にも同様な記述が見られるが，さらに次のような例文を付けている。Pareces una japonesita, una *musmé* … Yo te haría un poema en hai-kais.

（25） 山田善郎・吉田秀太郎・中岡省治・東谷穎人監修『スペイン語大辞典』白水社，2015 年，p. 1551.

（26） C. Yñigo, *Vocabulario japonés & lecciones de japonés*, Tokio, Maruzen, 1897.

（27） C. Yñigo については，著者紹介も略歴も載せていないため，どのような人物だったかわからないが，流暢な日本語を話すことができたスペイン人ではないかと思われる。

（原稿受付　2021 年 10 月 27 日）

拓殖大学研究所紀要投稿規則

（目的）

第１条　拓殖大学（以下，「本学」という。）に附置する，経営経理研究所，政治経済研究所，言語文化研究所，理工学総合研究所，人文科学研究所，国際開発研究所，日本語教育研究所および地方政治行政研究所（以下，「研究所」という。）が刊行する紀要には，多様な研究成果及び学術情報の発表の場を提供し，研究活動の促進に供することを目的とする。

（紀要他）

第２条　研究所の紀要は，次の各号のとおりとする。

⑴　経営経理研究所紀要『拓殖大学　経営経理研究』
⑵　政治経済研究所紀要『拓殖大学論集　政治・経済・法律研究』
⑶　言語文化研究所紀要『拓殖大学　語学研究』
⑷　理工学総合研究所紀要『拓殖大学　理工学研究報告』
⑸　人文科学研究所紀要『拓殖大学論集　人文・自然・人間科学研究』
⑹　国際開発研究所紀要『国際開発学研究』
⑺　日本語教育研究所紀要『拓殖大学　日本語教育研究』
⑻　地方政治行政研究所紀要『拓殖大学　政治行政研究』

２　研究所長は，次の事項について毎年度決定する。

⑴　紀要の『執筆予定表』の提出日
⑵　投稿する原稿（以下，「投稿原稿」という。）及び紀要の『投稿原稿表紙』の提出日
⑶　投稿原稿の査読等の日程

（投稿資格）

第３条　紀要の投稿者（共著の場合，投稿者のうち少なくとも１名）は，原則として研究所の専任教員，兼担研究員および兼任研究員（以下「研究所員」という。）とする。

２　研究所の編集委員会が認める場合には，研究所員以外も投稿することができる。

３　研究所の編集委員会は，前項に規定する研究所員以外のうち，講師（非常勤）の投稿について，年度１回を限度に認めることができる。

（著作権）

第４条　投稿者は，紀要に掲載された著作物が，本学機関リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）において公開されることおよび当該著作物の著作権のうち複製権・公衆送信権の権利行使を研究所に委託することを許諾しなければならない。

２　共同執筆として紀要に掲載する場合には，共同執筆者全員がリポジトリにおいて公開されることおよび当該著作物の著作権のうち複製権・公衆送信権の権利行使を研究所に委託することについて承諾し，投稿代表者に承諾書を提出しなければならない。投稿代表者は，共同執筆者全員の承諾書を投稿する原稿と一緒に研究所に提出しなければならない。

（執筆要領および投稿原稿）

第５条　投稿原稿は，研究所の紀要執筆要領の指示に従って作成する。

２　投稿原稿は，図・表を含め，原則として返却しない。

３　学会等の刊行物に公表した原稿あるいは他の学会誌等に投稿中の原稿は，紀要に投稿することはできない（二重投稿の禁止）。

（原稿区分他）

第６条　投稿原稿区分は，次の表１，２のとおり定める。

表１　投稿原稿区分：第２条に規定する理工学総合研究所を除く研究所

⑴論文	研究の課題，方法，結果，含意（考察），技術，表現について明確であり，独創性および学術的価値のある研究成果をまとめたもの。
⑵研究ノート	研究の中間報告で，将来，論文になりうるもの（論文の形式に準じる）。新しい方法の提示，新しい知見の速報などを含む。
⑶抄録	本条第　５項に該当するもの。
⑷その他	上記区分のいずれにも当てはまらない原稿（公開講座記録等）については，編集委員会において取り扱いを判断する。また，編集委員会が必要と認めた場合には，新たな種類の原稿を掲載することができる。

表２　投稿原稿区別：理工学総合研究所

⑴論文，⑵研究速報，⑶展望・解説，⑷設計・製図，⑸抄録（発表作品の概要を含む），⑹その他（公開講座記録等）

２　投稿原稿区分は，投稿者が選定する。ただし，紀要への掲載にあたっては，査

読結果に基づいて，編集委員会の議を以て，投稿者に掲載の可否等を通知する。
3　紀要への投稿が決定した場合には，投稿者は 600 字以内で要旨を作成し，投稿した原稿のキーワードを 3〜5 個選定する。ただし，要旨には，図・表や文献の使用あるいは引用は，認めない。
4　研究所研究助成を受けた研究所員の研究成果発表（原稿）の投稿原稿区分は，原則として論文とする。
5　研究所研究助成を受けた研究所員が，既に学会等で発表した研究成果（原稿）は，抄録として掲載することができる。

（投稿料他）

第 7 条　投稿者には，一切の原稿料を支払わない。
2　投稿者には，抜き刷りを 30 部まで無料で贈呈する。但し，査読を受けた論文等に限る。

（リポジトリへの公開の停止及び削除）

第 8 条　投稿者よりリポジトリへの公開の停止及び削除の申し出があった場合または編集委員会がリポジトリへの公開の停止及び削除が必要と判断した場合には，リポジトリへの公開の停止及び削除をおこなうことができる。

（その他）

第 9 条　本投稿規則に規定されていない事柄については，編集委員会の議を以て決定する。

（改廃）

第10条　この規則の改廃は，研究所運営委員会の議を経て研究所運営委員会委員長が決定する。

附　則

この規則は，令和 2 年 3 月 1 日から施行する。

拓殖大学言語文化研究所紀要『拓殖大学語学研究』執筆要領

1．発行回数

『拓殖大学語学研究』（以下，「紀要」という）は，原則として年 2 回発行する。その発行のため，以下の原稿提出締切日を厳守する。

⑴	原稿は，　6 月末日締切－ 10 月発行
⑵	原稿は，10 月末日締切－　3 月発行

2．使用言語

用語は，日本語又は日本語以外の言語とする。ただし，日本語以外の言語での執筆を希望する場合は，事前に言語文化研究所編集委員会（以下，「編集委員会」という。）に申し出て，その承諾を得たときは，使用可能とする。

3．様式

投稿原稿は，完成原稿とし，原則としてワープロ原稿（A4 用紙を使用し，横書き，1 行 33 字× 27 行でプリント）2 部を編集委員会宛に提出する。

⑴　数字は，アラビア数字を用いる。

⑵　ローマ字（及び欧文）の場合は，ダブルスペースで 32 行。1 行の語数は日本語 33 文字分。

⑶　投稿原稿の分量は，本文と注及び図・表を含め，原則として，以下のとおりとする。

①	日本語論文による原稿	20,000 字（1 行 33 字× 27 行）以内	A4 縦版・横書
②	日本語以外の言語による原稿	20,000 字（ダブルスペース，20 枚）以内	

上記分量を超えた投稿原稿は，編集委員会で分割掲載等の制限をおこなうこともある。

投稿者の希望で，本紀要の複数号にわたって，同一タイトルで投稿することはできない。ただし，編集委員会が許可した場合に限り，同一タイトルの原稿を何回かに分けて投稿することができる。その場合は，最初の稿で全体像と回数を明示しなければならない。

⑷　上記以外の様式にて，投稿原稿の提出する場合には，編集委員会と協議する。

4．投稿原稿

⑴　原稿区分は，「拓殖大学　研究所紀要投稿規則」に記載されている種別のいずれかとするが，「その他」の区分，定義については付記のとおりとする。

⑵ 投稿原稿の受理日は，編集委員会に到着した日とする。
⑶ 投稿は完成原稿の写しを投稿者が保有し，原本を編集委員会宛とする。
⑷ 投稿原稿数の関係で，紀要に掲載できない場合には，拓殖大学言語文化研究所長（以下「所長」という）より，その旨を執筆者に通達する。

５．図・表・数式の表示

⑴ 図・表の使用は，必要最小限にし，それぞれに通し番号と図・表名を付けて，本文中に挿入位置と原稿用紙上に枠で大きさを指定するする。図・表も分量に含める。
⑵ 図および表は，コンピューター等を使って，きれいに作成すること。
⑶ 数式は，専用ソフトを用いて正確に表現すること。

６．注・参考文献

⑴ 注は，本文中に（右肩に片パーレンで）通し番号とし，執筆者の意向を尊重して脚注，後注とも可能とする。
⑵ 引用・典拠の表示は各言語の一般的な方式に従うものとする。

７．執筆予定表の提出

紀要に投稿を希望するものは，『拓殖大学　語学研究』執筆予定表を，指定された期日までに研究所に提出する。

８．原稿の提出

投稿原稿と一緒に，『拓殖大学　語学研究』投稿原稿表紙に必要事項の記入，「拓殖大学機関リポジトリへの公開等の許諾」に捺印し，原稿提出期日までに添付する。

９．原稿の審査・変更・再提出

⑴ 投稿原稿の採否は，編集委員会の指名した査読者の査読結果に基づいて，編集委員会が決定する。編集委員会は，原稿の区分の変更を投稿者に求める場合もある。
⑵ 出された投稿原稿は，編集委員会の許可なしに変更してはならない。
⑶ 編集委員会は，投稿者に若干の訂正あるいは書き直しを要請することができる。
⑷ 編集委員会は，紀要に掲載しない事を決定した場合は，所長名の文書でその

旨を執筆者に通達する。

⑸ 他の刊行物に既に発表された，もしくは投稿中の原稿は，紀要に投稿することができない。

10. 投稿原稿の電子媒体の提出

投稿者は，編集委員会の査読を経て，修正・加筆などが済み次第，A4 版用紙（縦版，横書き）にプリントした完成原稿 1 部と電子媒体を提出すること。

電子媒体の提出時には，コンピューターの機種名と使用 OS とソフトウェア名及びバージョン名を明記すること。

なお，手元には，必ずオリジナルの投稿原稿のデータを保管しておくこと。

11. 校正

投稿原稿の校正については，投稿者が初校および再校を行い，編集委員会と所長が三校を行う。この際の校正は，最小限の字句に限り，版組後の書き換え，追補は認めない。

校正は，所長の指示に従い，迅速に行う。

校正が，決められた期日までに行われない場合には，紀要に掲載できないこともある。

12. 改廃

この要領の改廃は，言語文化研究所会議の議を経て，所長が決定する。

附　則

この要領は，平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この要領は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付記：「その他」の区分・定義について

①	調査報告：	専門領域に関する調査。
②	資　　料：	原稿区分の範疇以外で教育・研究上有用であると考えられるもの。
③	書　　評：	専門領域の学術図書についての書評。
④	紹　　介：	専門領域に関するもの。

以上

執筆者紹介（目次掲載順）

阿久津　智（あ く つ・さ と る）外国語学部教授　日本語学

浅井　澄民（あ さ い・すみたみ）外国語学部教授　中国語学，中国語教育

狩野　紀子（か の う・の り こ）外国語学部教授　英語教育，リーディング

小池　和良（こ い け・か ず み）外国語学部教授　スペイン語学，スペイン語統語論・語彙論

先川　暢郎（さきかわ・の ぶ お）拓殖大学名誉教授　英文学，比較文学

平山　邦彦（ひらやま・くにひこ）外国語学部教授　中国語学，現代中国語文法

藤本　淳史（ふじもと・あ つ し）外国語学部教授　英語教育，コミュニケーション

中村かおり（なかむら・か お り）外国語学部准教授　日本語教育，指導法

長縄　祐弥（ながなわ・ゆ う や）外国語学部助教　スペイン語学・認知言語学

長谷川文子（はせがわ・あ や こ）外国語学部准教授　応用言語学，英語教育

関口　美幸（せきぐち・み ゆ き）外国語学部教授　中国現代文学，ビジネス中国語

松下　直弘（まつした・なおひろ）外国語学部教授　スペイン語学，スペイン語圏の文学

拓殖大学　語学研究　第 146 号　ISSN　No. 1348-8384

2022 年（令和 4 年）3 月 18 日　印　刷

2022 年（令和 4 年）3 月 25 日　発　行

編　　集　拓殖大学言語文化研究所編集委員会

編集委員　佐野正俊　阿久津智　大野英樹　久米井敦子　小林敏宏　末延俊生
永江貴子　平山邦彦　廣澤明彦　藤本淳史　三井美穂　村上祐紀
渡邉俊彦　本橋朋子　濵松法子　中村かおり

発 行 者　拓殖大学言語文化研究所長　佐野正俊

発 行 所　拓殖大学言語文化研究所
〒112-8585　東京都文京区小日向 3 丁目 4 番地 14 号
Tel. 03-3947-7595

印 刷 所　株式会社 外為印刷